

図3 竪穴住居単位の器種別組成①

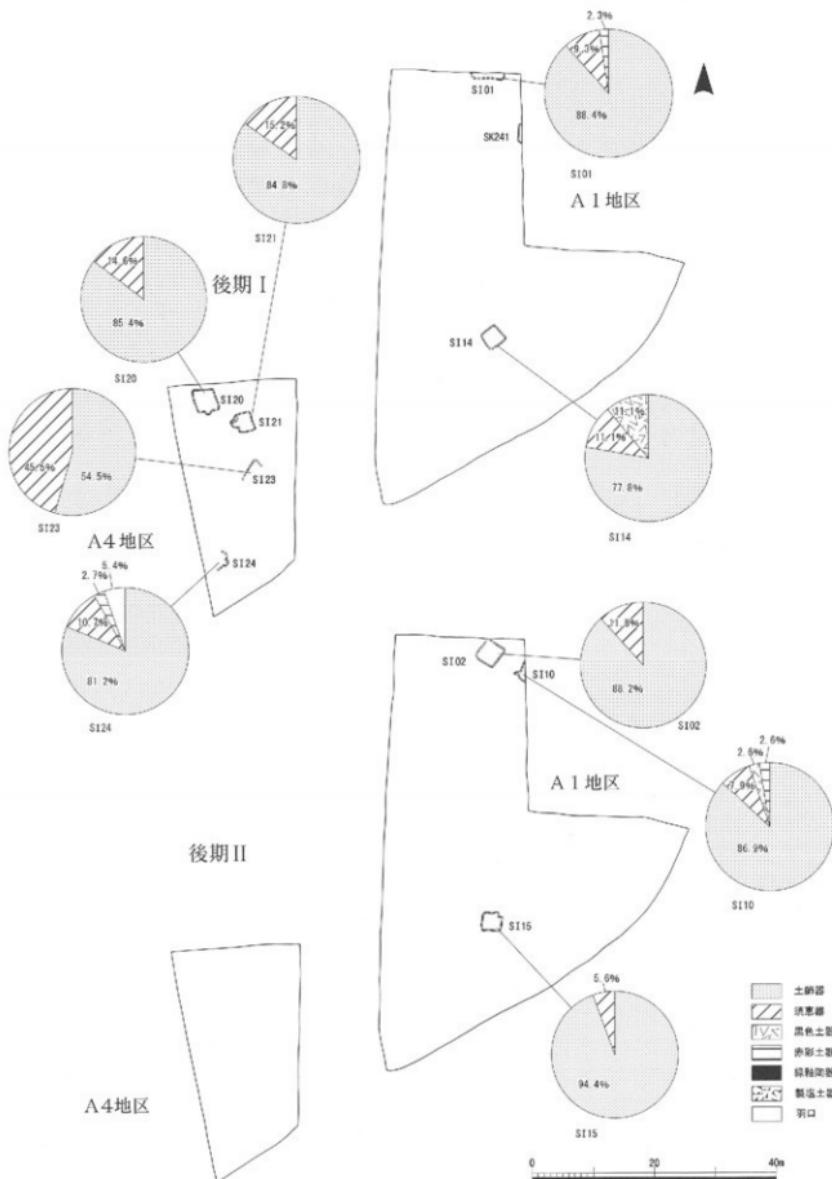


図4 竪穴住居単位の器種別組成(②)

330点で全体の88.3%、須恵器は40点で全体の10.7%、黒色土器は2点で0.5%、赤彩土器は2点で0.5%となっている。堅穴住居3棟の内で最も出土量が多いのはSI02で280点であり、つぎに多いのがSI10で76点がつづいている。比較的出土状況の良好な堅穴住居はSI02があり、これをみると土師器が88.2%、須恵器が11.8%となっており、土師器：須恵器は概ね9:1の割合である。

以上、機種別組成について時期毎に概観してきた。これらから気づいた点を幾つか上げておく。まず、須恵器の占める割合が時期が下るにつれて減少している傾向が顯著に表れている。その一方で、土師器の占める割合が大きくなるのだが、須恵器の減少率は前Ⅰ期と後Ⅱ期と比べると半分にまで減少していることがみてとれる。次に、製塙土器は出土数自体が少ないのだが、前Ⅰ期と前Ⅱ期の堅穴住居のみに限られている傾向も見受けられた。

(2) 用途別組成

以下に用途別組成について示していく。はじめに全体を概括し、その後時期別に組成をみていく。また、用途別については便宜的に土師器と須恵器関係なく分類し組成を示している。土師器杯・須恵器杯・須恵器蓋・黒色土器・赤彩土器・綠釉陶器が食膳具、土師器壺・鍋が煮炊具、須恵器壺・壺が貯蔵具、その他として製塙土器・羽口とした。

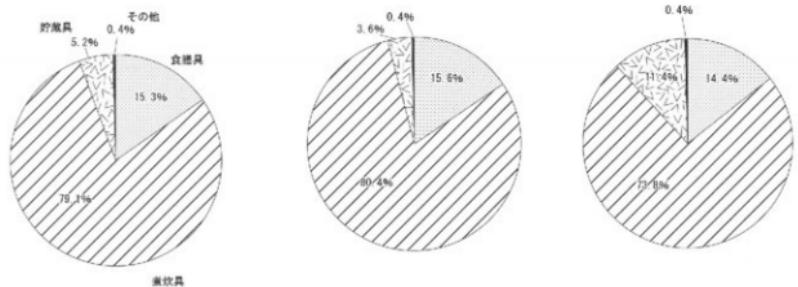
食膳具は総点数2212点の内339点であり、全体の15.3%を占めている。その一方で、煮炊具は1750点で79.1%である。貯蔵具は114点で5.2%、その他は9点で0.4%となっている。食膳具：煮炊具：貯蔵具は概ね1.5:8:0.5の割合であり、煮炊具が占める割合が8割程度と高く、貯蔵具が1割にも満たない低い傾向が窺える。

時期別でみると、前Ⅰ期の内訳については食膳具で181点であり、全体の18.0%に相当する。煮炊具は758点で全体の75.3%、貯蔵具は64点で6.4%、その他は3点で0.3%となっている。食膳具：煮炊具：貯蔵具の割合は概ね2:7.5:0.5である。比較的出土状況の良好な堅穴住居であるSI09・SI11・SI12についてみるとややばらつきが見られるが食膳具で13.2~26.9%、煮炊具で70.4~81.5%、貯蔵具で2.7~6.5%という組成となっており、比率は前Ⅰ期全体の割合とほぼ同様な傾向であると言えよう。

前Ⅱ期は食膳具については76点で全体の13.3%、煮炊具は471点で全体の82.3%、貯蔵具は21点で3.7%、その他は4点で0.7%となっている。食膳具：煮炊具：貯蔵具の比率は概ね1.5:8:0.5であり、前Ⅰ期に比べ食膳具の占める割合がわずかに減少している。比較的出土状況の良好な堅穴住居であるSI08についてみると食膳具で8.6%、煮炊具で87.6%、貯蔵具で2.8%となっており、前Ⅱ期全体の割合と比べてやや食膳具が低率といえよう。

後Ⅰ期は食膳具については23点で全体の8.8%に相当する。煮炊具は211点で全体の81.2%、貯蔵具は24点で9.2%、その他は2点で0.8%となっている。食膳具：煮炊具：貯蔵具は概ね1:8:1の割合であり、食膳具の占める割合が前Ⅰ・Ⅱ期に比べてさらに減少傾向にある。出土状況の良好な堅穴住居にはSI01があるが、遺構の半分以上が調査区外に延びるために、正確な土器組成を反映しているかどうかは疑問が残る

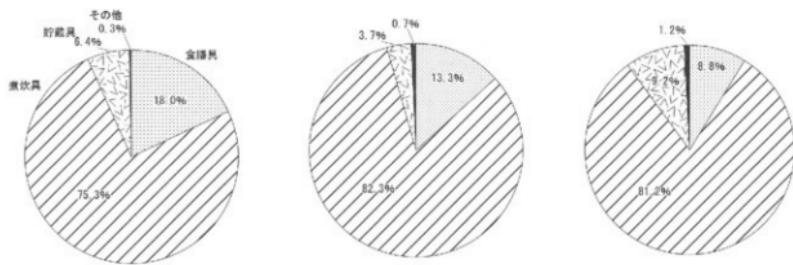
後Ⅱ期は食膳具については59点で全体の15.8%、煮炊具は310点で全体の82.9%、貯蔵具は5点で1.3%となっている。食膳具：煮炊具は概ね1.5:8.5の割合であり、食膳具の占める割合が前段階まで減少傾向であったのが、一転して増加傾向となる。その一方で、貯蔵具が1%程度と低比率を示しているのとは対称的である。比較的出土状況の良好な堅穴住居であるSI02についてみると食膳具で



任海宮田遺跡A1・A4地区食器具・煮炊具・貯蔵具など用途別組成

A1地区食器具・煮炊具・貯蔵具など用途別組成

A4地区食器具・煮炊具・貯蔵具など用途別組成



前Ⅰ期

前Ⅱ期

後Ⅰ期

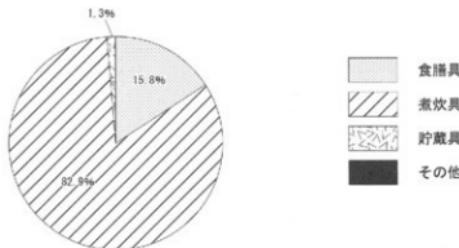


図5 用途別組成

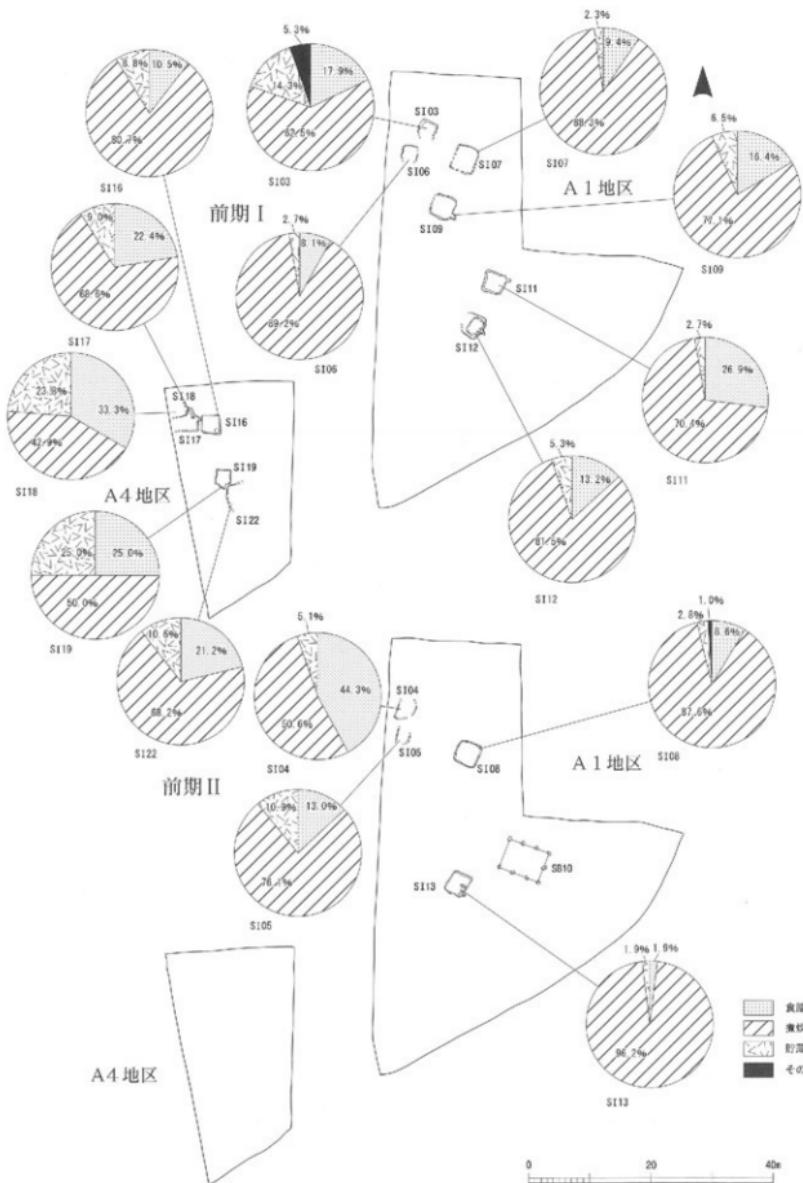


図 6 積穴住居単位の用途別組成①

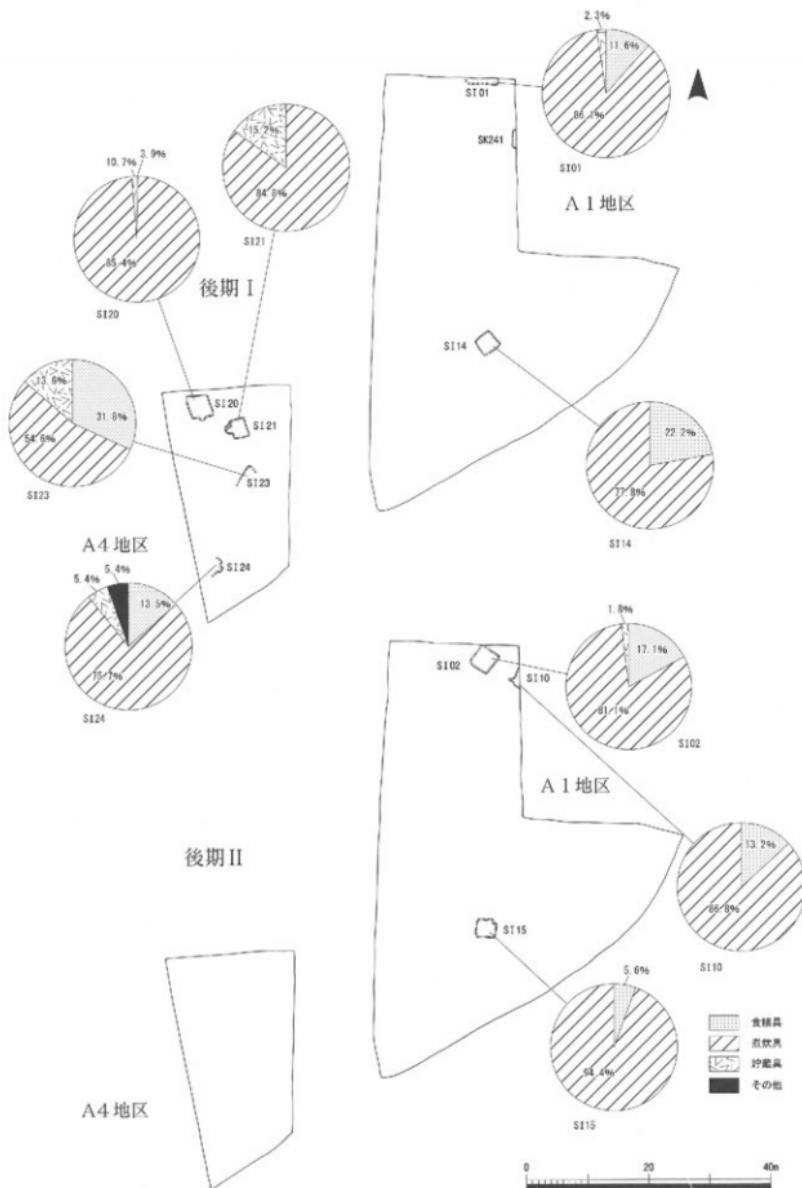


図 7 積穴住居単位の用途別組成②

17.1%、煮炊具で81.1%、貯蔵具で1.8%となっており、やはり貯蔵具が2%程度と極めて低い出現率を示している。

以上のことを通観すると、最も特徴的な傾向が現れたのは貯蔵具である。貯蔵具は前Ⅰ期（6.4%）から前Ⅱ期（3.7%）にかけて減少傾向にあり、後Ⅰ期（9.2%）でやや増加するものの、後Ⅱ期に至っては1.3%程度と全体的に減少している傾向が見てとれる。これには貯蔵具が須恵器の壺・壺であり、須恵器の出現率が時期が下るにつれて減少していることと相関していることに起因していると考えられる。次に、煮炊具は前Ⅰ期から後Ⅱ期にかけてわずかではあるが減少している傾向にある。また、食膳具は前Ⅰ期（18.0%）から後Ⅰ期（8.8%）にかけては減少傾向にあるが後Ⅱ期に至って増加傾向を示している。

4.まとめ

任海宮田遺跡のA1・A4地区の堅穴住居出土の土器について、器種別組成比率、用途別組成比率の特徴から分析を行ってきた。以下に箇条書きでまとめておく。

- (1) A1・A4地区で確認された計24棟の堅穴住居から出土した土器の全てを対象とした。出土した土器の総点数は2212点を数え、全体の器種別組成比率では土師器が83.1%で高率を占めている。須恵器は15.8%にとどまり、その他の焼き物は1%以下と低率である。土師器の中でも煮炊き用の壺が最も高く、土師器全体の90%以上を占めている。用途別組成については食膳具が15.3%、煮炊具が79.1%、貯蔵具が5.2%、その他は1%に満たない。今回対象とした堅穴住居群は任海宮田遺跡の中でもあまり特徴的でない、いわば一般的な居住ブロックに相当すると考えられるため、示された器種別組成比率や用途別組成比率も一般的な組成と考えることができよう。
- (2) 器種別組成比率を時期毎にみると、須恵器の占める割合が時期が新しくなるにつれて減少している傾向が顕著に表れている。須恵器の組成比率は前Ⅰ期で20.0%であったのが、後Ⅱ期に至ると10.7%にまで減少していることがみてとれる。それに比べて土師器の組成比率は前Ⅰ期で79.4%であったのが、後Ⅱ期に至ると88.3%にまで増加している。これは、須恵器生産が徐々に衰退し、次第に消費地に供給されなくなり、そのため土師器の占める割合が必然的に高くなっていることに起因していると考えられる。
- (3) 用途別組成比率を時期毎にみると、貯蔵具に減少傾向が認められた。前Ⅰ期（6.4%）から前Ⅱ期（3.7%）にかけて減少し、後Ⅰ期（9.2%）でやや増加するものの、後Ⅱ期に至っては全体の1.3%程度と出現率が微小となる傾向が見てとれた。これについては貯蔵具が須恵器の壺・壺であり、須恵器の時期が下るにつれて出現率が減少していることと相関していると考えられる。

以上、任海宮田遺跡A地区の堅穴住居出土の土器について分析を試みた。今回分析を行った堅穴住居群は任海宮田遺跡の中でも一般的な居住ブロックと考えられ、土器組成も任海宮田遺跡の一般的な組成を示していると考えられる。今後、数年間に任海宮田遺跡ⅡとⅢが順次刊行される予定である。その中には、B1地区のような大型掘立柱建物に伴い灰釉陶器や墨書き土器などが多量に出土している地区などの分析が控えている。今後とも同様な手法により出来うる限りのデータ蓄積を行い、任海宮田遺跡における古代土器の在り方や検出された遺構を検討した上で、周辺遺跡との関係や位置づけを明らかにしていくこと必要であろう。

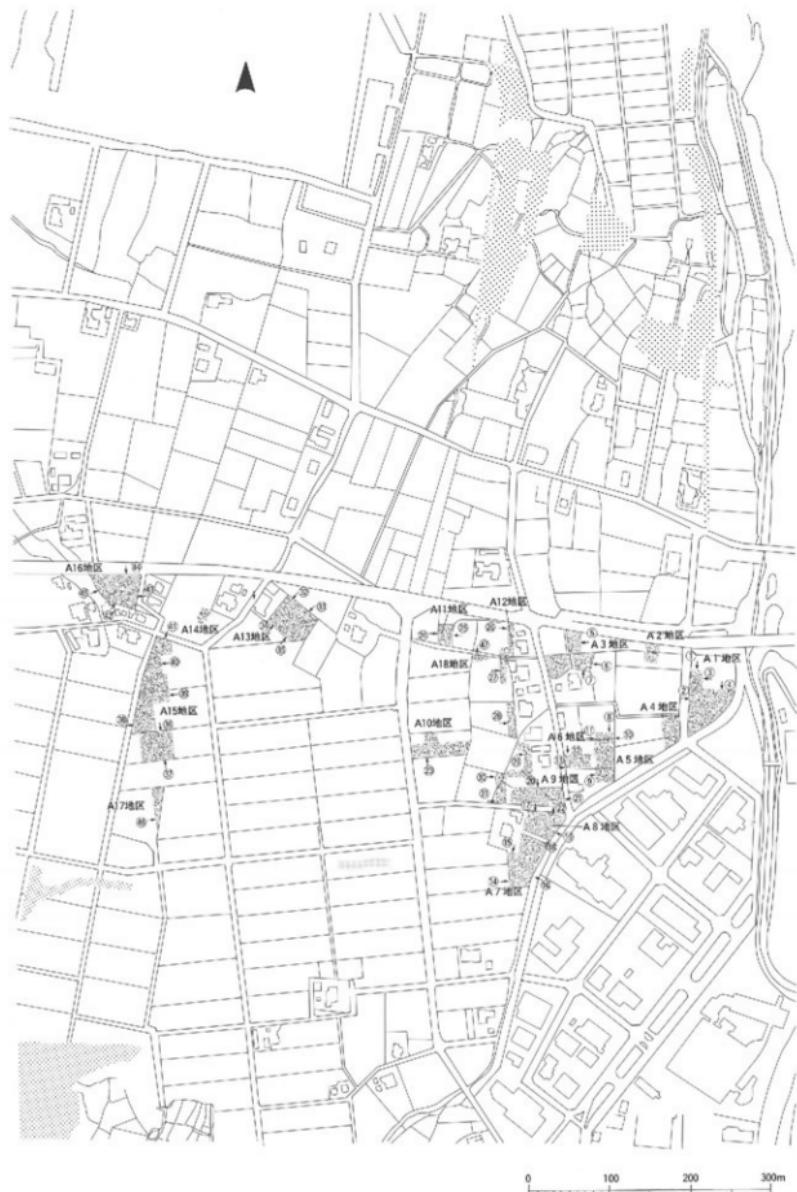
最後に、県内の古代土器組成の報告例は、須恵器などの窯資料を対象とした生産遺跡のものが散見

されるのみで、消費遺跡における土器組成の検討はほとんどされていないのが現状である。今回、土器組成をまとめるにあたっては試行錯誤をしながらの分析であり、この土器組成の結果について諸氏のご助言・御叱責を賜り、今後の糧としたい。

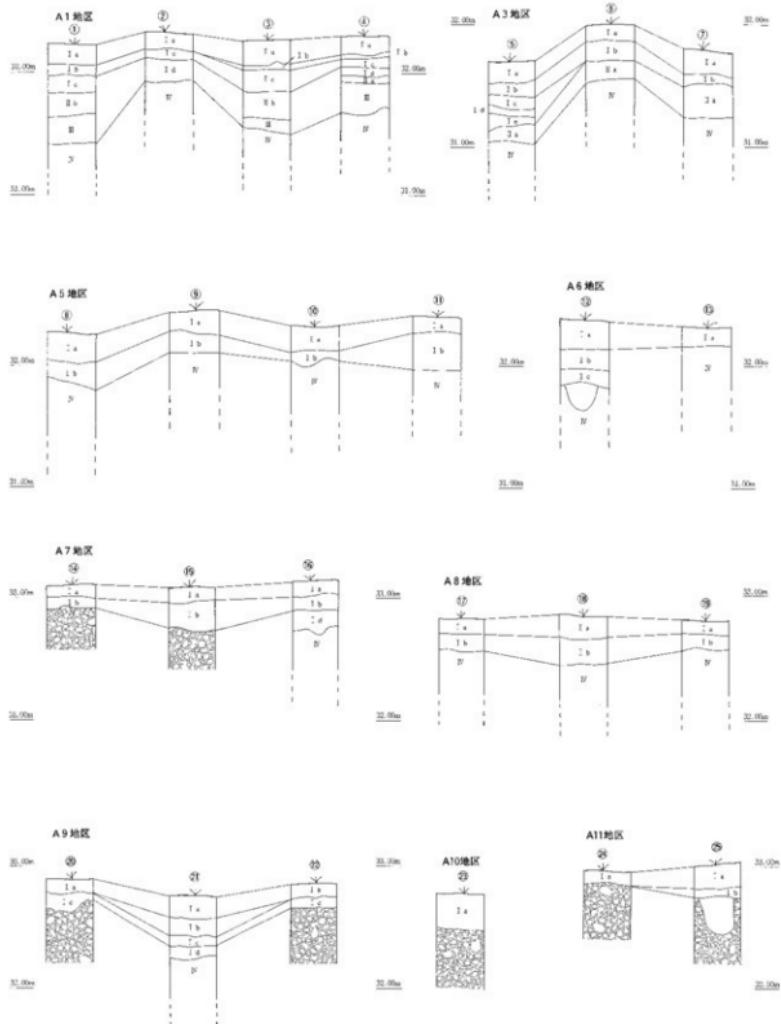
引用参考文献

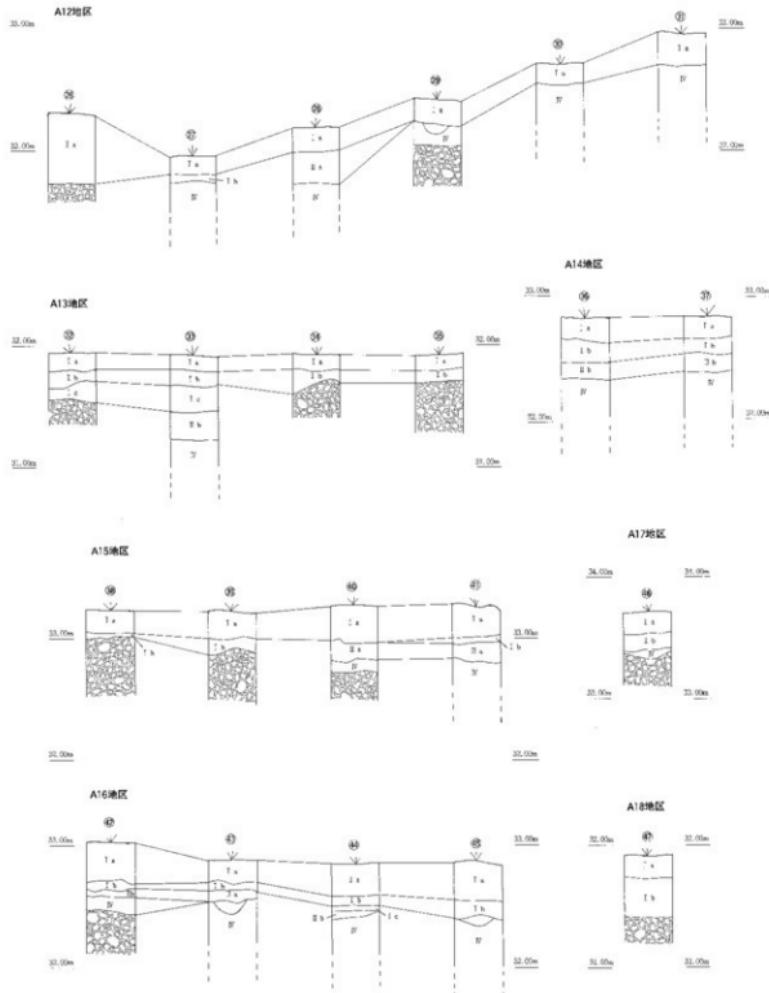
- ・石川考古学研究会・北陸古代土器研究会「シンポジウム 北陸の古代土器研究の研究と課題」報告編 1998
- ・内田亜紀子「越中ににおける古代土師器の編年予察」(財団法人富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所『埋蔵文化財調査概要－平成8年度－』) 1997
- ・内田亜紀子「越中婦負郡の古代土師器煮炊具－婦中町中名I・V・VI遺跡の整穴住居出土資料を中心に－」(財団法人富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所『紀要』第3号) 2000
- ・中世土器研究会編「概説中世の土器・陶磁器」真陽社 1955
- ・北陸古代手工業生産史研究会「北陸の古代手工業生産」1989

図 面

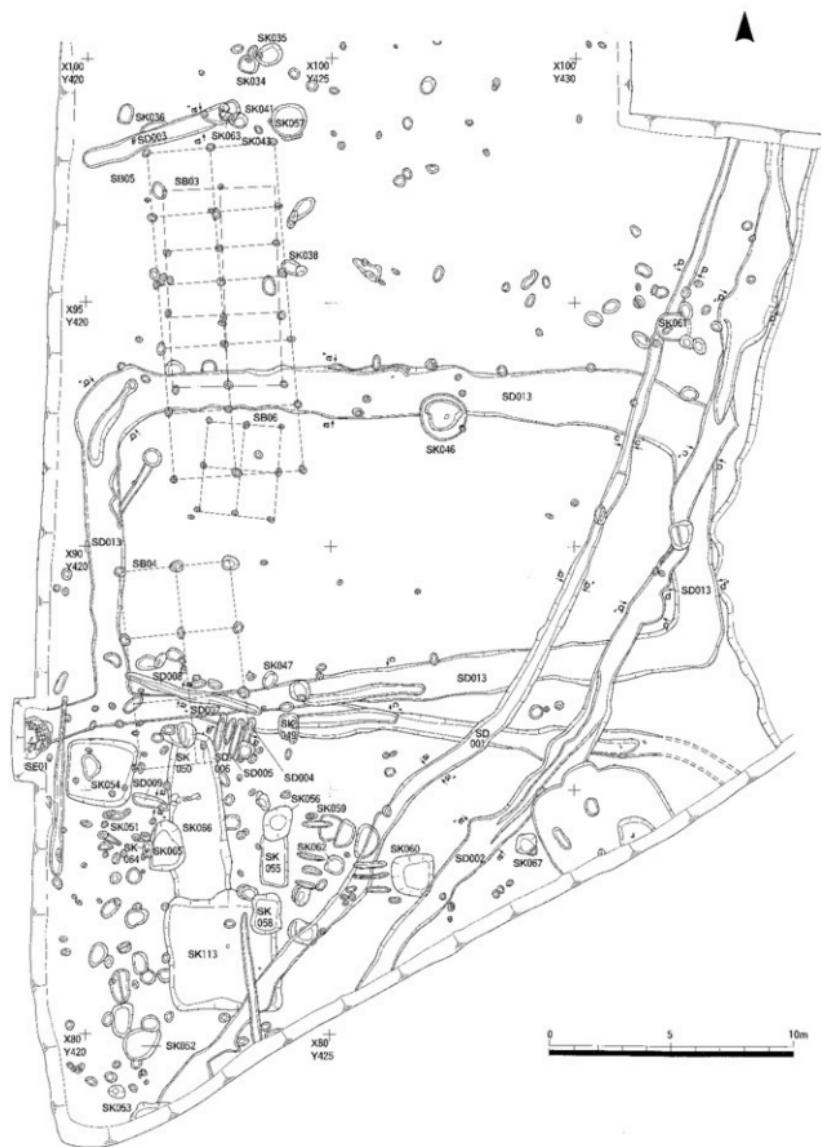


任海宮田遺跡 I 調査地配置図

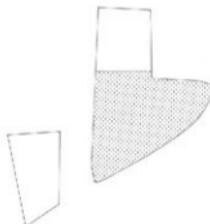
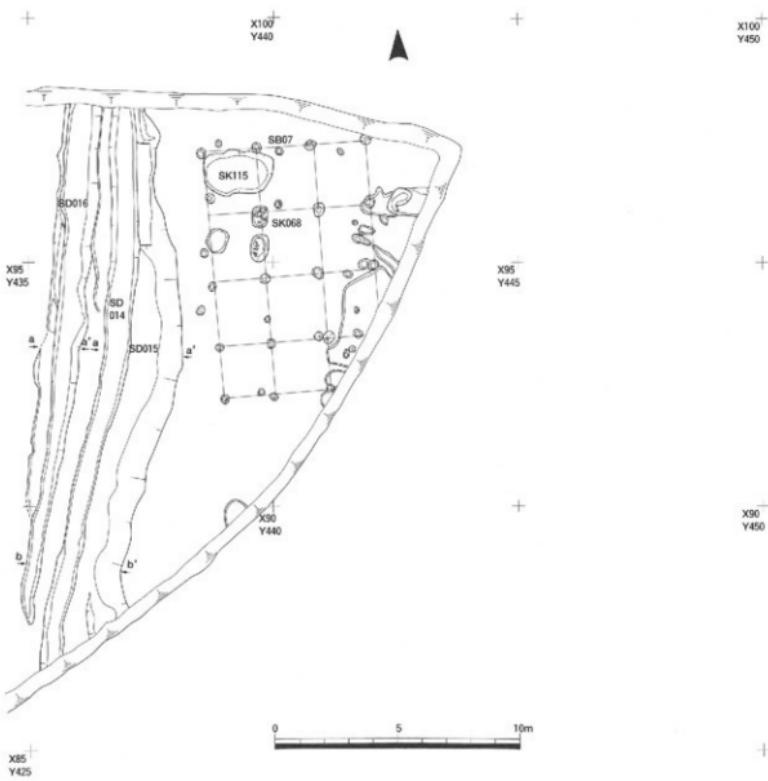




基本層序柱状図 2



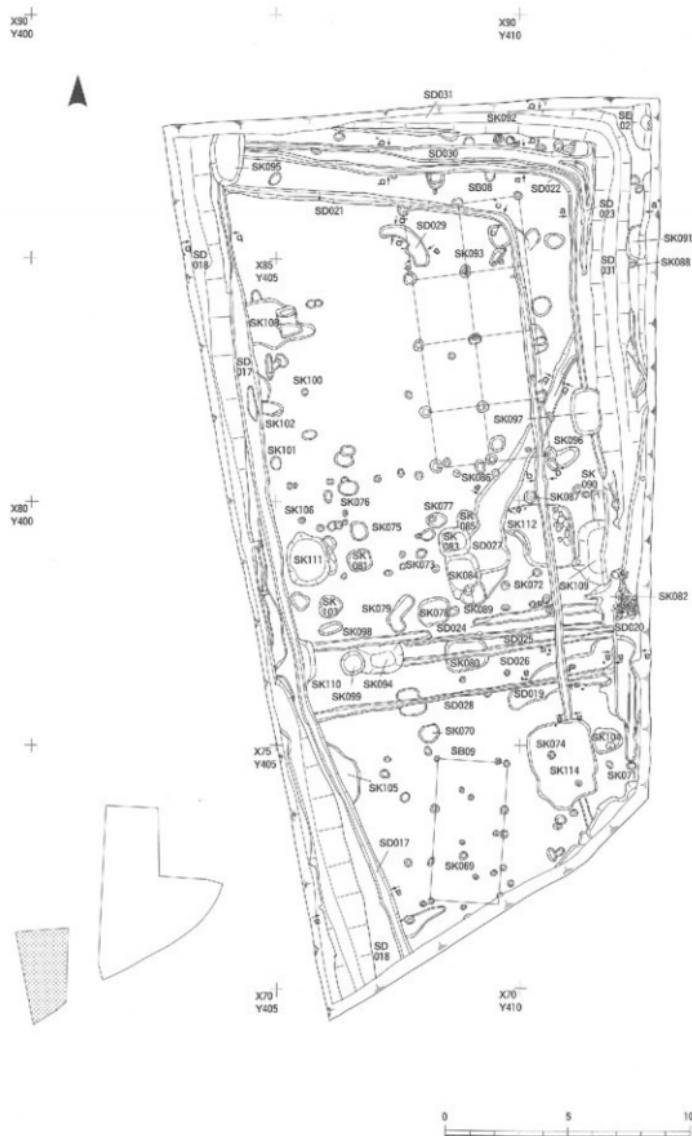
A1地区中世面遺構全体図（1）



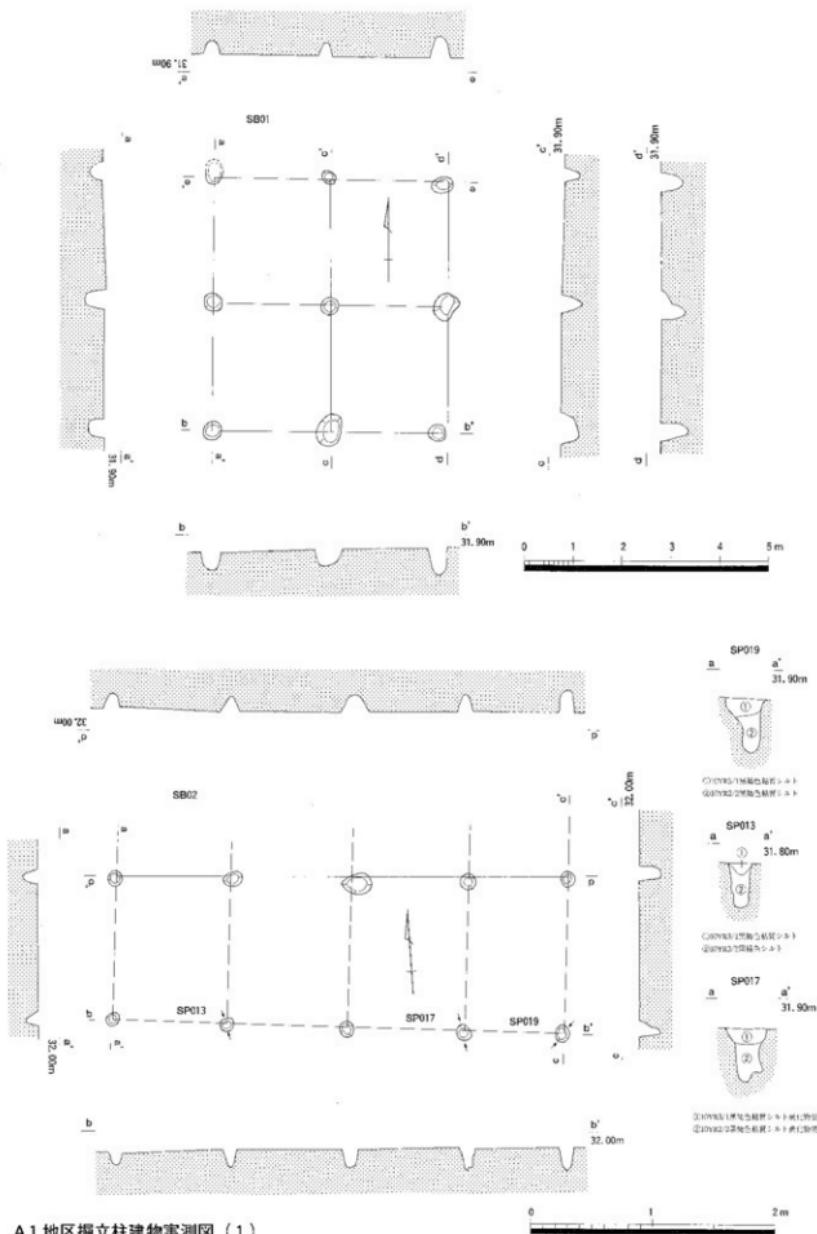
A1地区中世面遺構全体図（2）



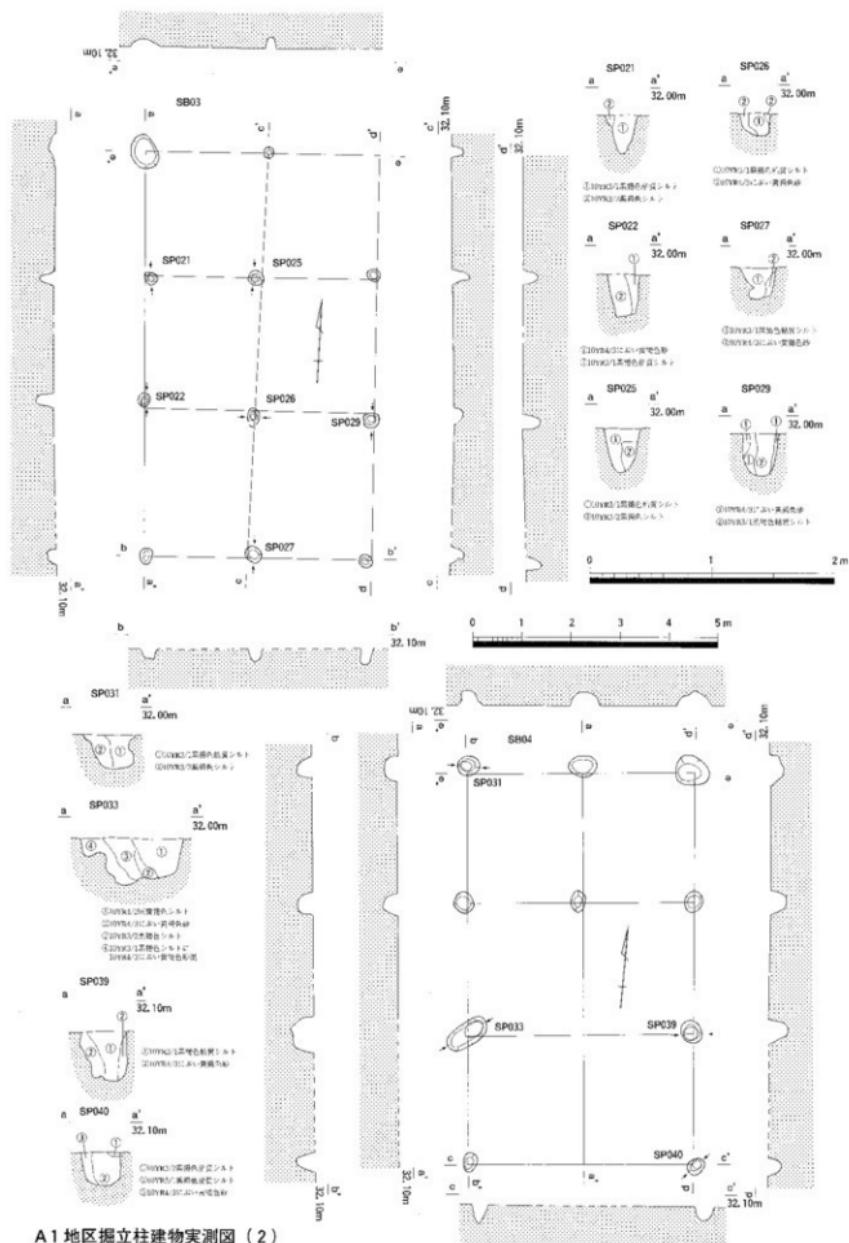
A1地区中世面遺構全体図（3）



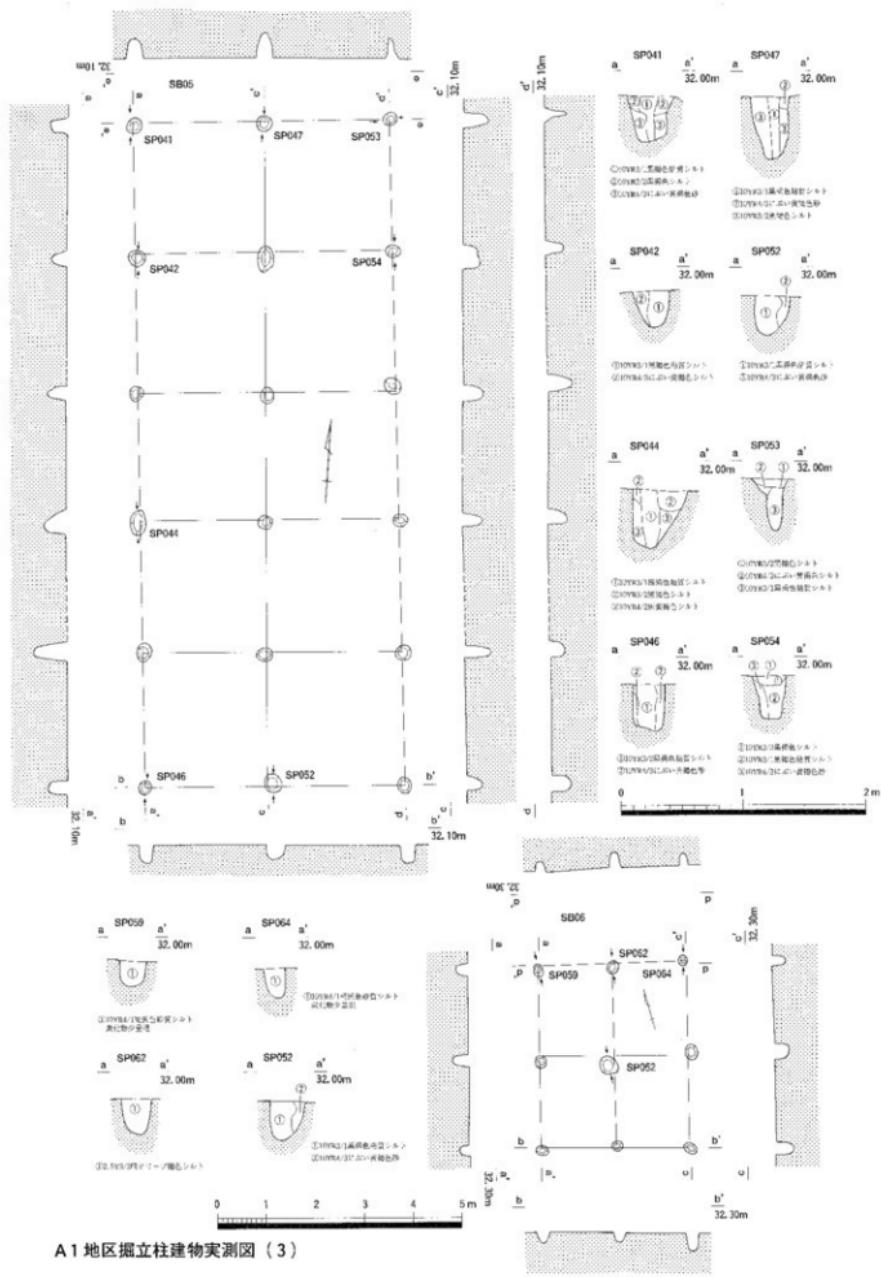
A 4 地区中世面遺構全体図



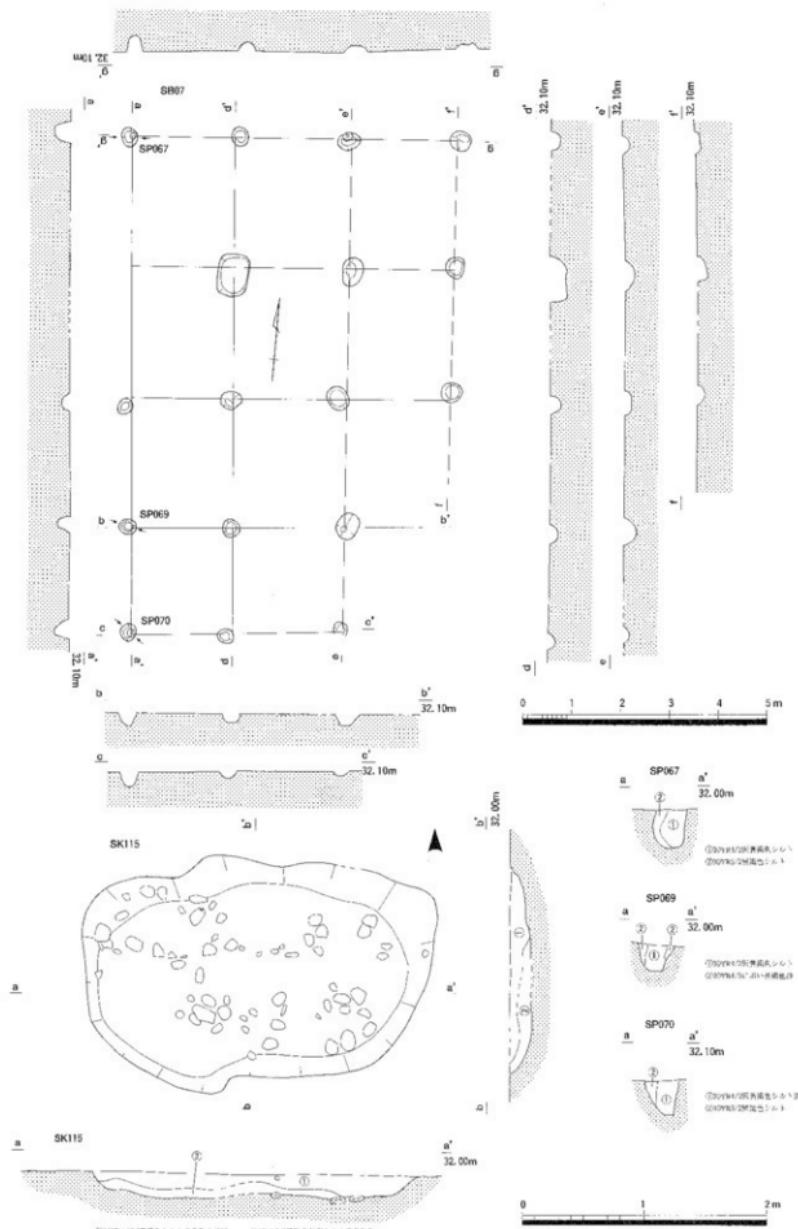
A1地区掘立柱建物実測図(1)



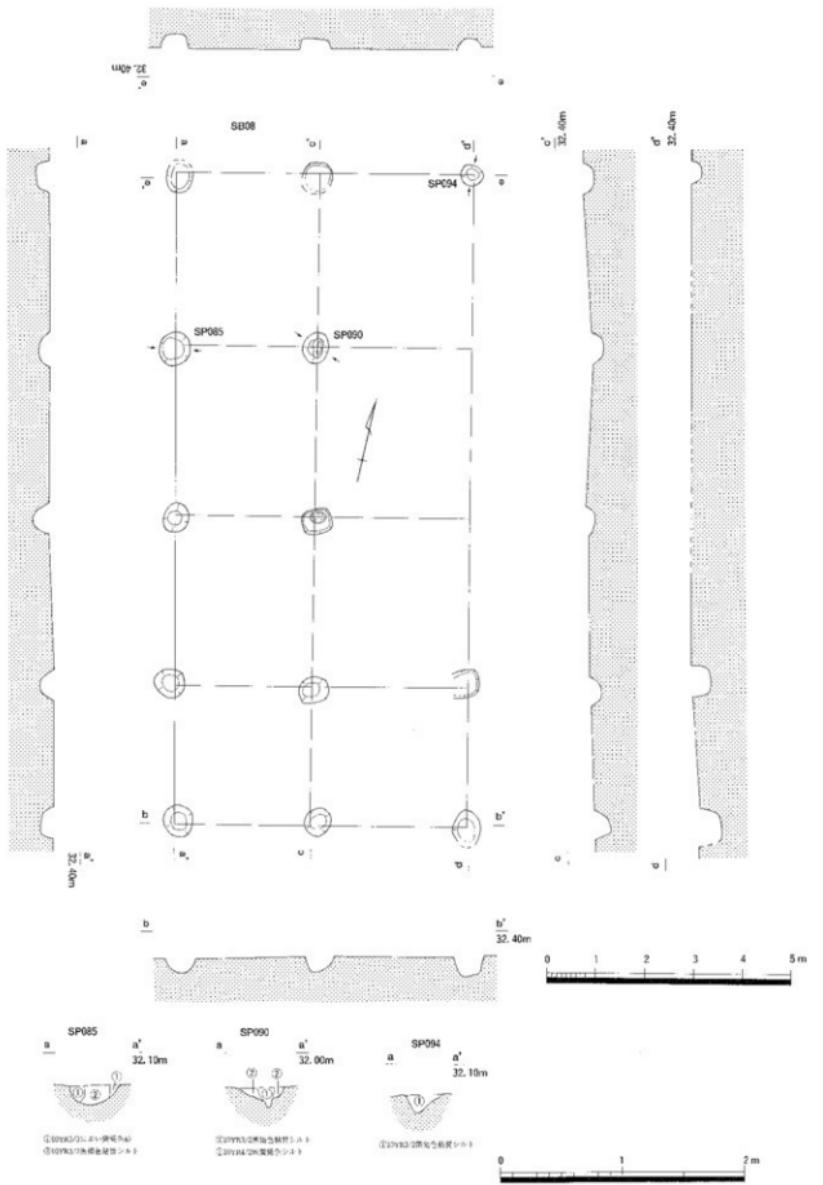
A1地区掘立柱建物実測図（2）



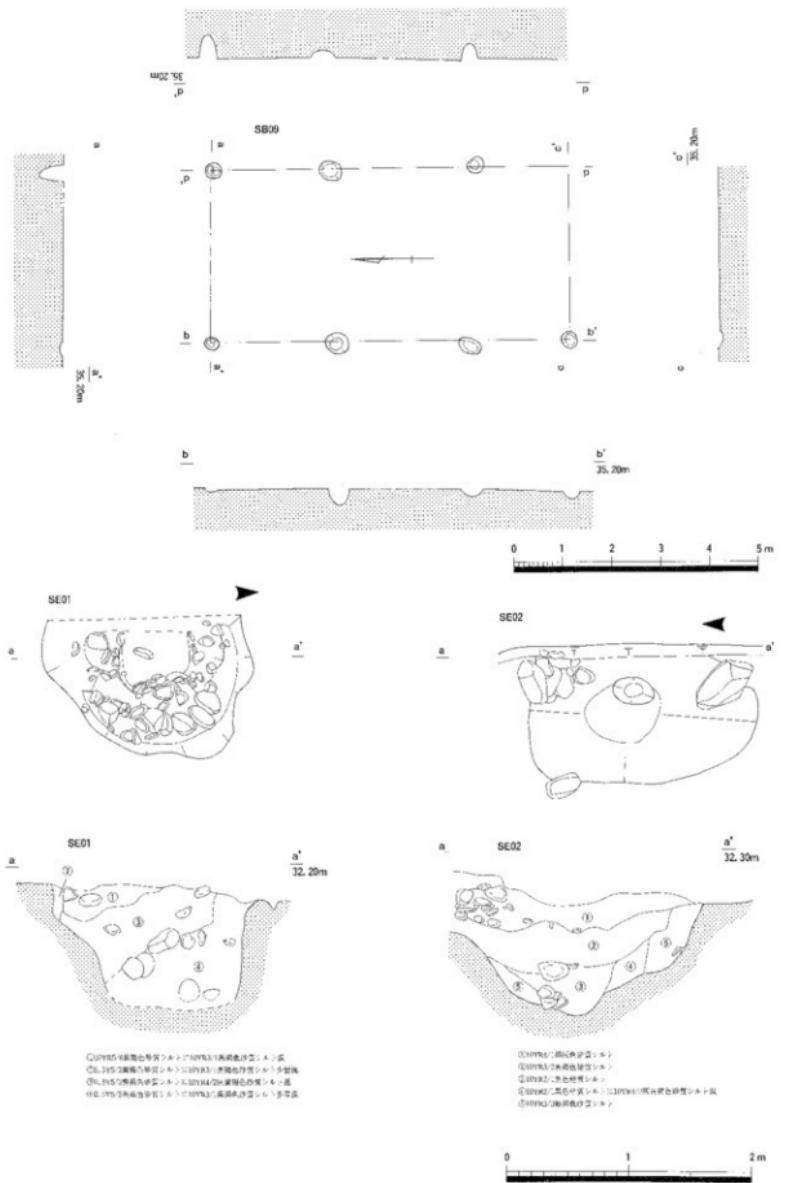
A1地区掘立柱建物実測図（3）



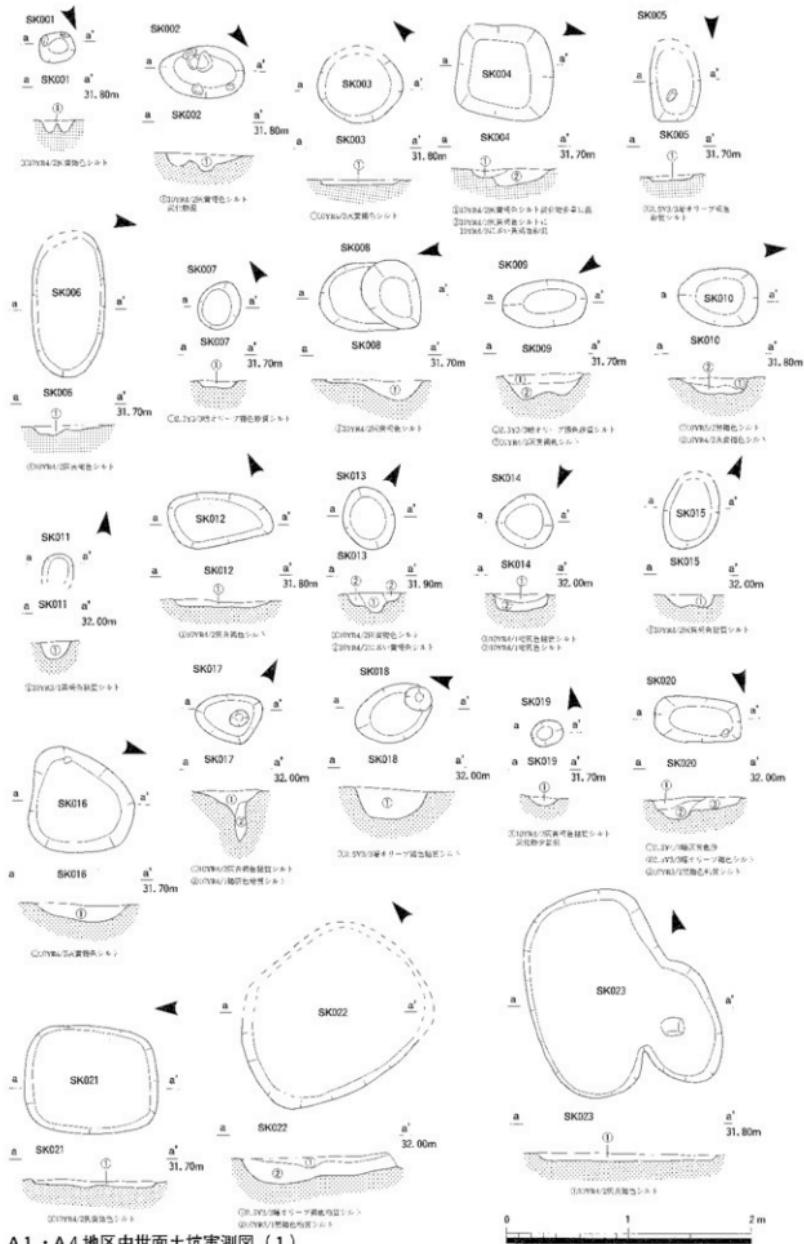
A1地区掘立柱建物実測図（4） A1地区中世面土坑実測図



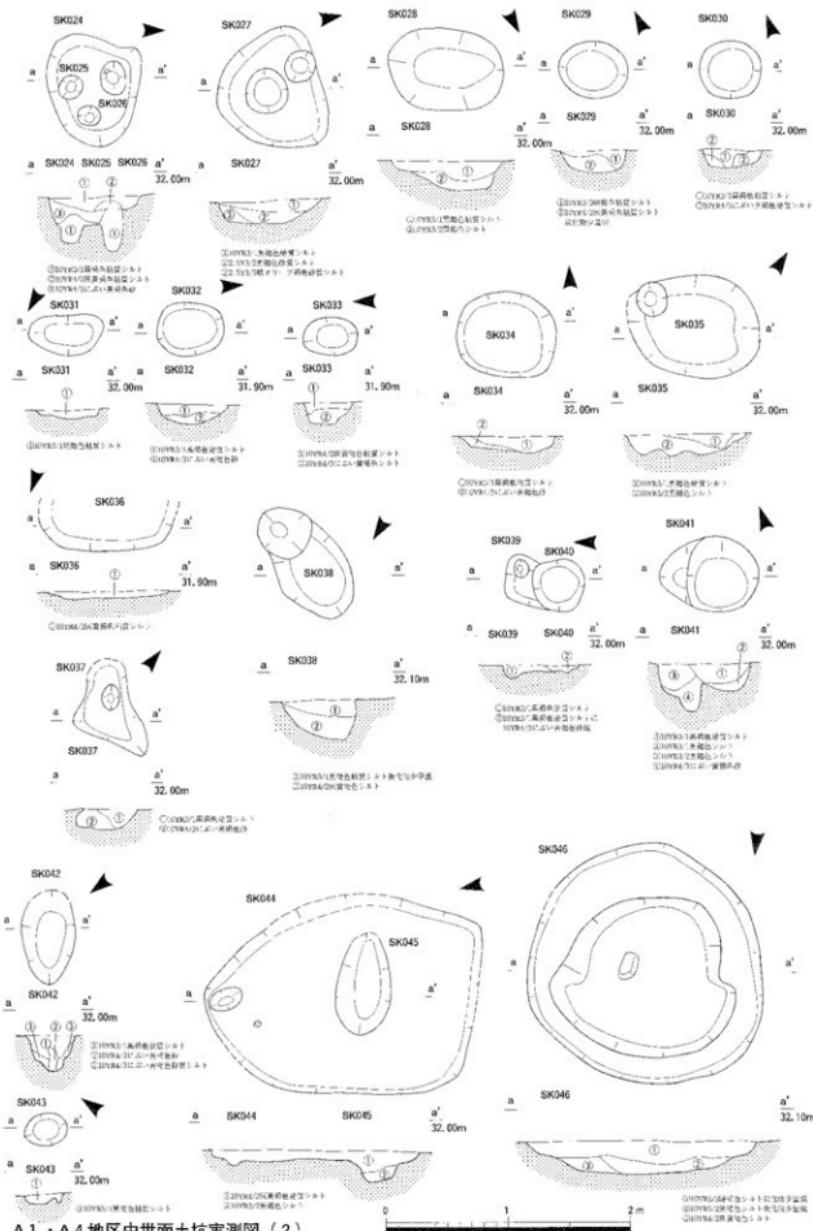
A1地区掘立柱建物実測図（5）



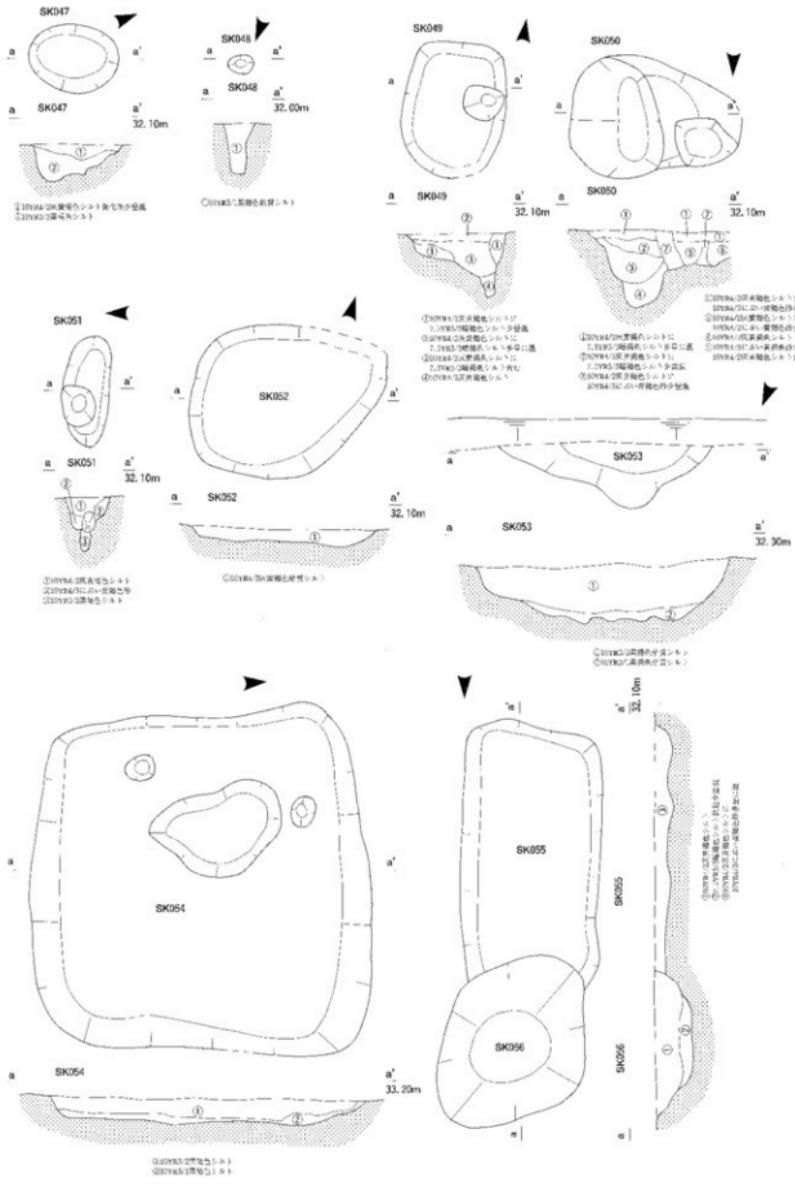
A4地区掘立柱建物実測図 A1・A4地区井戸実測図



A1・A4 地区中世面土坑実測図 (1)

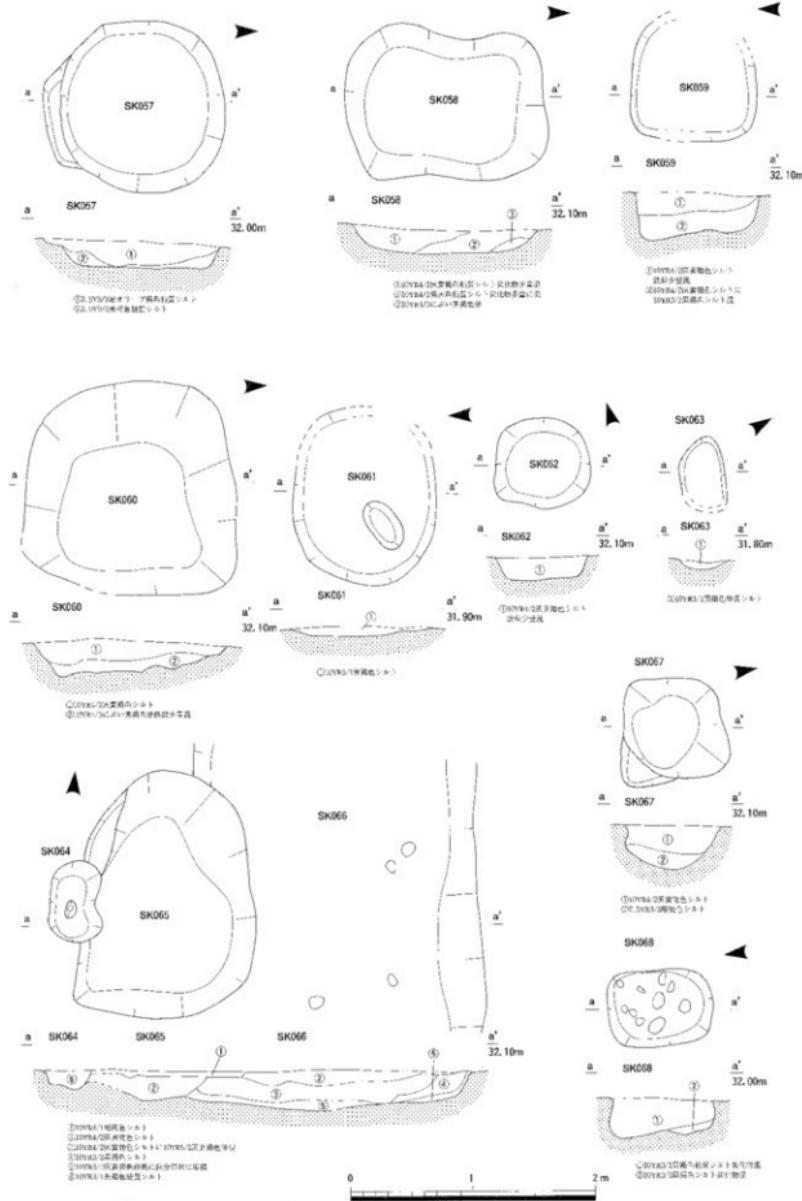


A1・A4 地区中世土坑実測図（2）

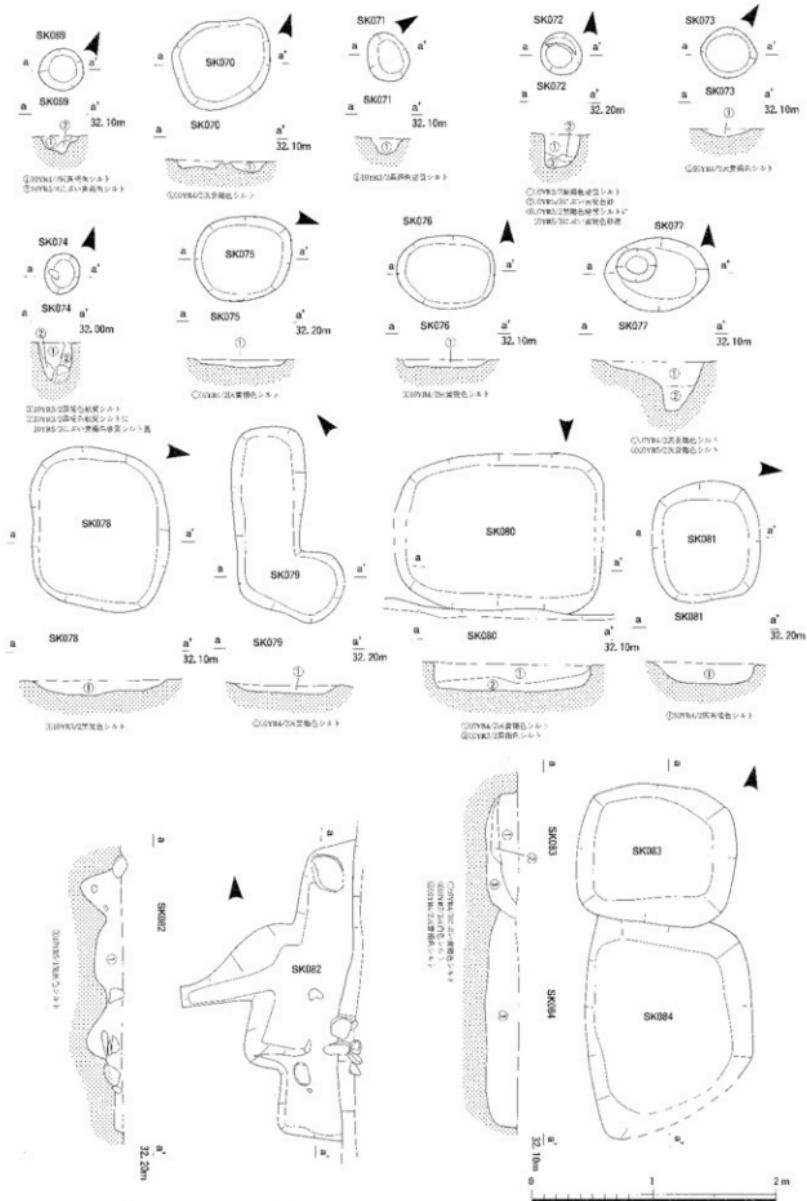


A1・A4 地区中世土坑実測図 (3)

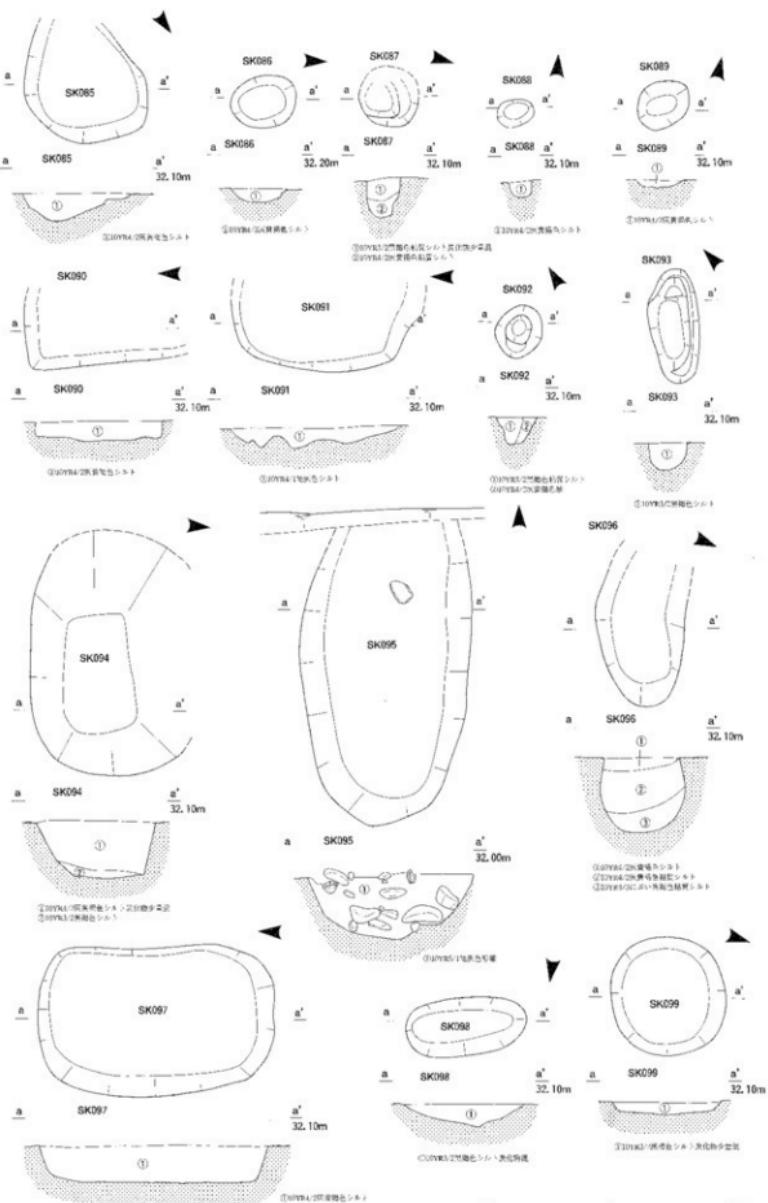




A1・A4 地区中世地面坑実測図（4）

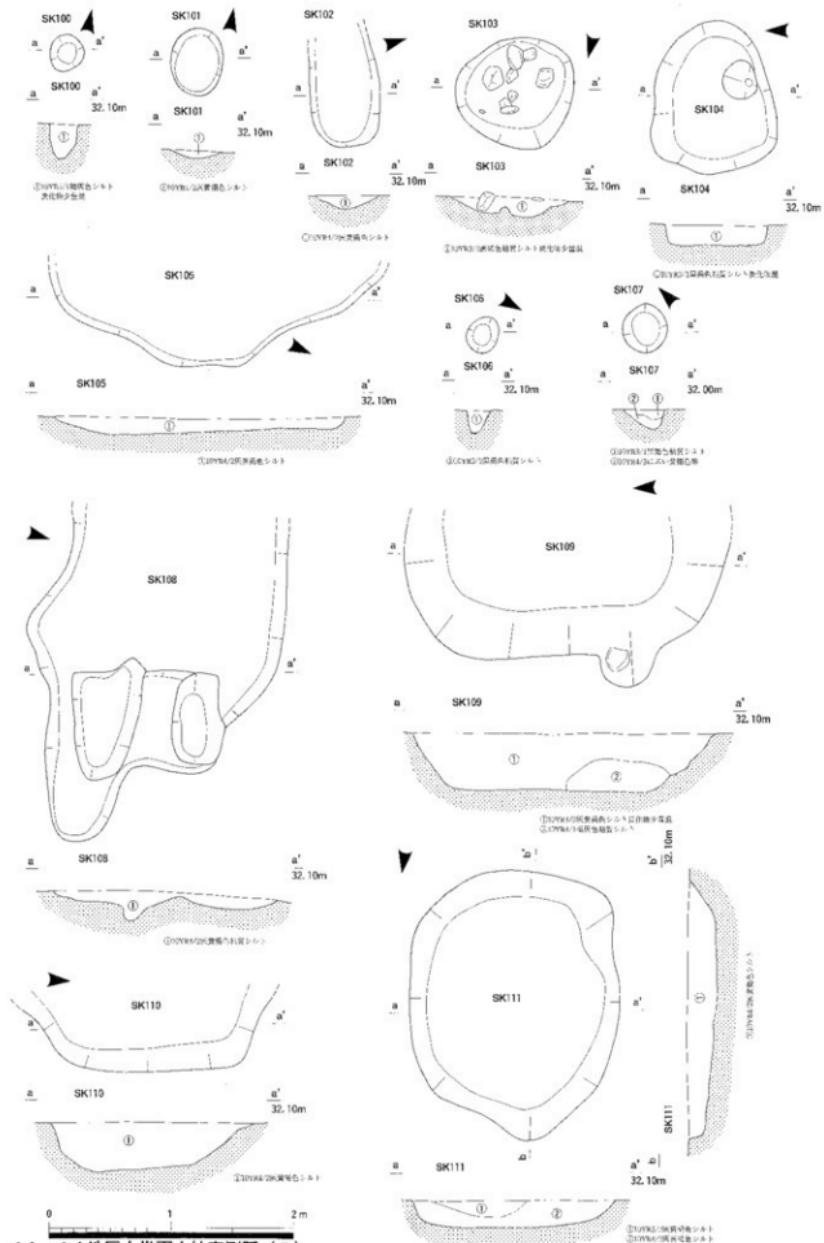


A1・A4地区中世面土坑実測図（5）

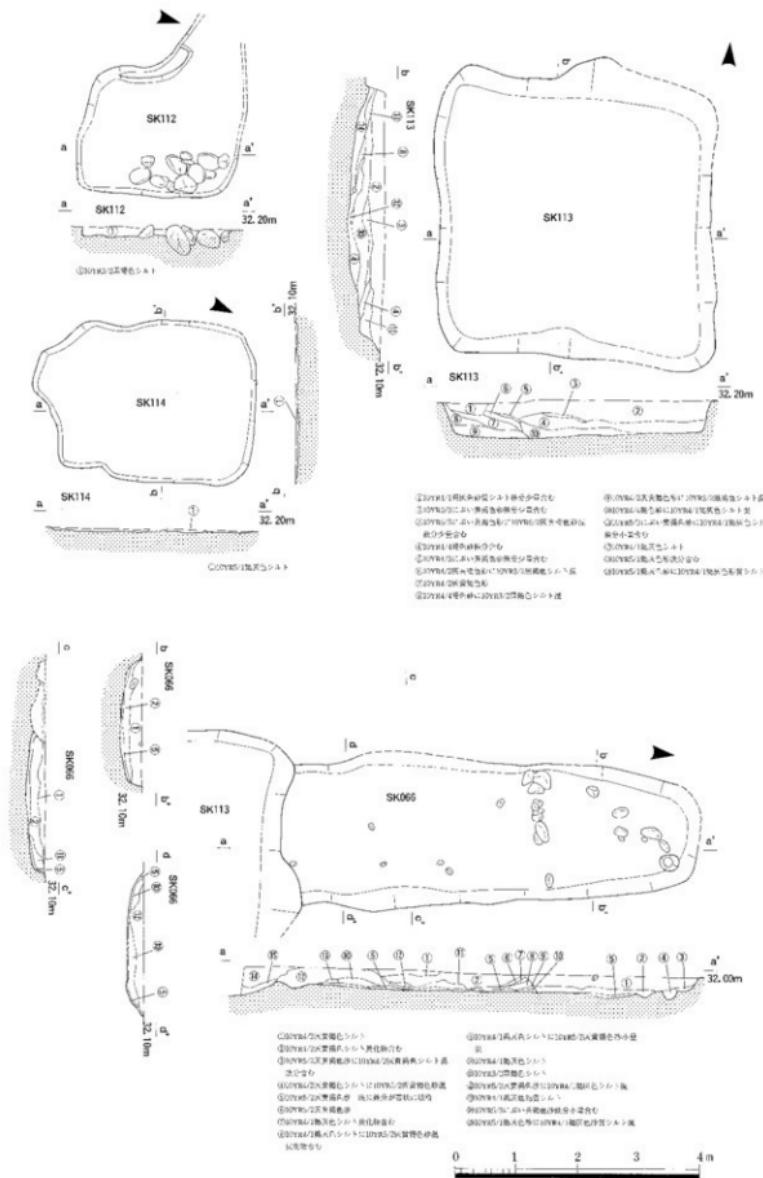


A1・A4地区中世面土坑実測図(6)

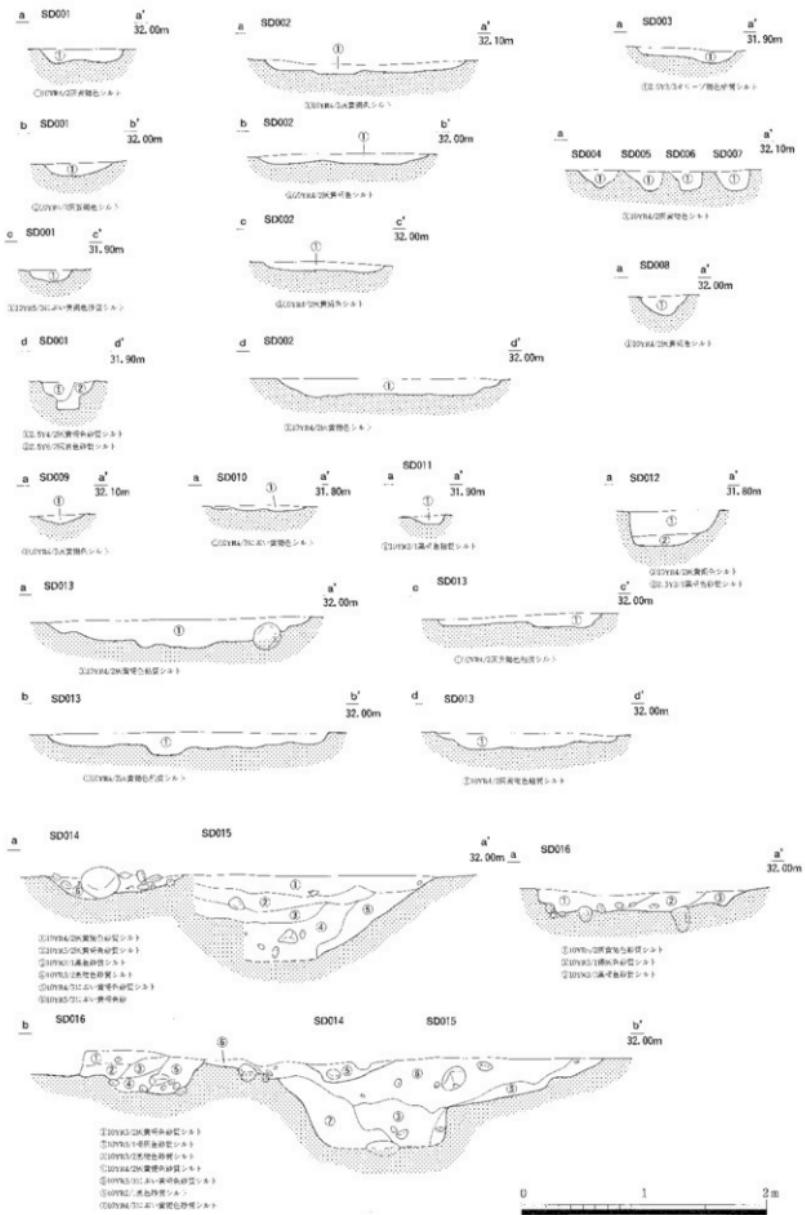
図面020



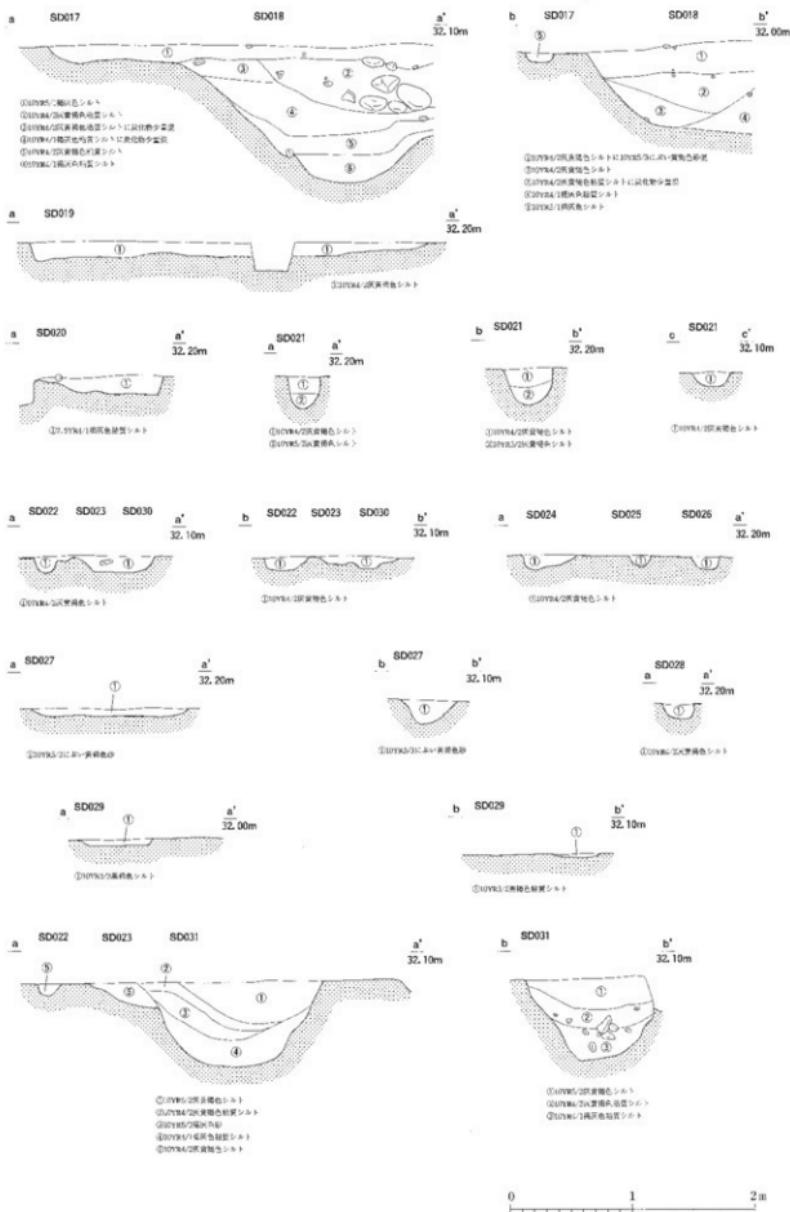
A1・A4地区中世面土坑実測図(7)



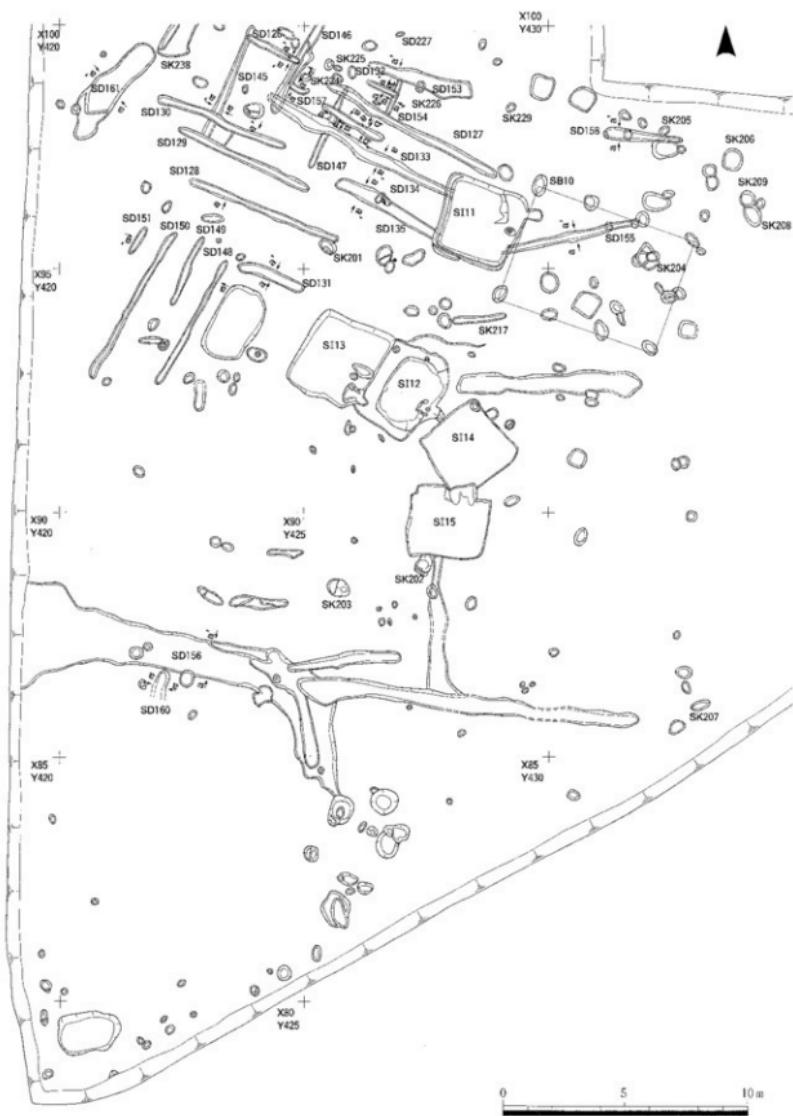
A1・A4 地区中世面土坑実測図 (8)



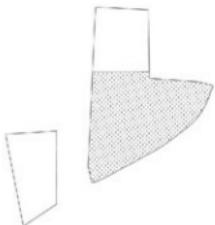
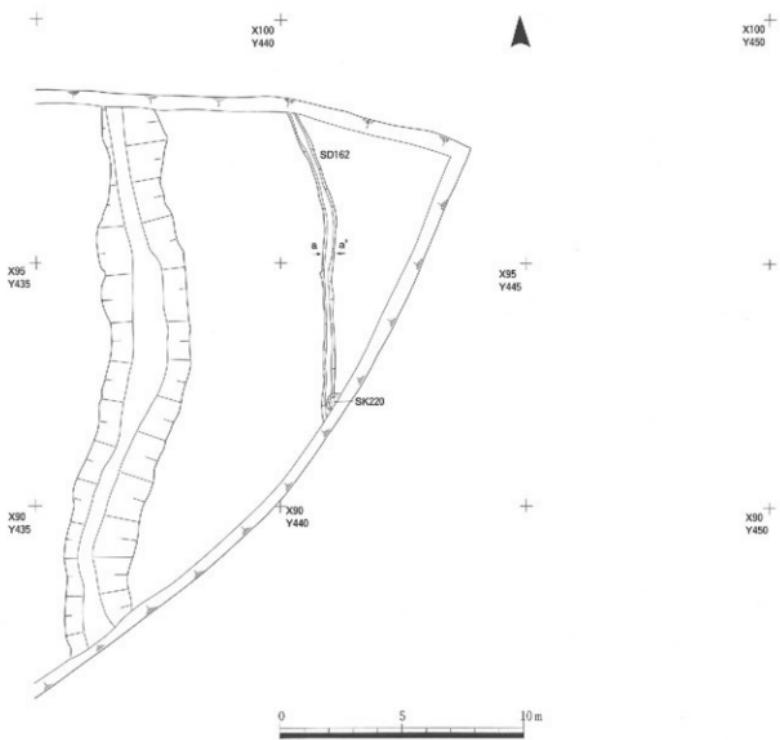
A1・A4 地区中面満実測図 (1)



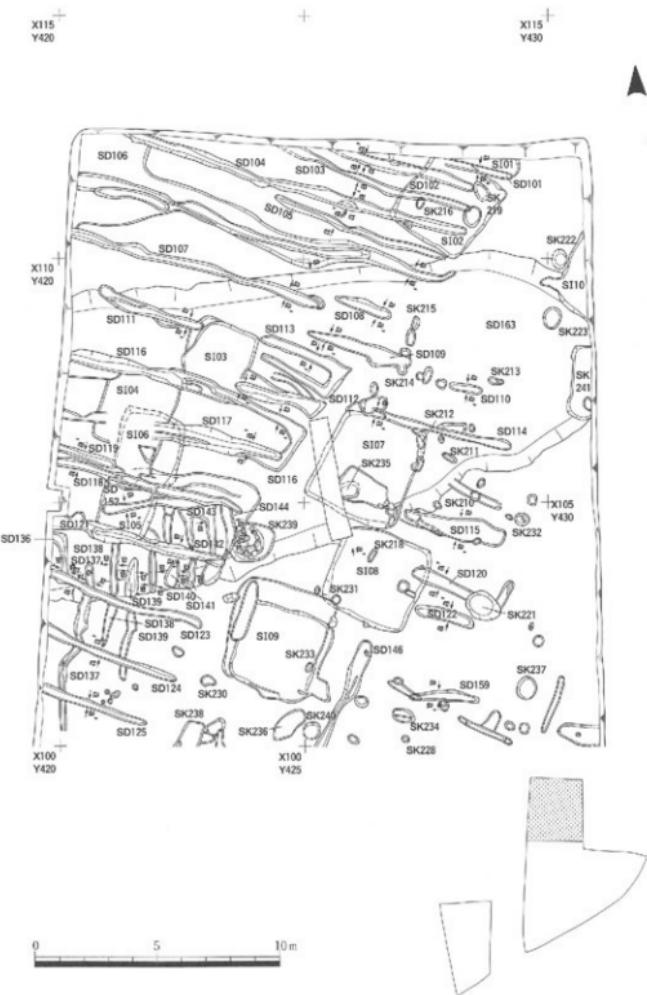
A1・A4 地区中世面溝実測図（2）



A1 地区古代面遺構全体図（1）



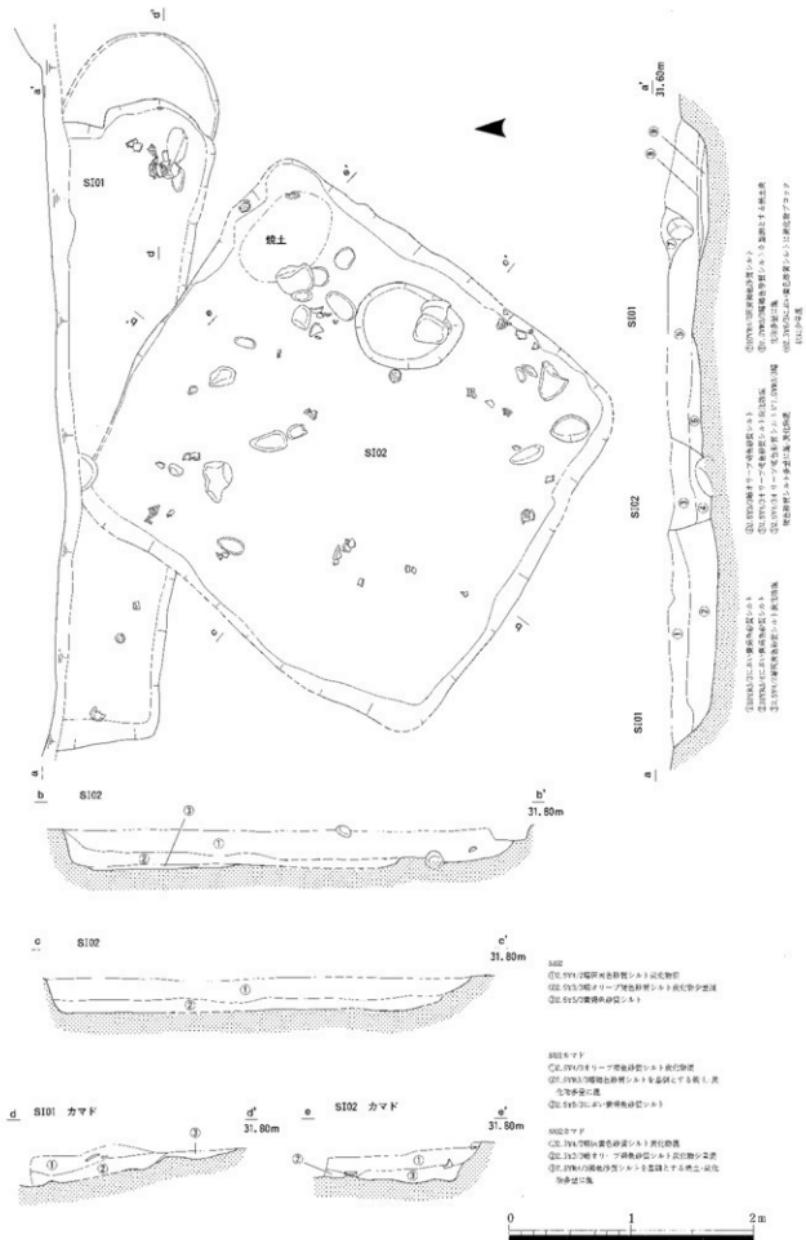
A1 地区古代面遺構全体図（2）



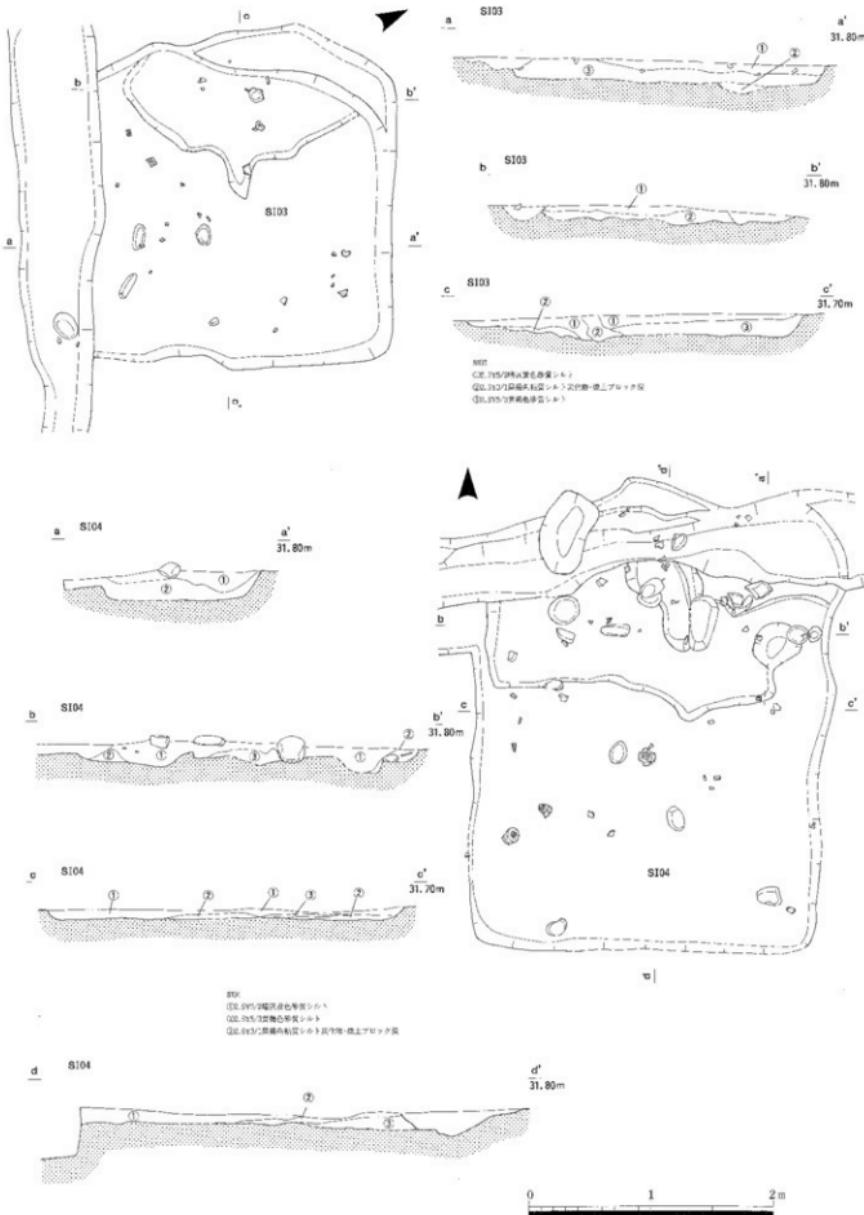
A1地区古代面遺構全体図（3）



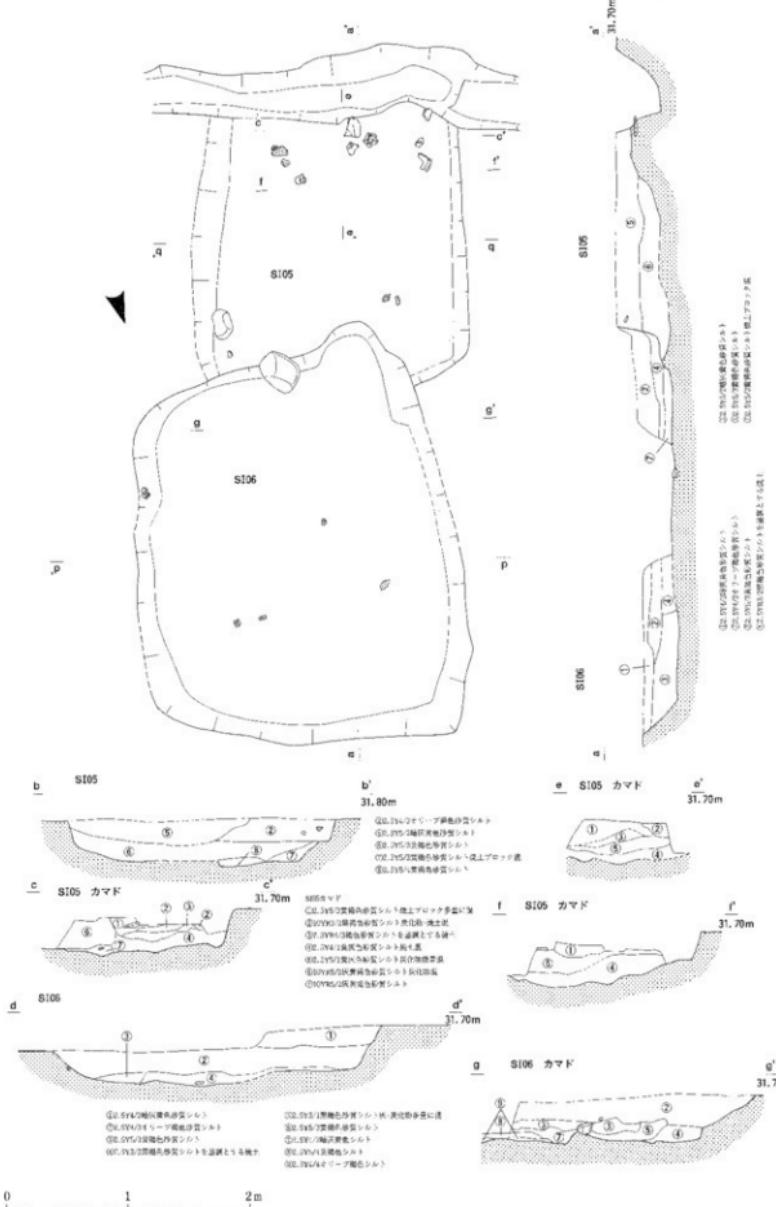
A4地区古代面遺構全体図



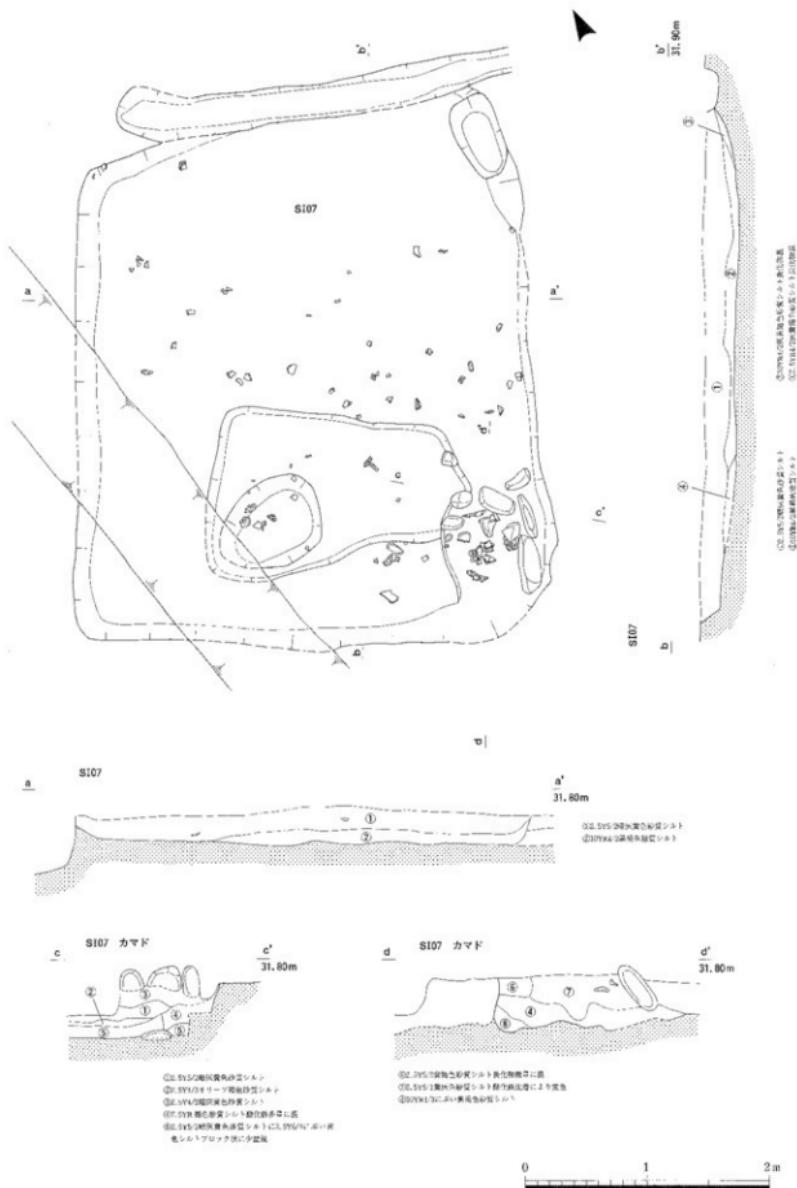
A1 地区竪穴住居実測図 (1)



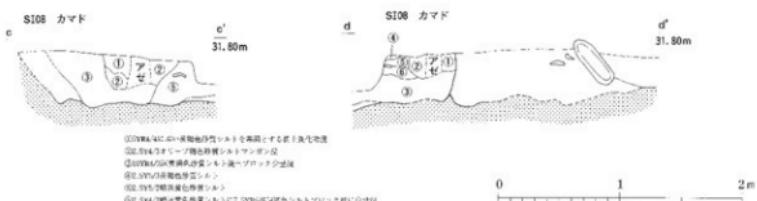
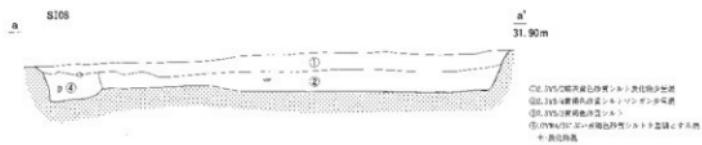
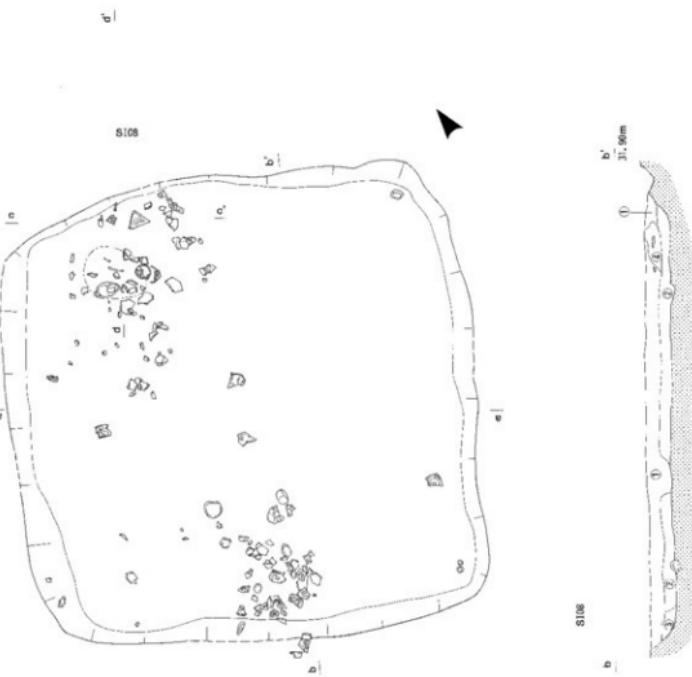
A1 地区堅穴住居実測図 (2)



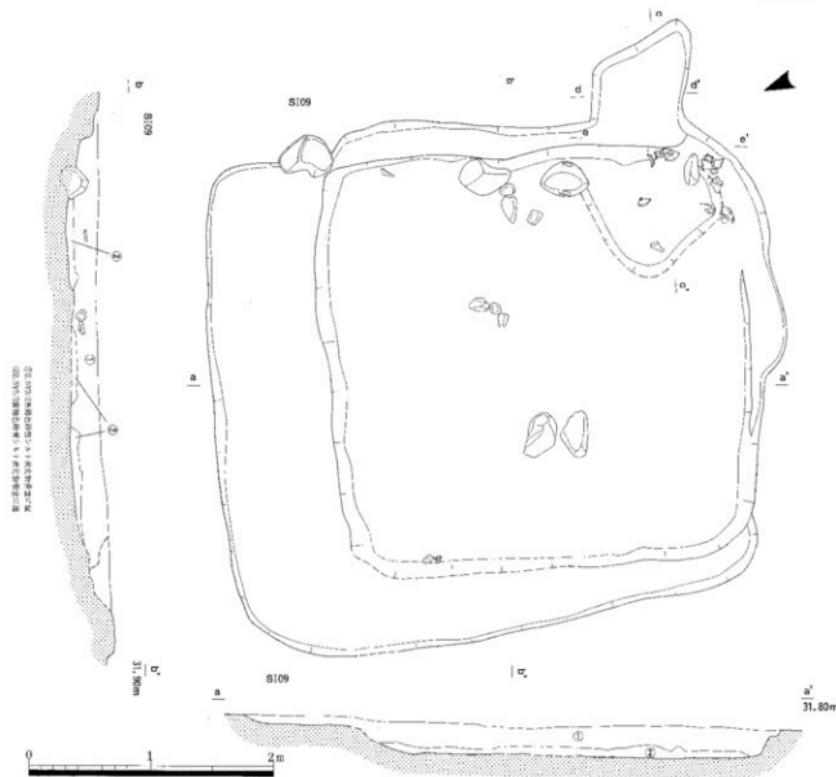
A1地区竪穴住居実測図（3）



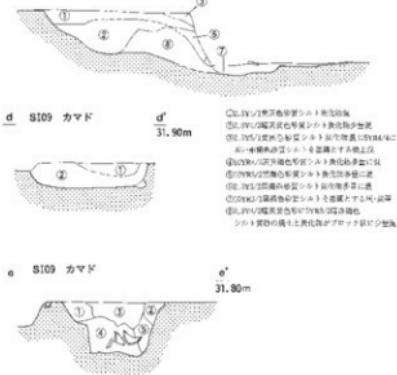
A1 地区竪穴住居実測図 (4)



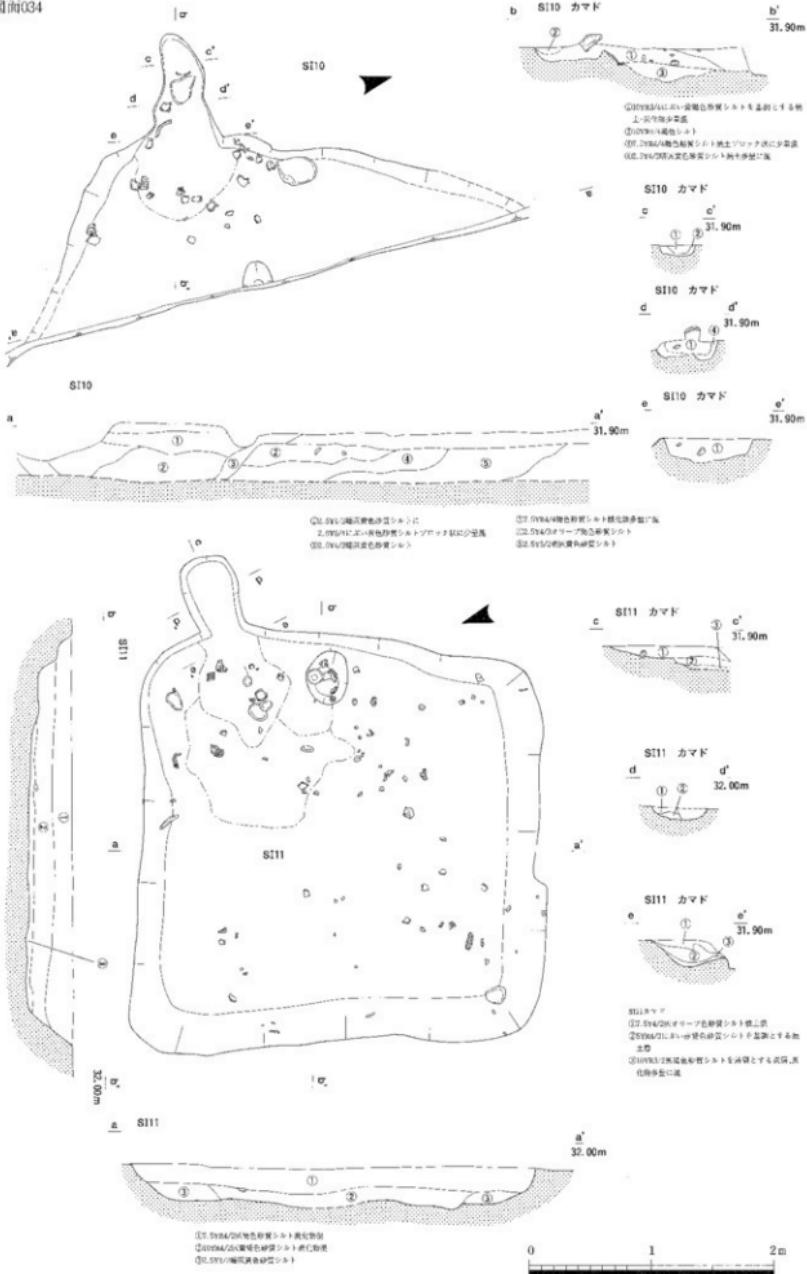
A1 地区竪穴住居実測図（5）



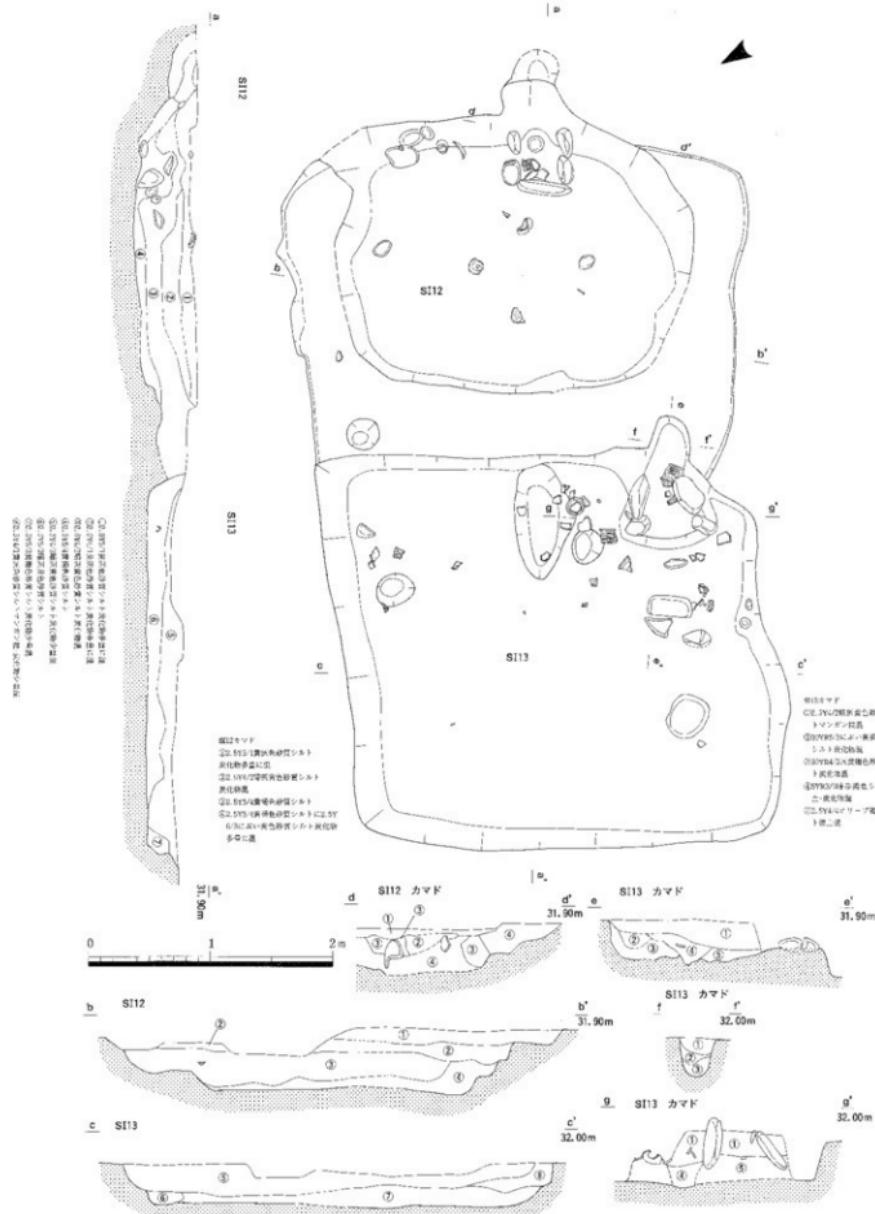
c SI09 カマド c' 31.90m



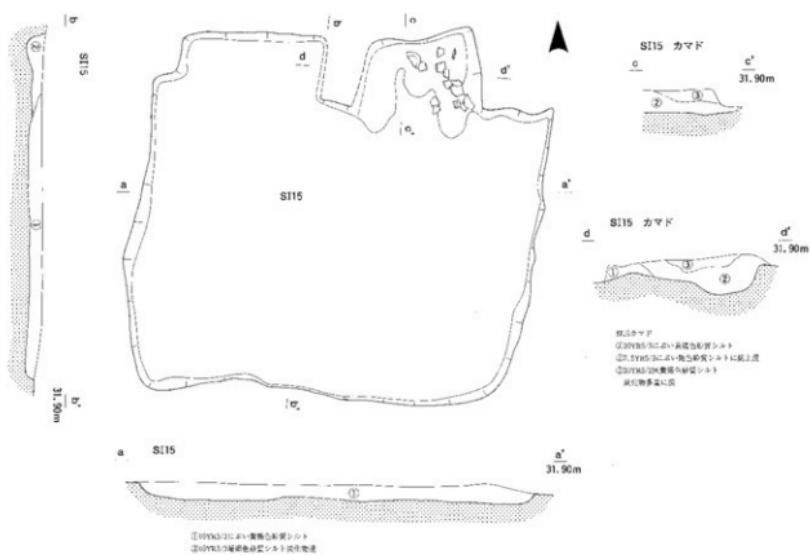
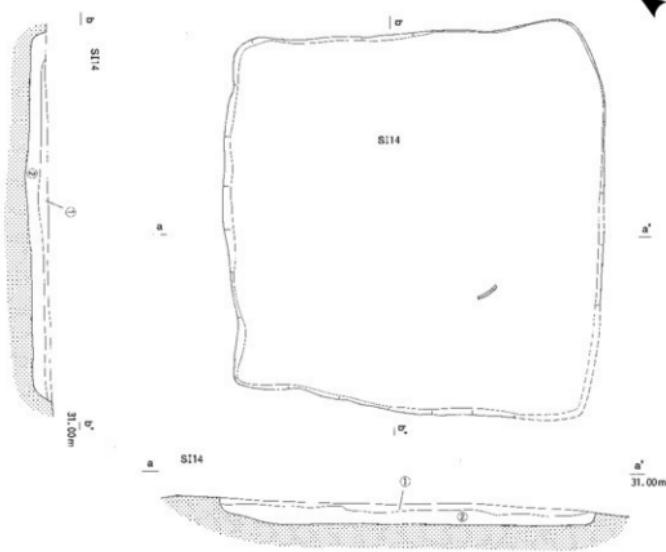
A1地区堅穴住居実測図 (6)



A1 地区竖穴住居実測図 (7)

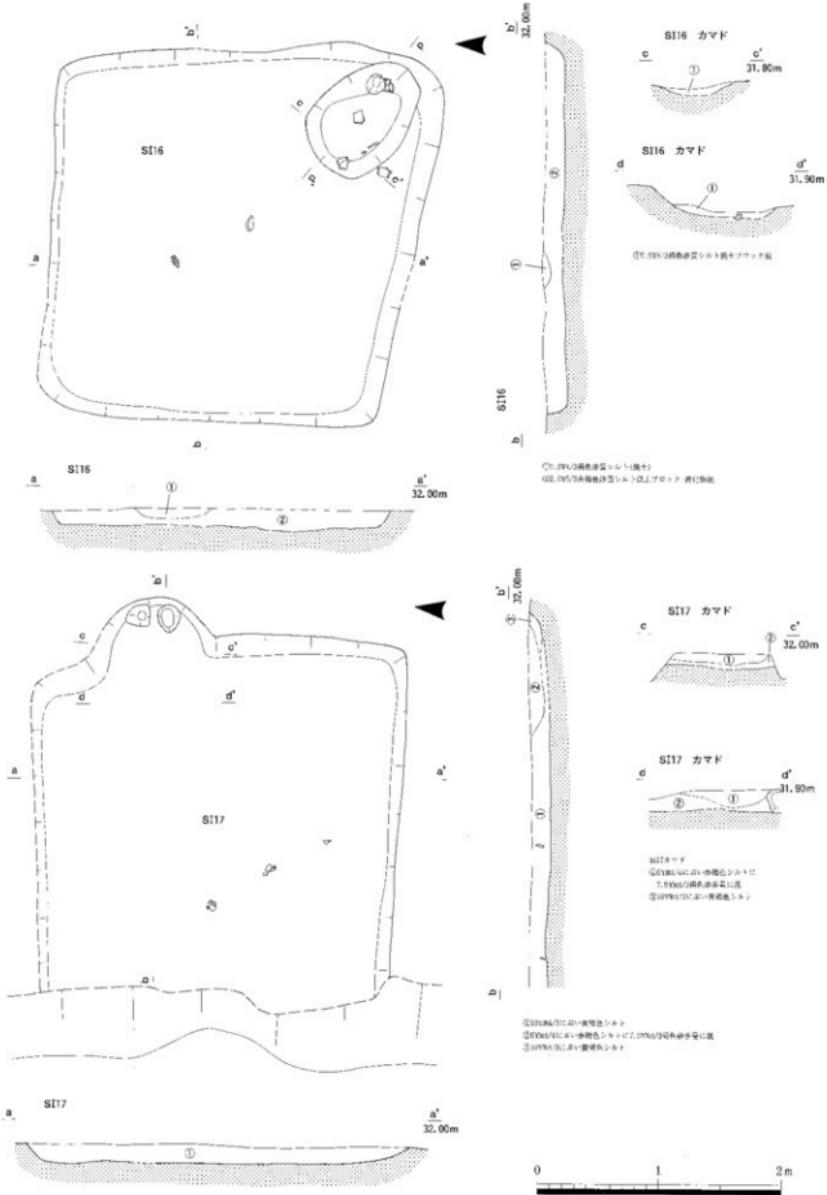


A1 地区堅穴住居実測図 (8)

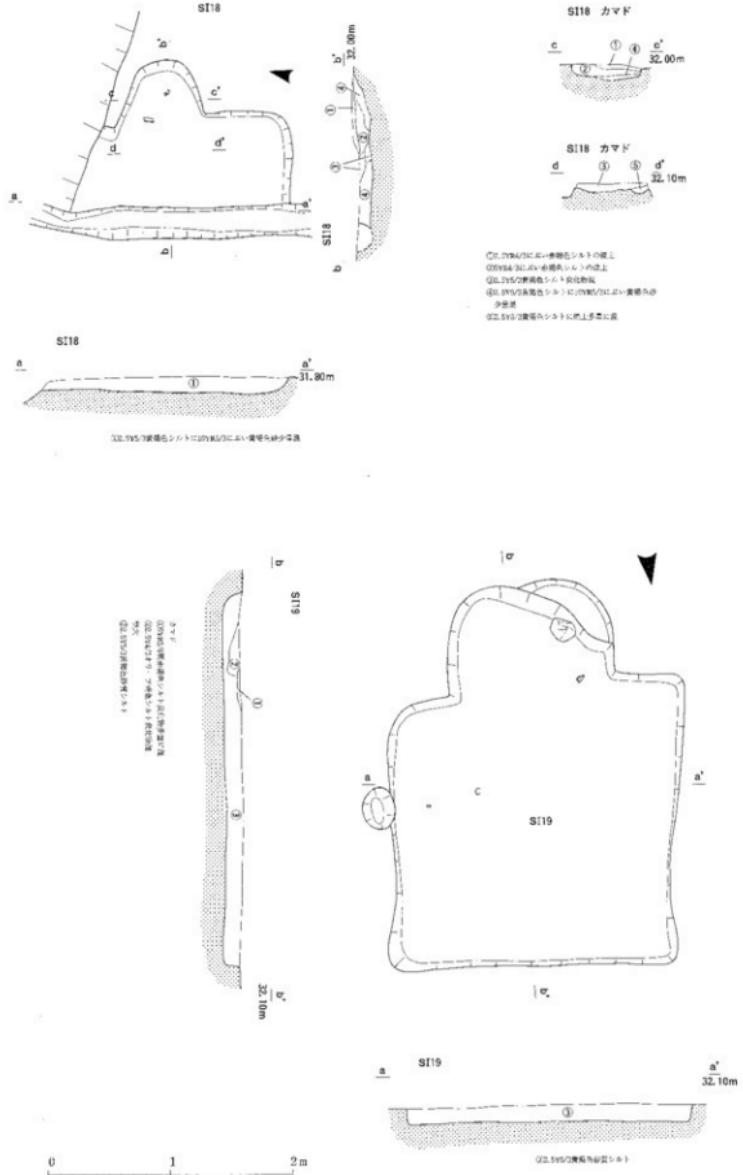


A1地区竪穴住居実測図（9）

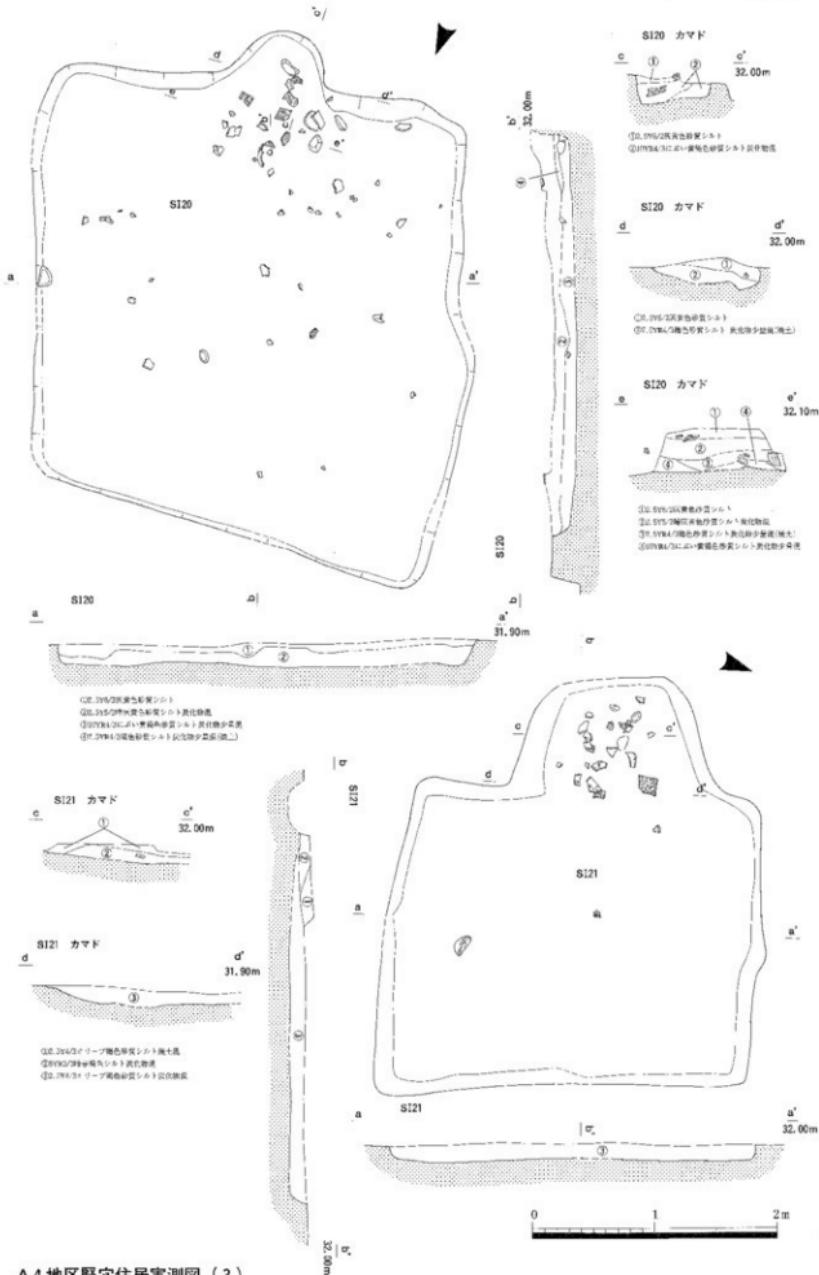


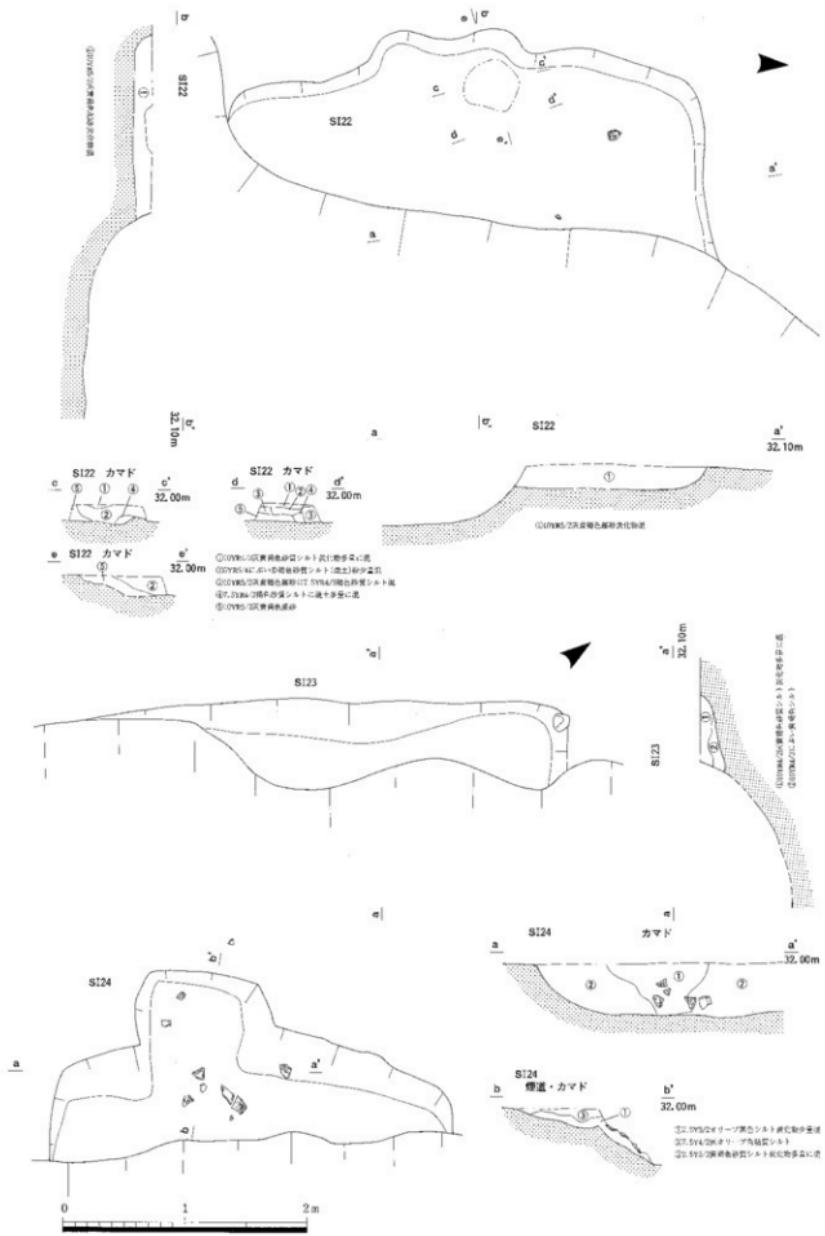


A4 地区竪穴住居実測図 (1)

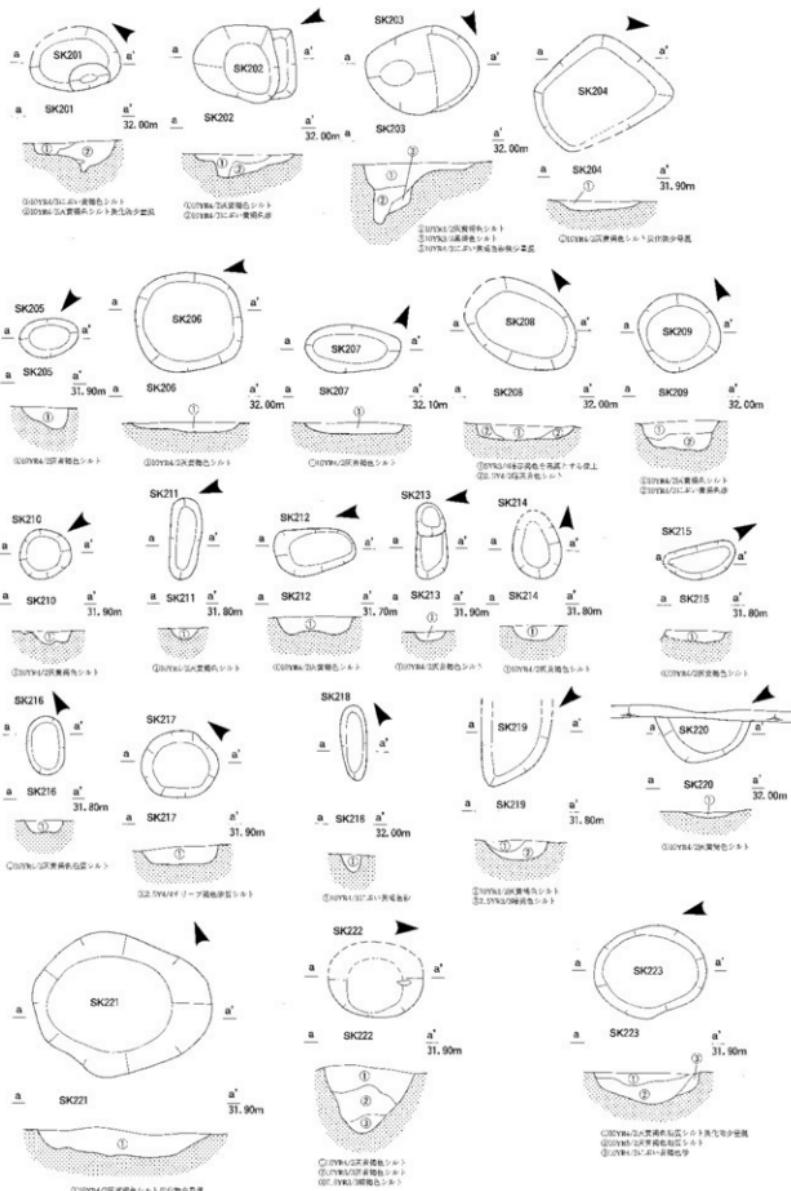


A4 地区堅穴住居実測図 (2)



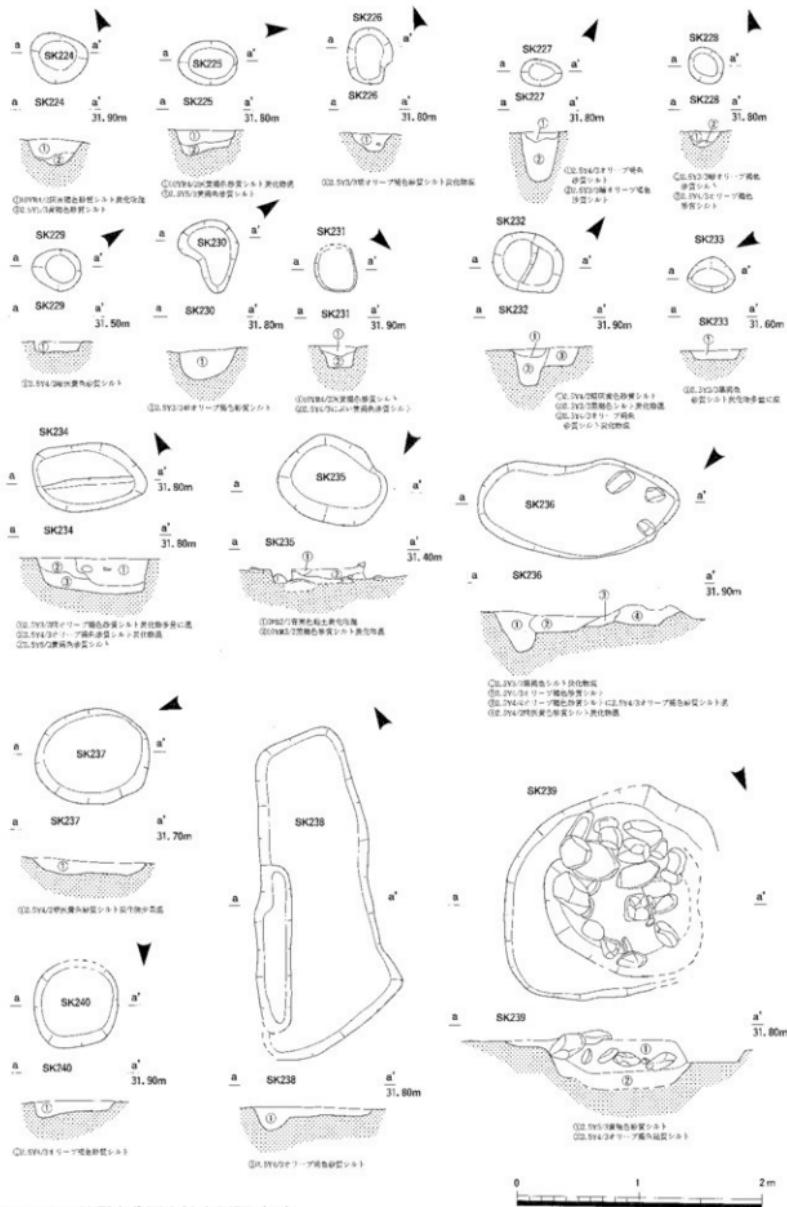


A4 地区竖穴住居実測図 (4)

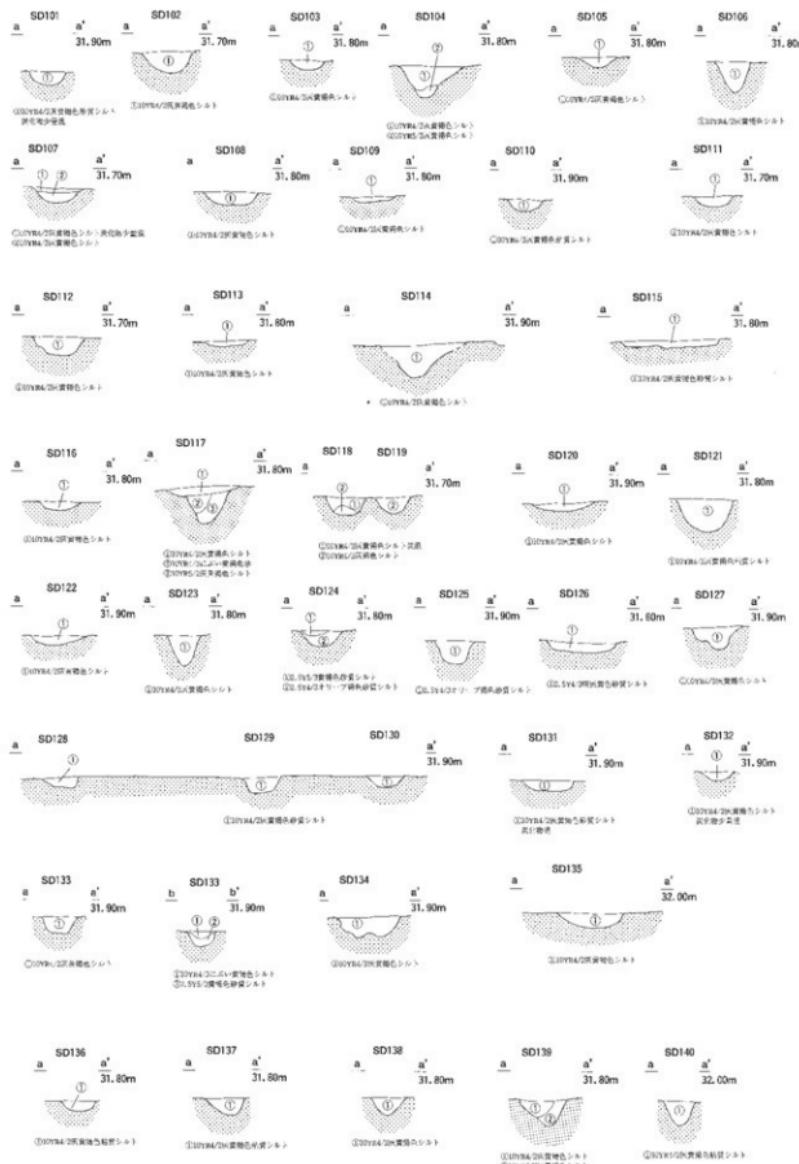


A1・A4 地区古代土器窯実測図（1）

0 1 2m

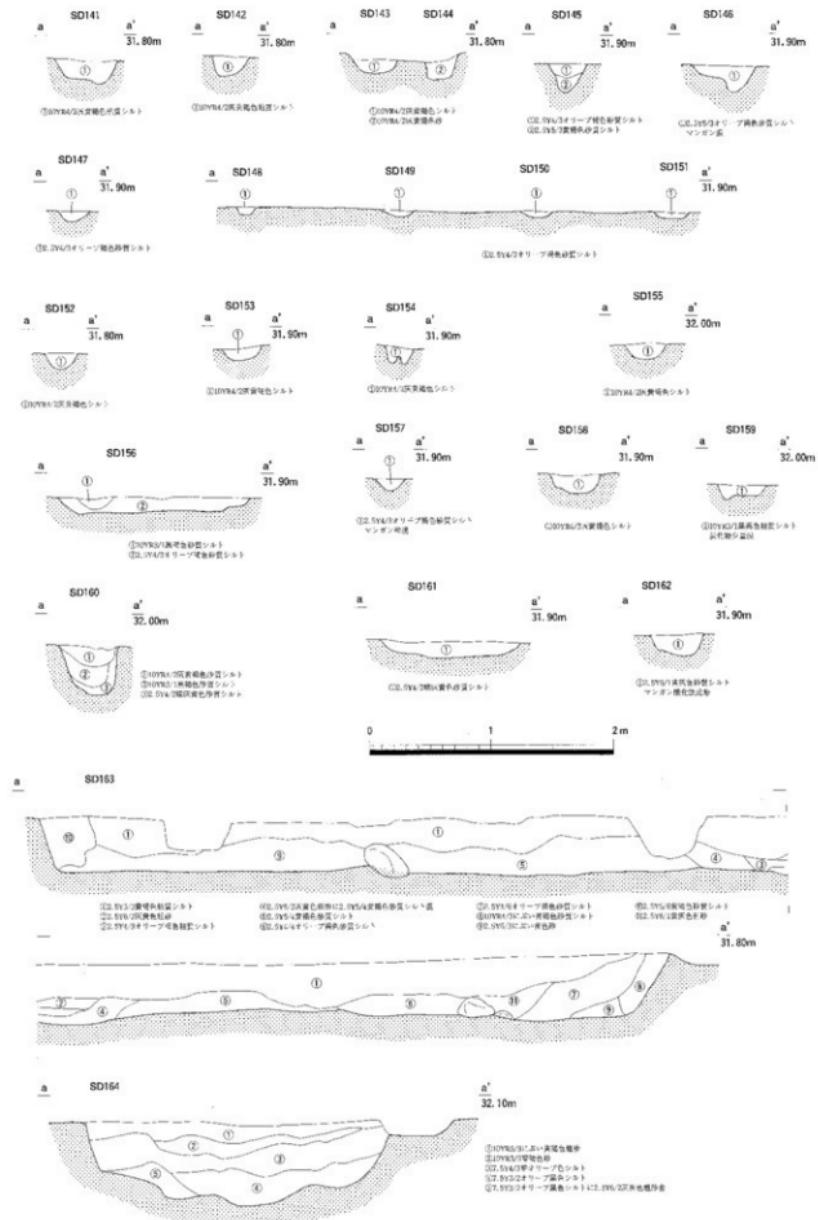


A1・A4 地区古代面土坑実測図 (2)

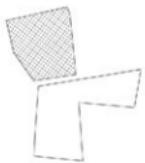
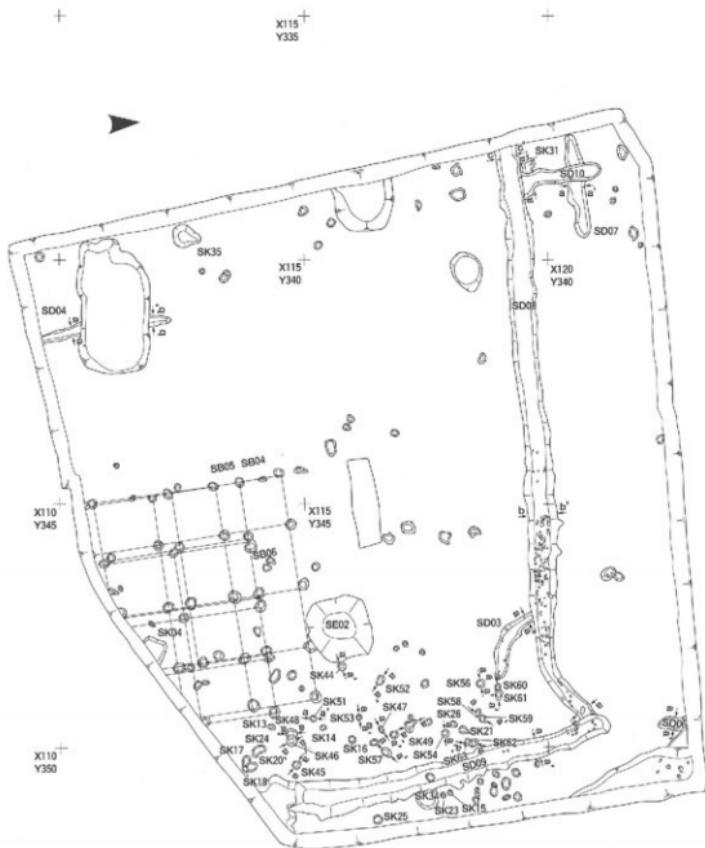


A1・A4地区古代面溝実測図（1）





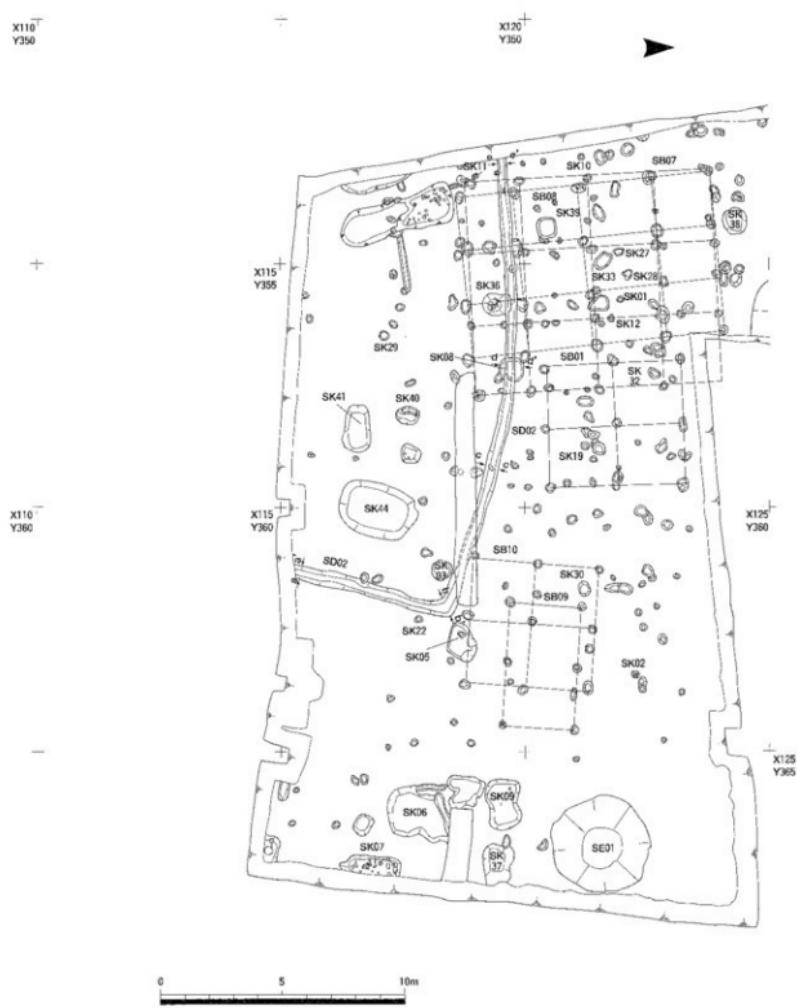
A1・A4 地区古代面溝実測図（2）



X115+
Y355

0 5 10m

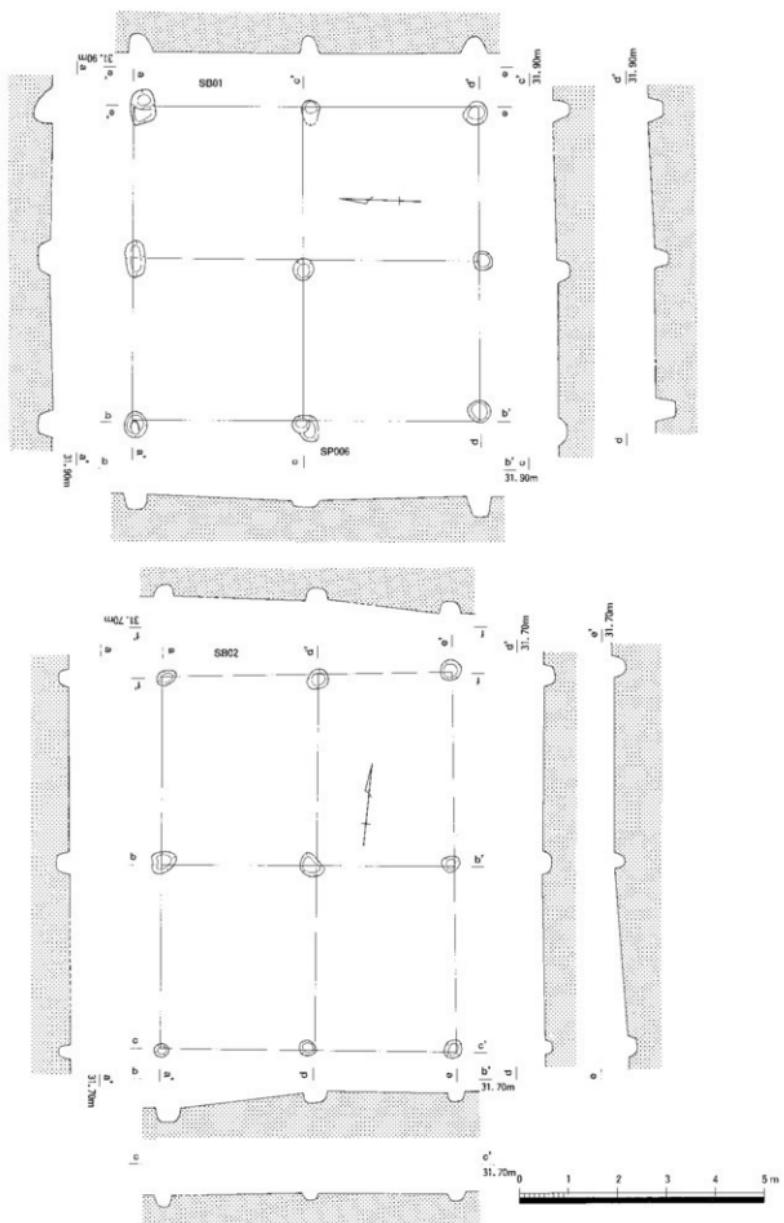
A3地区中・近世面遺構全体図（1）



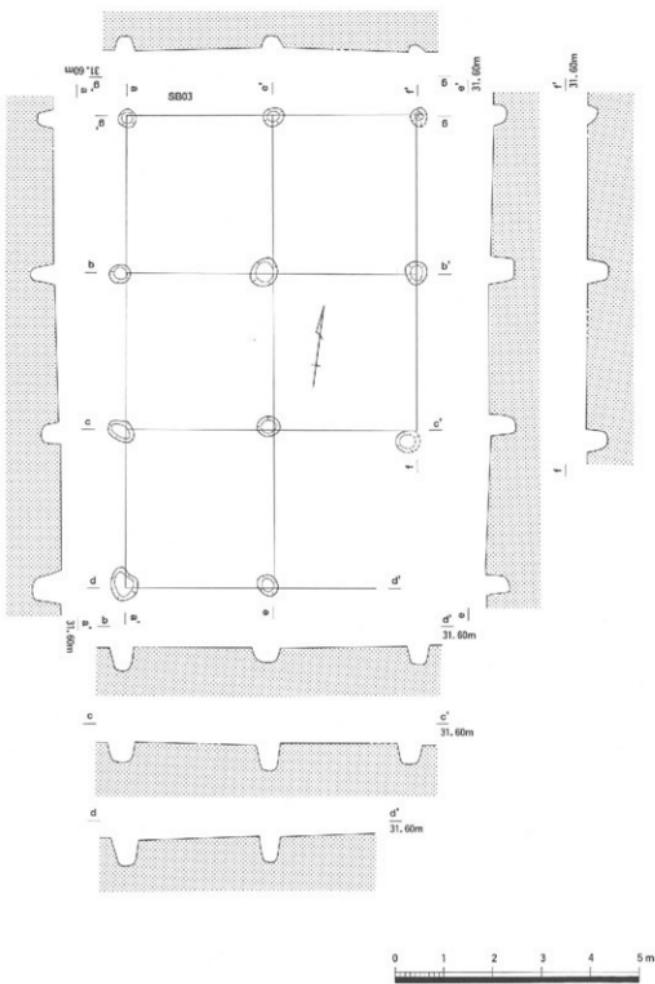
A3地区中・近世面遺構全体図（2）



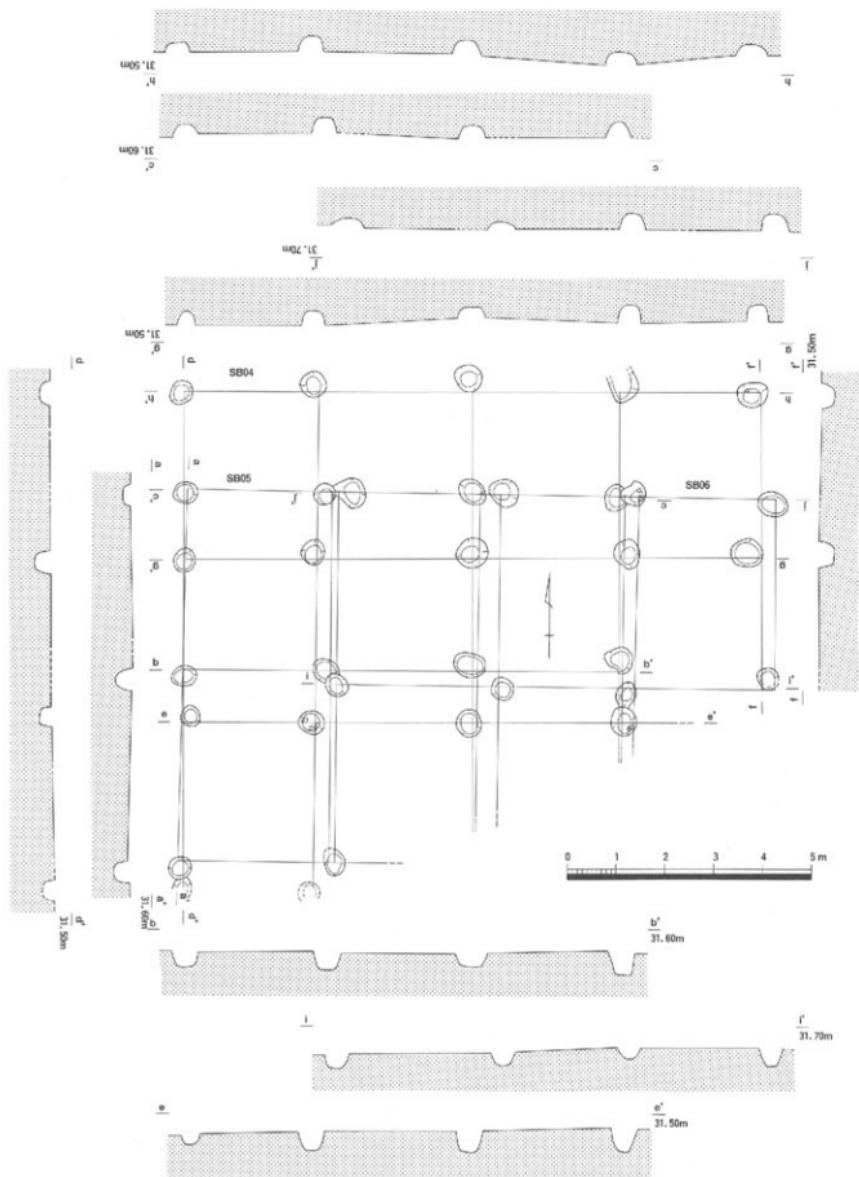
A3地区中世面遺構全体図（3）



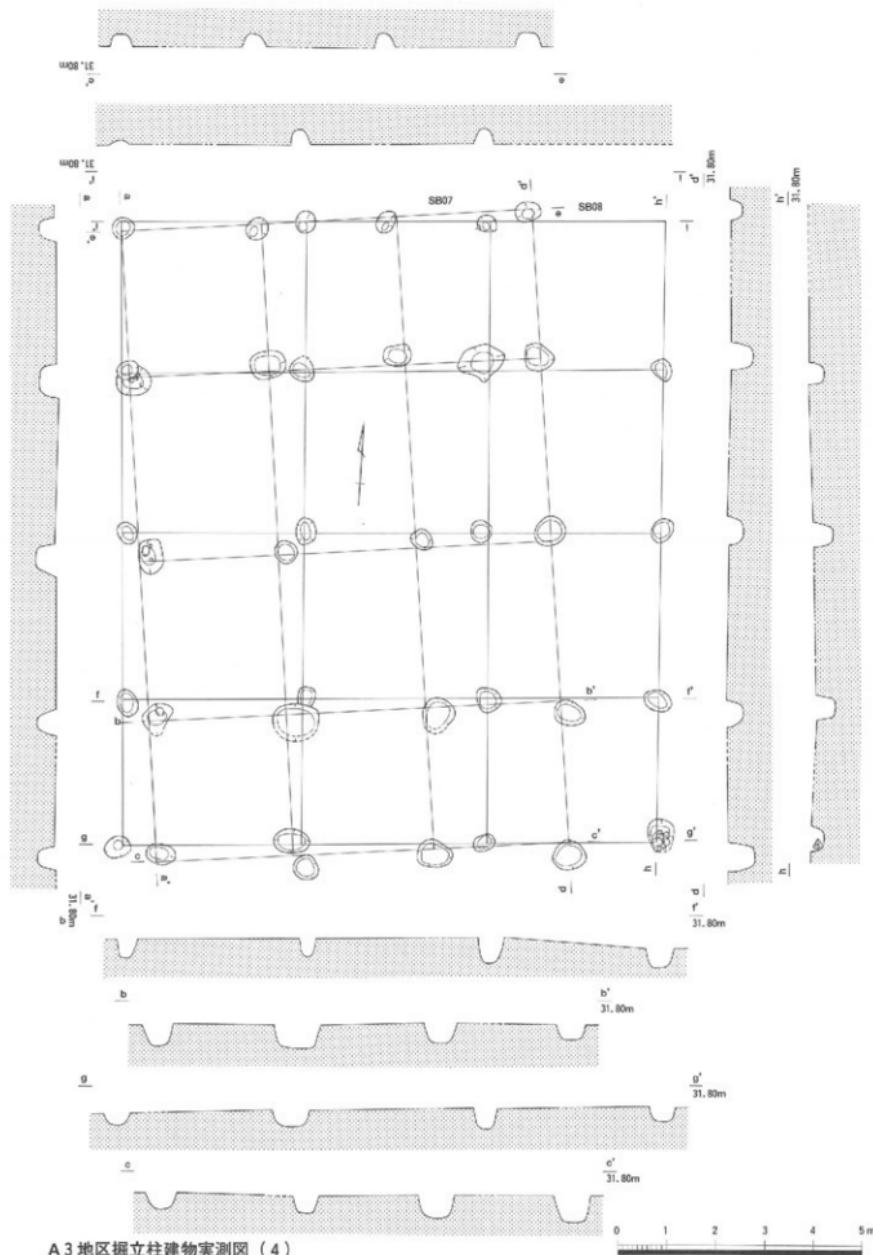
A3地区掘立柱建物実測図（1）



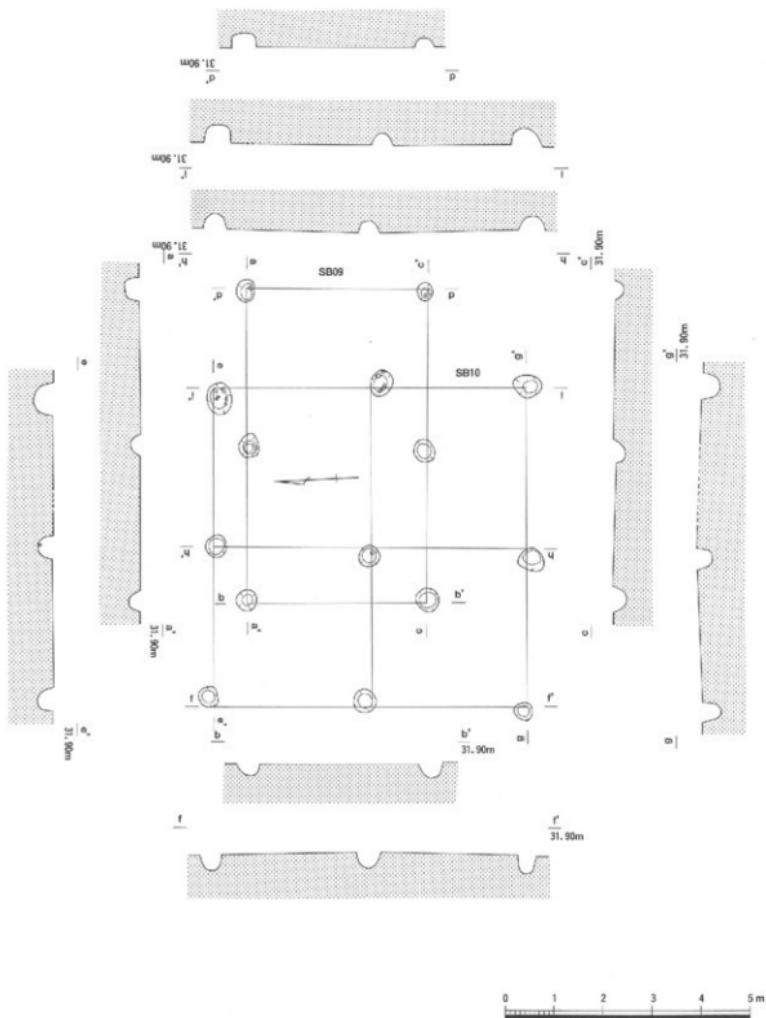
A3地区掘立柱建物実測図（2）



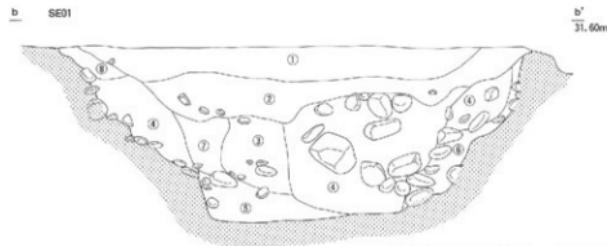
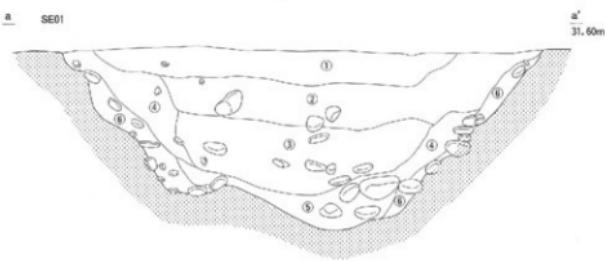
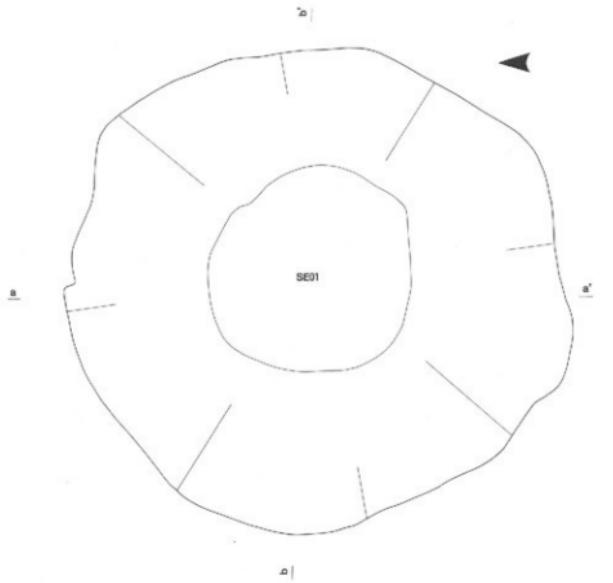
A3 地区掘立柱建物実測図（3）



A3地区掘立柱建物実測図(4)



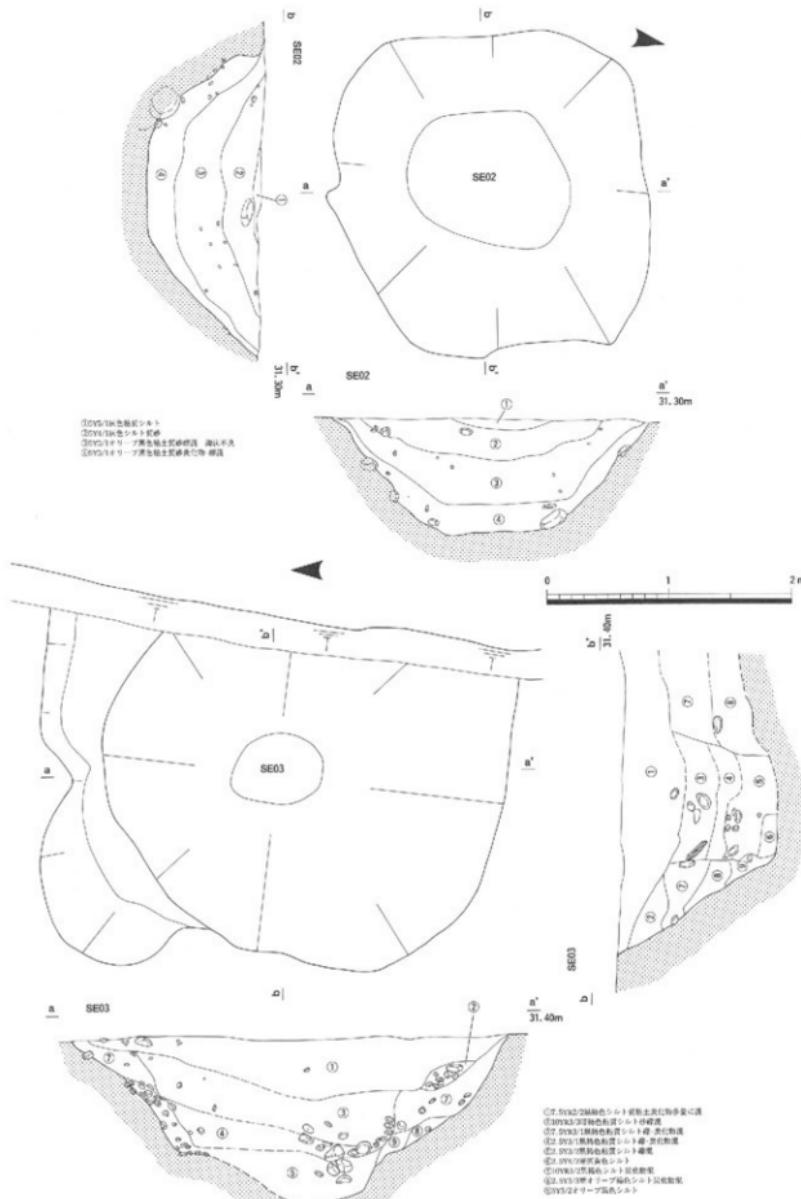
A3 地区掘立柱建物実測図 (5)



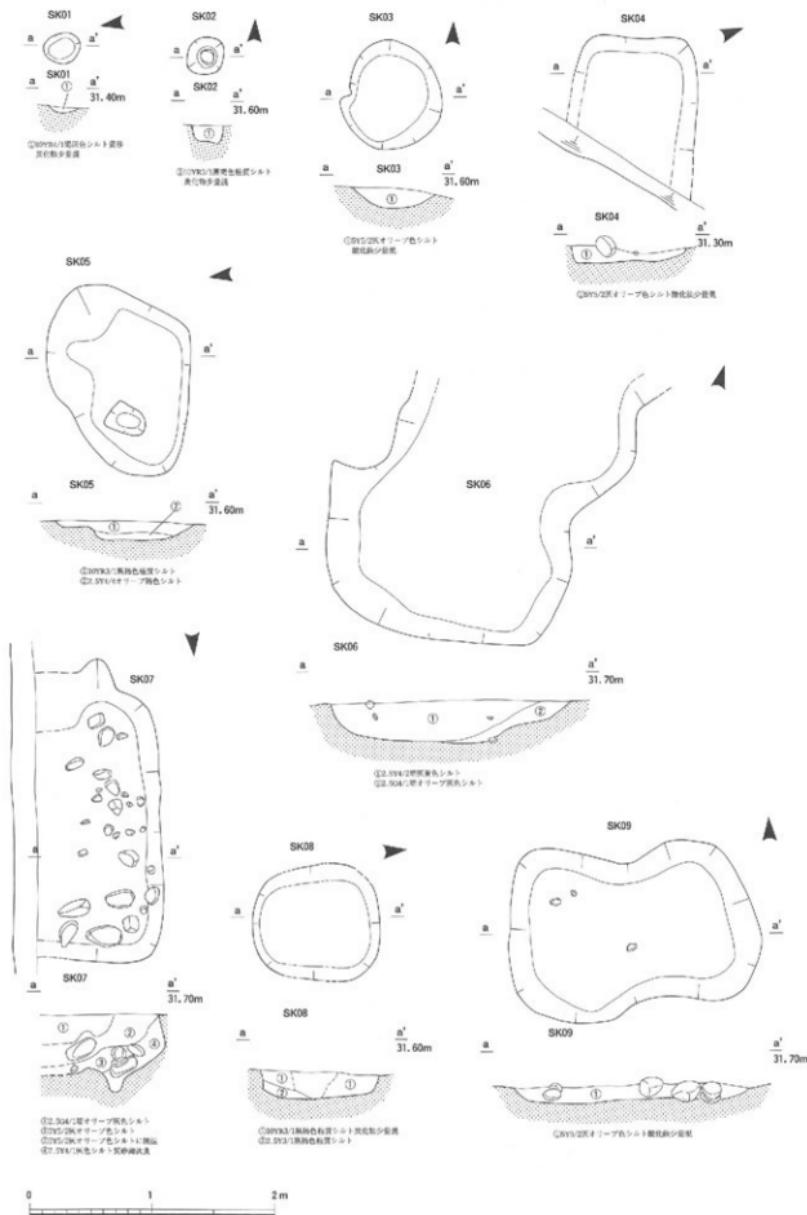
- ◎10Y3K1緑色シート最深付多孔壁面
- ◎10Y3K1褐色色シート最深付多孔壁面
- ◎10Y3K1—1—褐色色上部付壁面
- ◎10Y3K1—1—褐色色上部付壁面
- ◎10Y3K1—1—褐色色上部付壁面

0 1 2m

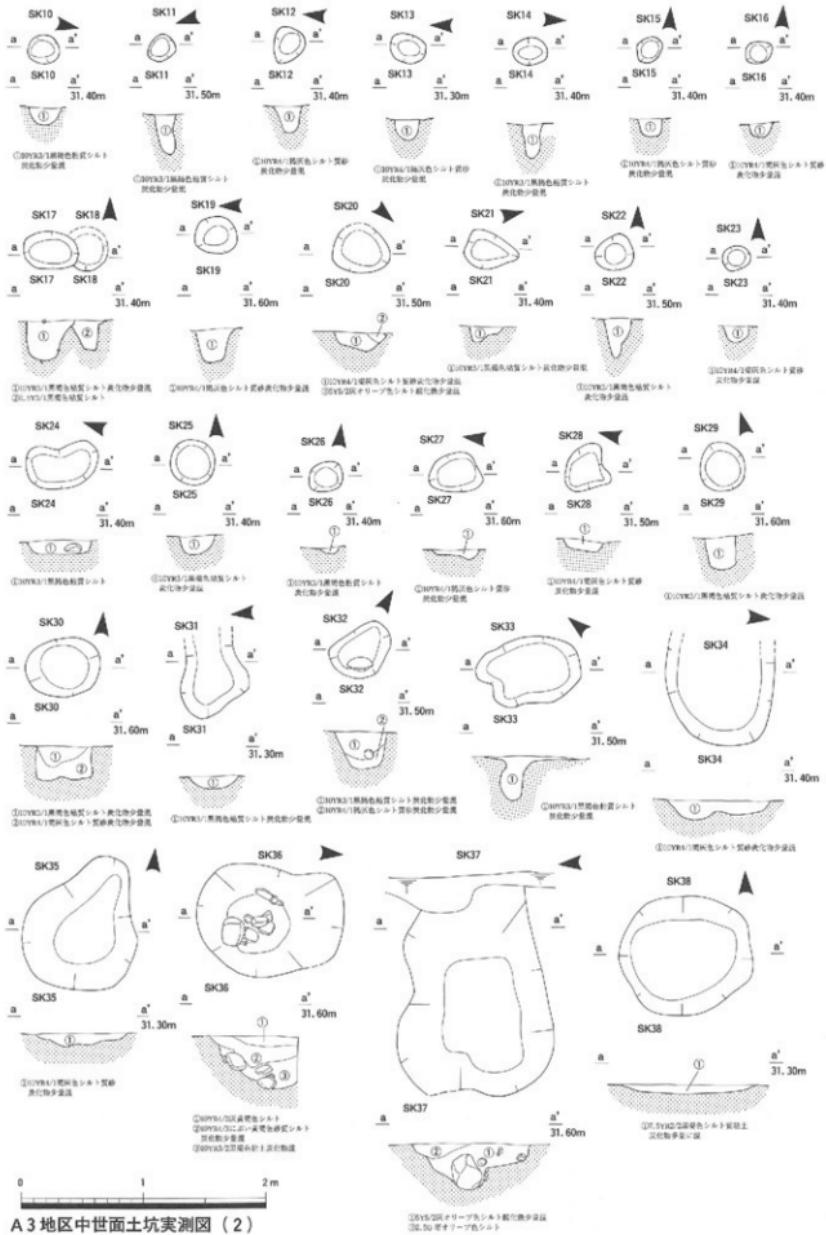
A3地区井戸実測図（1）



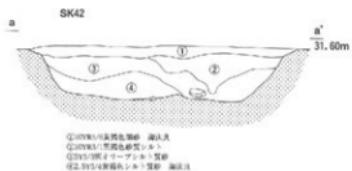
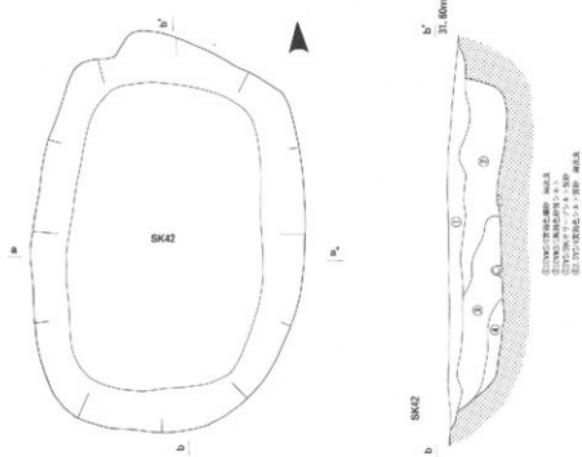
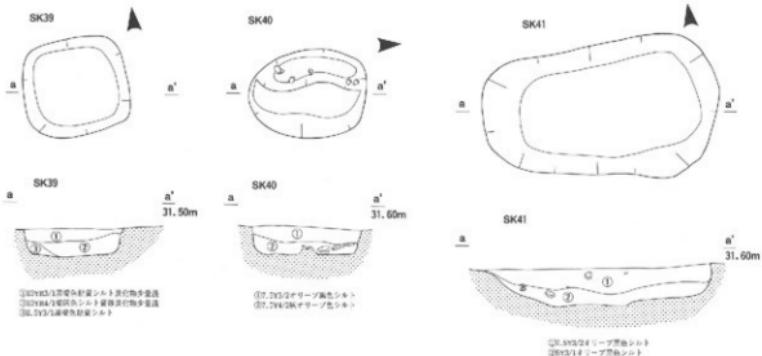
A3地区井戸実測図(2)



A3地区中世地面土坑実測図(1)



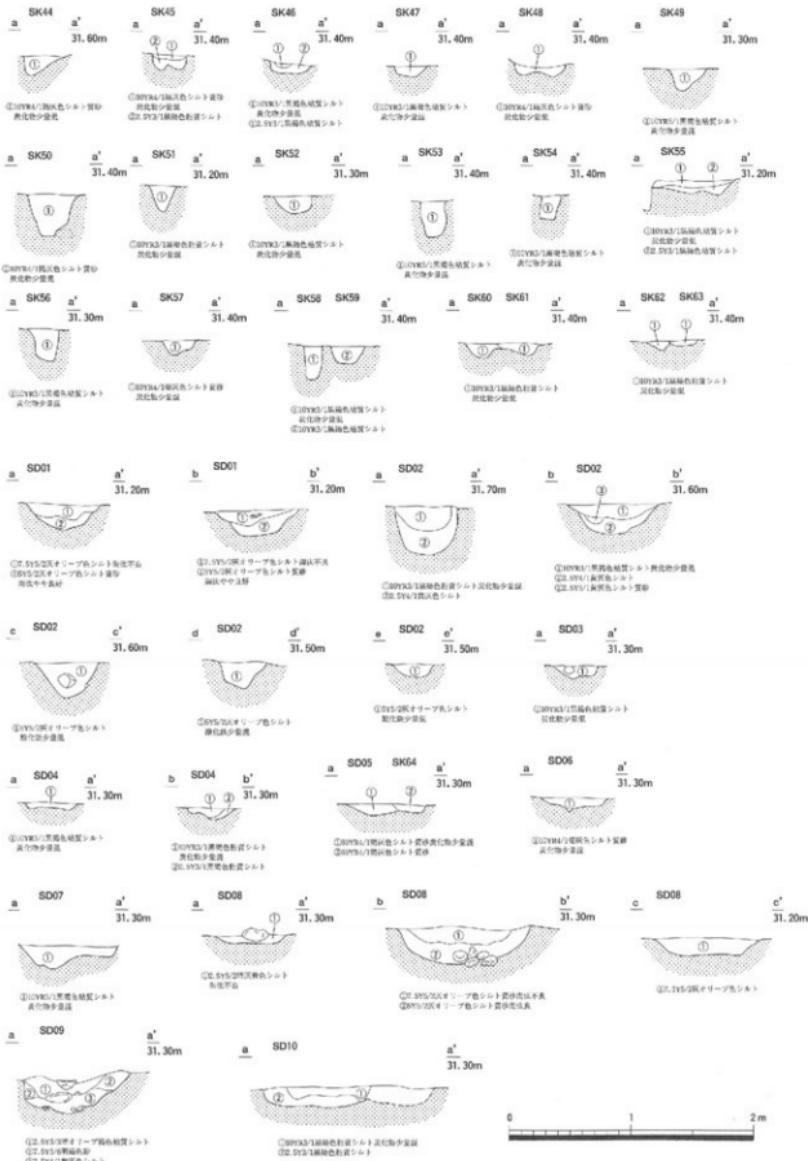
A 3 地区中世出土坑実測図 (2)



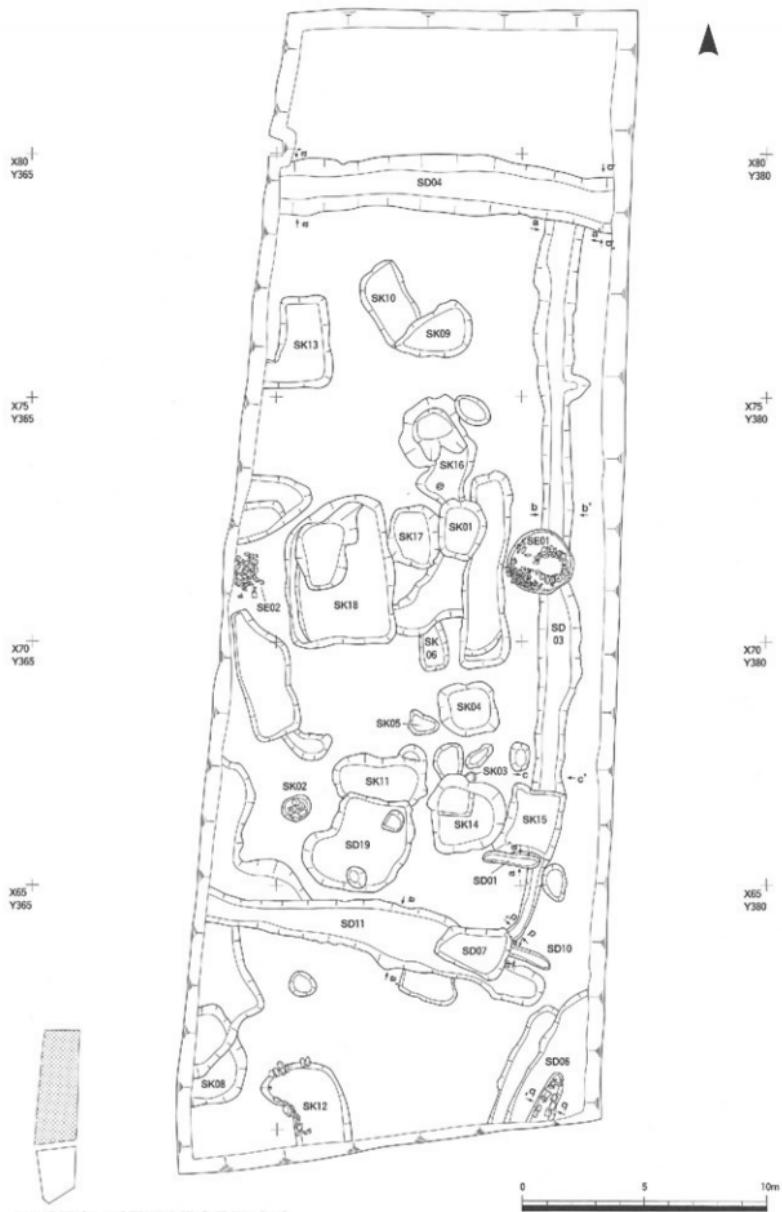
A3 地区中世面土坑実測図 (3)



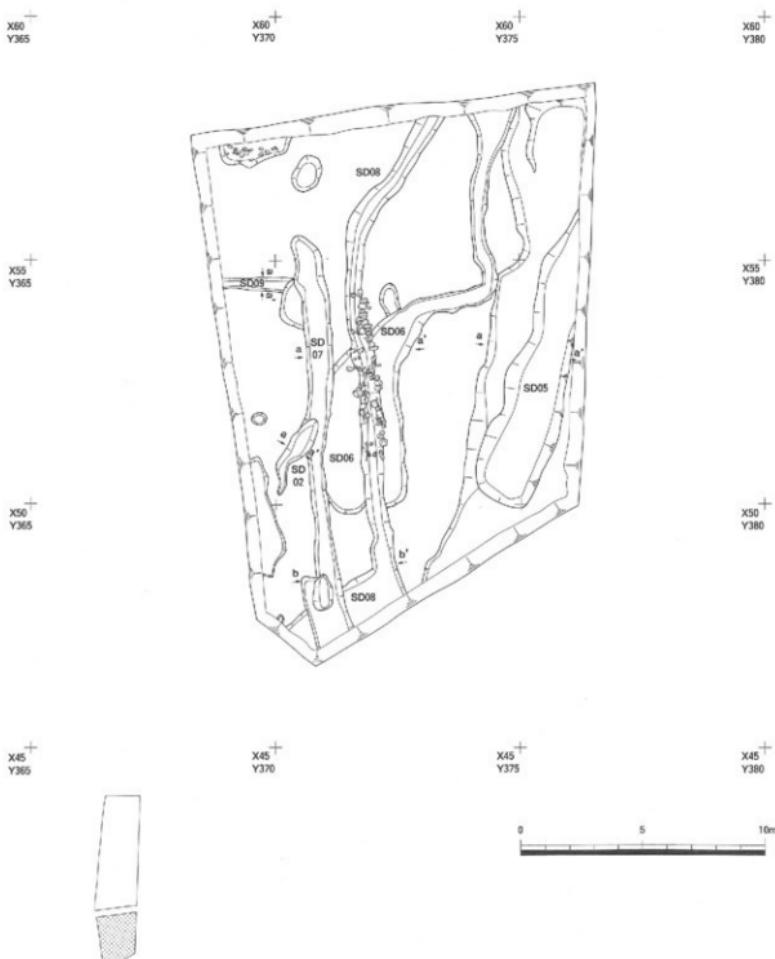
A3地区中世面土坑実測図(4)



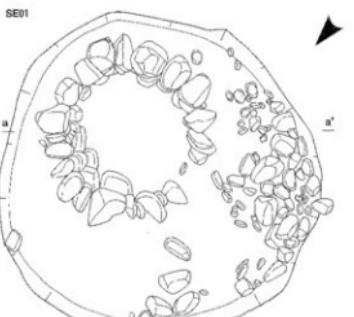
A3地区中・近世面土坑・溝実測図



A5地区中・近世面遺構全体図（1）

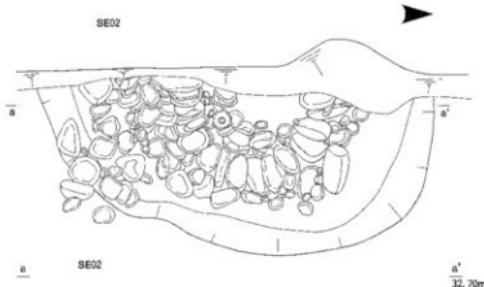


A5 地区中・近世面遺構全体図（2）



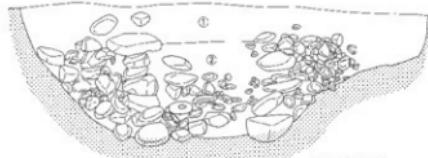
SE01

a'
32.10m



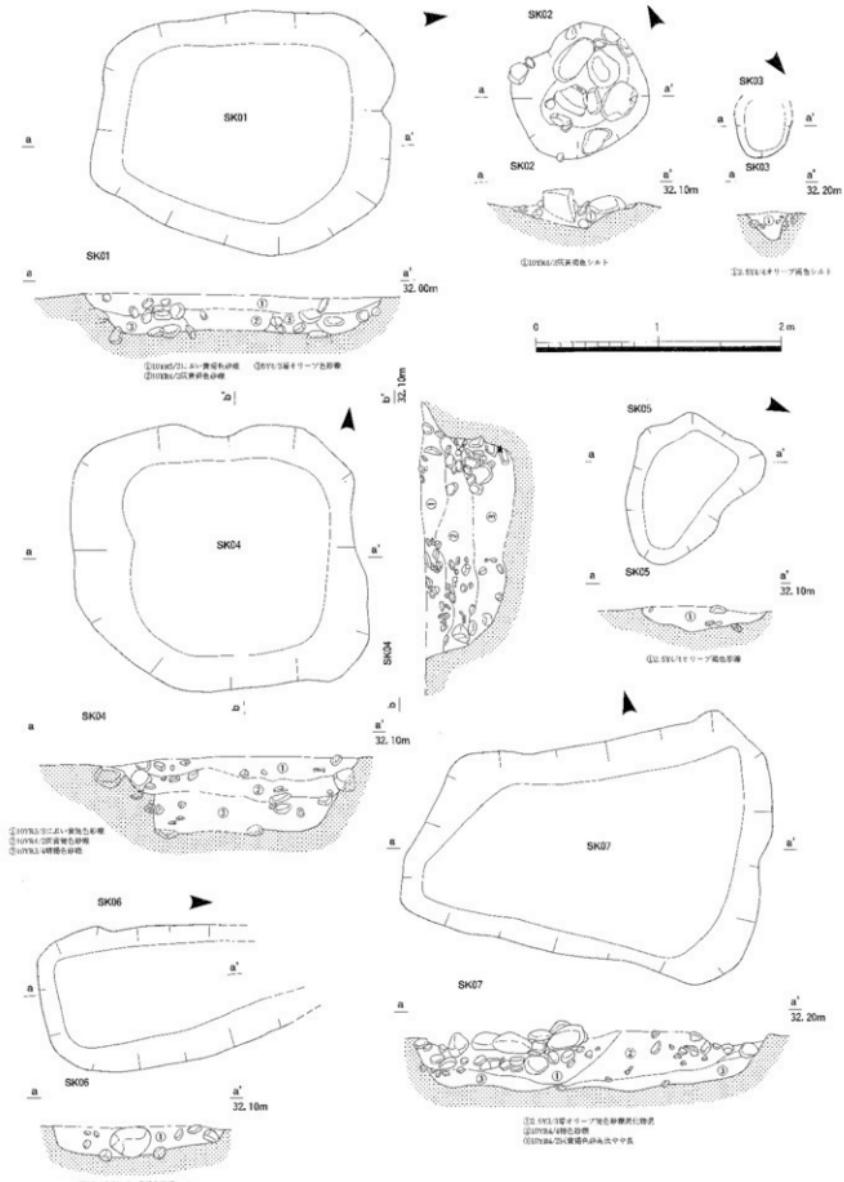
SE02

a'
32.70m

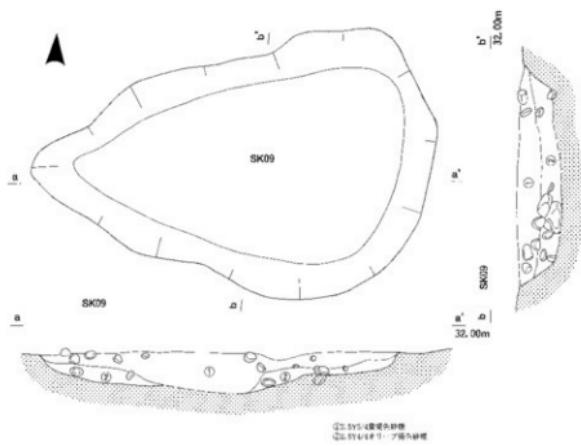
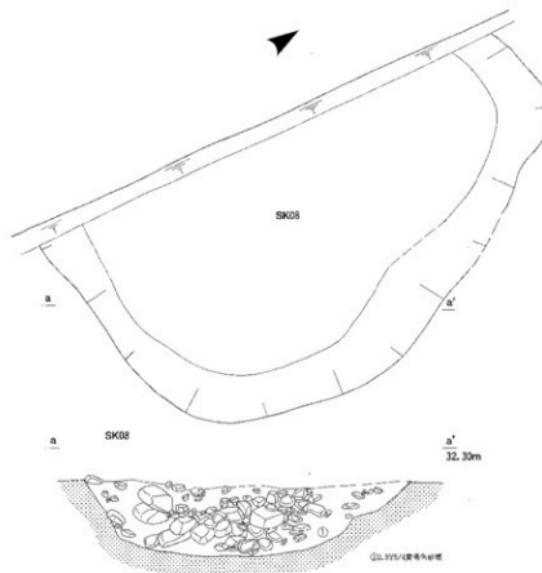


0 1 2m

A5 地区中・近世面井戸実測図

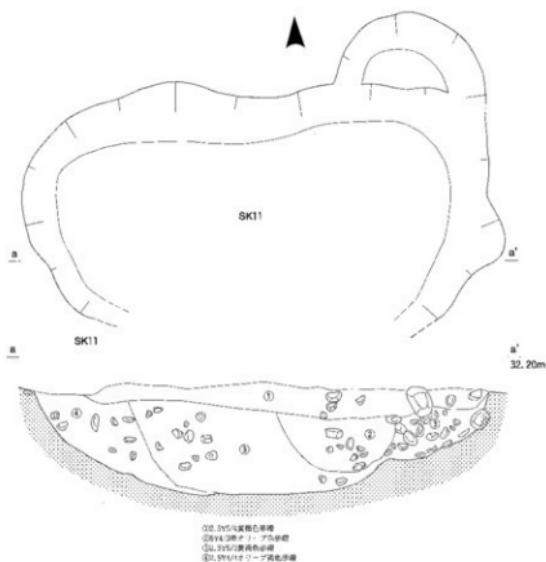
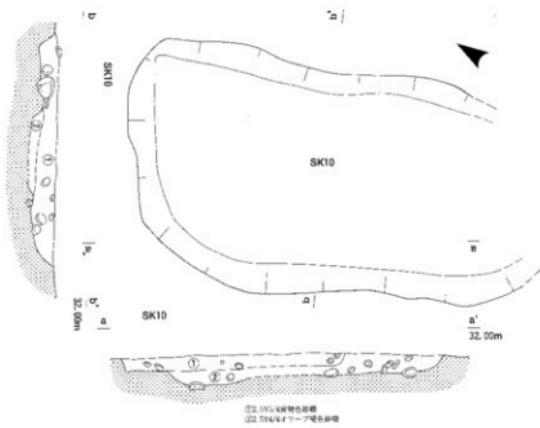


A5地区中世面土坑実測図（1）

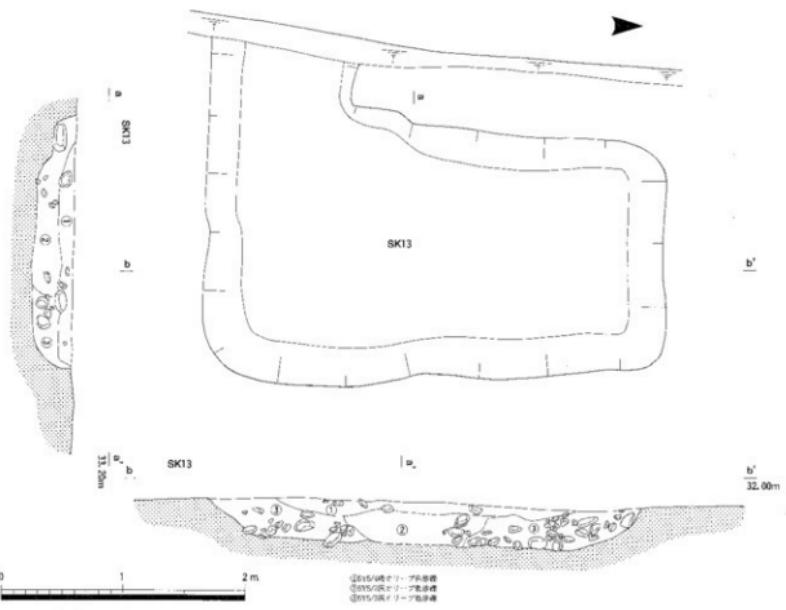
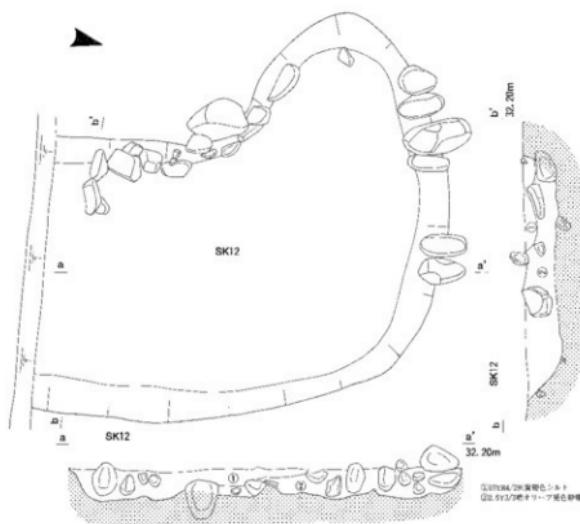


0 1 2 m

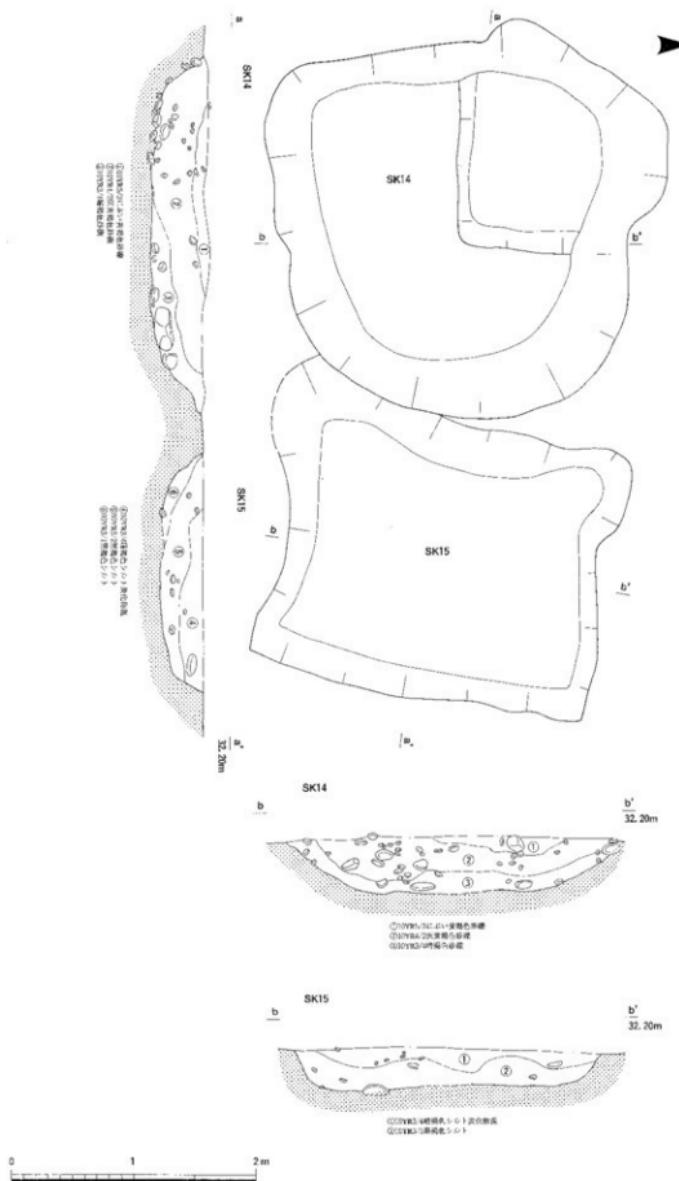
A5地区中世面土坑実測図(2)

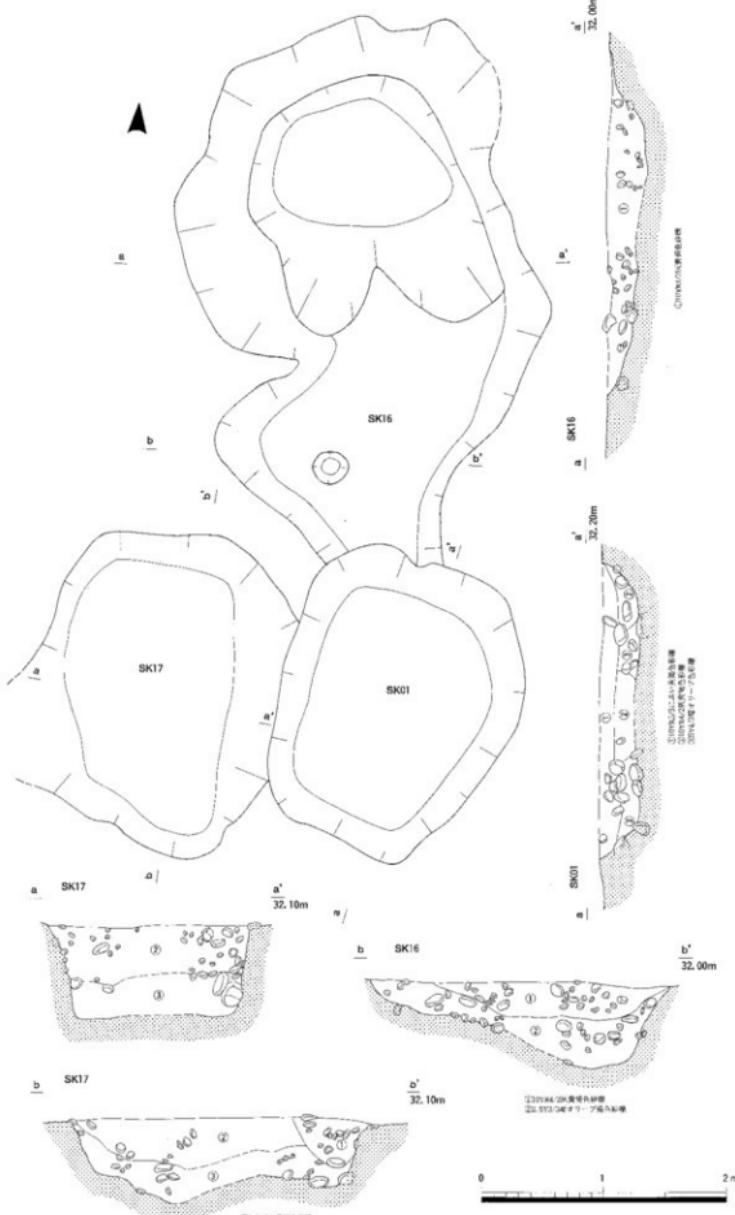


0 1 2 m
A5地区中世面土坑実測図(3)

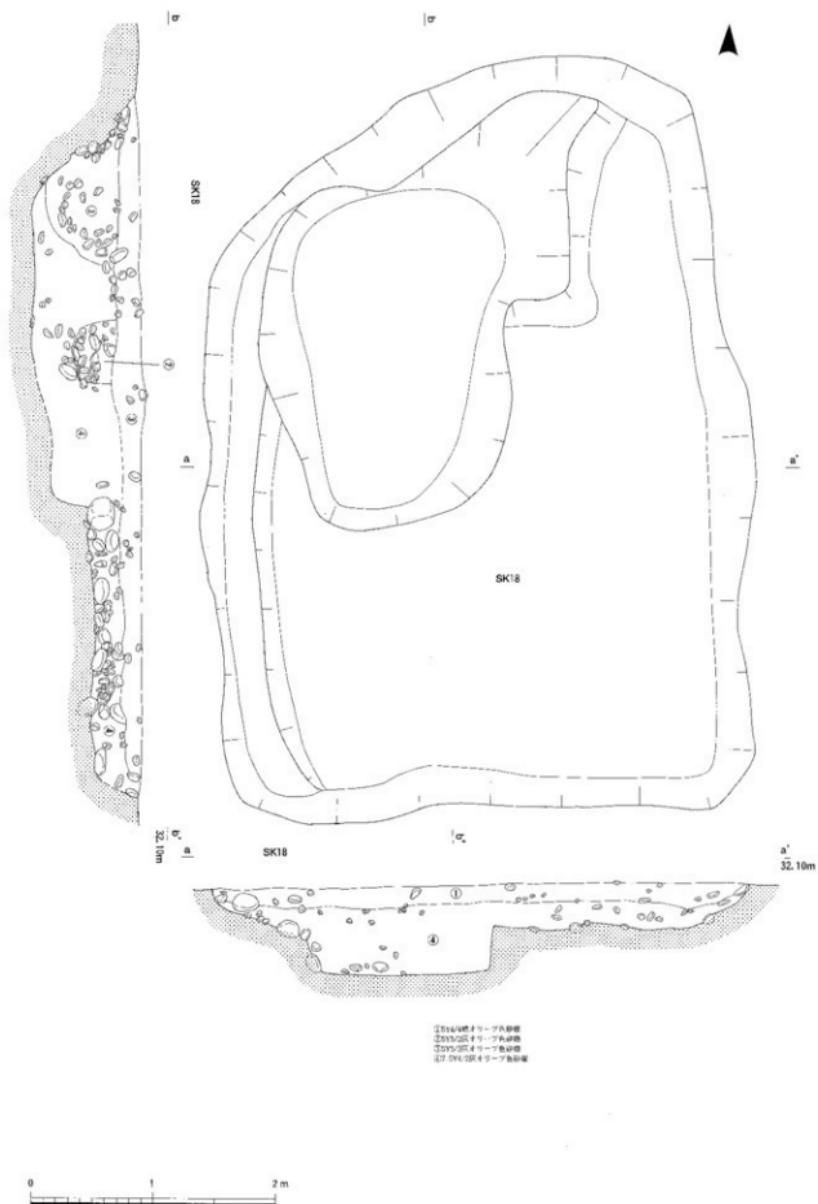


A5地区中世出土坑実測図(4)

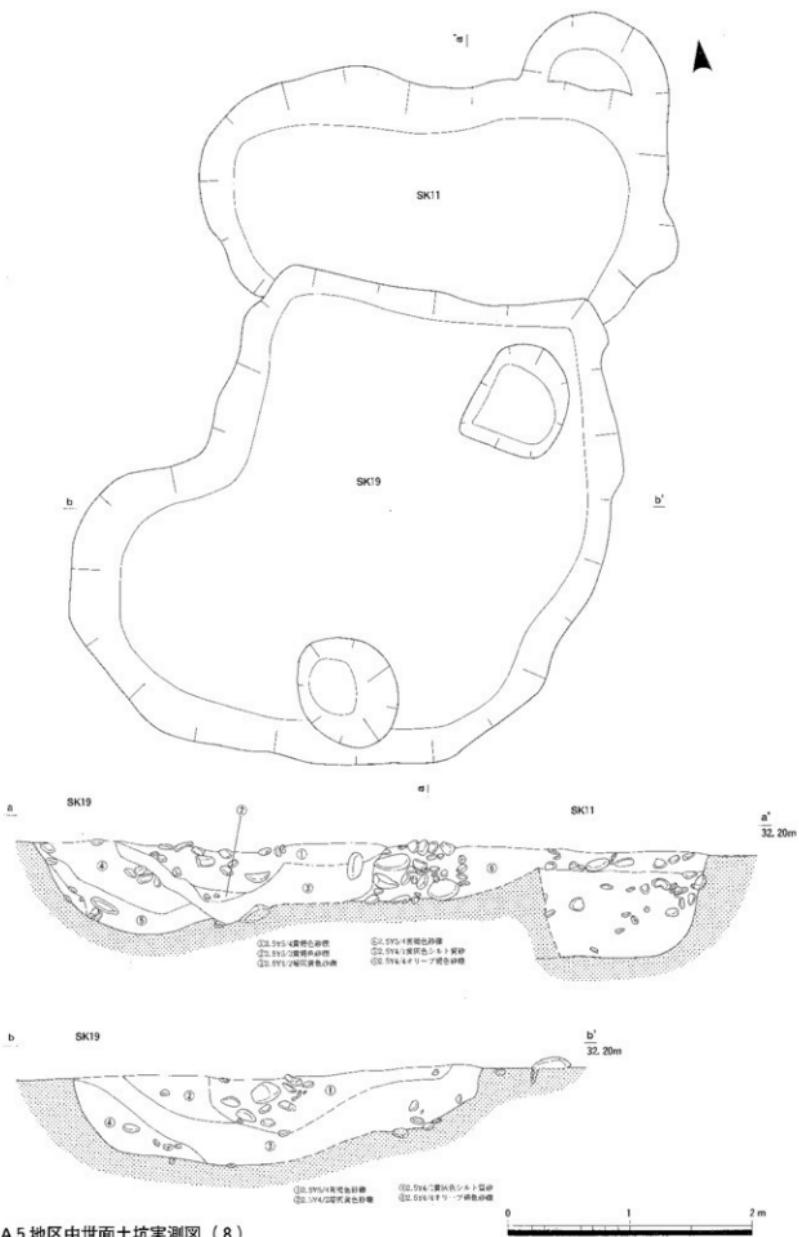




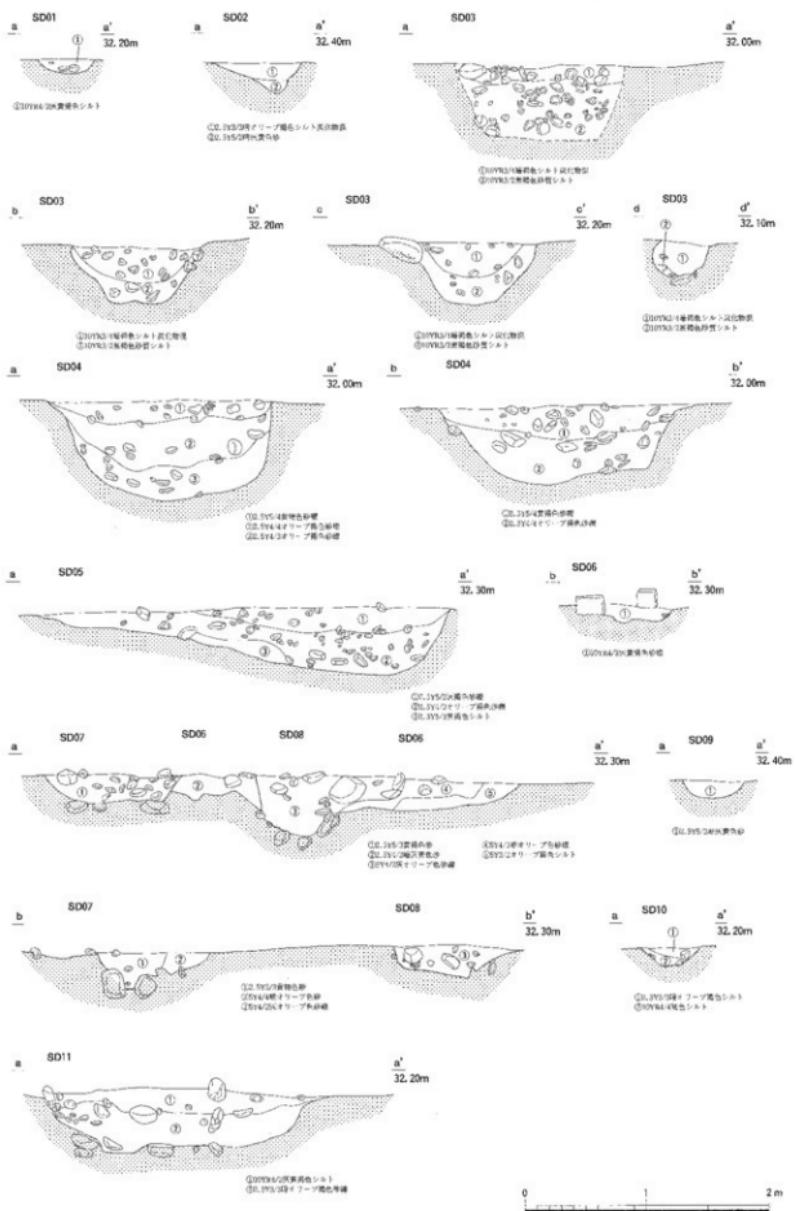
A5 地区中世面土坑実測図 (6)



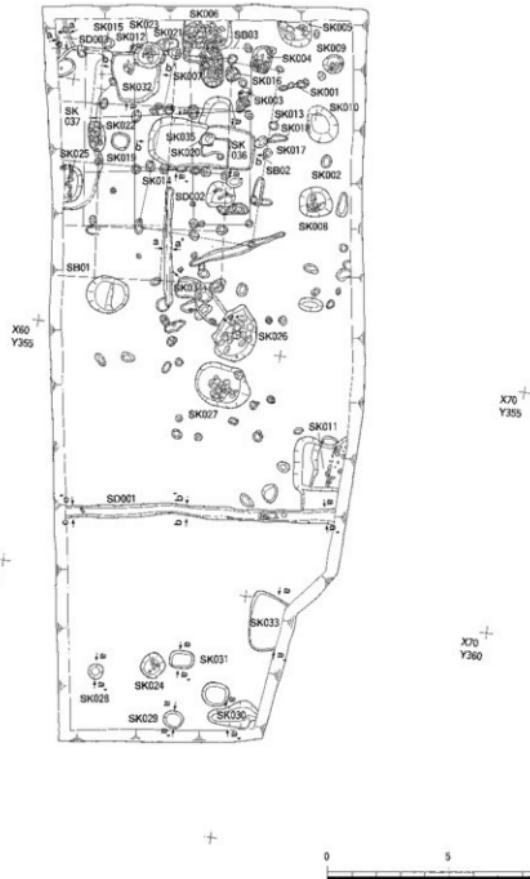
A5地区中世面土坑実測図(7)



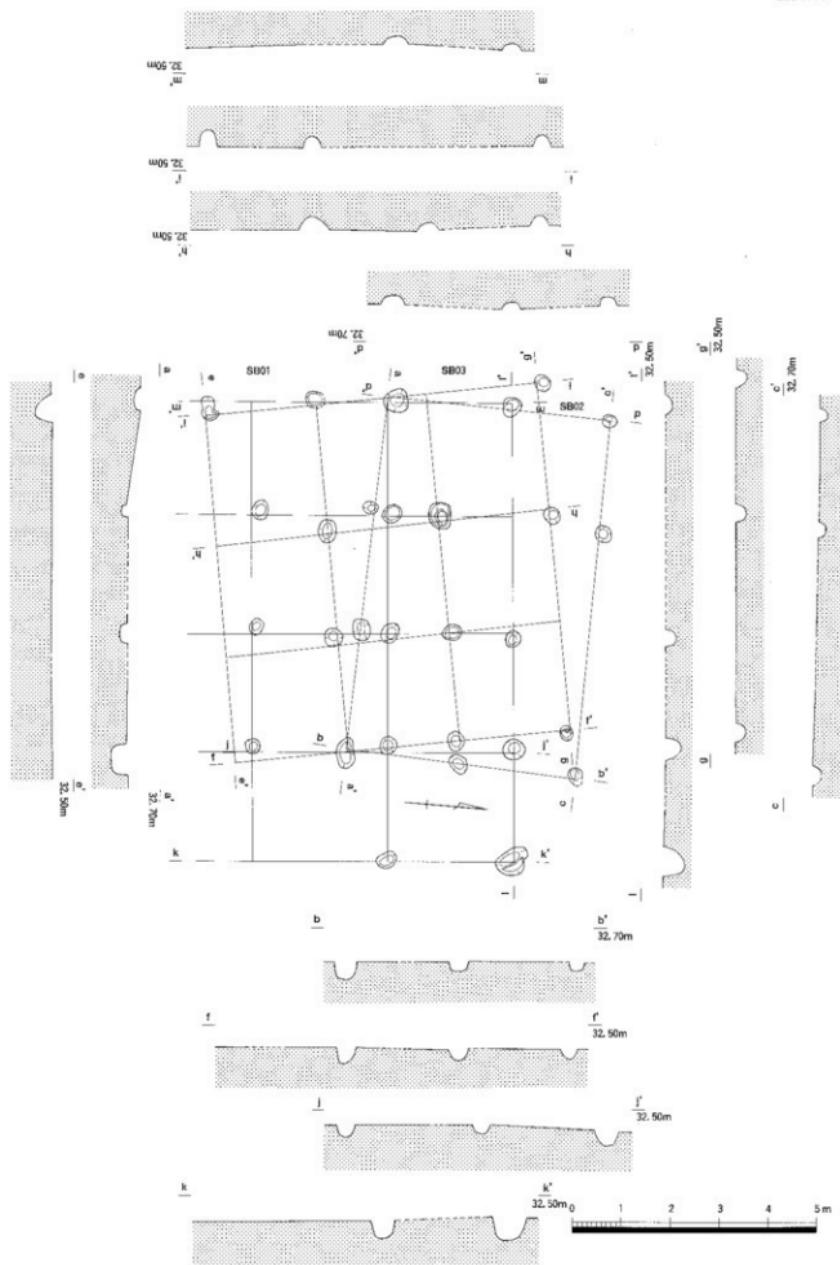
A5地区中世面土坑実測図(8)



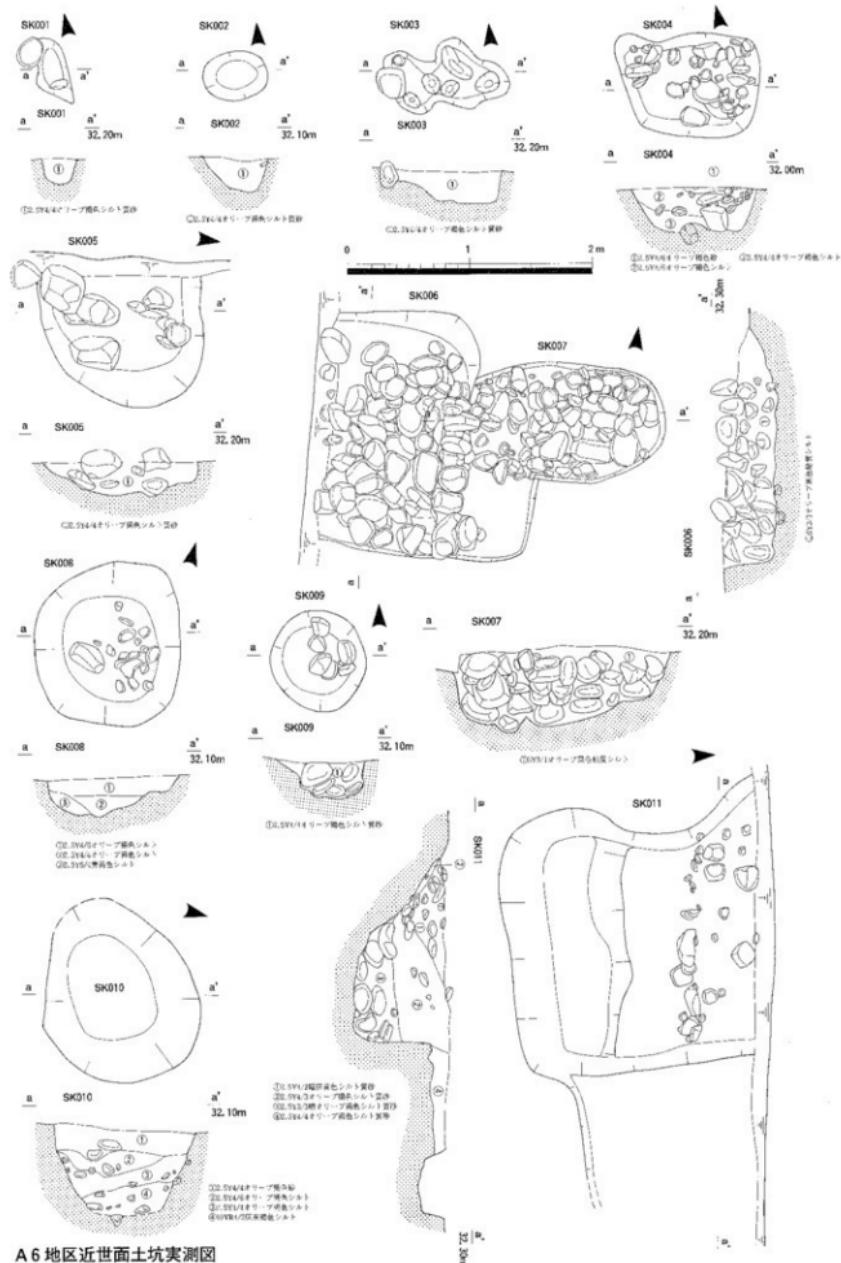
A5地区中・近世面満実測図

X35
Y345X35
Y345X70
Y345

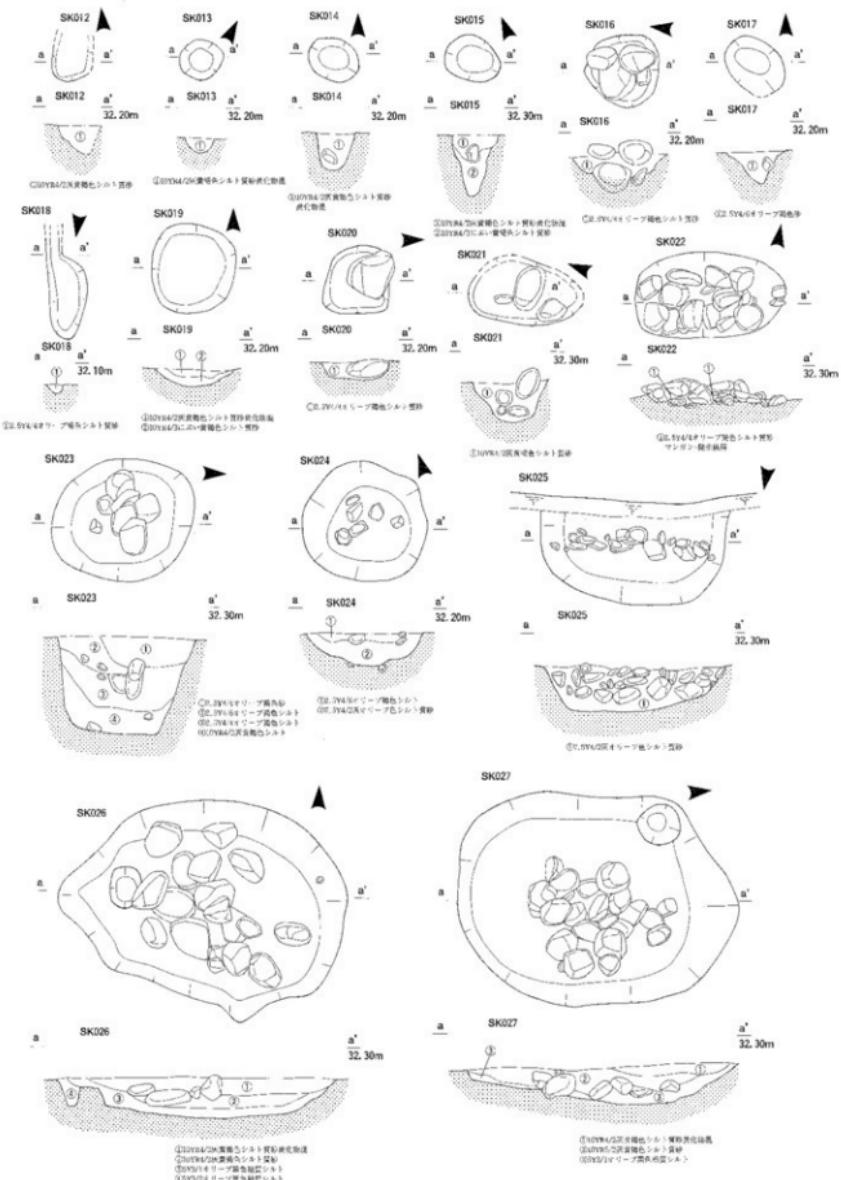
A 6 地区中・近世面遺構全体図



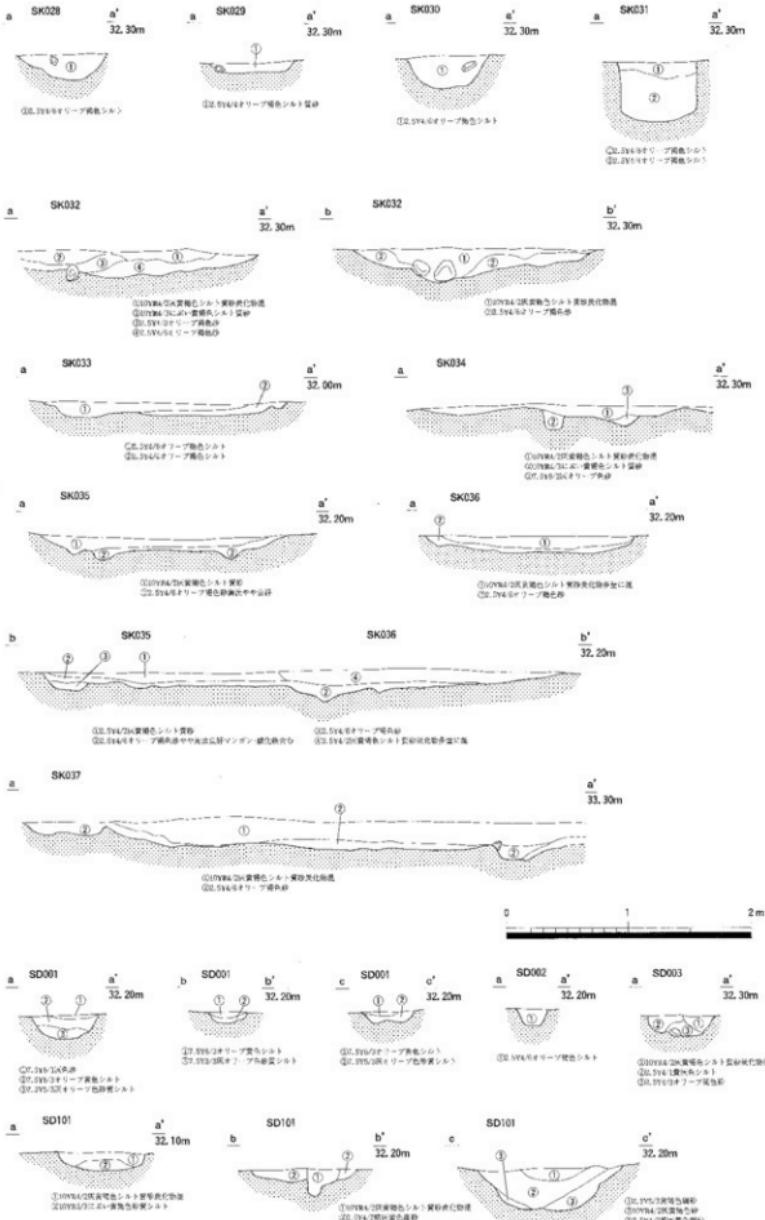
A6地区掘立柱建物実測図



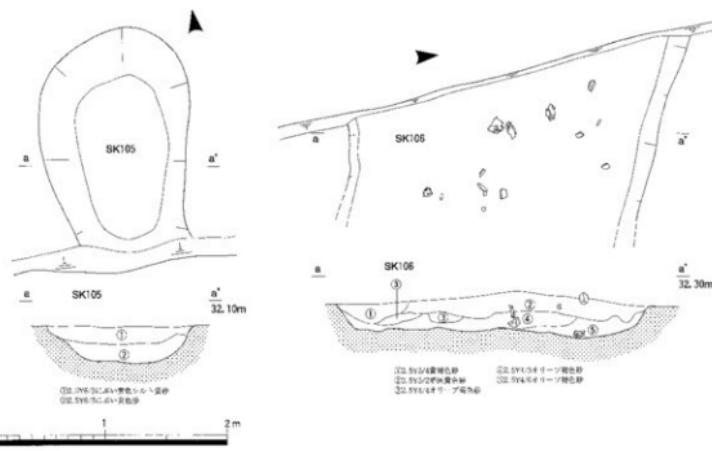
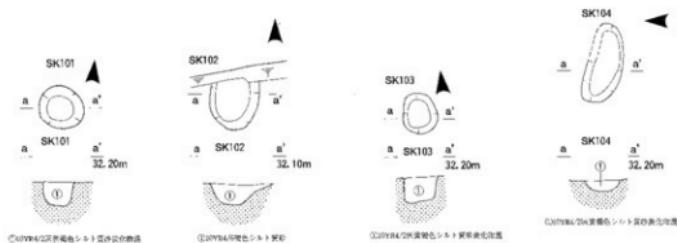
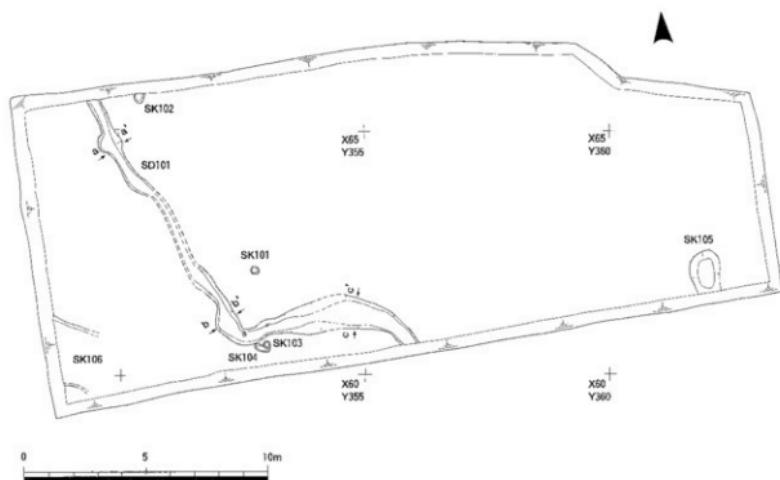
A 6 地区近世面土坑実測図



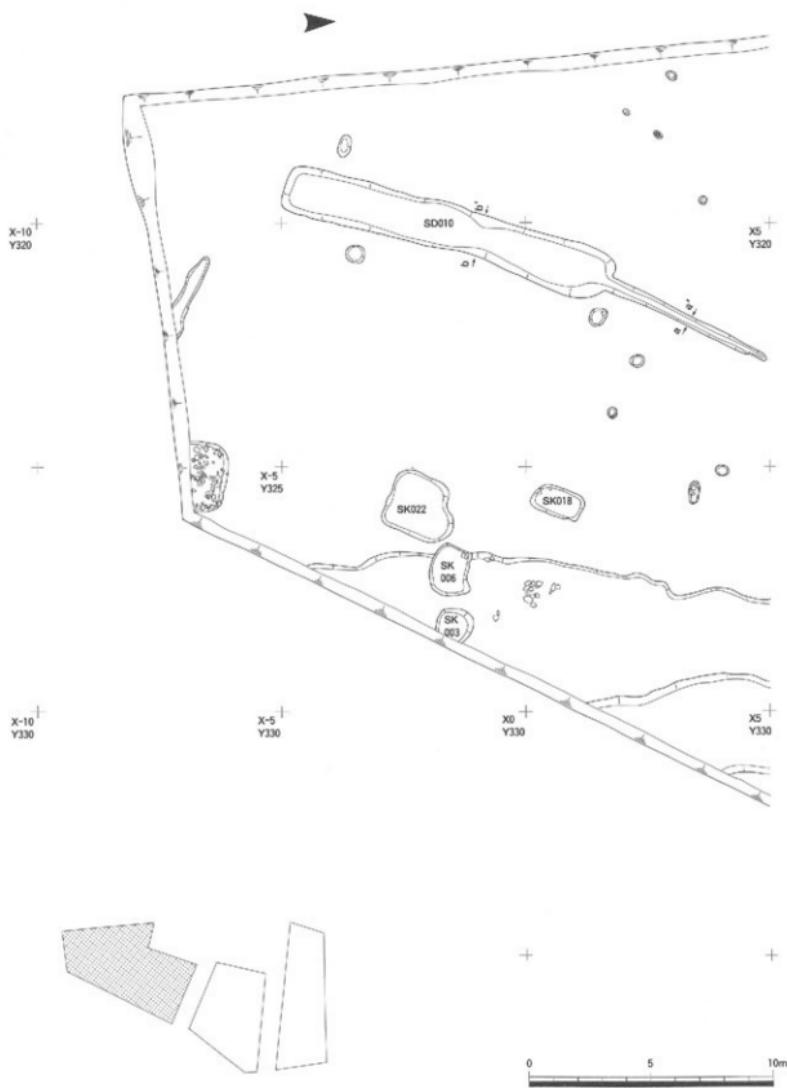
A6 地区 中世土坑実測図



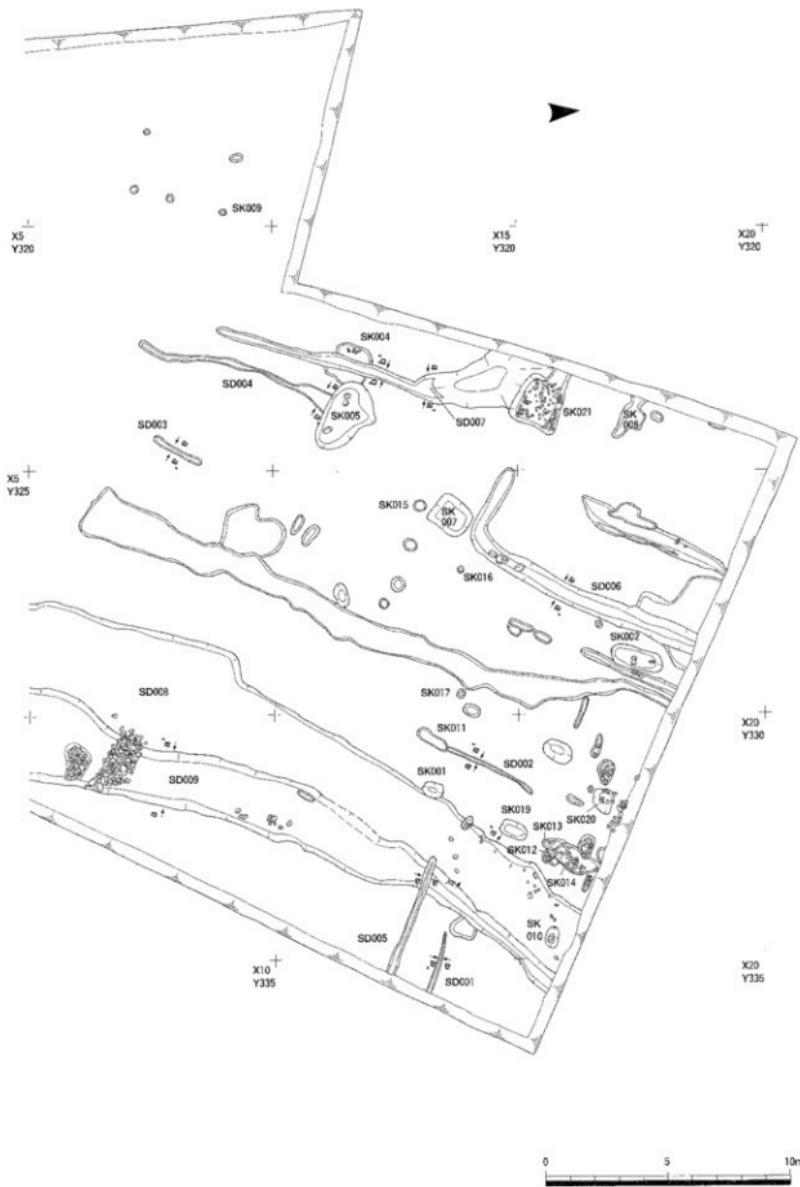
A6地区中・近世面・古代面土坑・溝窓測図



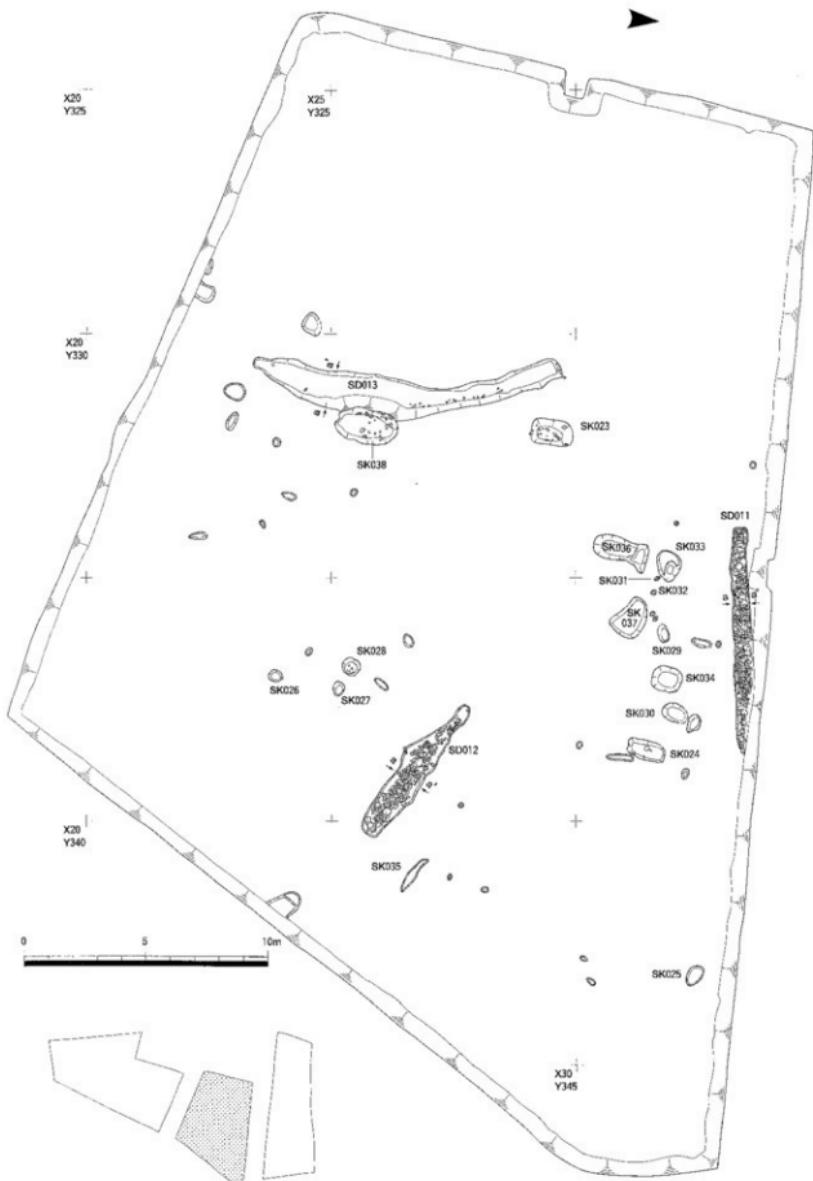
A6地区古代面遺構全体図 古代土坑実測図



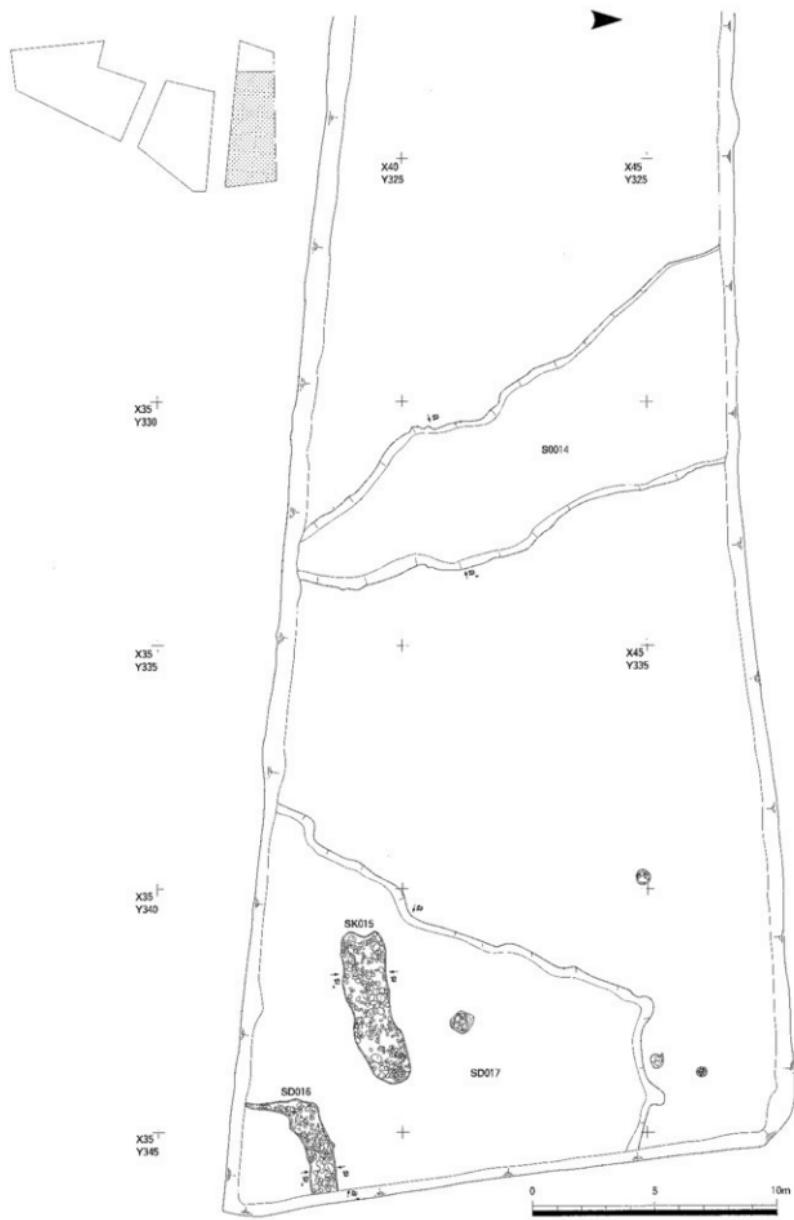
A7地区中・近世面造構全体図(1)

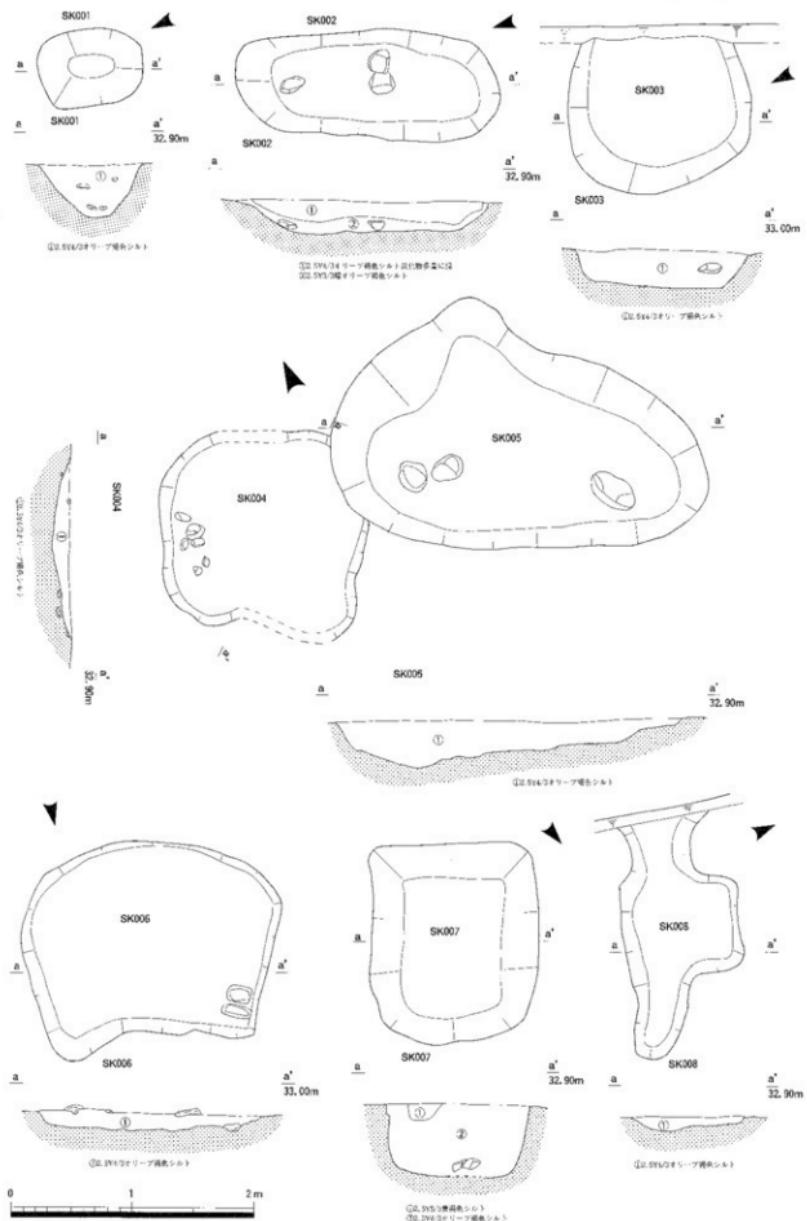


A7地区中・近世面遺構全体図（2）

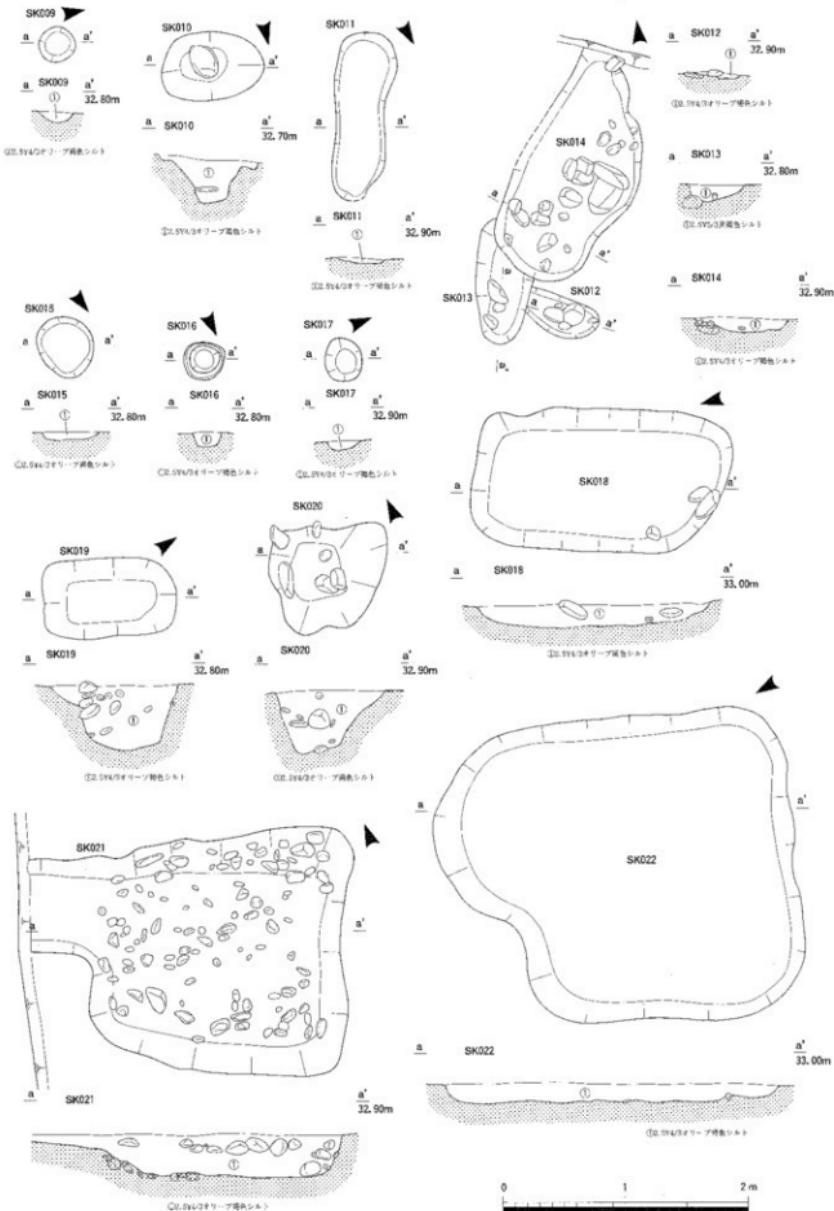


A8地区中・近世面遺構全体図

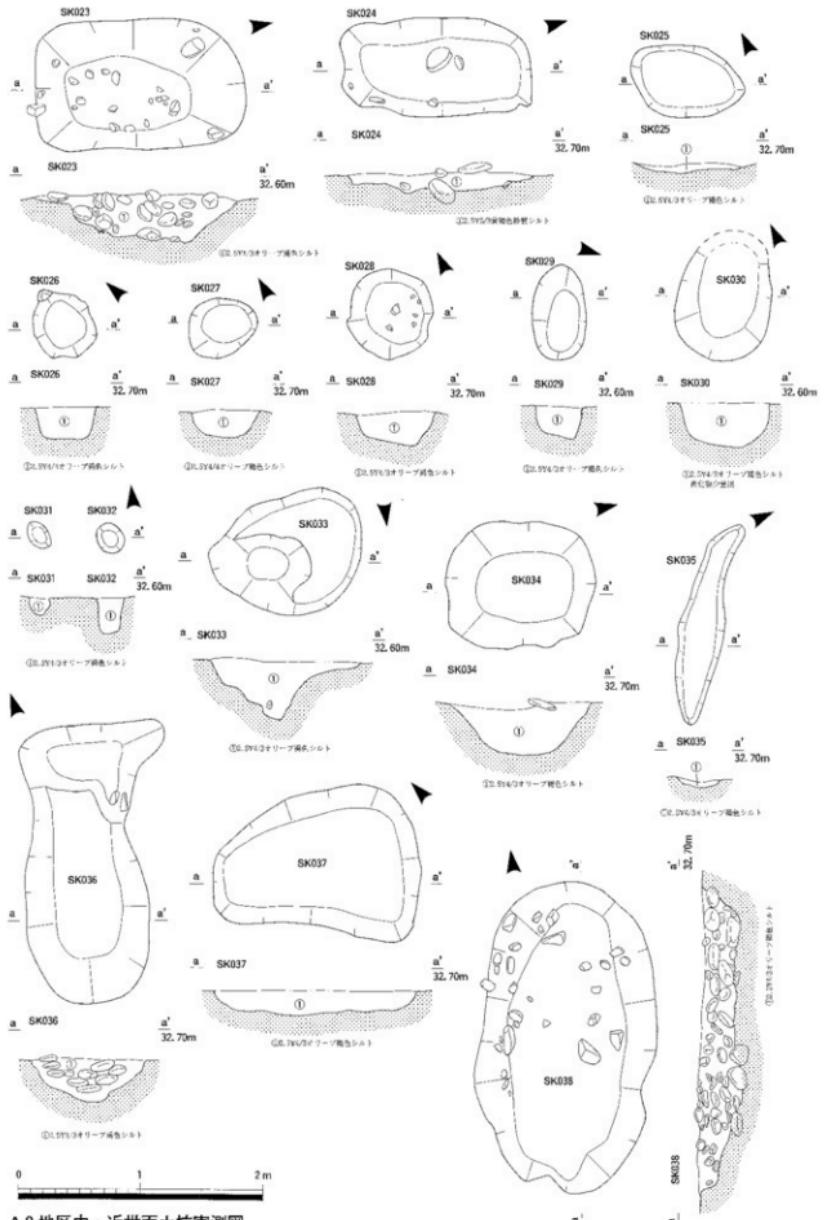




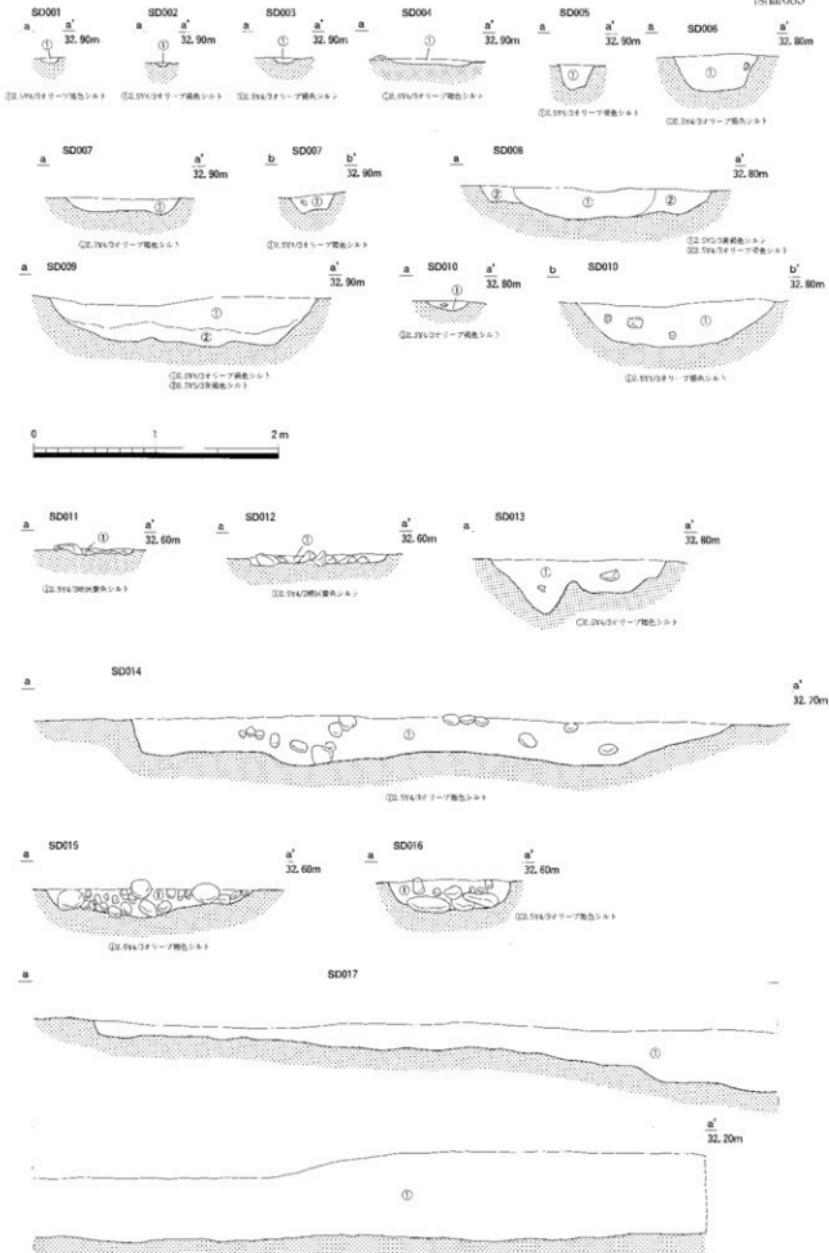
A7地区中・近世面土坑実測図(1)

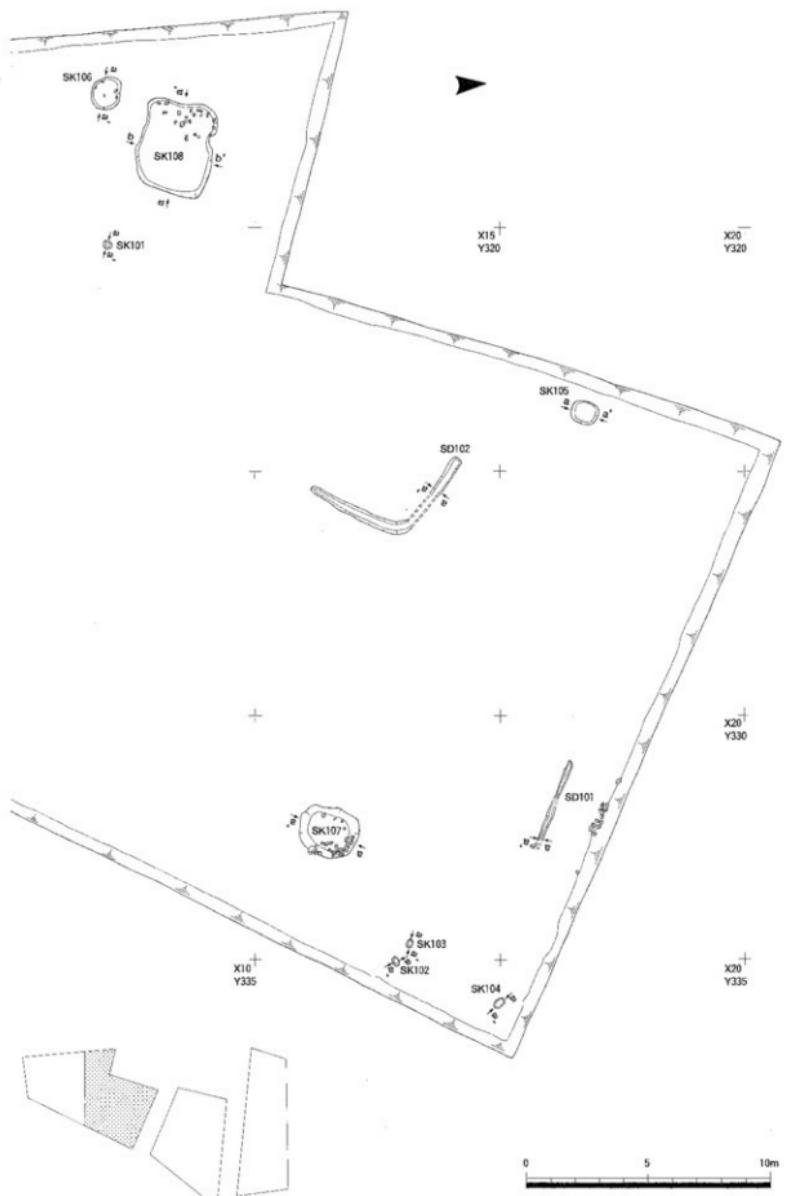


A7地区中・近世地面土坑実測図（2）

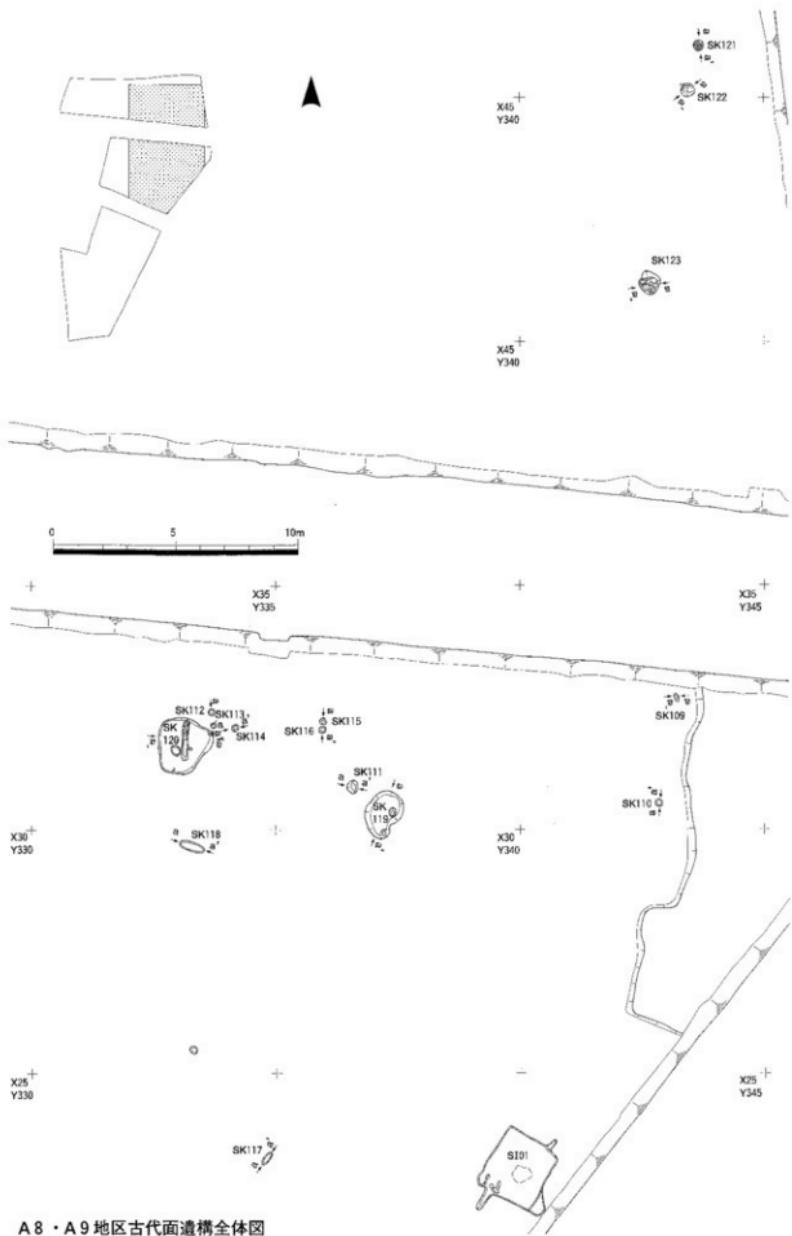


A8地区中・近世面土坑実測図

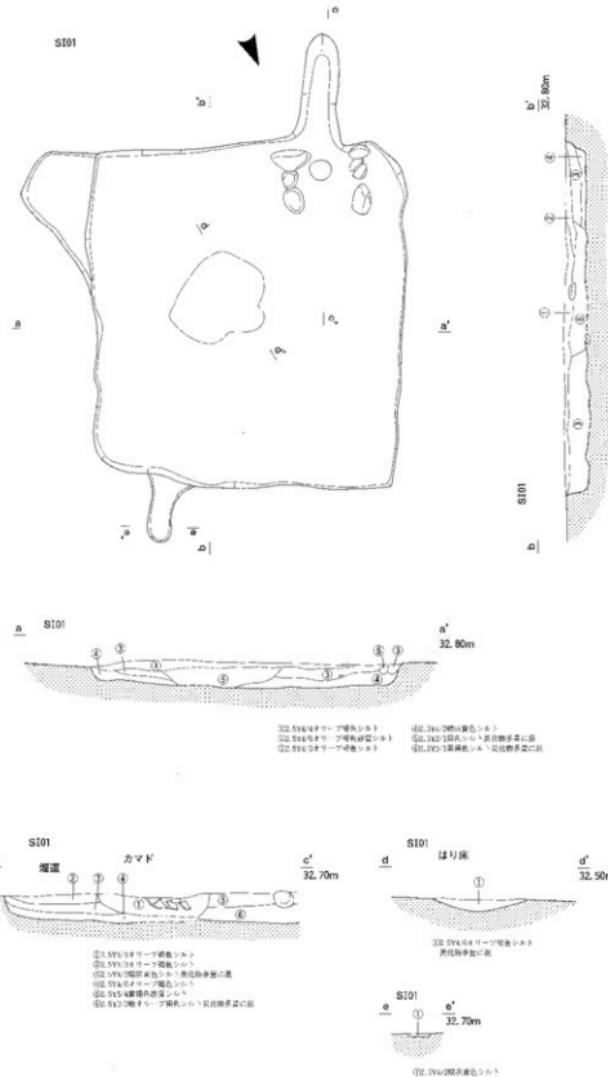




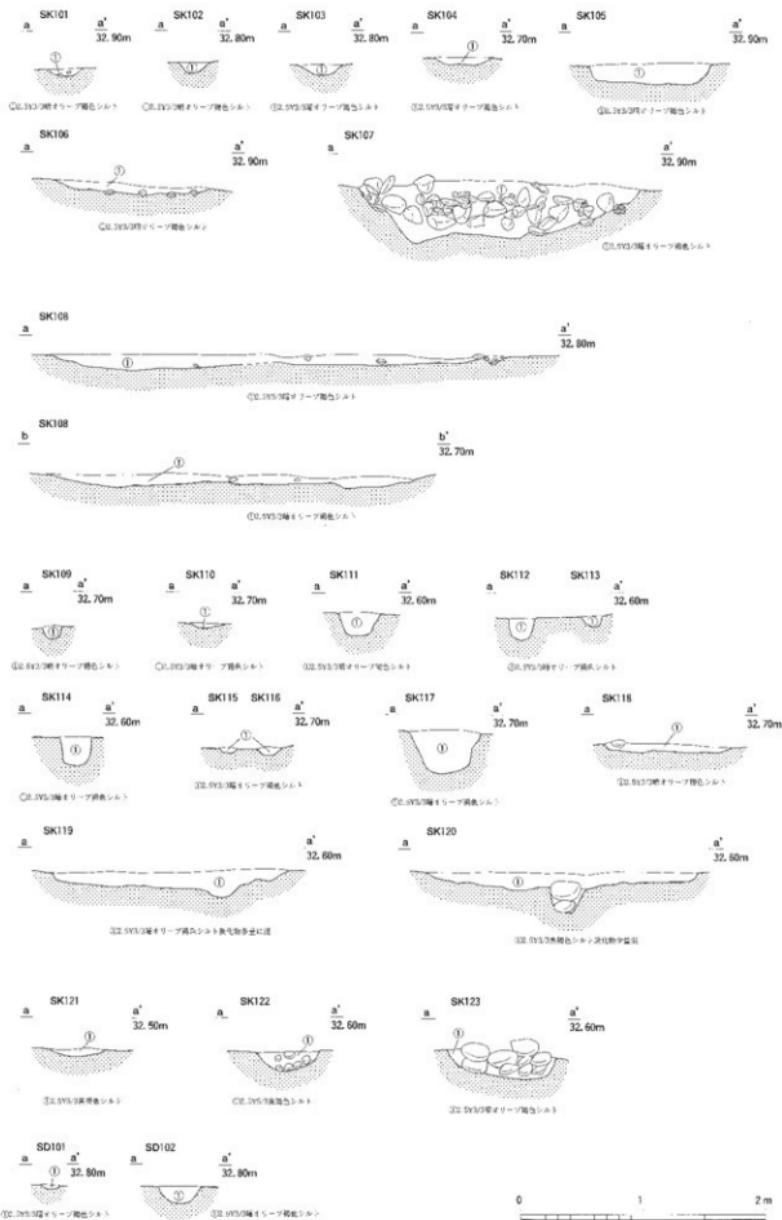
A7地区古代面遺構全体図



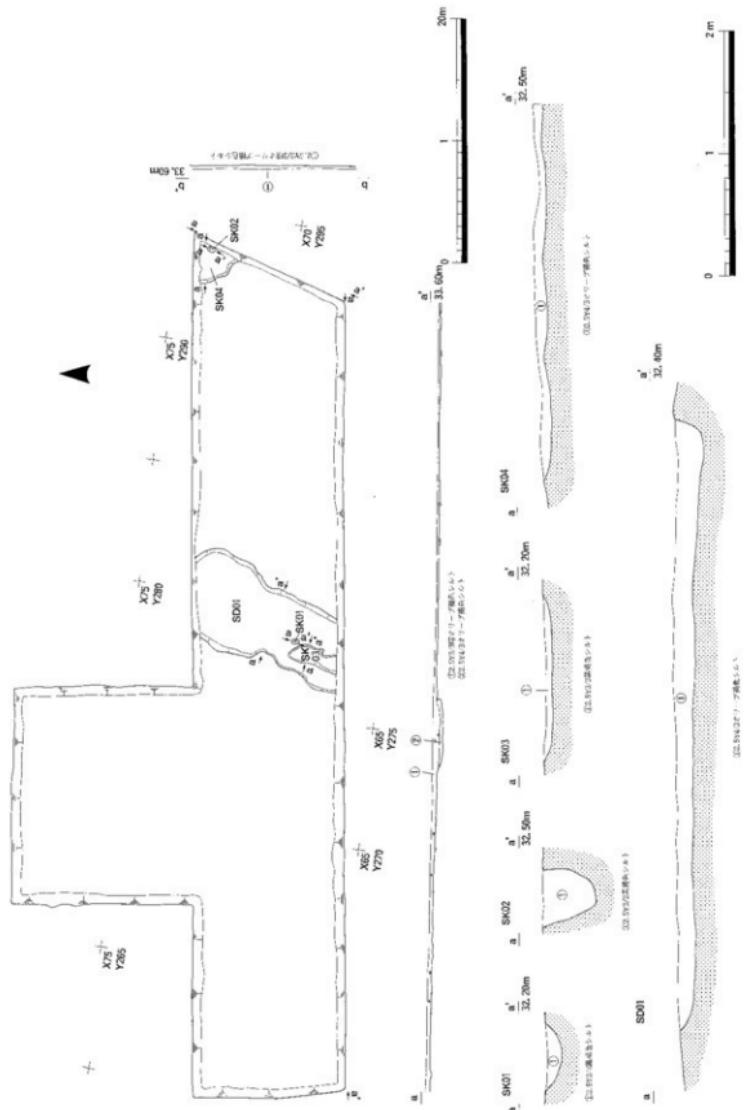
A8・A9 地区古代面遺構全体図



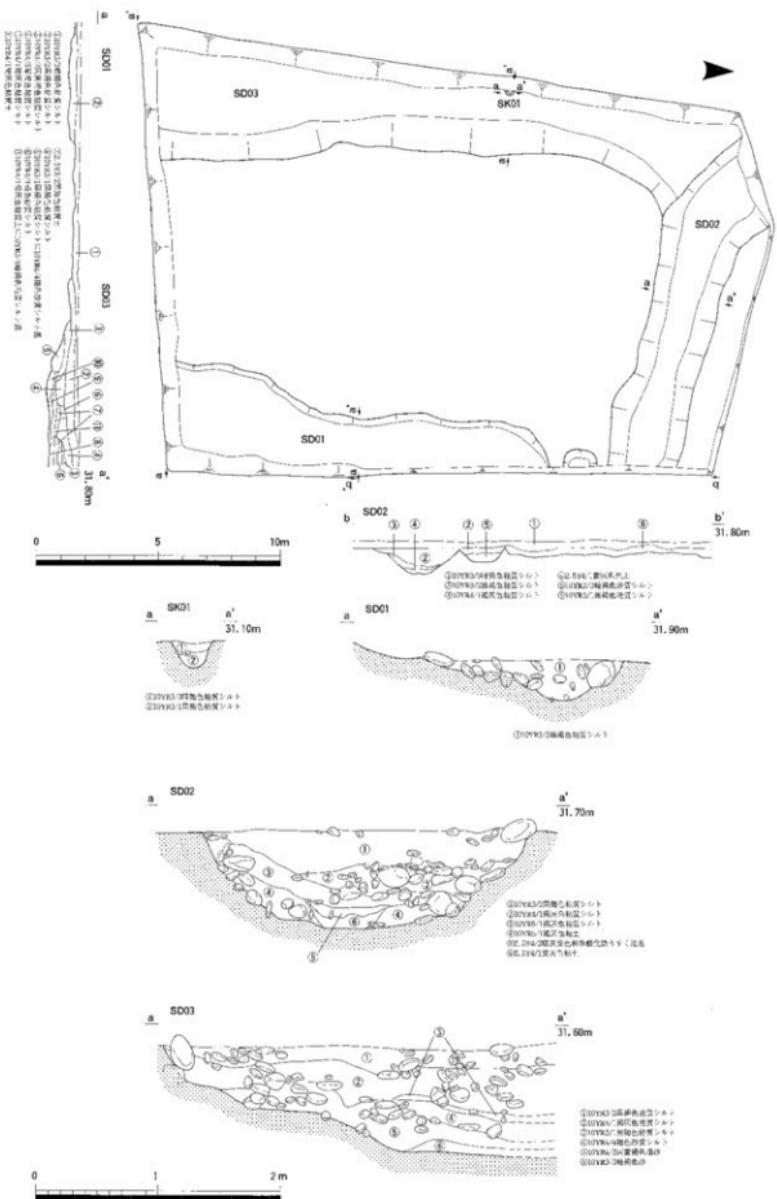
A8 地区竖穴住居実測図



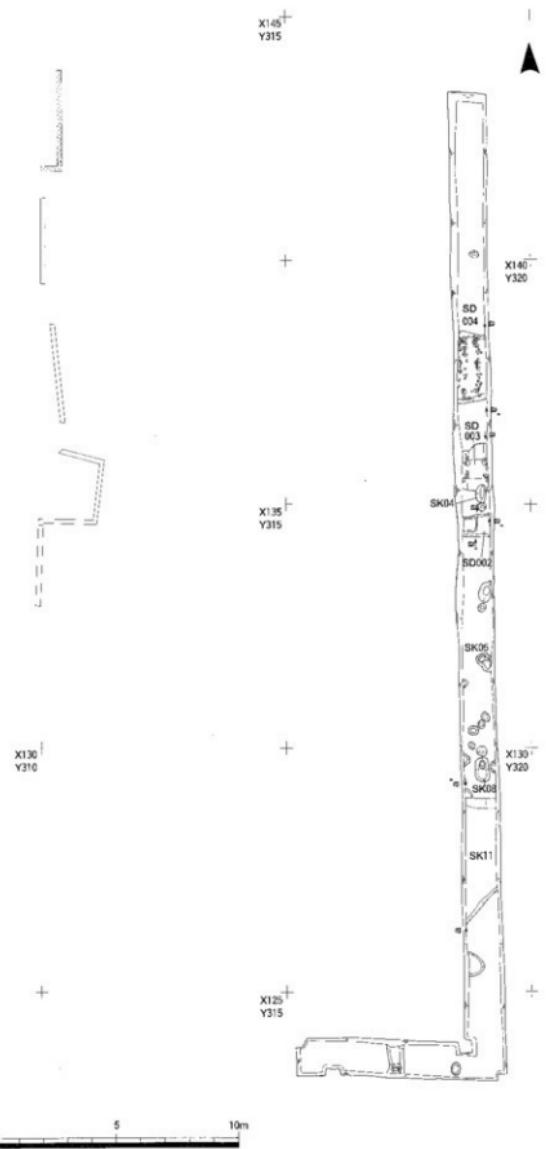
A7・A8・A9地区古代面土坑・溝実測図



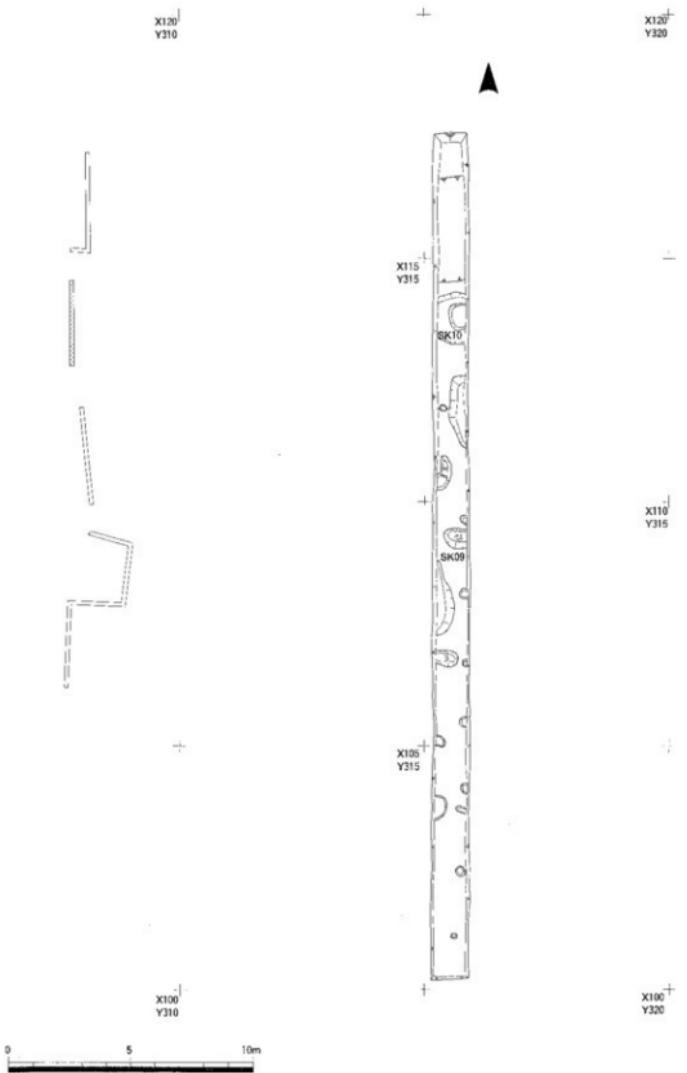
A10地区中・近世面遺構全体図 周壁土層断面図 中・近世面土坑・溝実測図



A11地区中・近世面遺構全体図 周壁土層断面図 中・近世面土坑・溝実測図



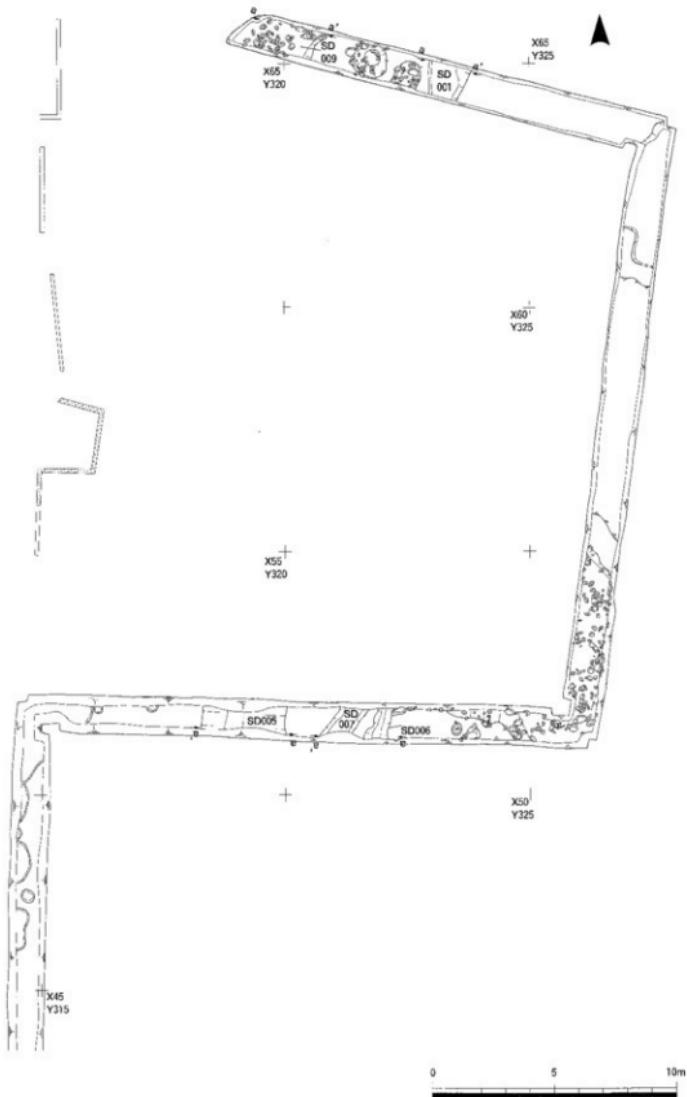
A12地区中・近世面遺構全体図（1）



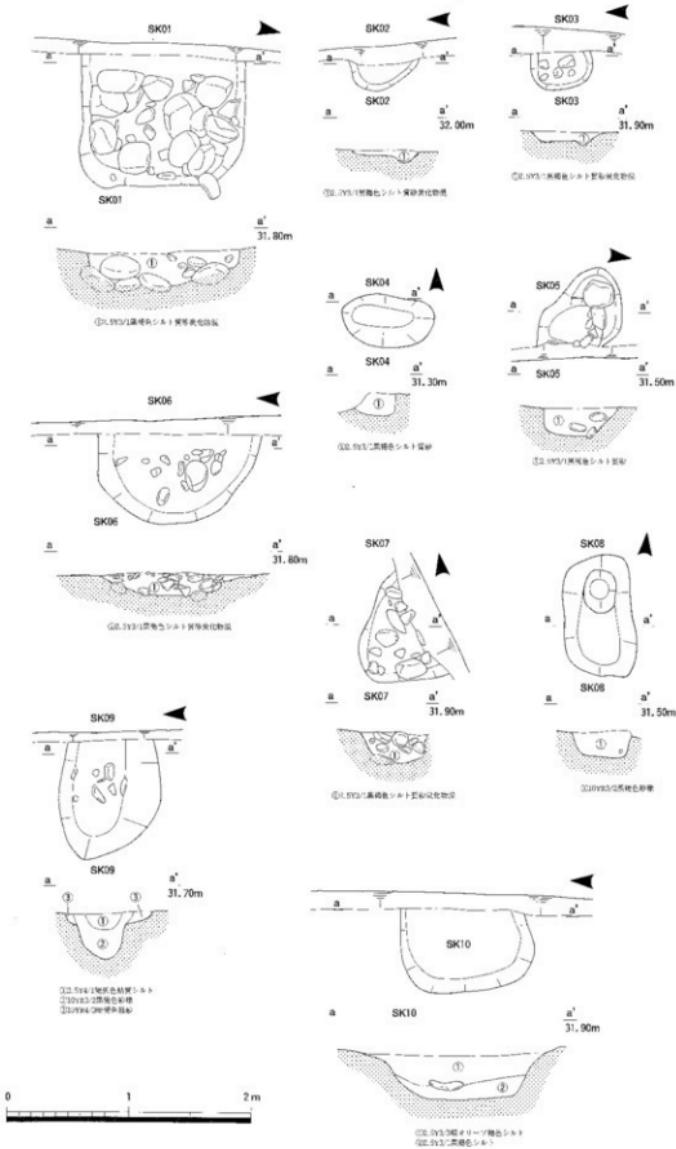
A12地区中・近世面遺構全体図（2）



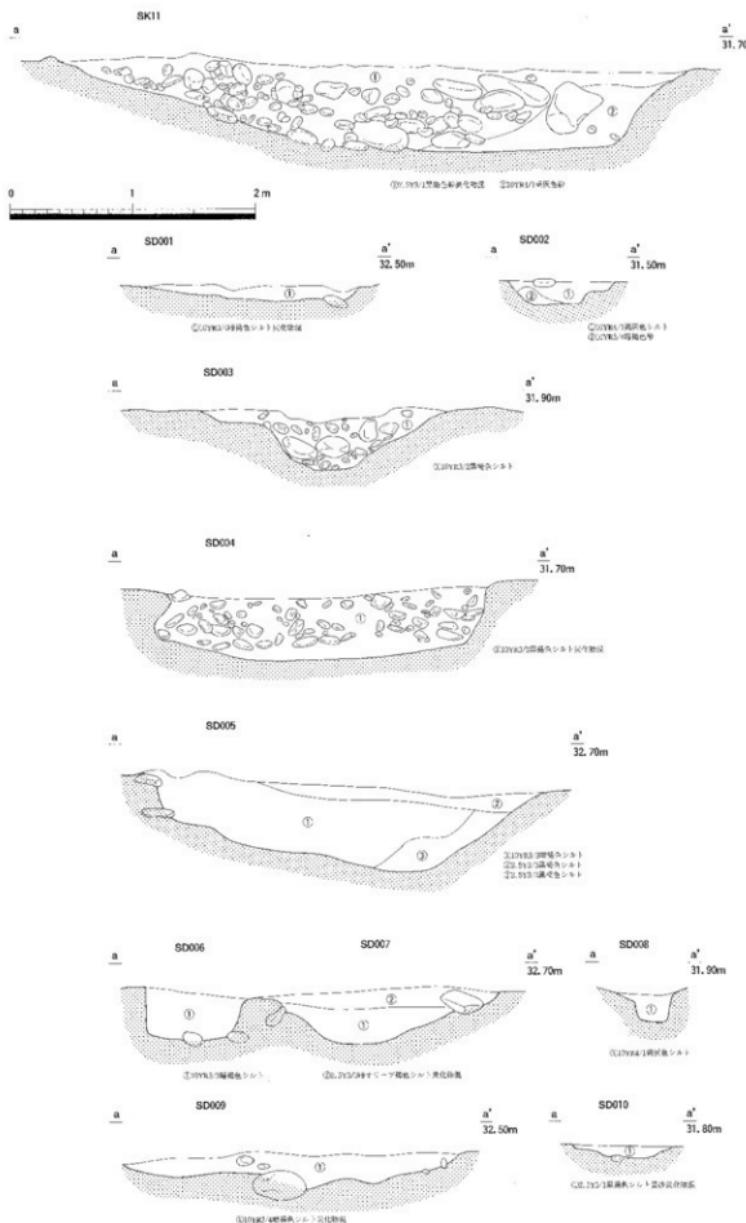
A12地区中・近世面遺構全体図（3）



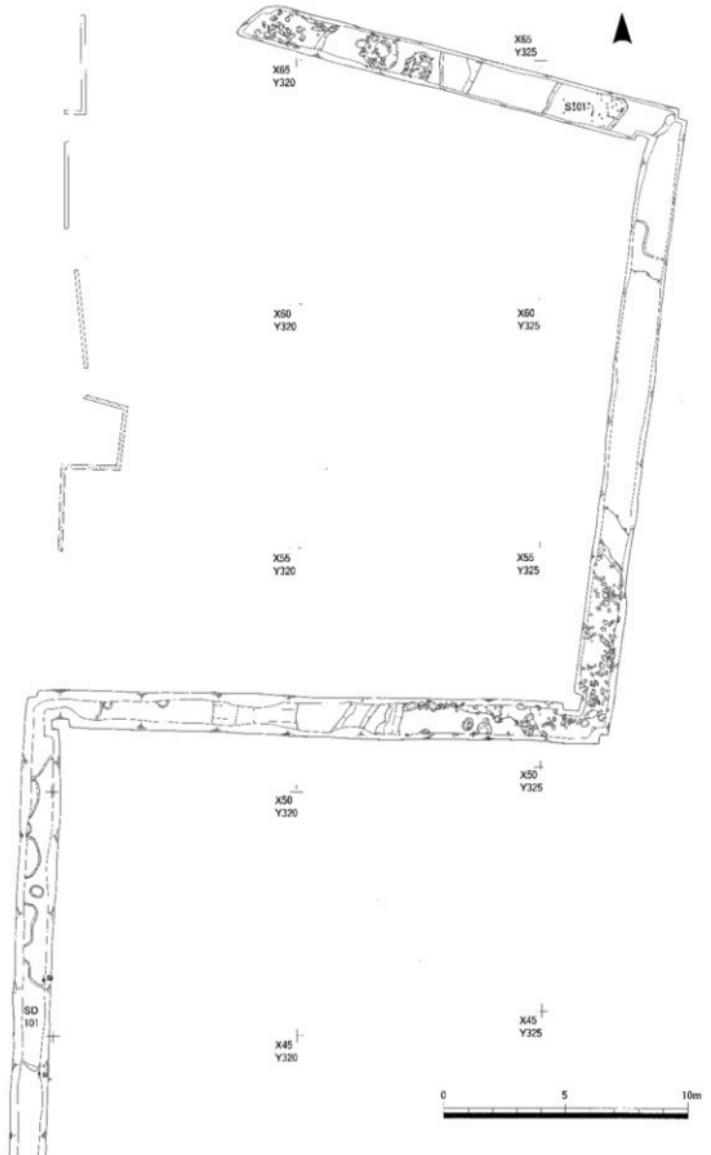
A12地区中・近世面遺構全体図（4）



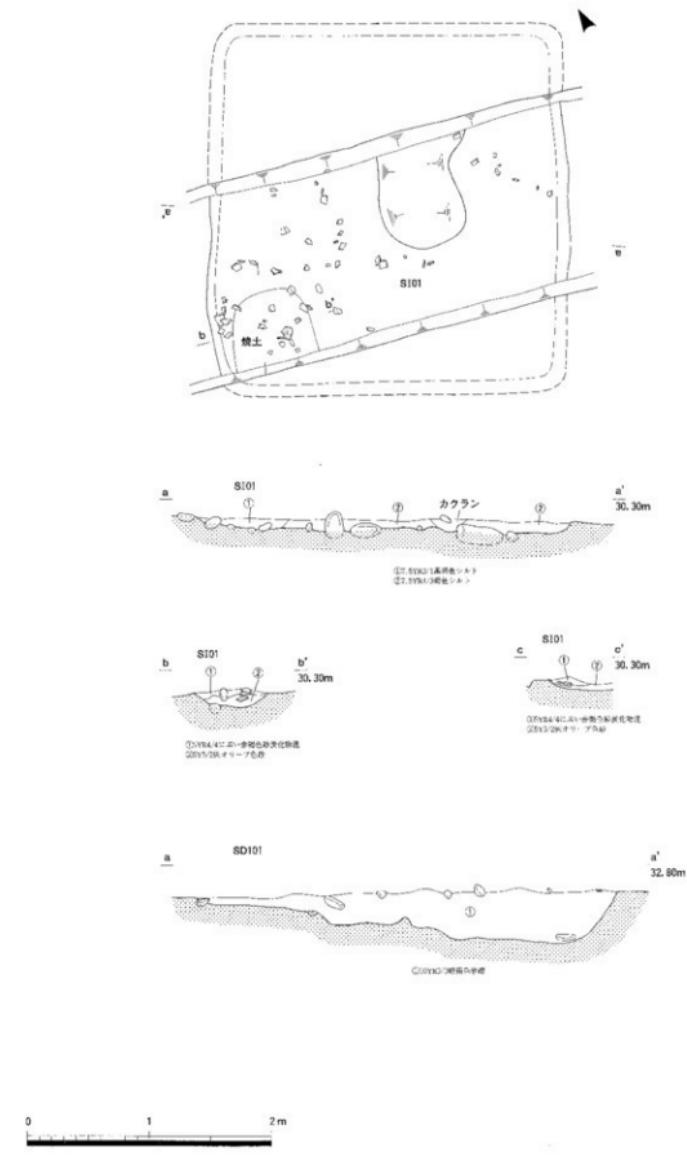
A12地区中・近世面土坑実測図 (1)



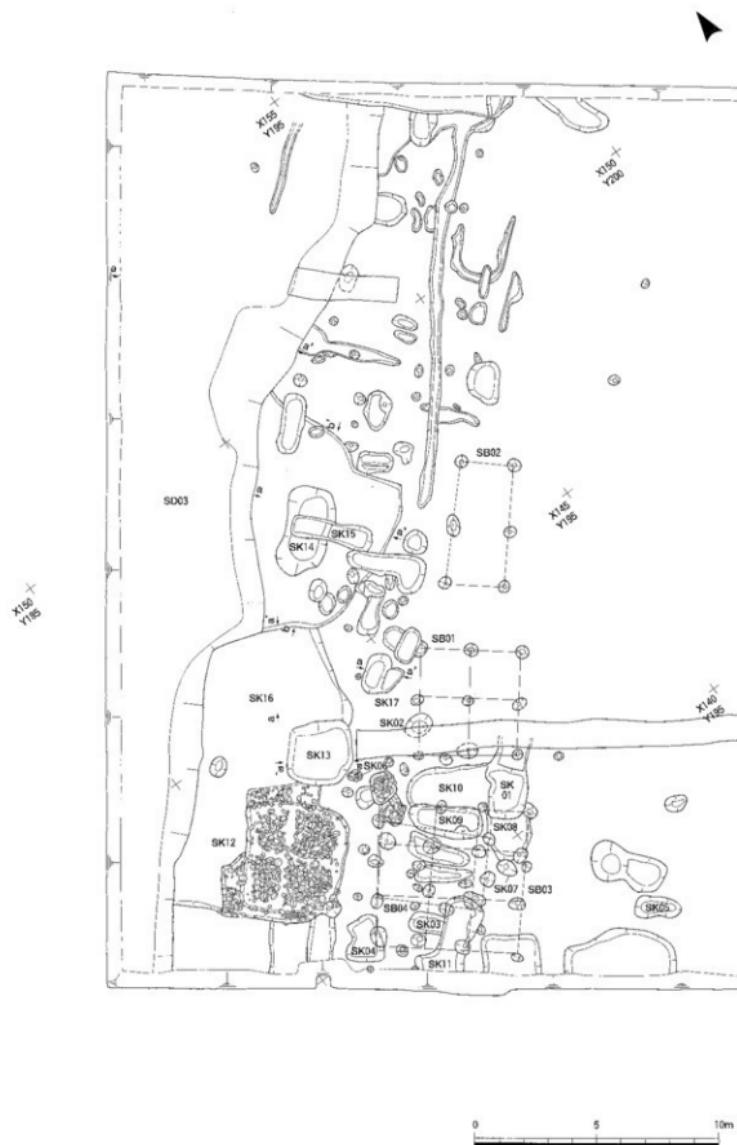
A12地区中・近世面土坑・溝実測図（2）



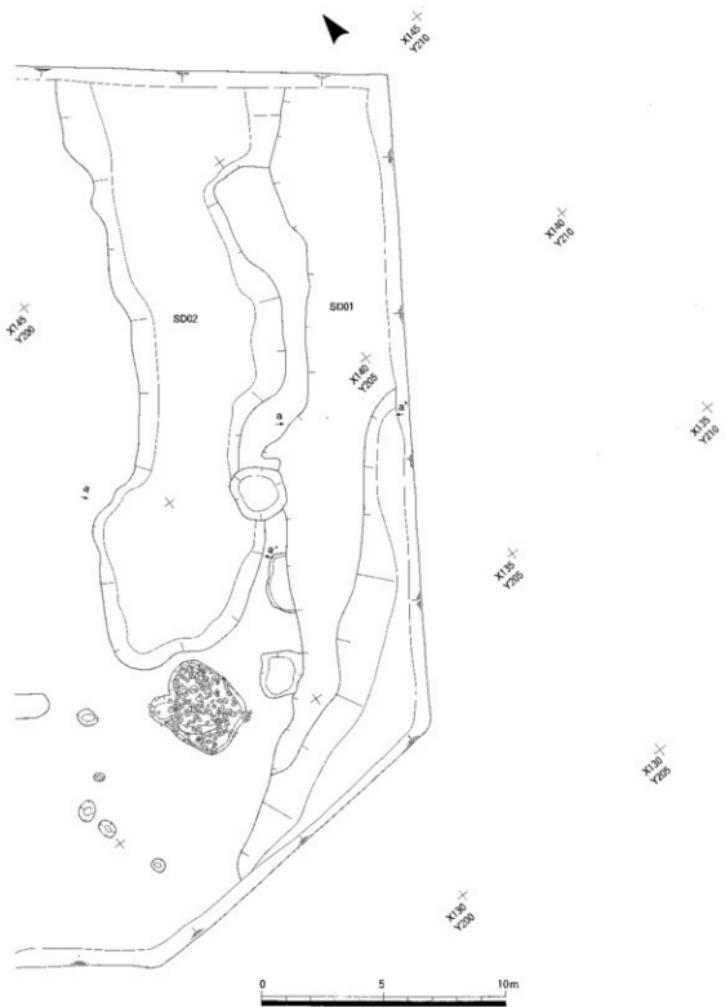
A12地区古代面造構全体図



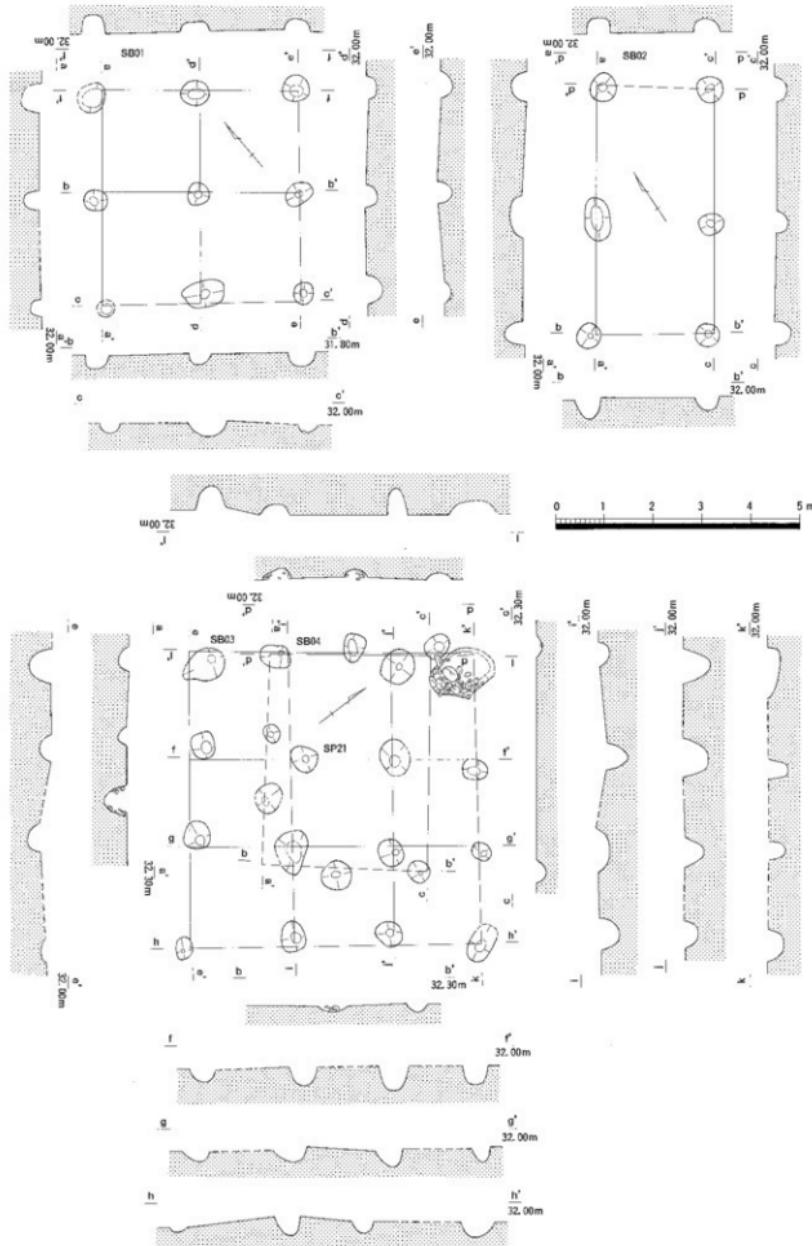
A12地区竪穴住居実測図 古代面溝実測図



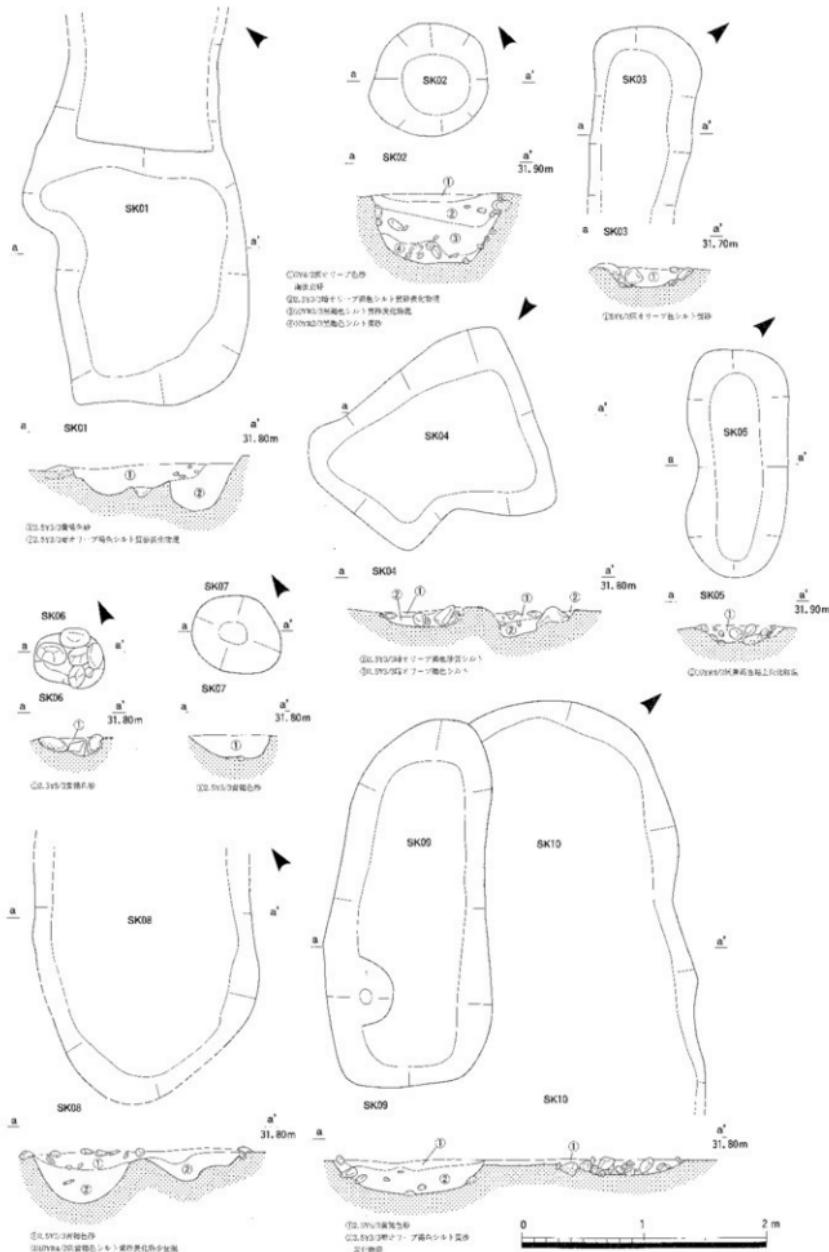
A13地区中・近世面遺構全体図（1）



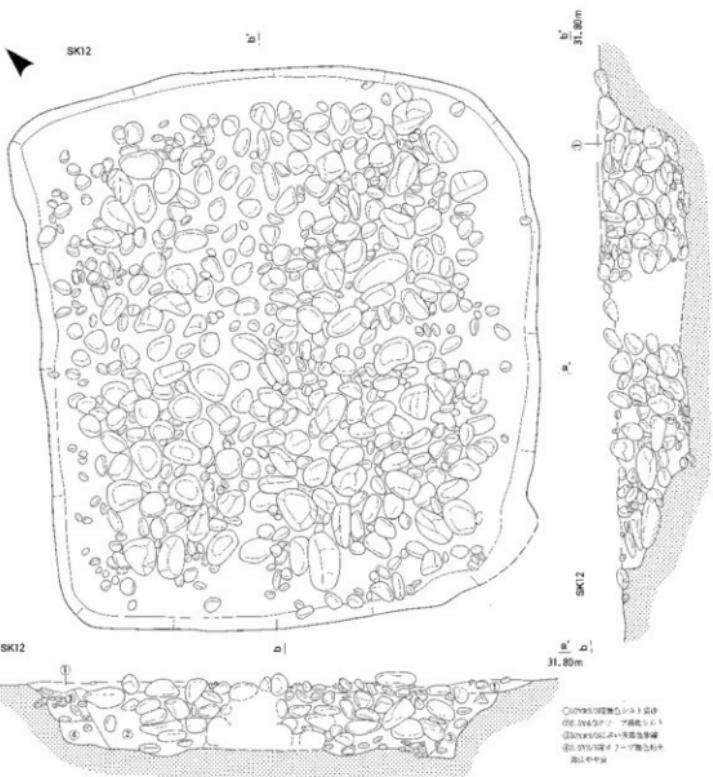
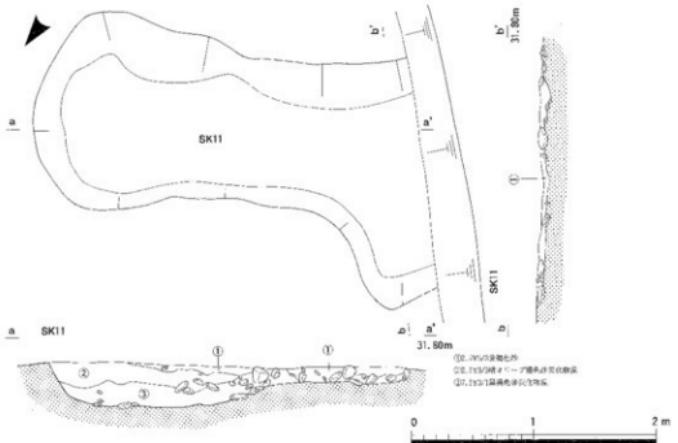
A13地区中・近世面遺構全体図（2）



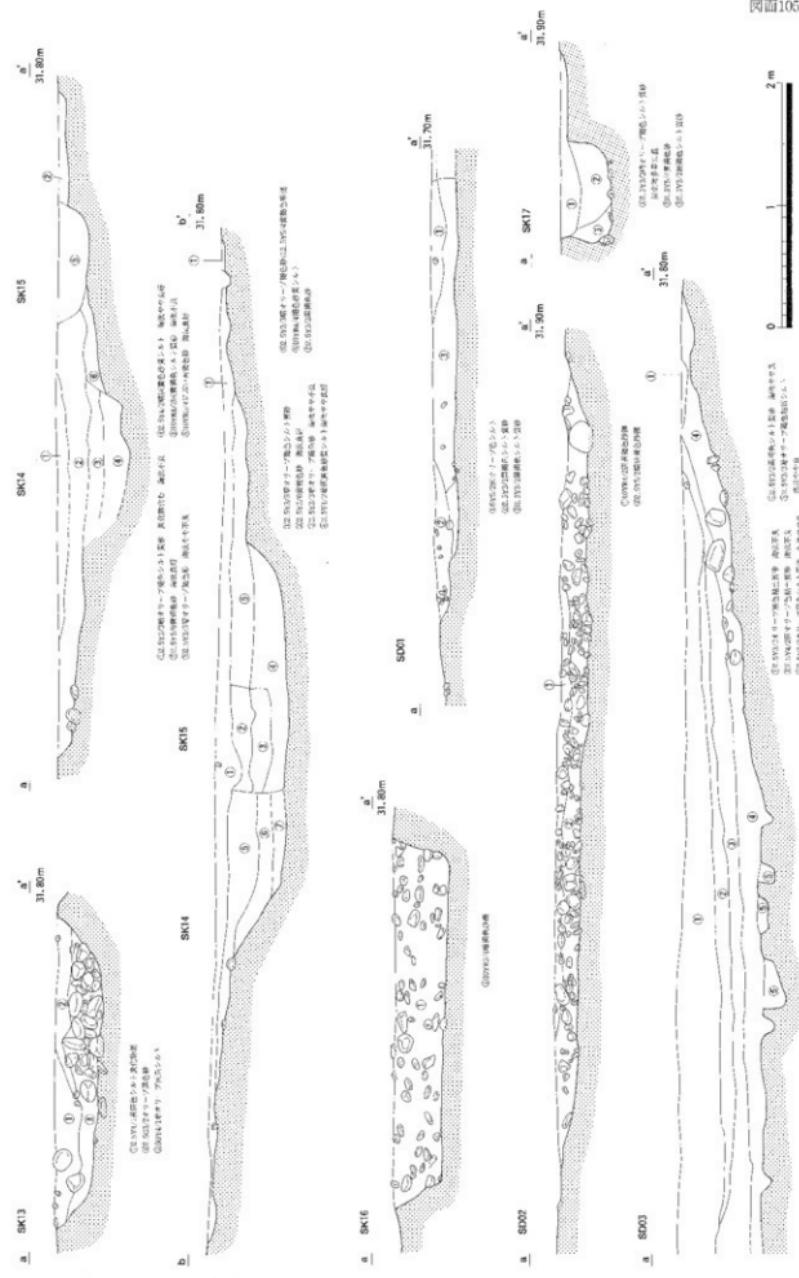
A13地区掘立柱建物実測図



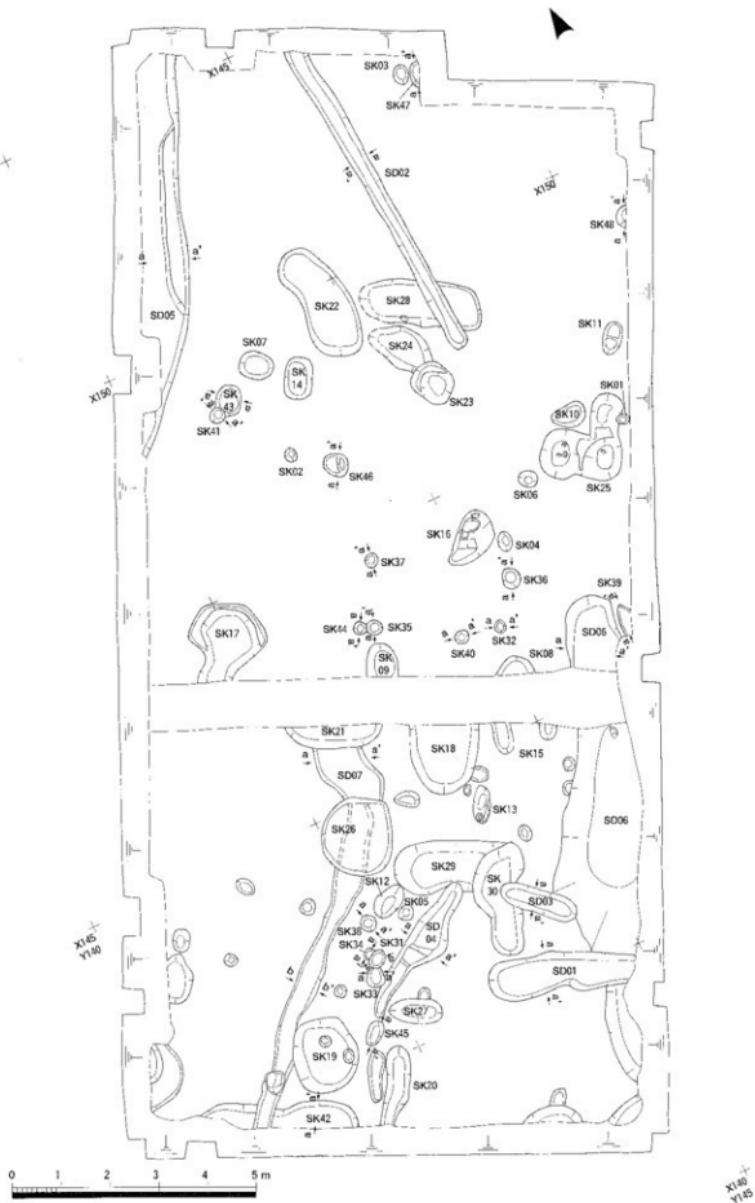
A13地区中・近世面土坑実測図 (1)



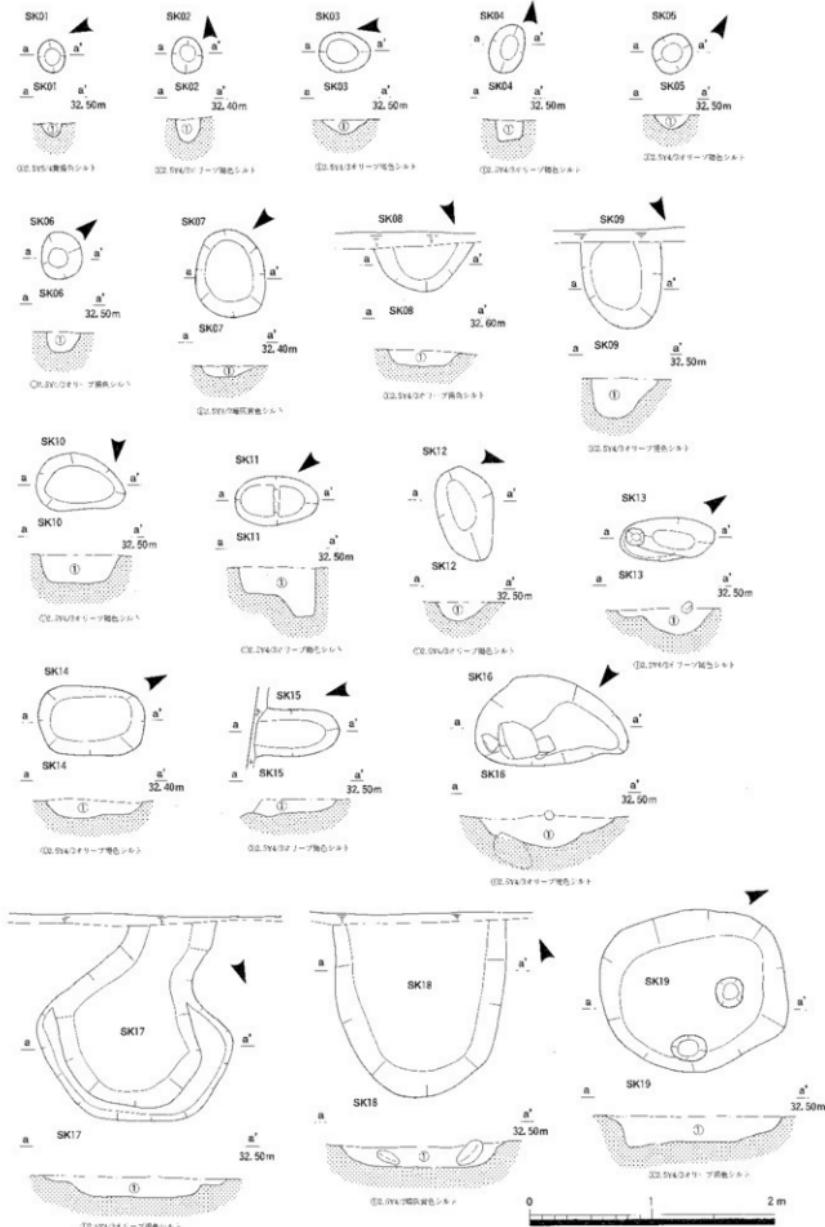
A13地区中・近世面土坑実測図（2）



A13地区中・近世面土坑(3)・溝窓測図

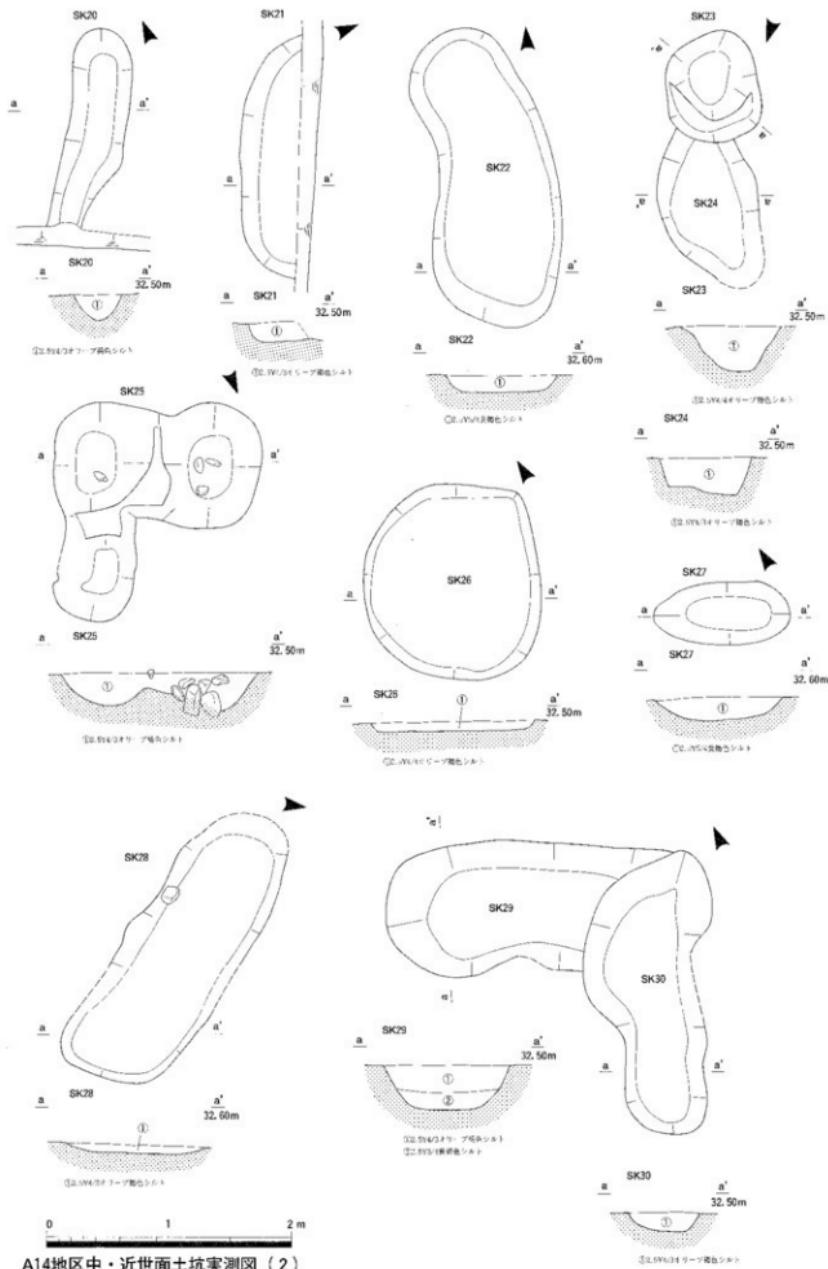


A14地区中・近世面遺構全体図

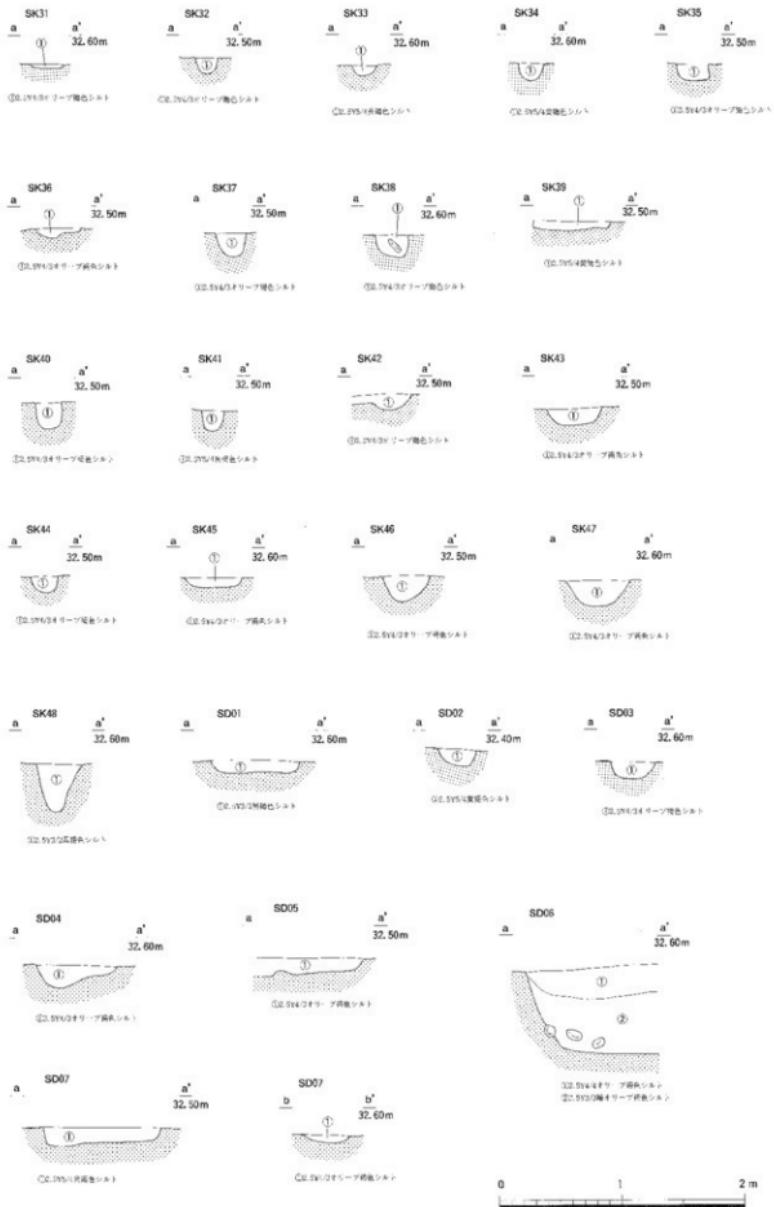


A14地区中・近世面土坑実測図（1）

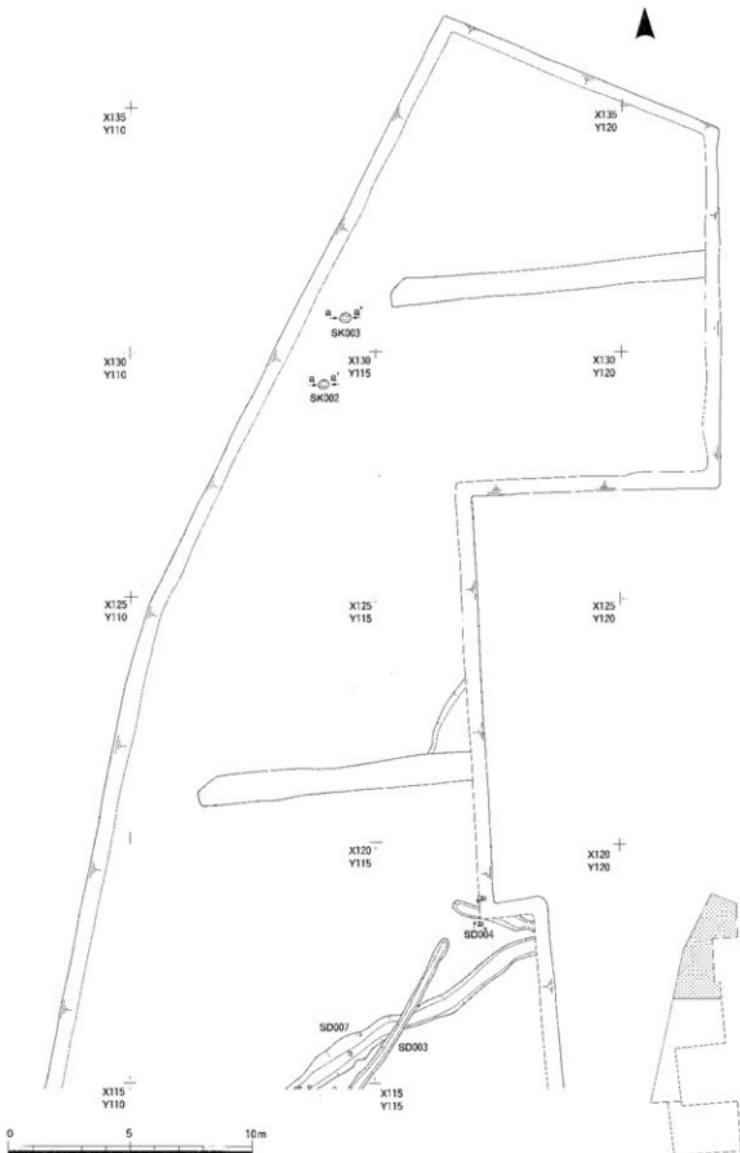
図面108



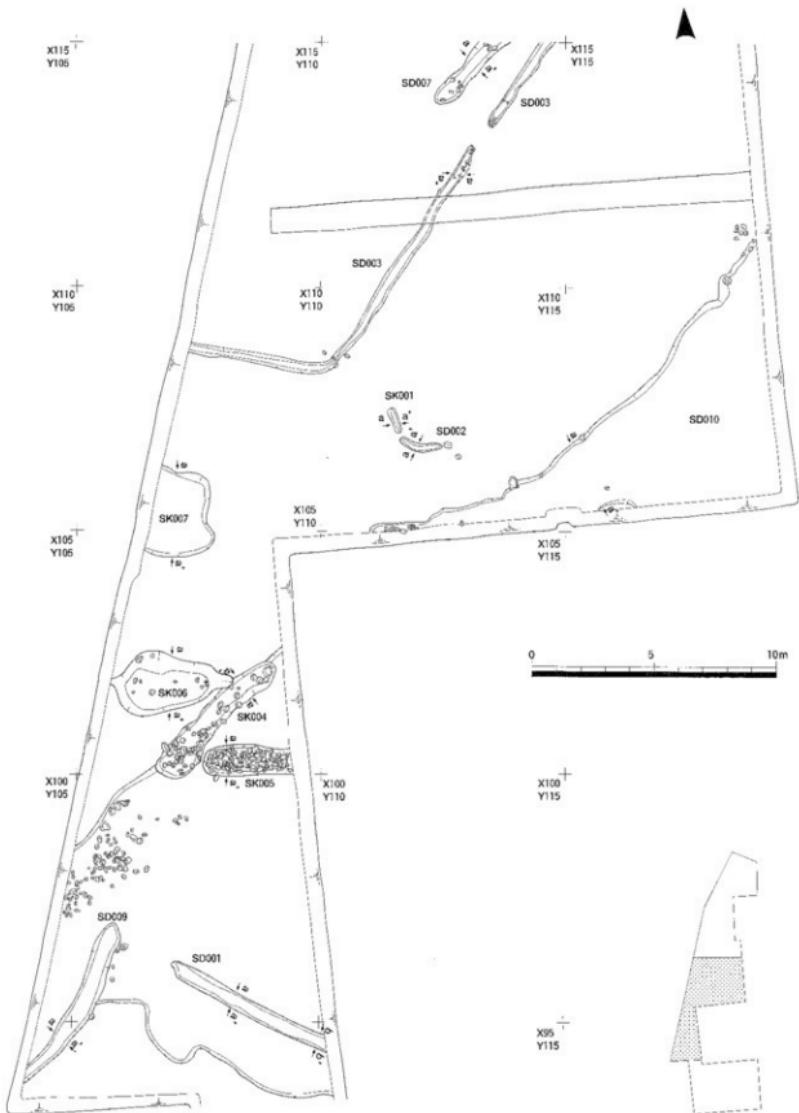
A14地区中・近世面土坑実測図(2)



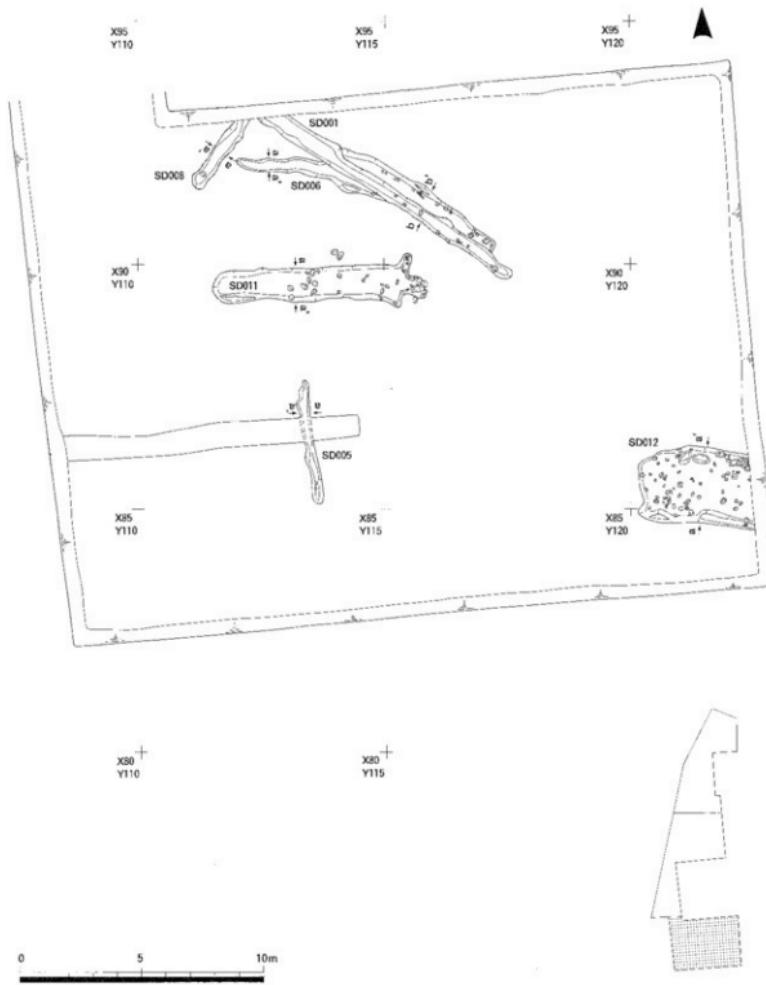
A14地区中・近世面土坑（3）・溝実測図



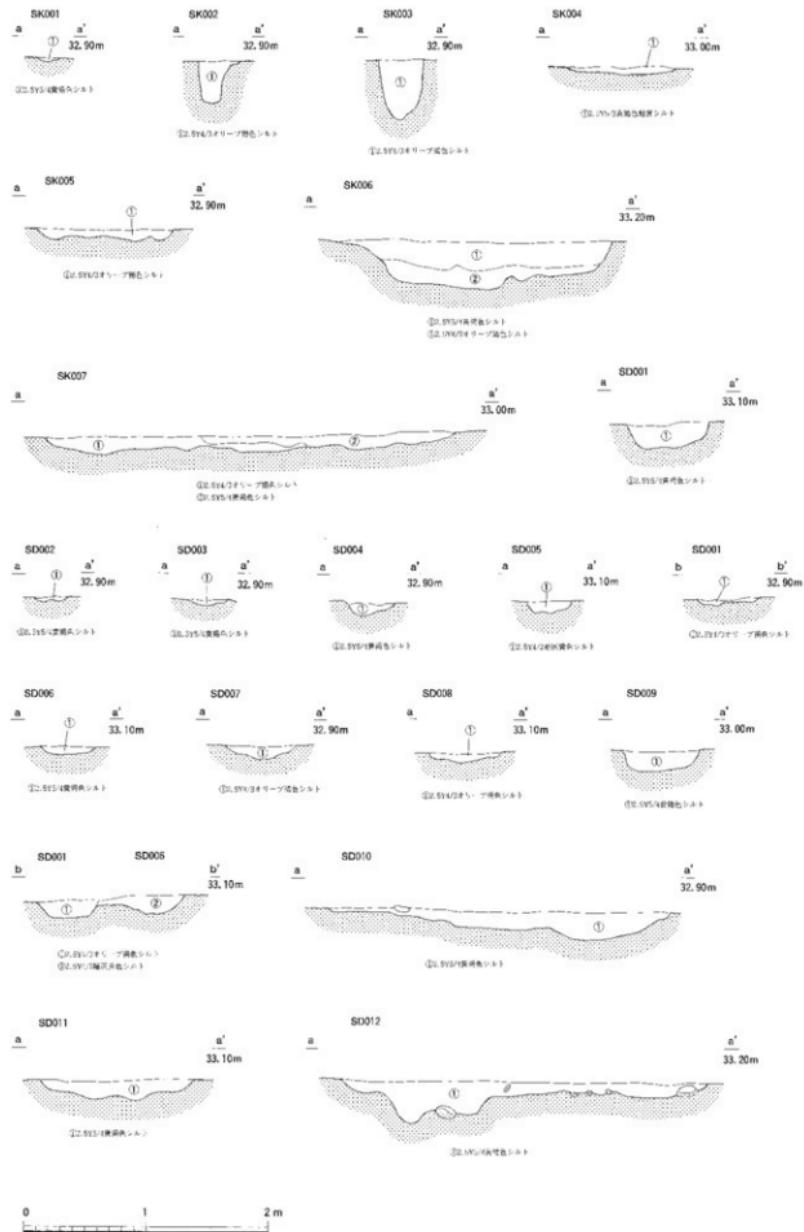
A15地区中・近世面遺構全体図（1）



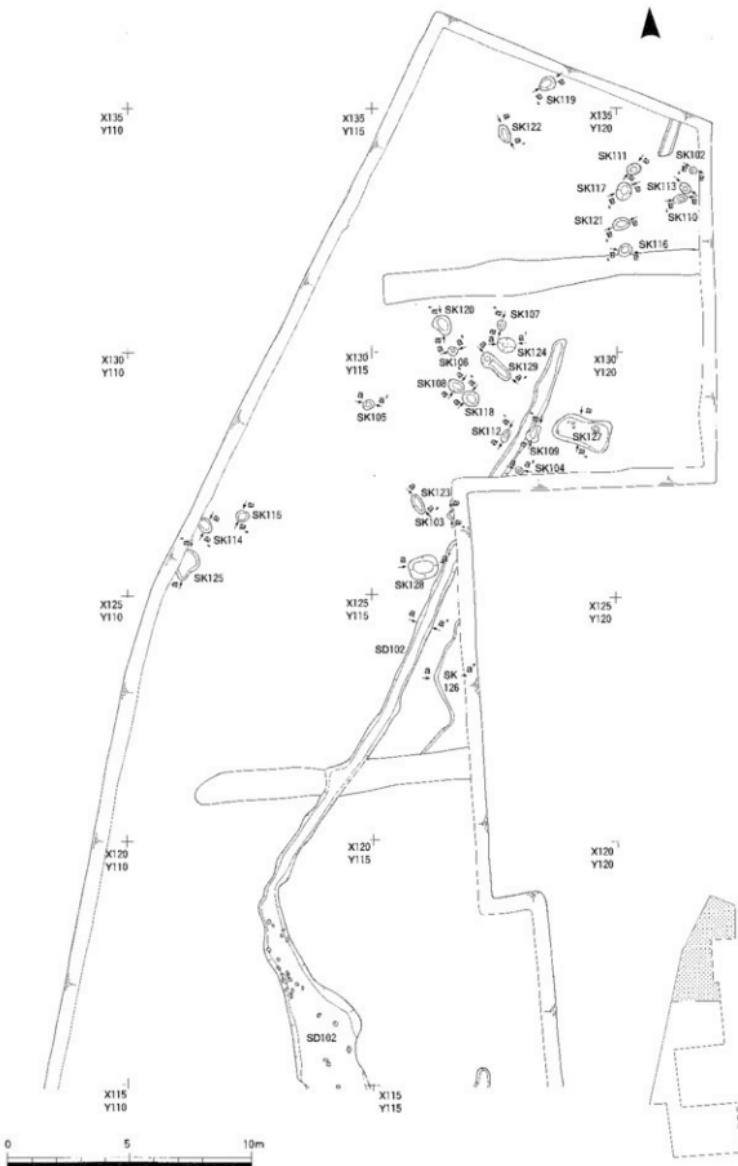
A15地区中・近世面構全体図（2）



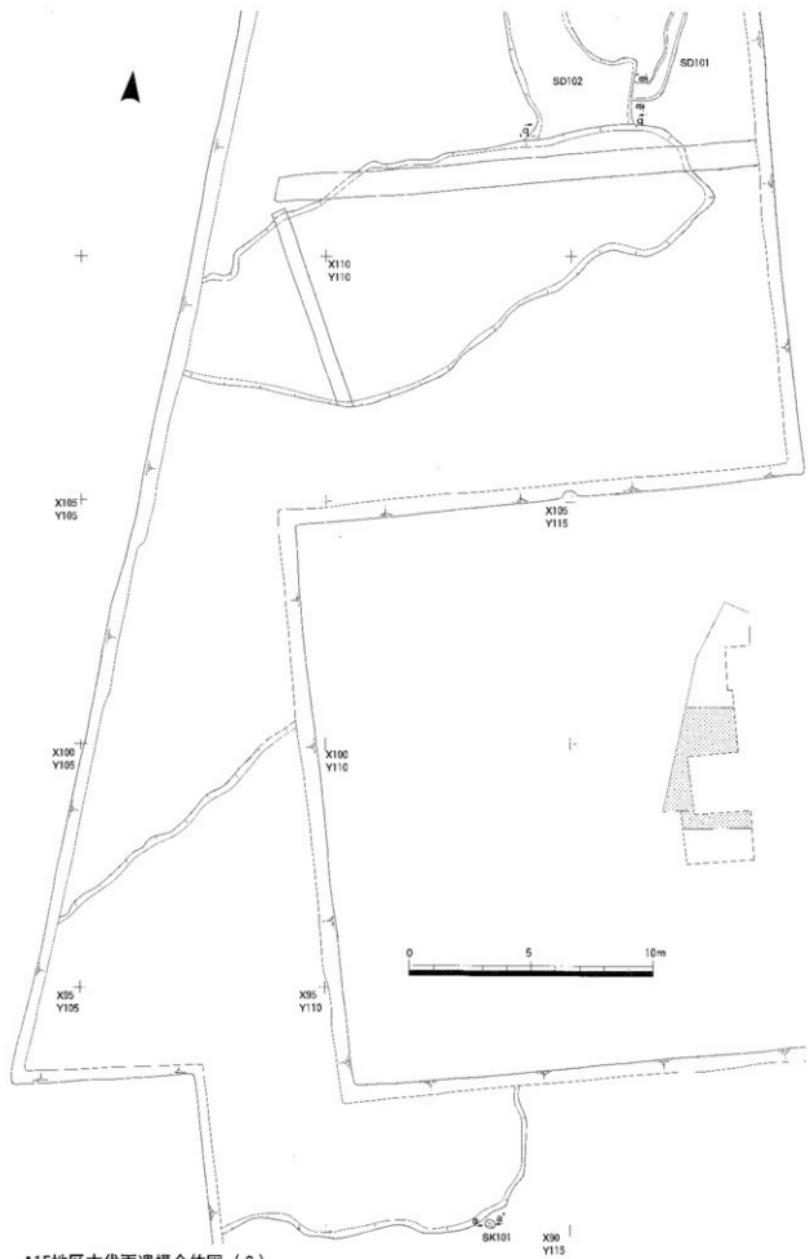
A15地区中・近世面遺構全体図 (3)



A15地区中・近世面土坑・溝実測図



A15地区古代面遺構全体図（1）

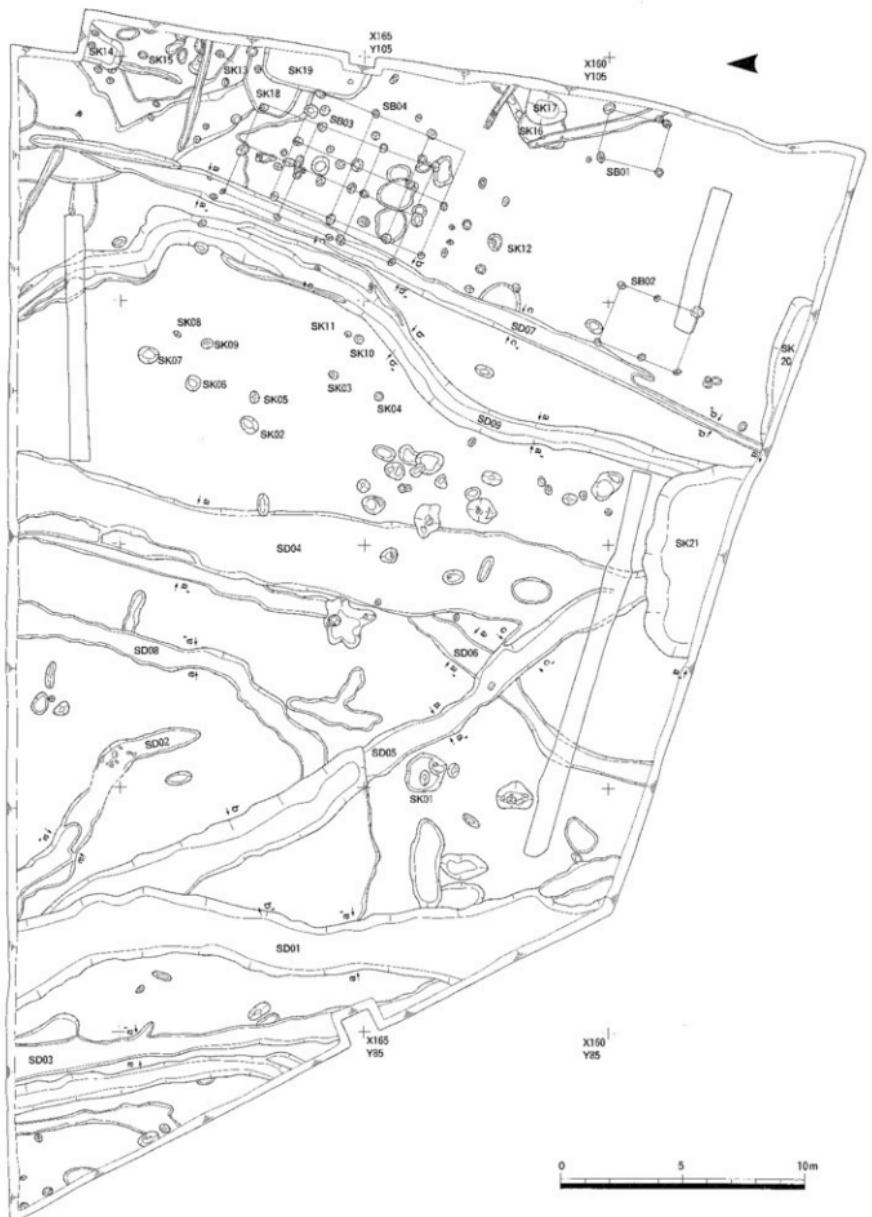


A15地区古代面遺構全体図（2）

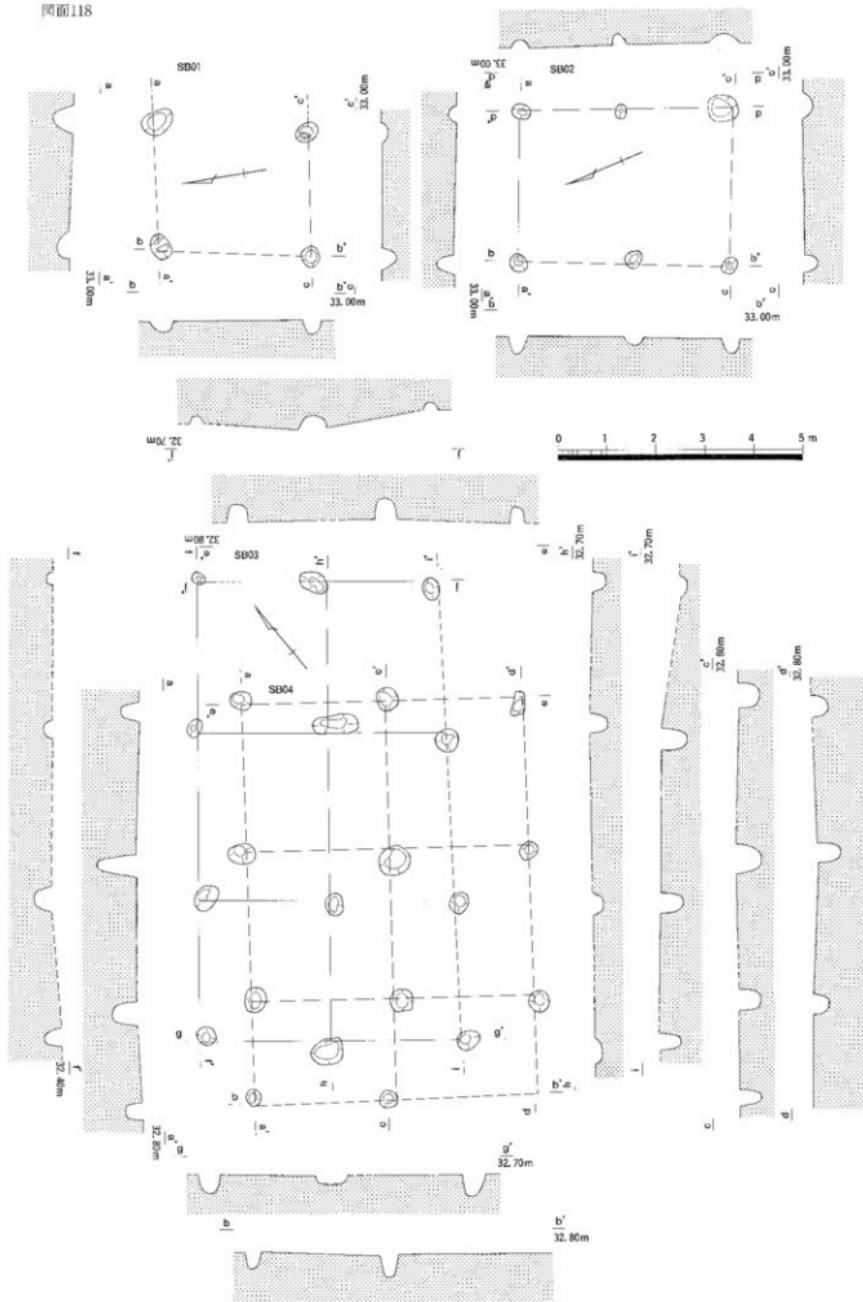
図面116



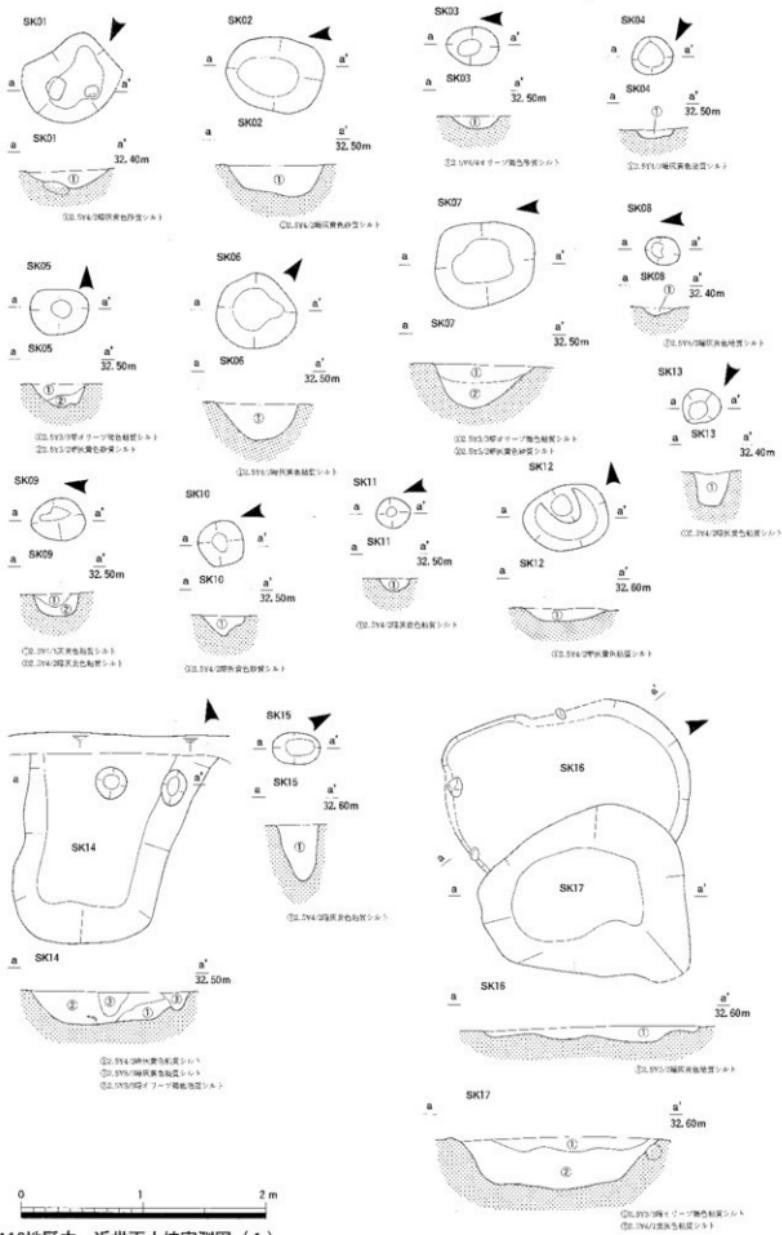
A15地区古代面土坑・溝実測図



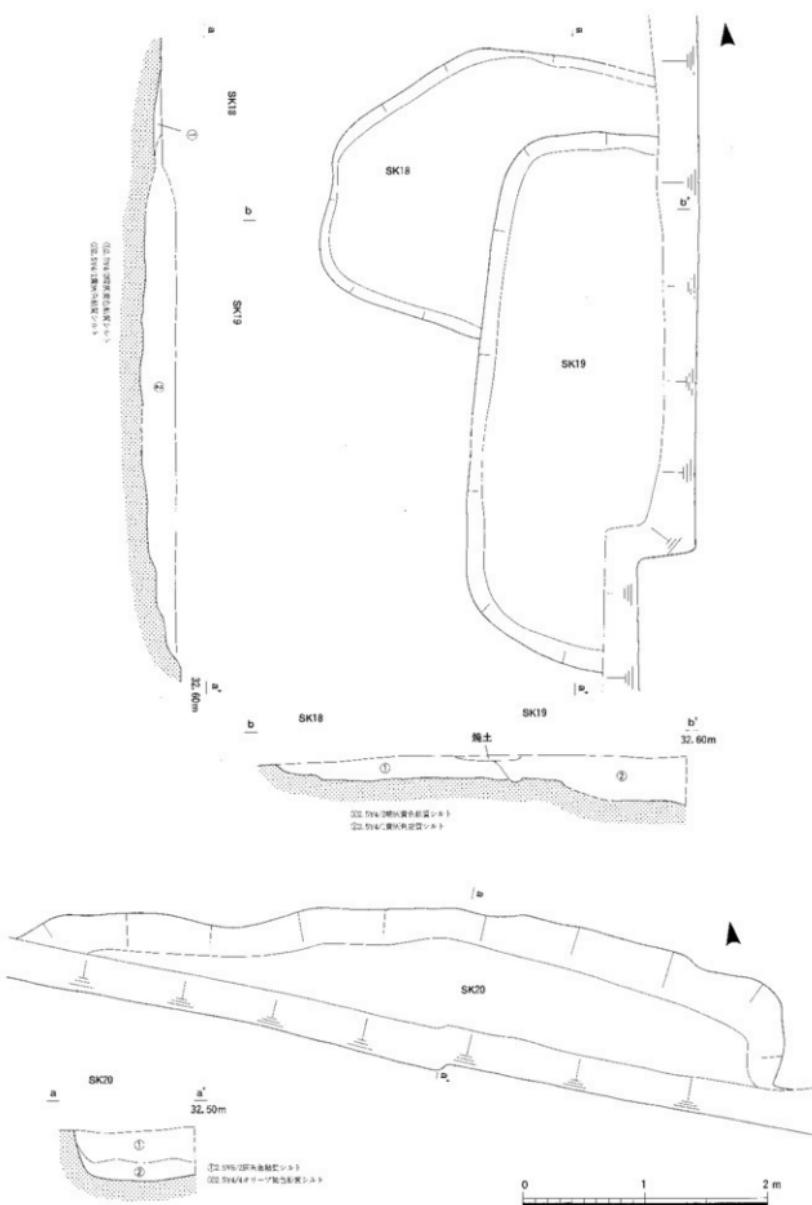
A16地区中・近世面遺構全体図



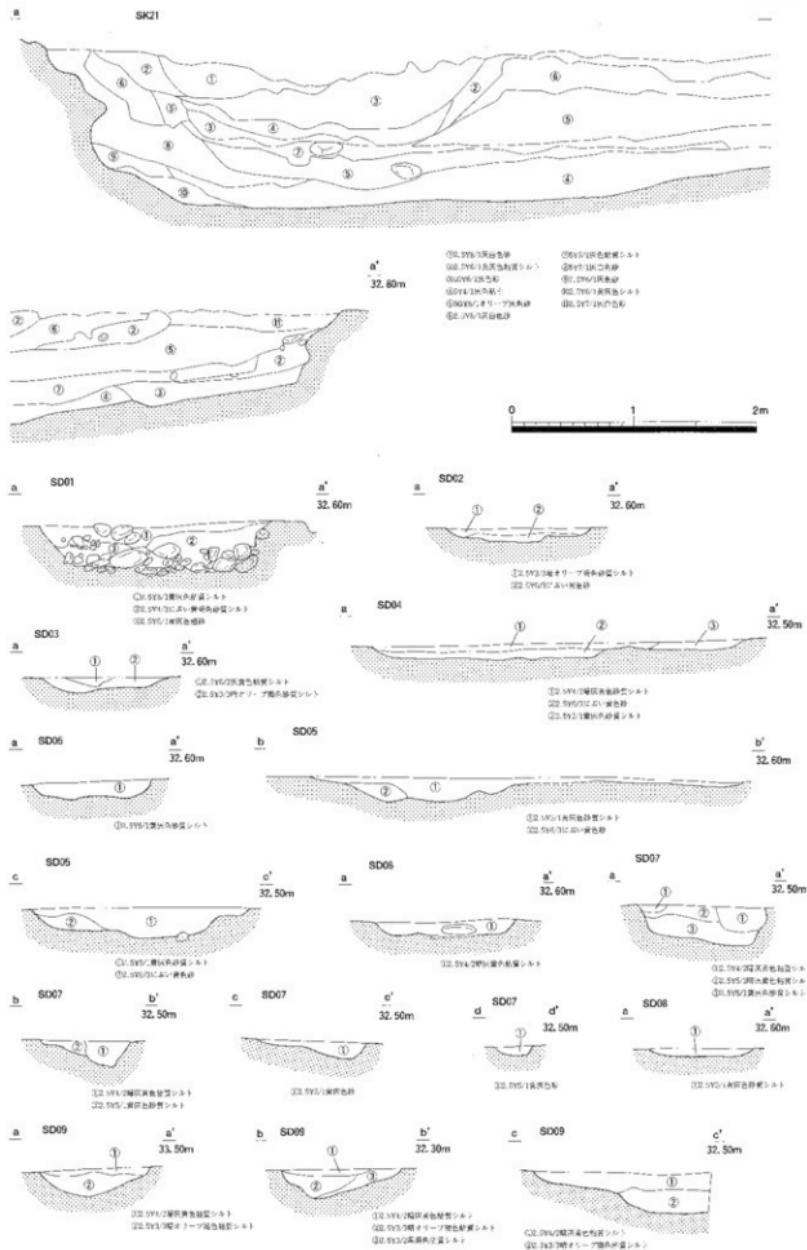
A16地区振立柱建物実測図



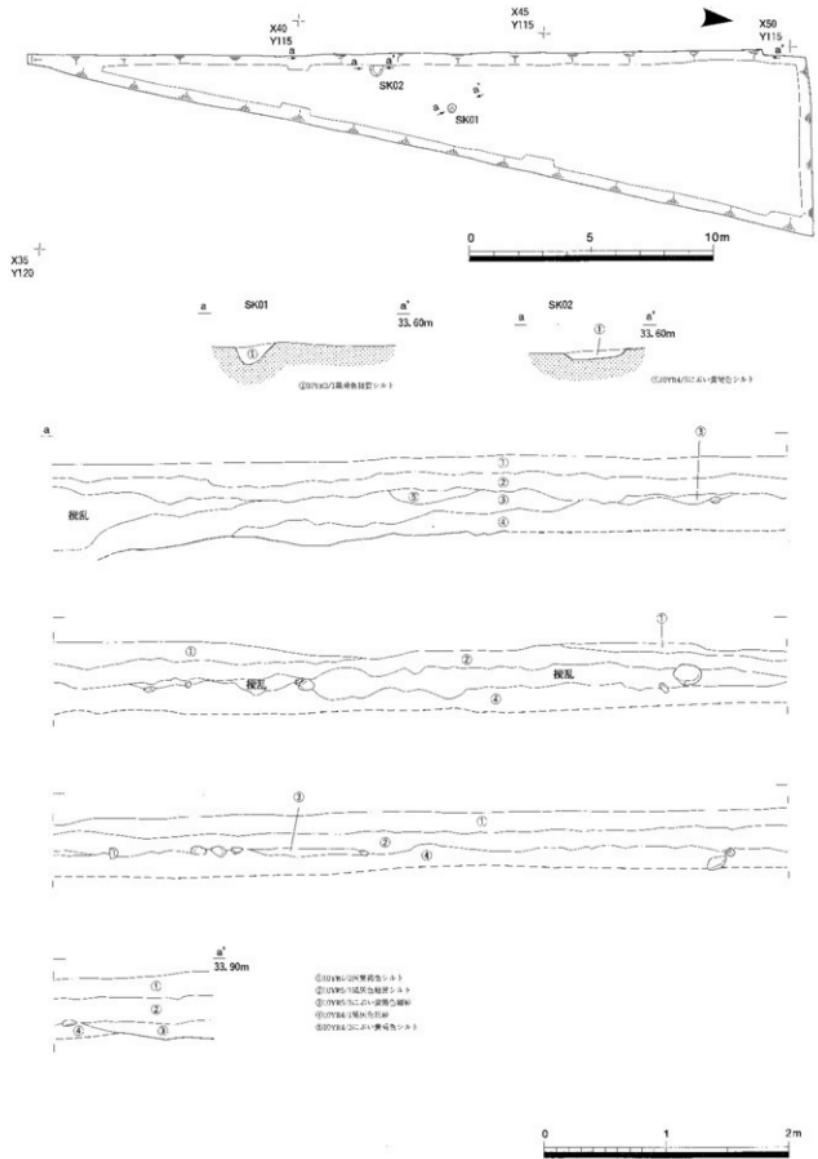
A16地区中・近世面土坑実測図（1）



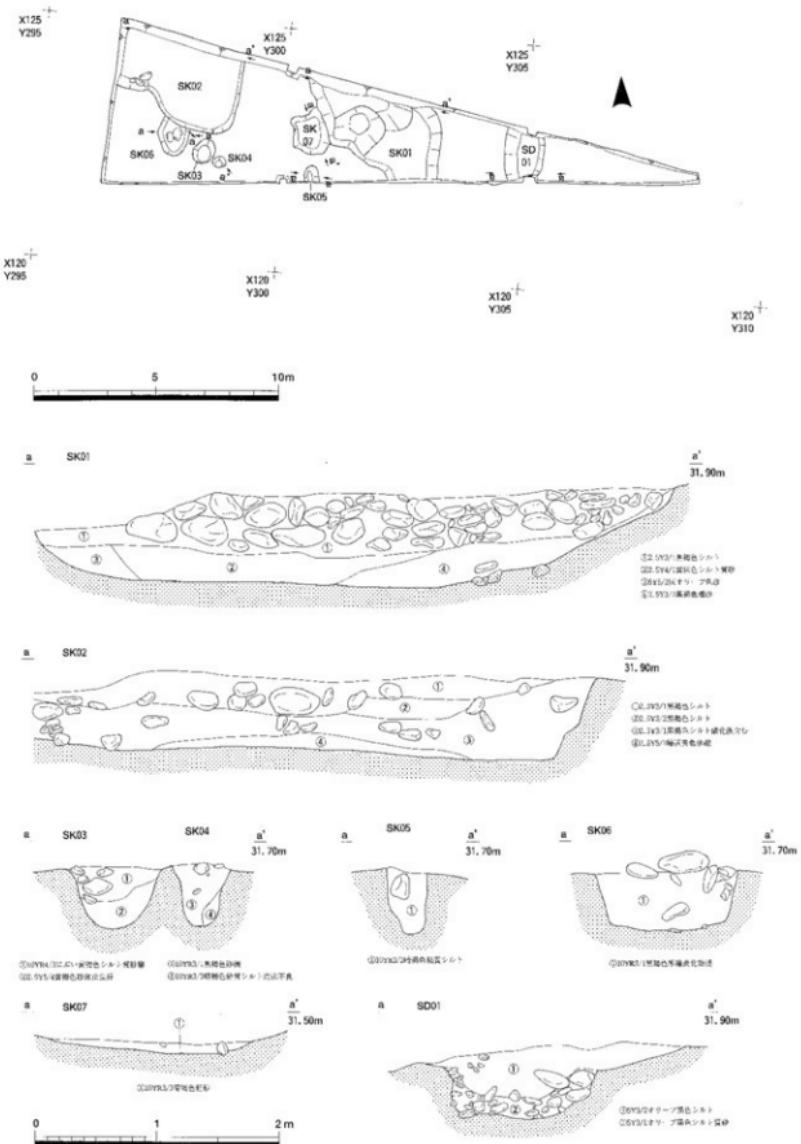
A16地区中・近世面土坑実測図（2）



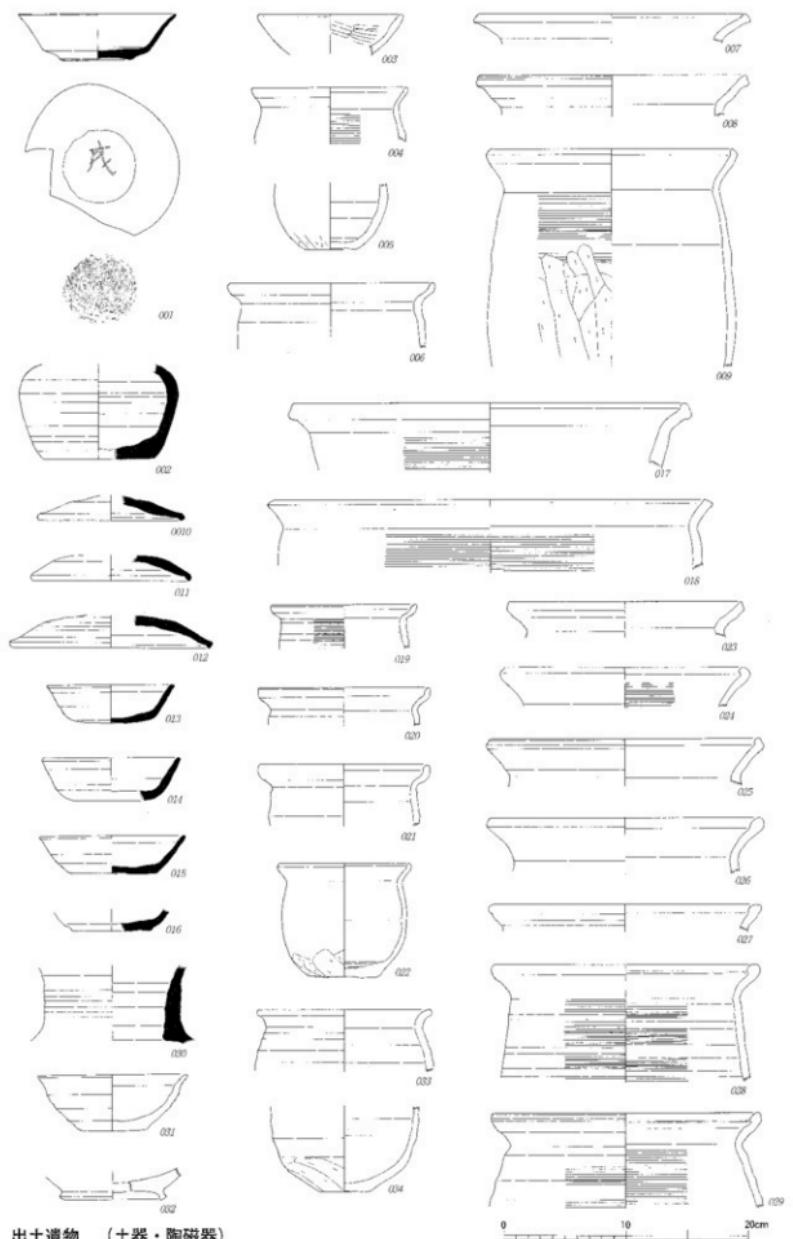
A16地区中・近世面土坑（3）・溝実測図



A17地区中世面遺構全体図 中世面土坑実測図 周壁土層断面図

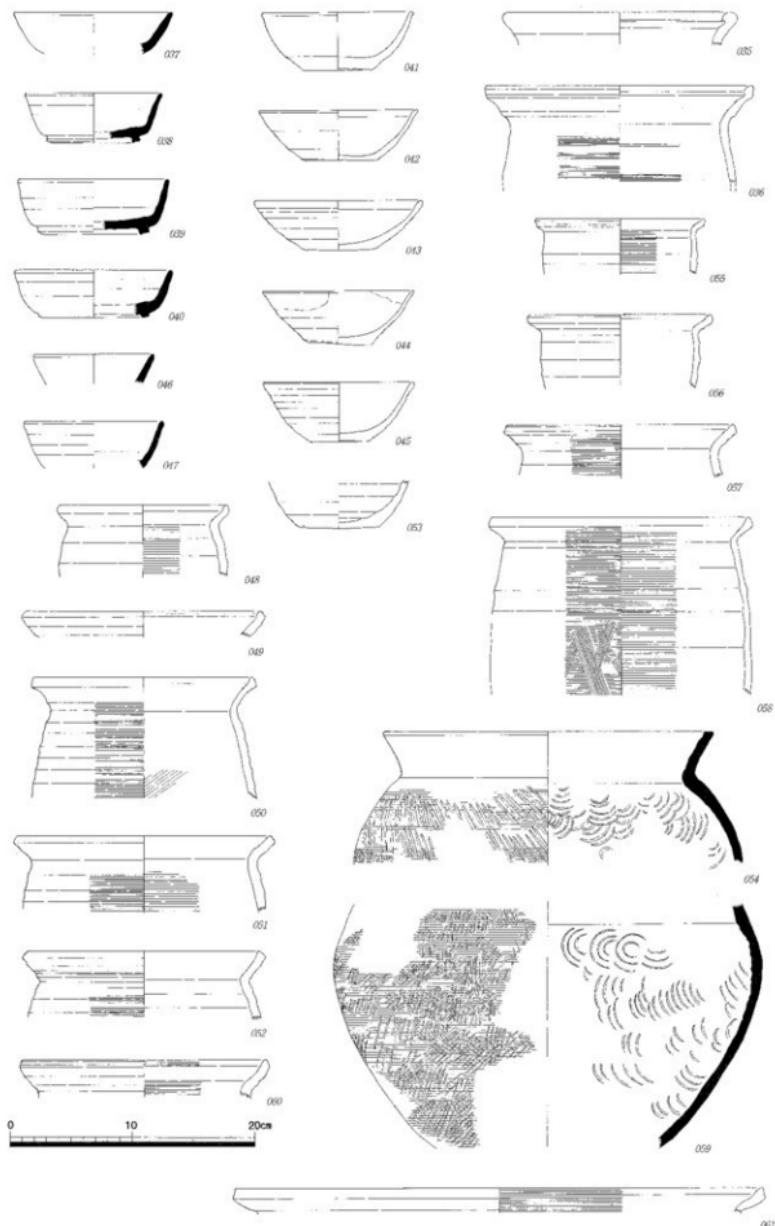


A18地区中・近世面遺構全体図 中・近世面土坑・溝実測図



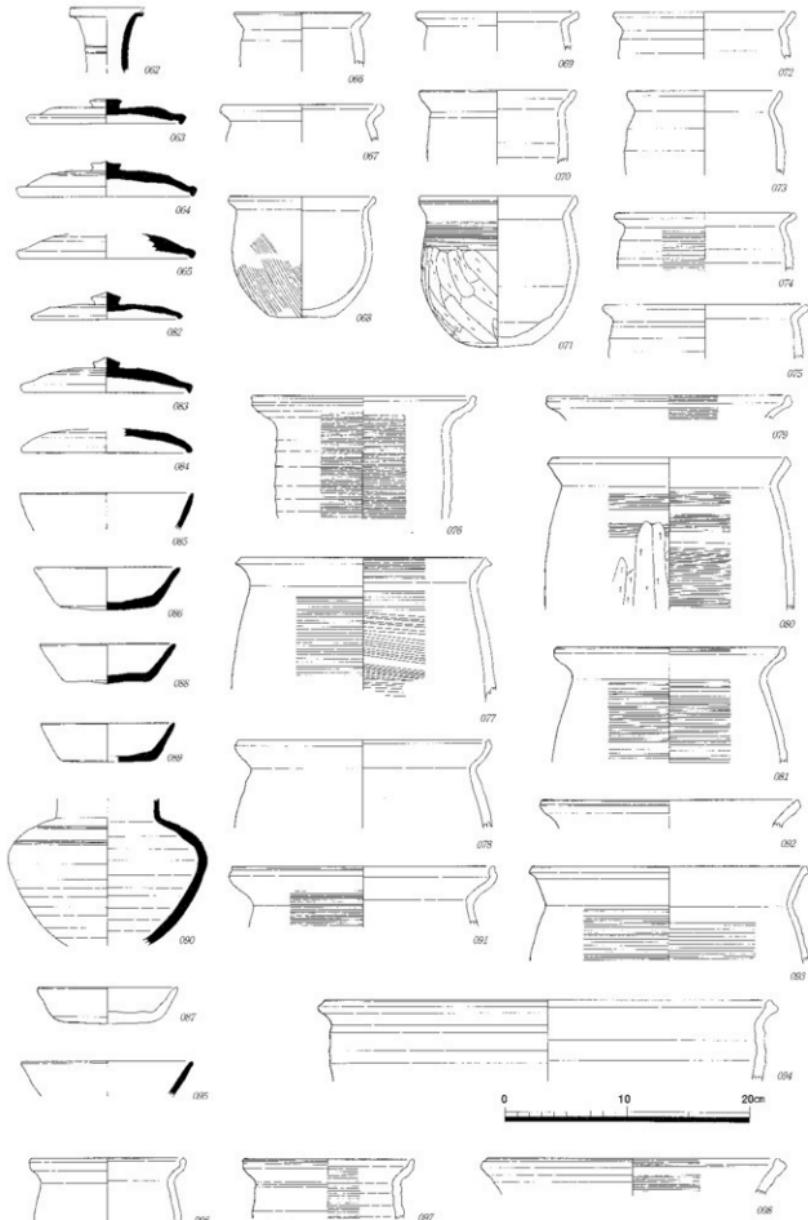
出土遺物（土器・陶磁器）

A 1 地区 SI01:001~009、017、018 SI02:010~016、019~029 SI03:030~034



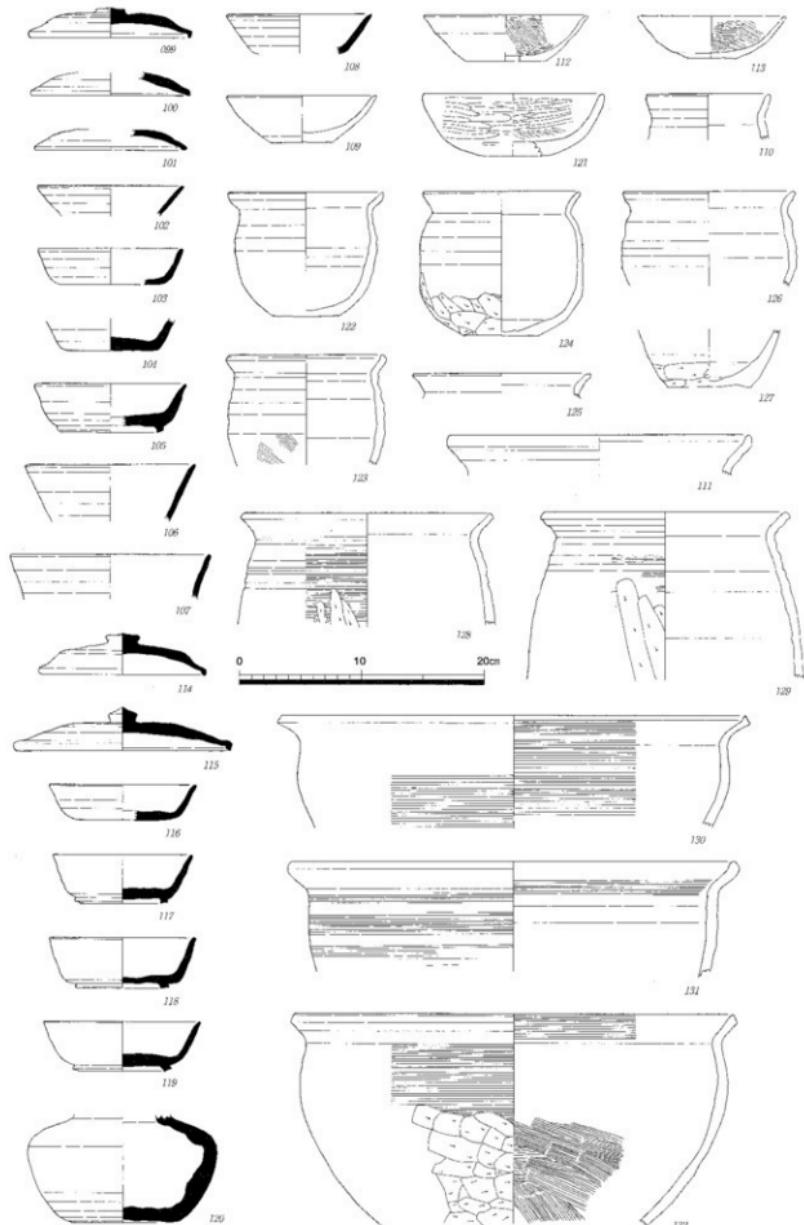
出土遺物 (土器・陶磁器)

A1地区 SI03:035、036 SI04:037~045 SI05:055~059 SI07:046~054 SI08:060、061



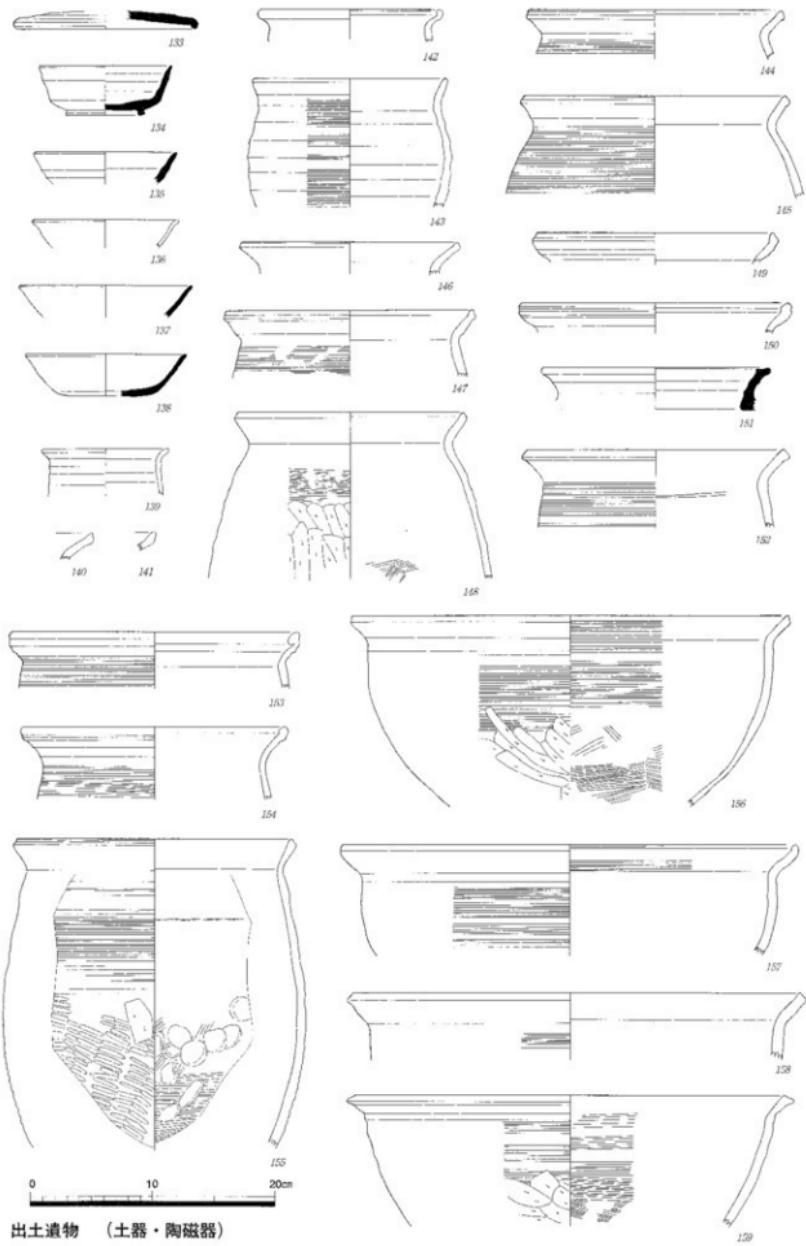
出土遗物 (土器・陶磁器)

A1地区 SI08: 062~081 SI09: 082~094 SI10: 095~098



出土遺物（土器・陶磁器）

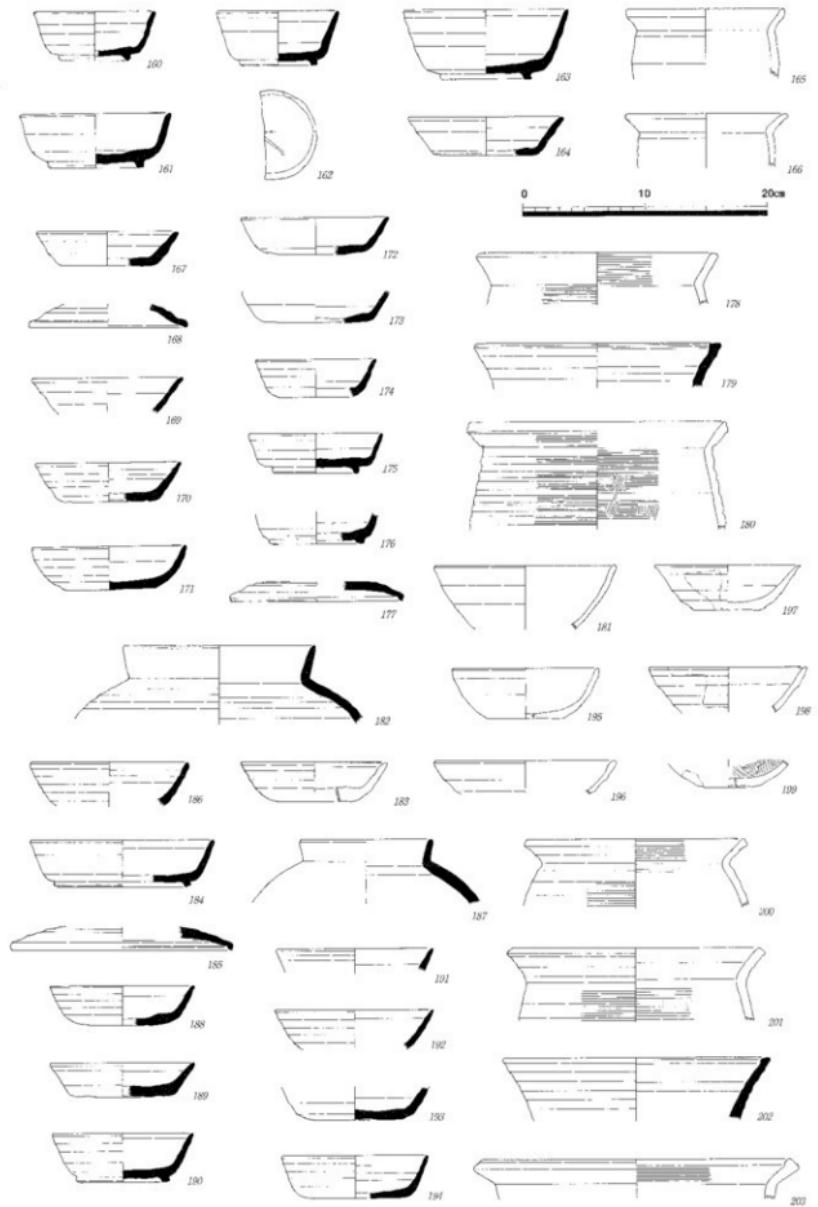
A1地区 SH10: 112, 113 SH11: 099~111 SH12: 114~119 SH13: 120~132



出土遗物 (土器・陶磁器)

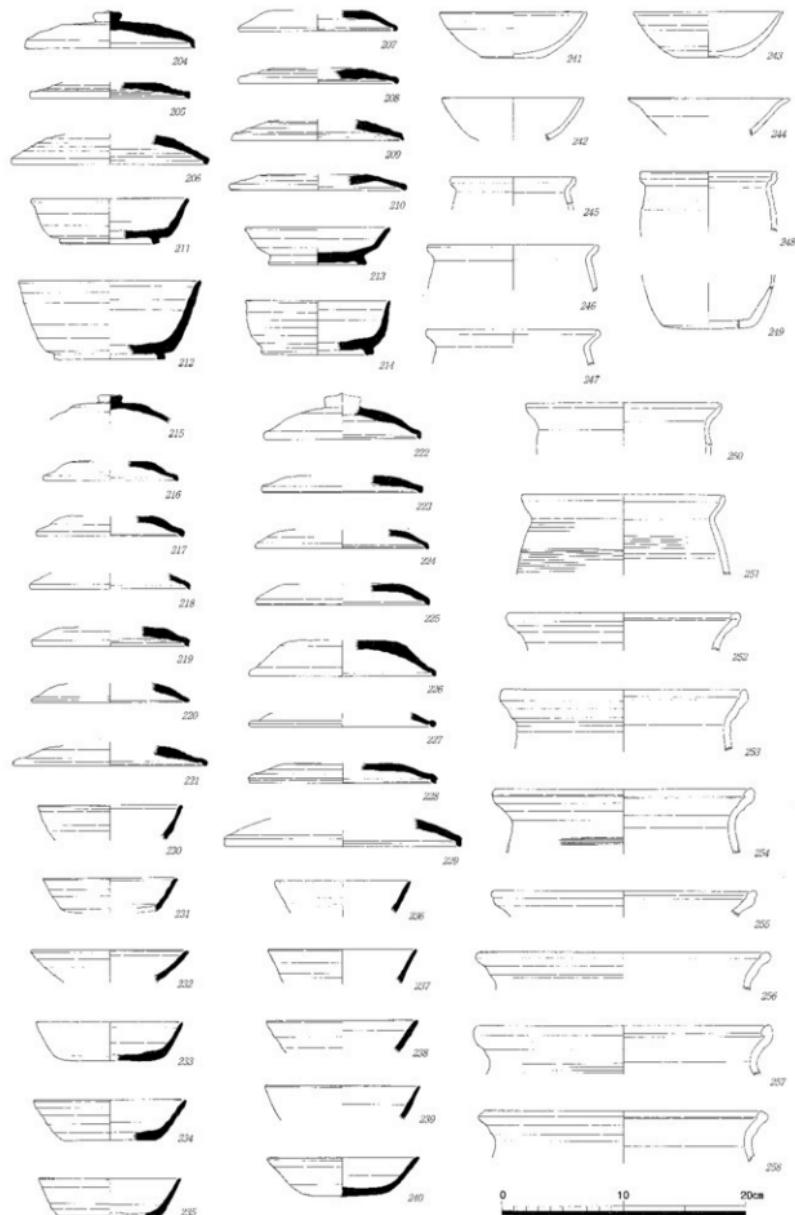
A1地区 SH15:142~145 SH13:156 SH14:157

A4地区 SH16:133,158 SH17:134,140,141,149 SH18:159 SH19:150 SH20:151,152 SH21:146~148 SH22:135,136
SH24:137~139,153~155



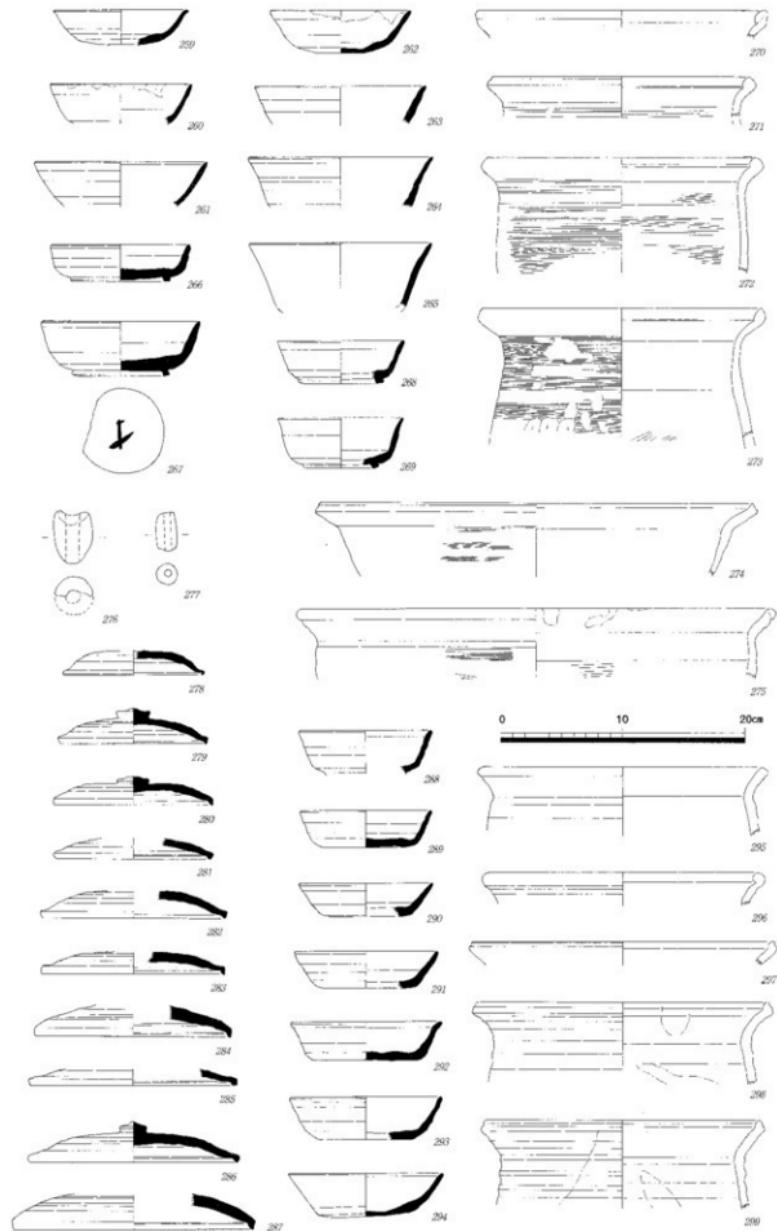
出土遺物 (土器・陶器)

A1 地区 SK209 : 160 SK218 : 165 SK224 : 178 SK235 : 166 SK236 : 162 SK239 : 161, 163, 164 SD102 : 167
 SD104 : 179 SD106 : 168~171 SD108 : 182 SD112 : 183 SD116 : 172, 173 SD118 : 174, 175, 180
 SD121 : 176 SD143 : 177, 181 SD157 : 186 SD159 : 184 SD161 : 185 SD162 : 187 SD163 : 188~203



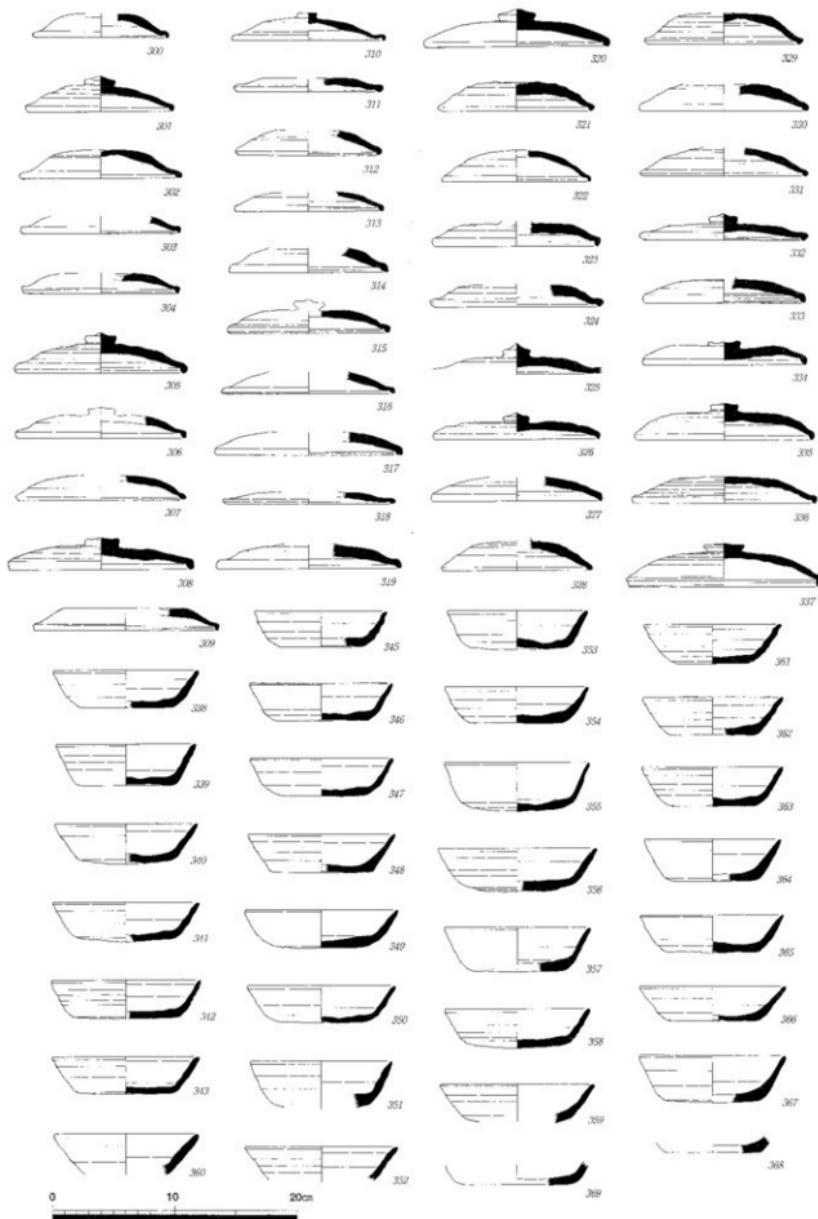
出土遺物（土器・陶磁器）

A1地区 SD163:204~214 A4地区 SD164:215~258



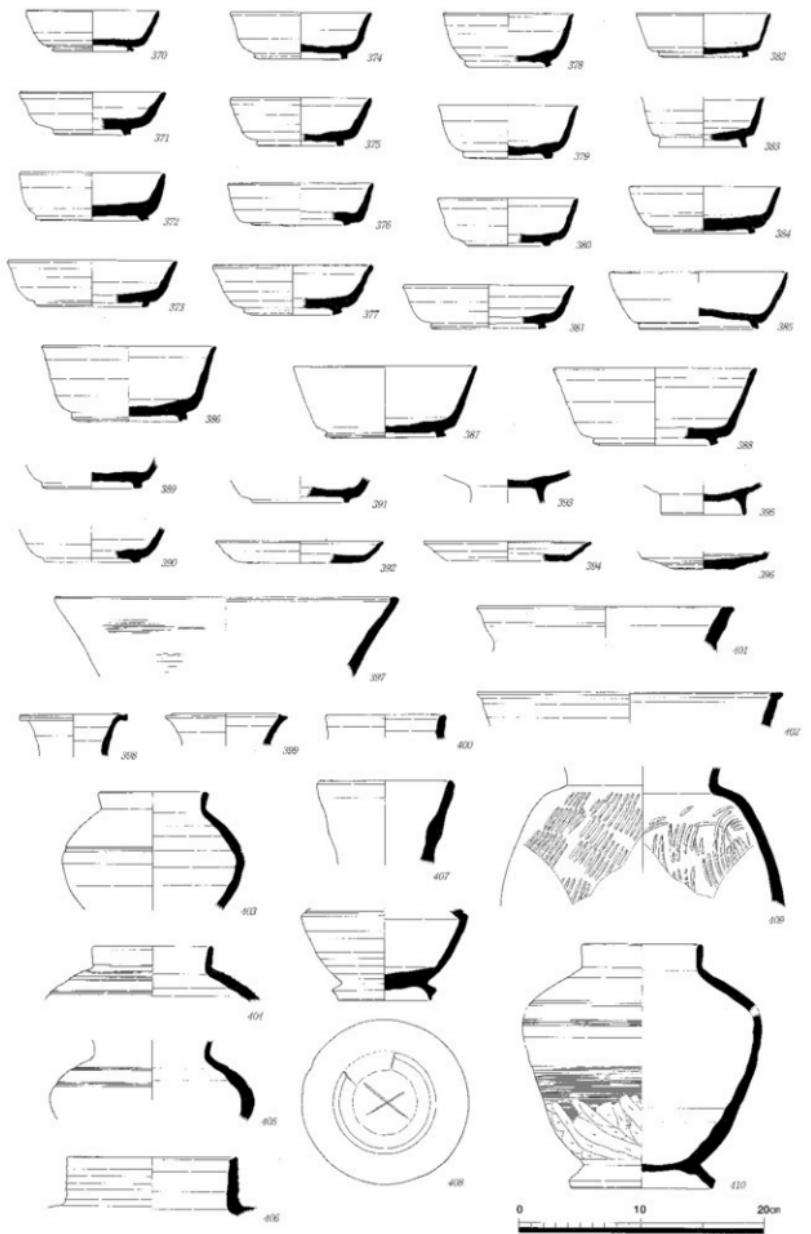
出土遺物 (土器・陶磁器)

A1 地区 包含層：278～286、288～299 A4 地区 SD161：259～277 包含層：287



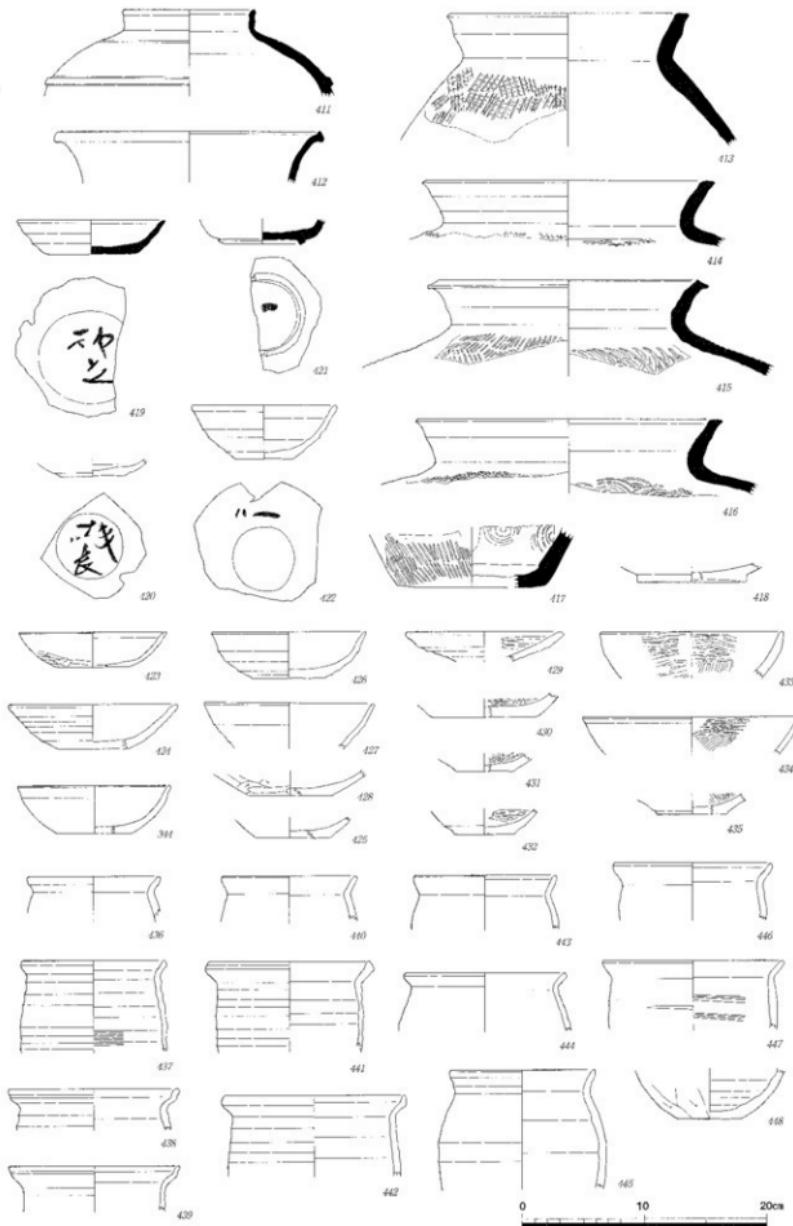
出土遺物（土器・陶磁器）

A1 地区 包含層：305、319、321～343、347～356、358、360～364、366、368、369
 A4 地区 包含層：300～304、306～318、320、345、346、357、359、365、367



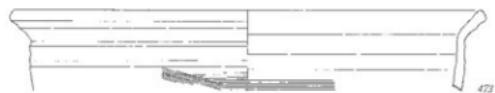
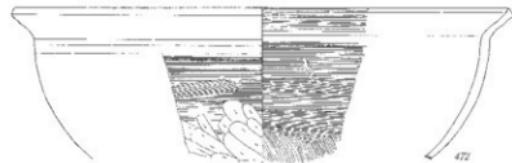
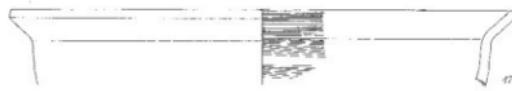
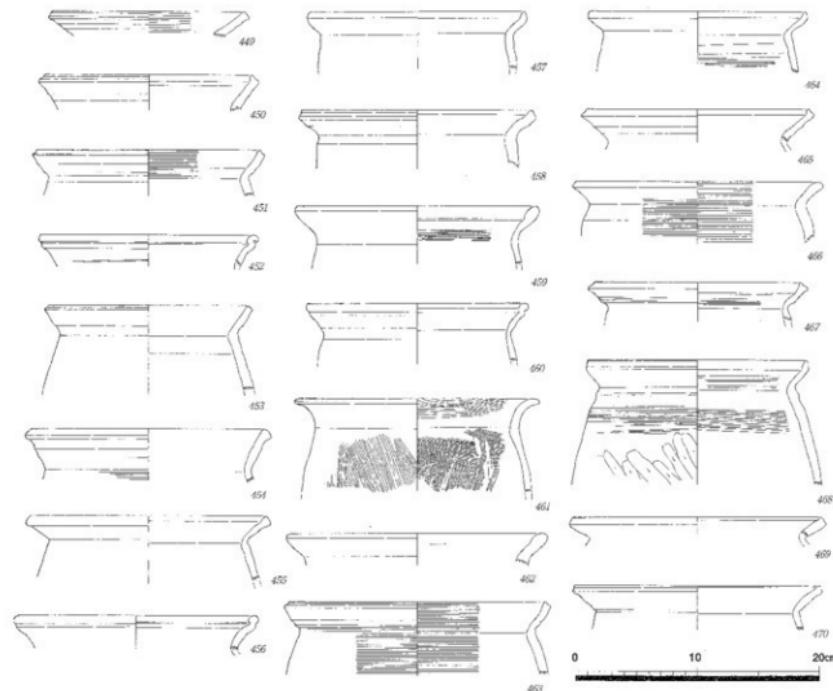
出土遺物 (土器・陶磁器)

A1 地区 包含層：370、372～378、380～382、385～400、402～410
A4 地区 包含層：371、379、383、384、401



出土遺物（土器・陶磁器）

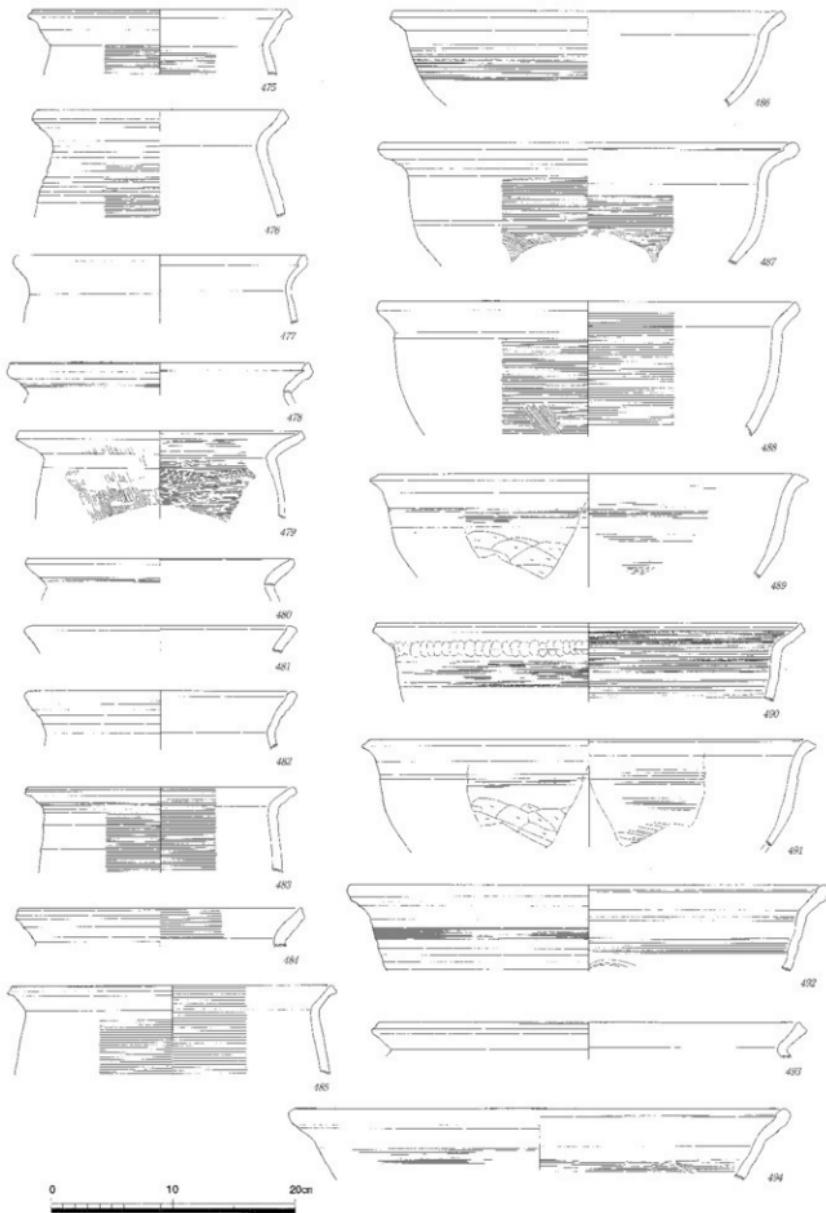
A1 地區 包含層：411、414、416～422、424～438、440、445、446、448
 A4 地區 包含層：344、412、413、415、423、439、441～444、447



出土遺物 (土器・陶磁器)

A1地区 包含層：449～451、454、458、462、463、465、466、469、473、474

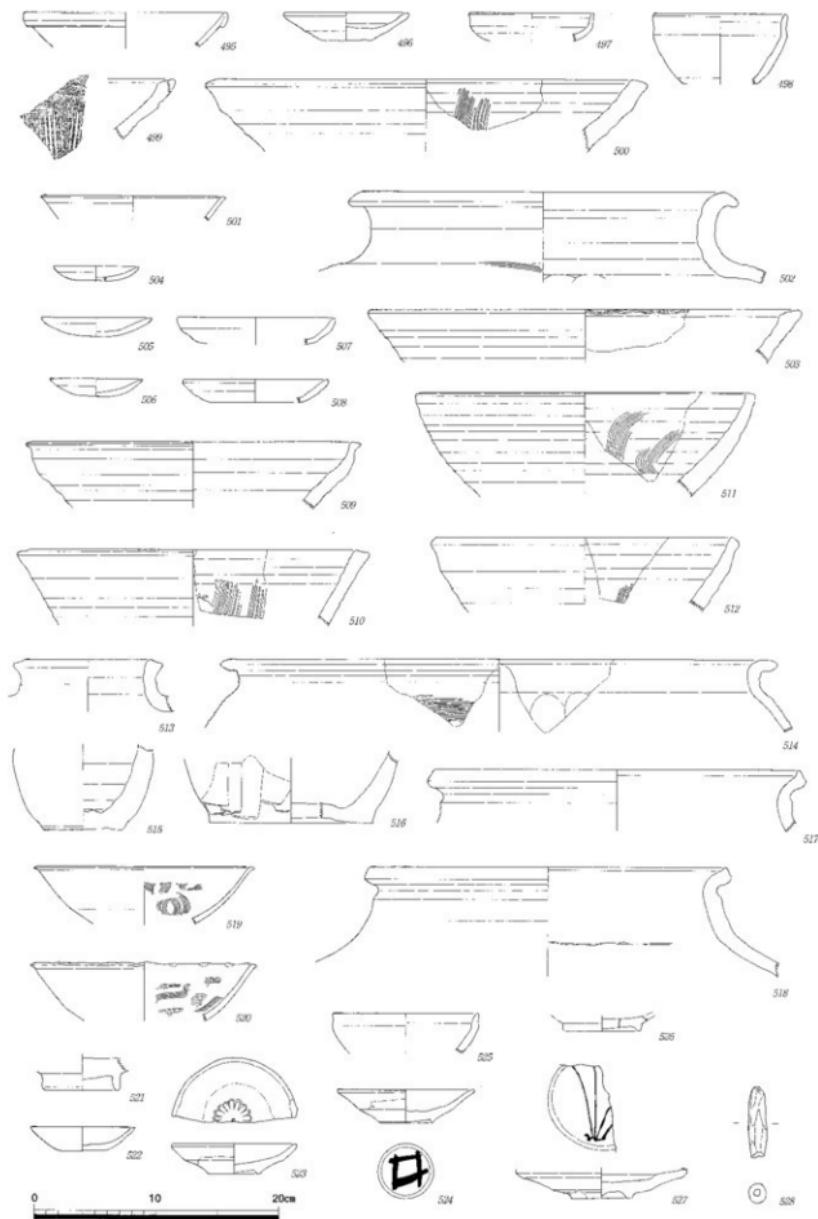
A4地区 包含層：452、453、455～457、459～461、464、467、468、470～472



出土遺物（土器・陶磁器）

A1 地區 包含層：475、476、478、480～488、490、493

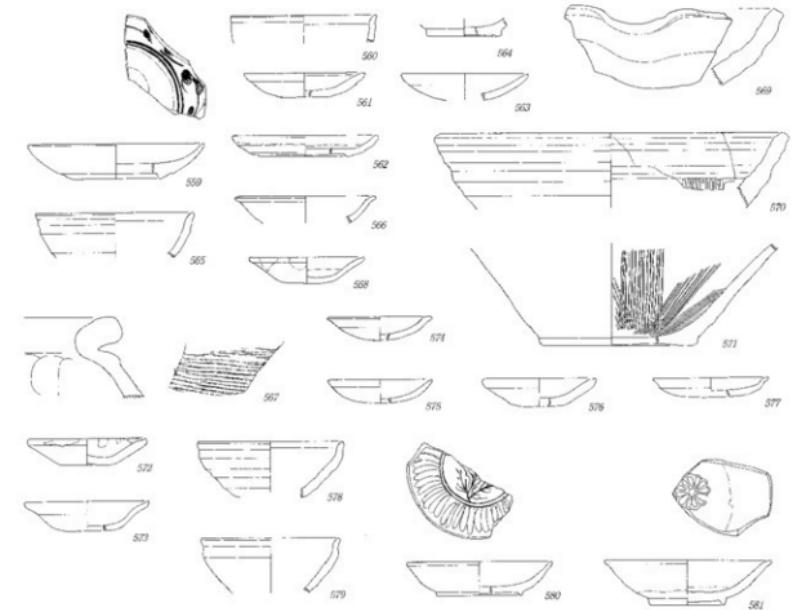
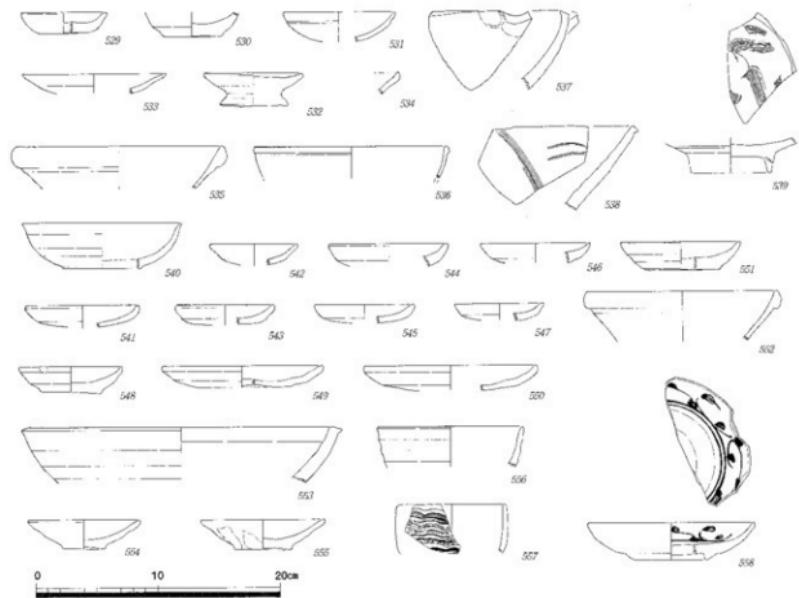
A4 地區 包含層：477、479、489、491、492、494



出土遺物 (土器・陶磁器)

A1地区 SD14:495, 502 SD15:496 包含層: 507~521, 524, 525, 528

A4地区 SD17:497 SD18:498 SK83:499 SK84:501 SK94:500 包含層: 503~506, 522, 523, 526, 527



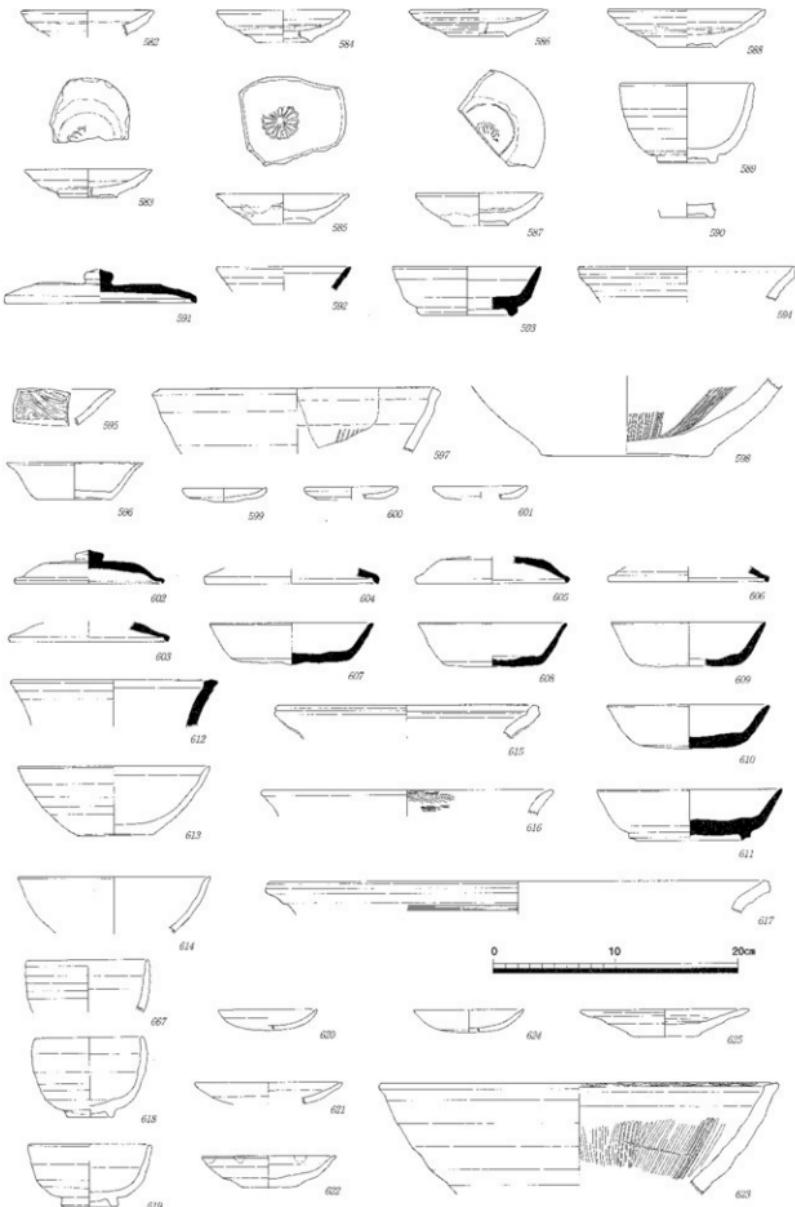
出土遺物（土器・陶磁器）

A3地区 SK01:529 SK09:534 SK10:530 SK29:533 SK32:535 SK33:531 SK36:537 SK50:536

SE01:539 SE03:532, 538 包含層: 540~558

A5地区 SD03:561~563, 571 SD05:565~567 SD08:570 SD11:568 SE02:559 SK03:564 SK04:560

SK12:569 包含層: 572~581



出土遺物（土器・陶磁器）

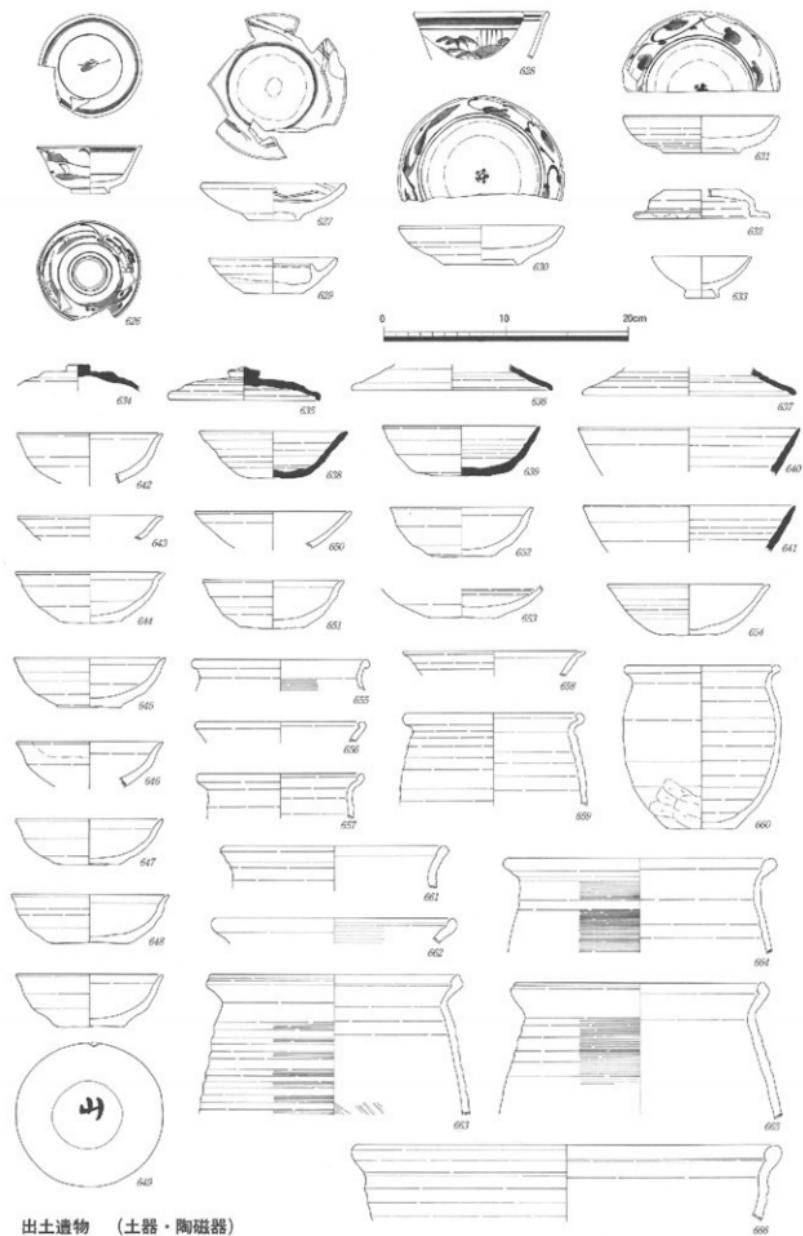
A5 地区 包含層：582~594

A6 地区 SD003 : 600 SK007 : 595 SK027 : 596 SK102 : 613 SK106 : 604, 607, 614, 615

包含層：597~599, 601~603, 605, 606, 608~612, 616, 617

A7 地区 SD006 : 618 SD008 : 620, 621 SD010 : 624 SK010 : 657

A8 地区 包含層：619, 625 A9 地区 SD014 : 622, 623

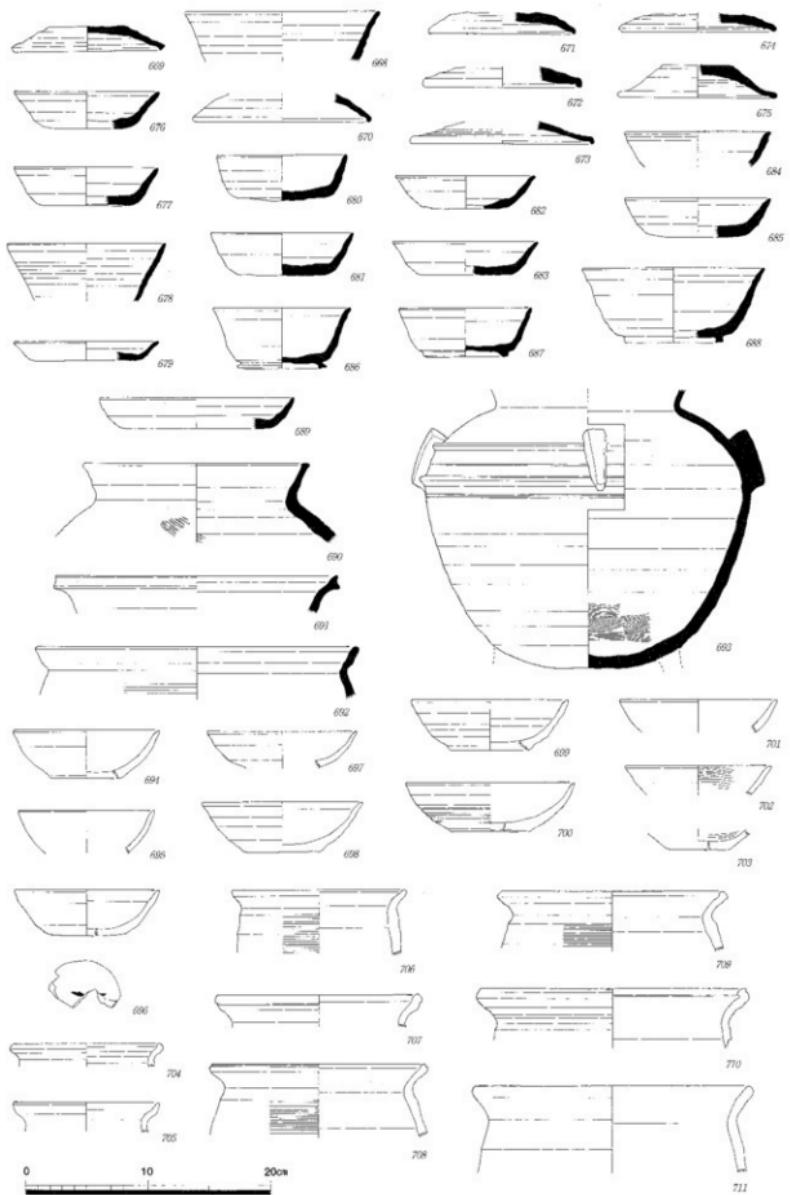


出土遺物（土器・陶磁器）

A7地区 SD010:626~628 包含層:632、633

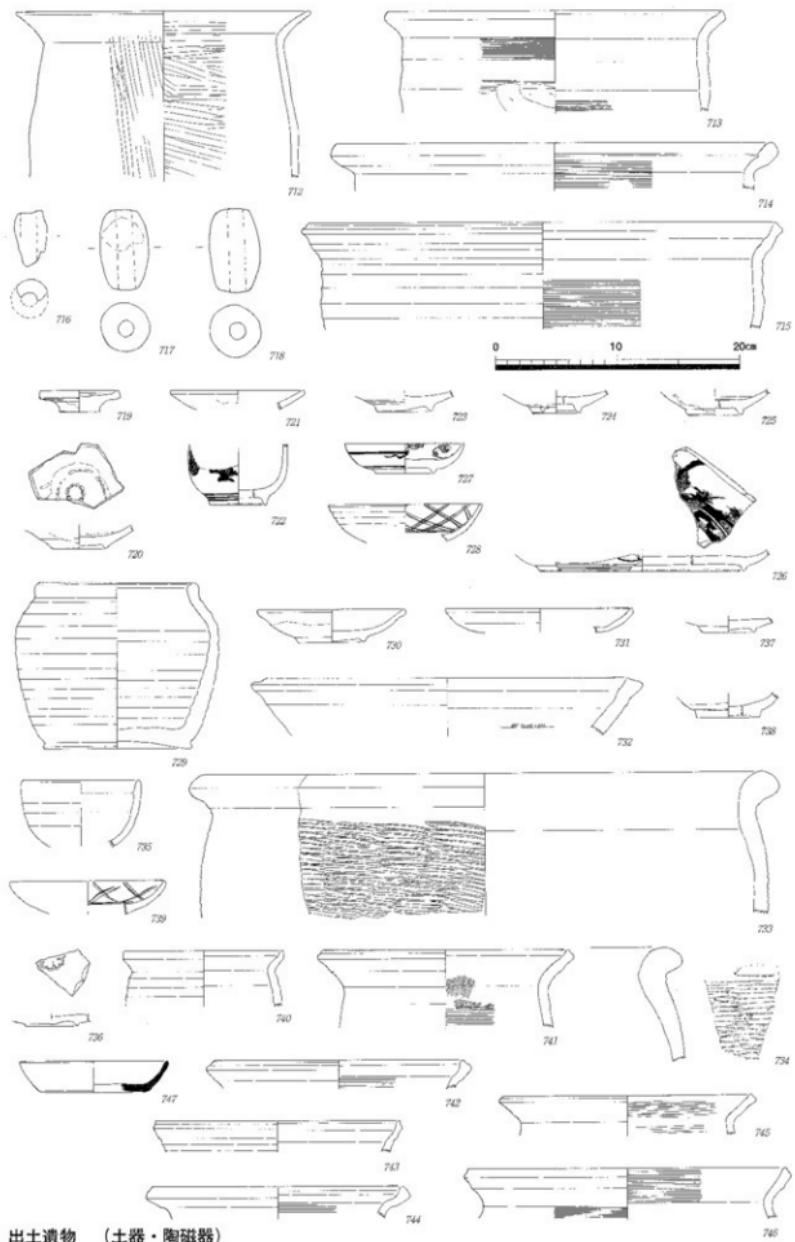
A8地区 SI01:634~666

A9地区 SD015:629、630 包含層:631



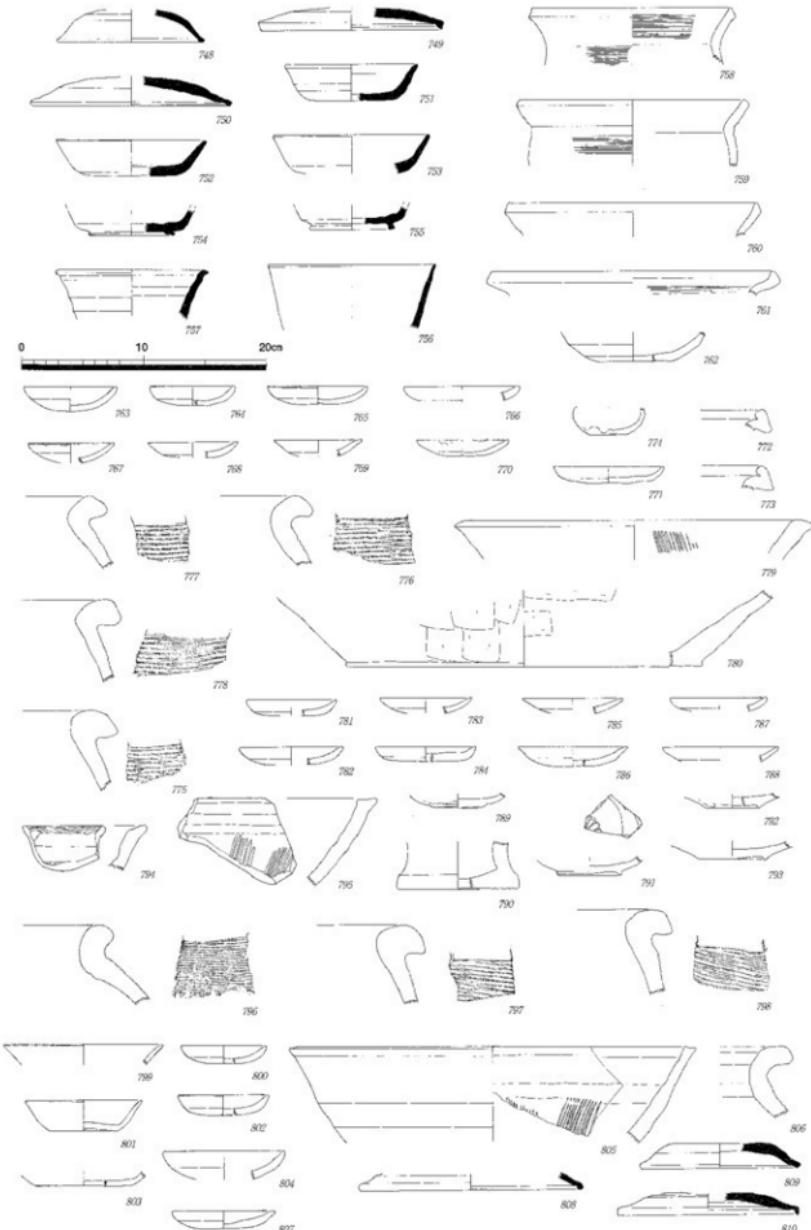
出土遺物 (土器・陶磁器)

- A7地区 SD102:668 包含層:670、671、678、679、688、689、691、695、704、710
 A8地区 包含層:669、675、680、690、693、694、696、699、700~703、705、706、711
 A9地区 包含層:672~674、676、677、681~687、692、697、698、707~709



出土遗物 (土器・陶磁器)

A7地区 包含层: 712, 718 A8地区 包含层: 714, 716 A9地区 包含层: 713, 715, 717
 A11地区 SD002: 719~722, 728 SD003: 723~726 包含层: 727 A12地区 SD004: 730 SI01: 740~747 SK
 011, 729 包含层 731~739

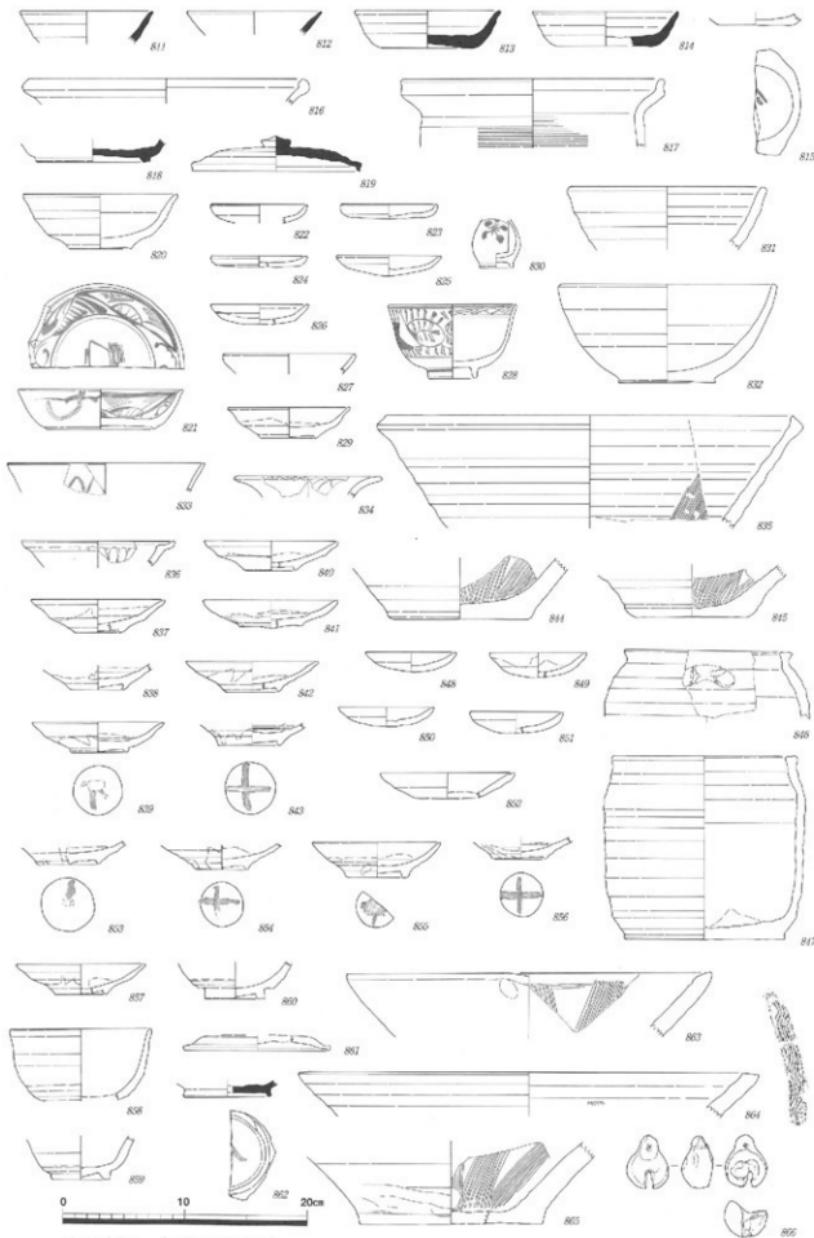


出土遺物（土器・陶磁器）

A12地区 包含層：748～762

A13地区 SD03：767～771, 773, 775, 776 SK07：764 SK08：765 SK12：778～780 SK14：766, 772
SK16：777 SK17：774 SF21：763 包含層：781～798

A14地区 SD06：803, 804, 806 SK06：799 SK19：800, 801, 805 SK26：802 包含層：807～810

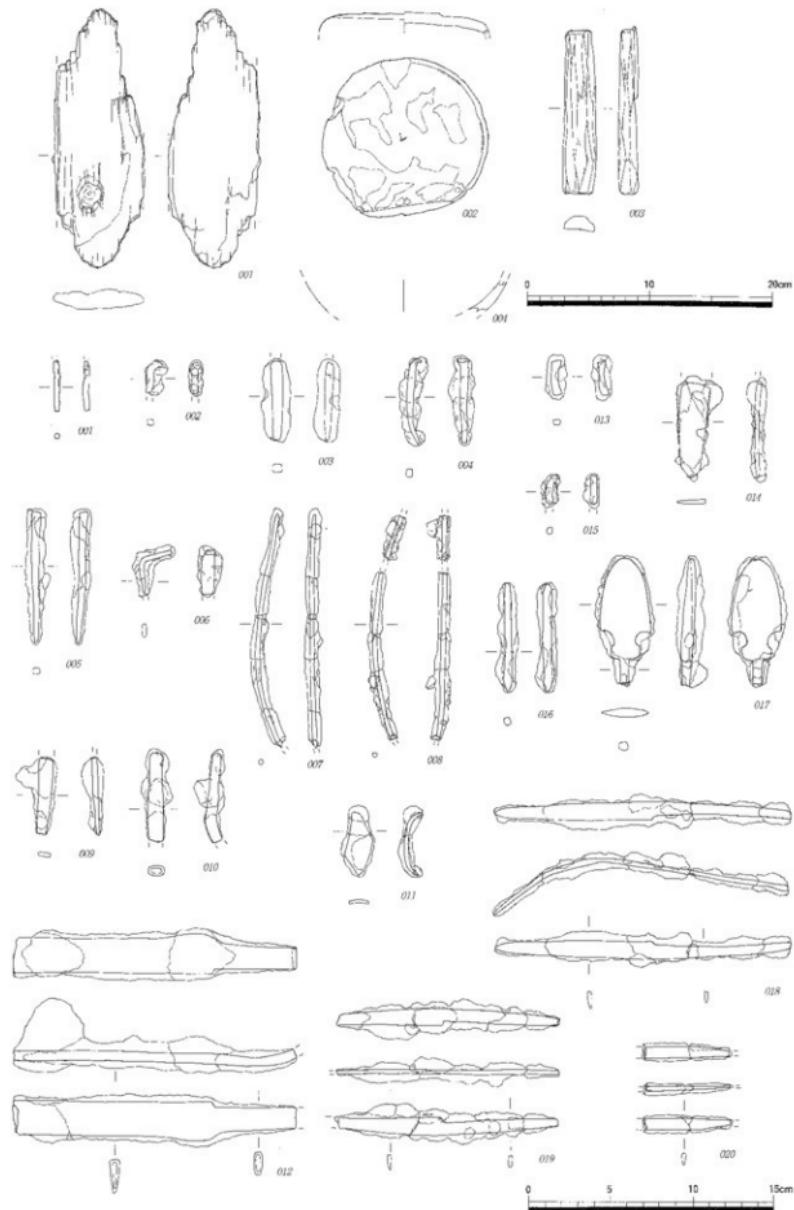


出土遺物（土器・陶磁器）

A14地区 包含層：811～817 A15地区 SD102：818 包含層：819、820

A16地区 SD01：827～829 SD04：831、832 SK01：822 SK12：821 SK14：823 SK15：824 SK19：825 SK21：830 包含層：826、833～835

A18地区 SK01：836～841、843～847 SK02：842 包含層：848～866



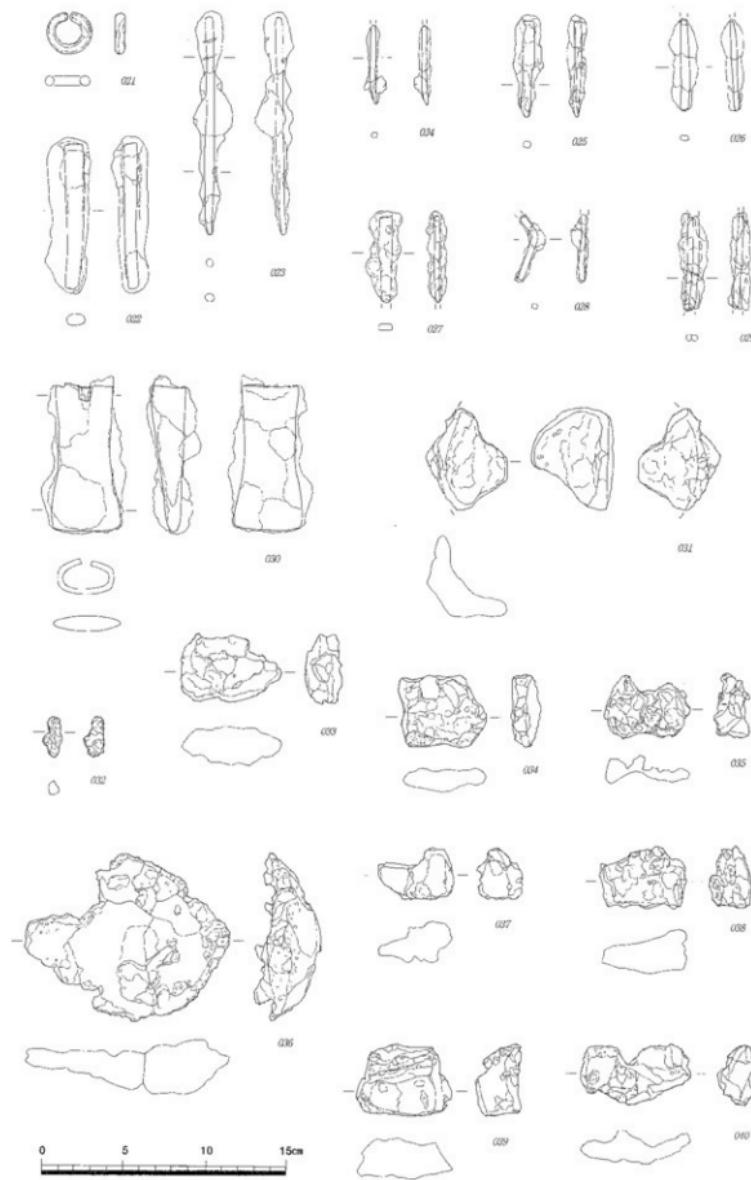
出土遺物（木製品・金属製品）

A 5 地区 SE01:001 A13地区 SK13:002 包含層:003 Al6地区 SK12:004

A 1 地区 SP047:002 SD003:006 SD106:016 SD163:010 SI02:013,019 SI07:020 SH1:015,017,018 SH2:014

SK023:009 SK054:012 SK060:004 SK113:011 SK116:005

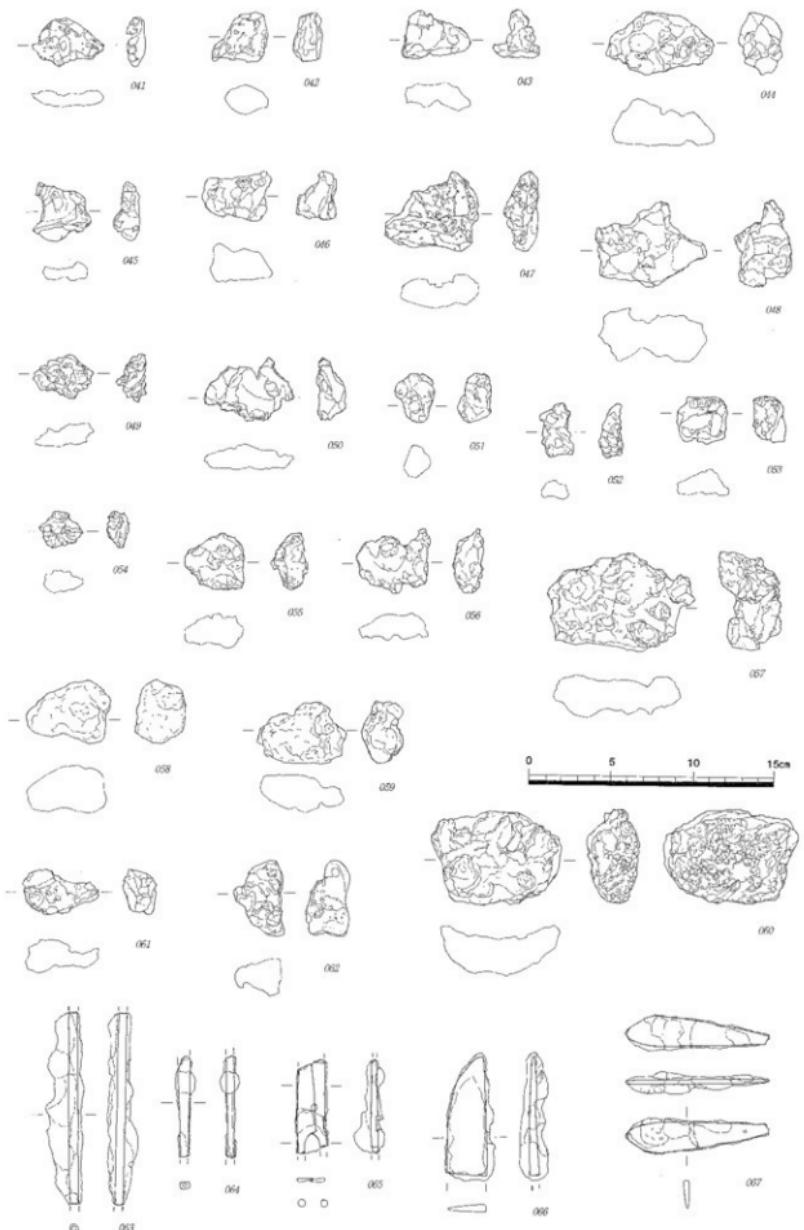
A 4 地区 SD030:001 SD020:007, 008 SK079:003



出土遺物（金属製品）

A1地区 SI07:022 SK107:032 包含層：024～029、031

A4地区 SD022:033、034 SD023:035 SD164:023、036～040 SI22:021 包含層：030

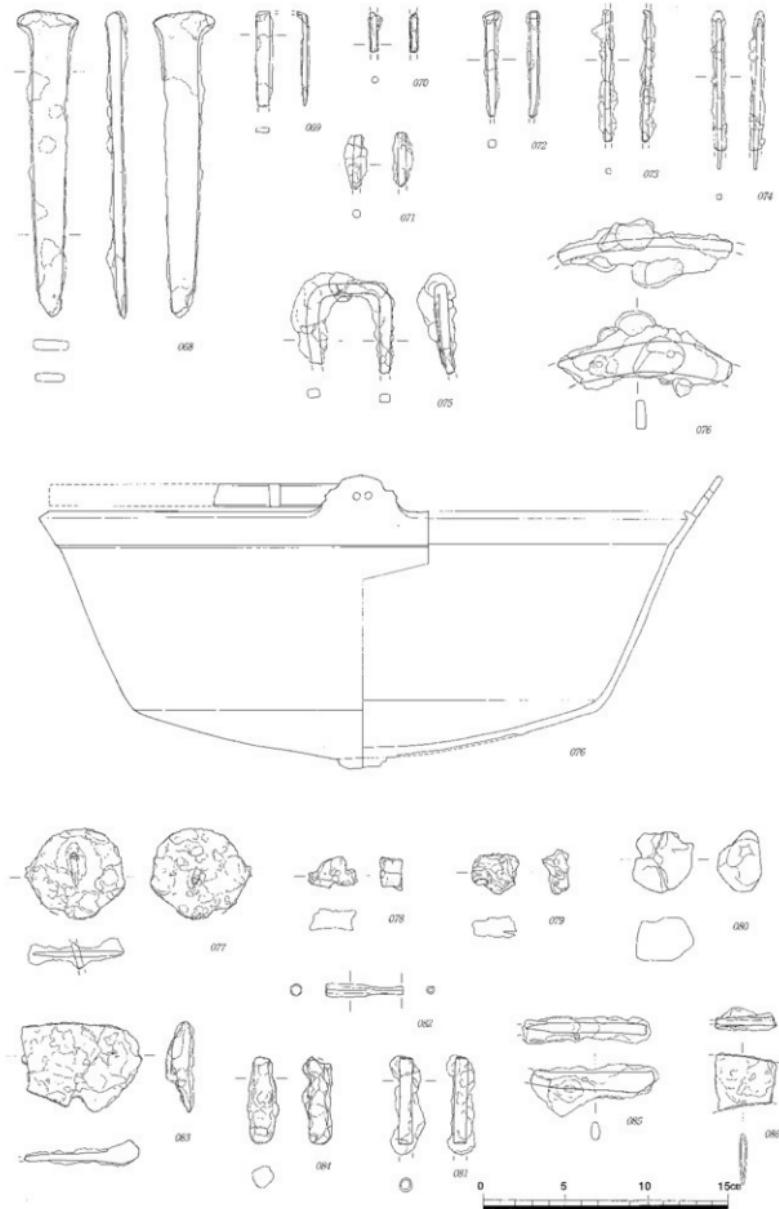


出土遺物 (金属製品)

A1 地区 SD106:051, 052 SD111:053 SI02:054 SI09:057 包含層: 058~060

A3 地区 SD08:062 SK41:063 包含層: 064~067

A4 地区 SD164:041~050 SI24:055, 056 包含層: 061



出土遺物（金属製品）

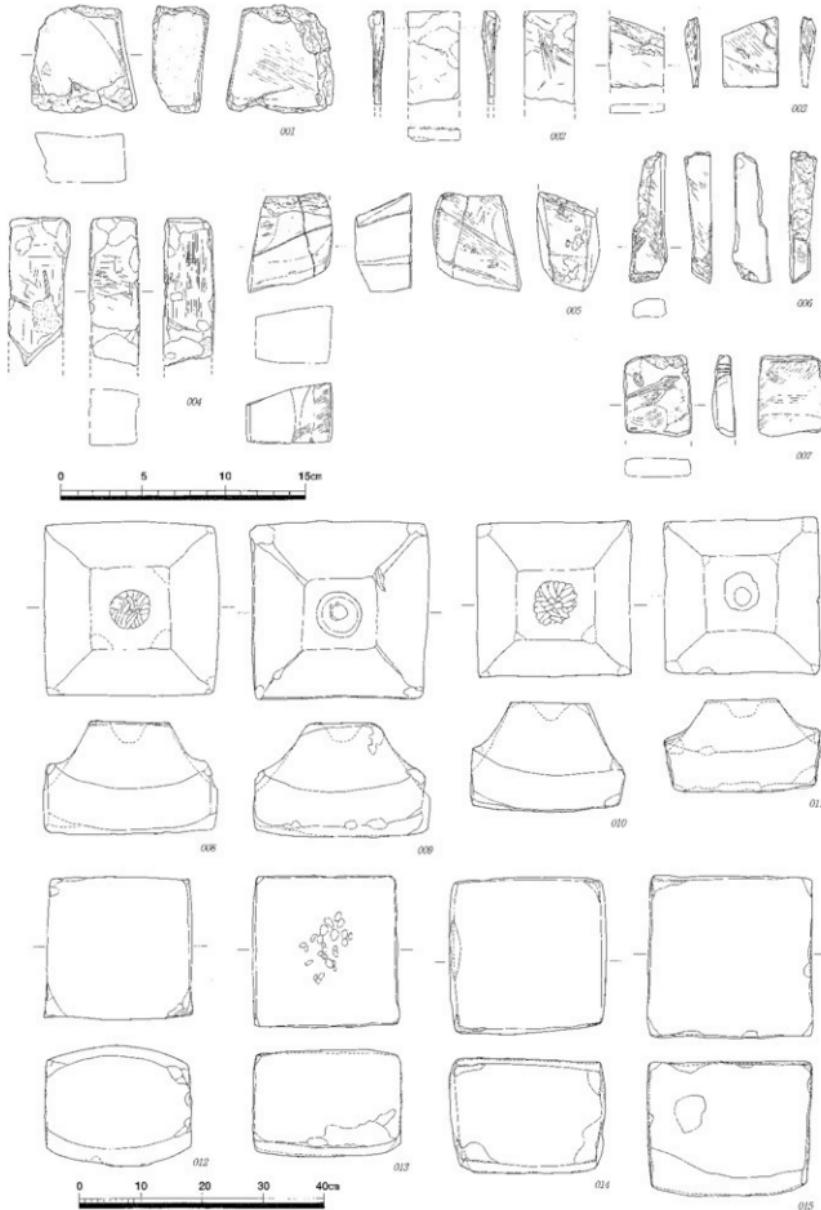
A3地区 包含層：068 A5地区 SK019：076 A7地区 SD008：069 SD010：072 SK002：074
A8地区 SI01：070, 071, 073, 075, 077~080 A12地区 SD003：081 包含層：082~086



出土遺物（金属製品）

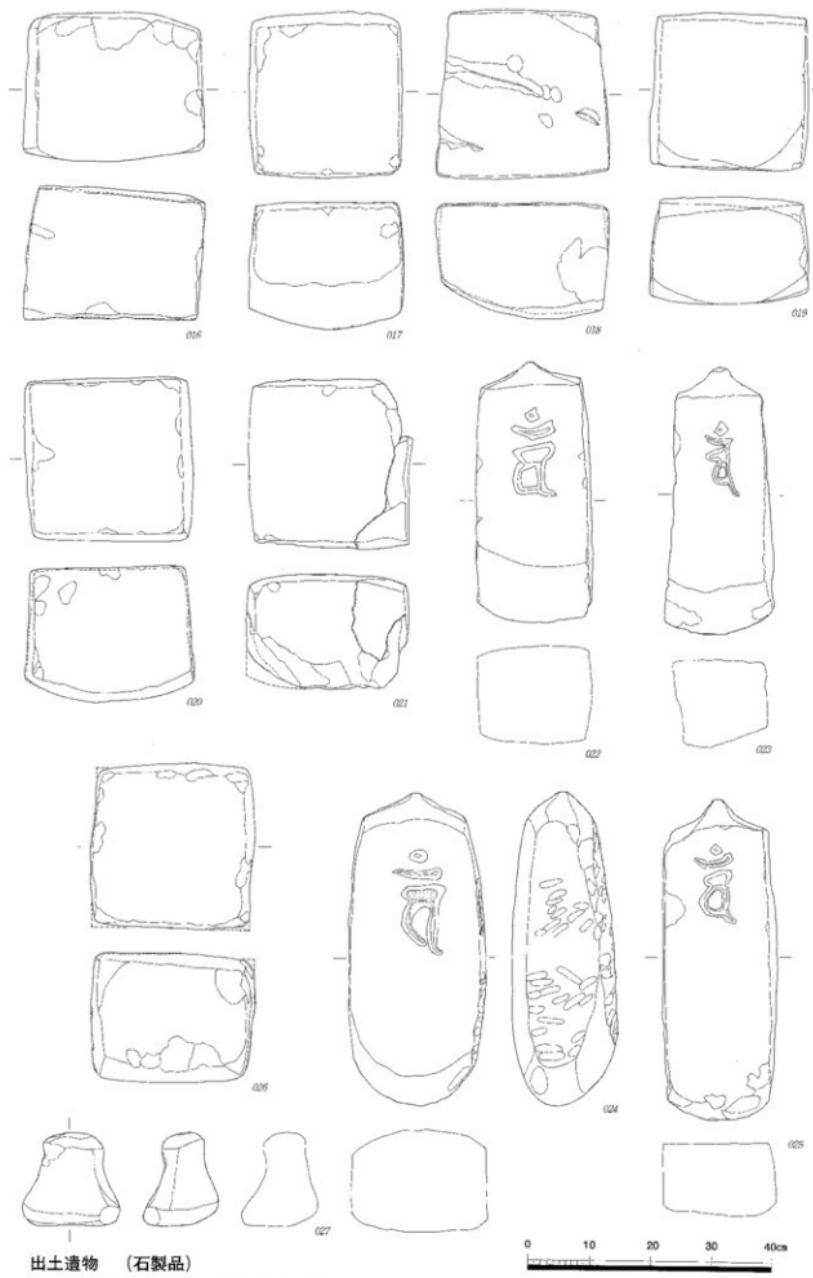
A10地区 包含層：103 A12地区 包含層：087~089 A13地区 SK13：094 包含層：090~093、095~097
 A14地区 SK13：098 SK39：099 A16地区 SD01：100 SK20：101 A18地区 包含層：102

图面150



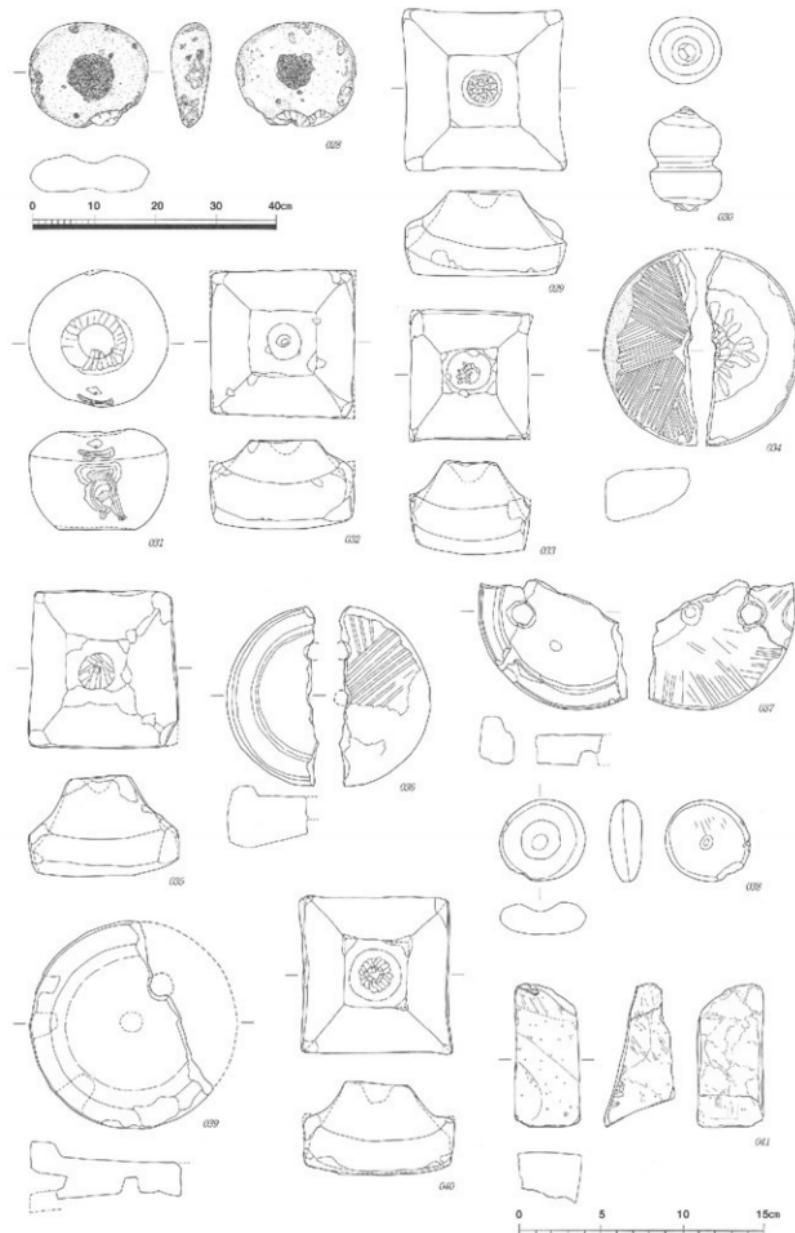
出土遺物 (石製品)

A3地区 包含層：003～006 A4地区 SD164：001 包含層：002
A5地区 SD02：008～015 SK06：007



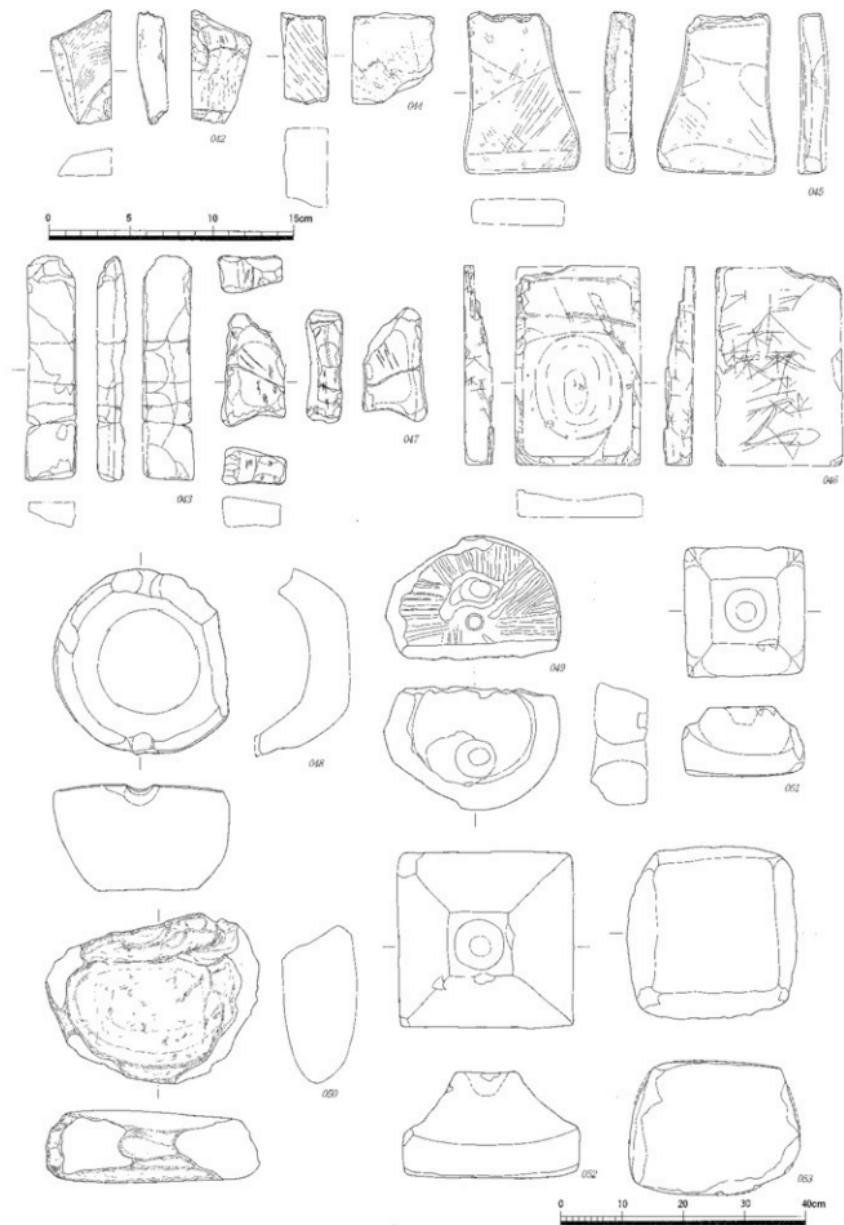
出土遺物（石製品）

A5 地区 SD02: 016~025 SD04: 026、027



出土遺物（石製品）

A3地区 包含層：033 A5地区 SD05：029 SE02：028 包含層：030—032、034 A6地区 包含層：041
 A7地区 包含層：035 A8地区 包含層：039 A9地区 SD14：036、038 SD17：037 A12地区 包含層：040



出土遺物（石製品）

A13地区 SD03:044 SK12:043 SK13:042 A16地区 SK12:046 包含層:045
A18地区 SK01:047~053

報告書抄録

ふりがな	とうみみやたいせきはつくつちょうさほうこくいち							
書名	任海宮田遺跡発掘調査報告Ⅰ							
卷次	VI							
シリーズ名	富山県文化振興財团埋蔵文化財発掘調査報告							
シリーズ番号	第30集							
編著者名	細辻 真澄							
編集機関	財団法人富山県文化振興財团 埋蔵文化財調査事務所							
所在地	〒930-0887 富山県富山市五福4384番1号 TEL076-442-4229							
発行年月日	西暦2006年1月25日							
ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ′ ″	東經 ° ′ ″	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
任海宮田遺跡	富山県 富山市任海	16201	501	36° 37' 50" 36° 37' 52"	137° 12' 02" 137° 12' 30"	20010607 ~ 20011225 ~ 20020702 ~ 20020727	22,229 85	公害防除 特別土地 改良事業 に伴う発 掘調査
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
任海宮田遺跡	集落跡	古代	堅穴住居26棟・掘立柱建物1棟・煙・溝・土坑・柱穴		土師器・須恵器・綠釉陶器・土鍤			
		中世・近世	掘立柱建物30棟・石籠井戸7基・土・坑・溝・柱穴		中世土師器・瀬戸美濃・珠洲・八尾・白磁・青磁・越中瀬戸・伊万里・唐津・金屬製品・木製品・石製品			

2006（平成18年）年1月10日 印刷
2006（平成18年）年1月25日 発行

富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告第30集

任海宮田遺跡発掘調査報告 I

-公害防除特別土地改良事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告 VI -

(第一分冊)

編集・発行 財團法人富山県文化振興財團
埋蔵文化財調査事務所
〒930-0887 富山市五福4384番1号
TEL. 076-442-4229

印刷 株式会社富山ホーム印刷
〒939-8214 富山県富山市黒崎173番1
TEL. 076-492-5565